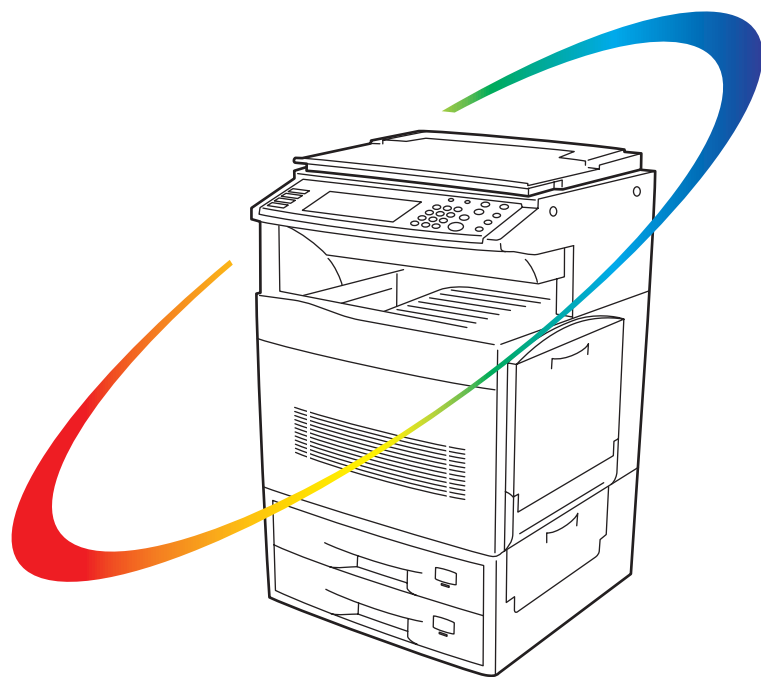




使用説明書



KM-C850
KM-C850D

※表紙のイラストはオプションの原稿押さえを装着したものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

京セラ ミタ株式会社

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。
オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
シートスルー RADF SRDF-2	自動原稿送り装置
両面印刷反転装置 PD-800	両面ユニット
ペーパーフィーダーデッキ PF-35	ペーパーフィーダ
フィニッシャー DF-35	ドキュメントフィニッシャ
メモリーコピーボード MB-7A	メモリコピーボード
キャストキット CA-32	キャスト
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード MK-2	キーカード
プリンタキット Printing System (S)	プリンタキット
ファクスキット Fax System (G)	ファクスキット
ネットワークスキャナ Scan System (C)	ネットワークスキャナ

ご注意

本使用説明書は KM-C850 と KM-C850D に対応しています。

	標準給紙段	使用説明書記載の名称
KM-C850	500 枚収納カセット×2 段	片面機または 500 枚収納カセット付片面機
	250 枚収納カセット×2 段	片面機または 250 枚収納カセット付片面機
KM-C850D	両面ユニット+ 500 枚収納カセット×1 段	両面機

KM-C850（片面機）にオプションの両面ユニットとメモリコピーボードを取付けると、KM-850D（両面機）と同じ機能が使用できます。
使用できる機能や操作方法は KM-850D（両面機）の項目を参照してください。

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

ワンタッチ画質調整

ワンタッチ操作で好みに応じてオリジナル原稿に対して、「あざやかに」や「シックに」などのニュアンスが出るように画質を調整します。（設定方法は P.5-4、「ワンタッチ画質調整」参照）

メリハリつけて



シックに



かるく



原稿



原稿



原稿



なめらかに



あざやかに



おもく



※ 本書中のコピーサンプルは、機能の差がわかるよう印刷処理しているため本機でのコピーの色とは多少異なります。

カラーバランス調整

コピー全体が赤っぽかったり、黄色っぽかったりしたときにコピー全体の色味を調整することができます。イエロー（黄色）、マゼンタ（赤系色）、シアン（青系色）、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を調整できます。（設定方法は P.5-1、「カラーバランス調整」参照）

原稿



イエローを強く



マゼンタを強く



シアンを強く



ブラックを強く



イエローを弱く



マゼンタを弱く



シアンを弱く



ブラックを弱く



※ 本書中のコピーサンプルは、機能の差がわかるよう印刷処理しているため本機でのコピーの色とは多少異なります。

光沢プリント

光沢を増してコピーします。（設定方法は P.5-6、「光沢プリント」参照）

原稿



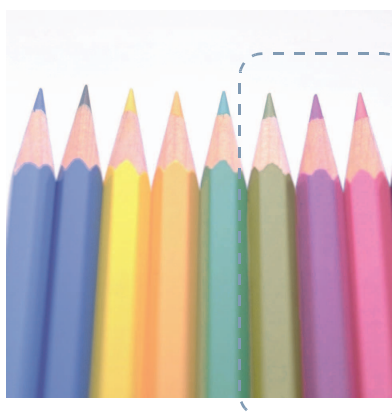
光沢モードを設定



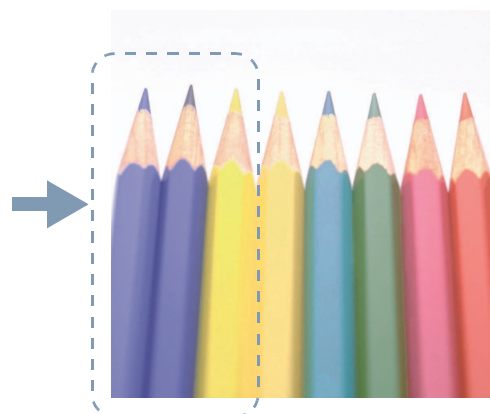
色相調整

色調（色合い）を調整します。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージの変わったコピーができます。（設定方法は P.5-2、「色相調整」参照）

原稿



イエローに近いグリーンをイエロー側に、ブルーに近いマゼンタをブルー側に調整… (1)



イエローに近いレッドをイエロー側に、ブルーに近いシアンをブルー側に調整… (2)

※ 本書中のコピーサンプルは、機能の差がわかるよう印刷処理しているため本機でのコピーの色とは多少異なります。

シャープネス調整

コピーの仕上がりで画像をソフトにまたはシャープに調整することができます。
(設定方法は P.6-40、「シャープネス調整」参照)

原稿



シャープネス強く



原稿



シャープネス弱く



この使用説明書について

本製品の使用説明書（本書）は、はじめて複写機を使う方でも戸惑うことなく、効果的に本製品をご活用いただけるように、いくつかの章に分けて説明しています。以下に各章の内容をまとめていますので、本書をご利用になる際の参考にしてください。

1 章 はじめにお読みください

本製品を購入後、必ず知っておいていただきたいことについて説明しています。機械を設置するときや取り扱う際の注意事項など、本機を安全にお使いいただくために必ず守っていただきたい事項を記載しています。

2 章 各部の名称

複写機本体の各部と操作パネルについて、名称とその働きについて説明しています。

3 章 ご使用前の準備

用紙の補給のしかたについて説明しています。

4 章 基本的なコピー

簡単なコピーがとれるまでの内容を説明しています。

5 章 カラーコピー設定

カラーの画質調整の設定方法について説明しています。

6 章 機能的なコピー

知っておくと、とても便利なコピー機能について説明しています。

7 章 複写機の管理モード

初期設定を変更して、複写機を使いやすいように調整する方法や、部門管理の設定方法について説明しています。

8 章 オプション

本製品で利用できる便利なオプション機器を紹介しています。

9 章 こんなときには

エラーが表示されたときや紙詰まりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

10 章 保守・運用のために

本製品のお手入れ、トナー交換のしかたや仕様について説明しています。

絵表示について

本書では、必ず守っていただきたい事項や補足事項に対して、絵表示を使用しています。絵表示とその説明は以下の通りです。



重要

トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項が書かれています。



補足

補足説明や操作の参考となる情報が書かれています。

目次

国際エネルギースタープログラム	xi
ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。	xii

1 章

はじめにお読みください 1-1

注意ラベルについて	1-1
機械を設置する時のご注意	1-2
取り扱い上のご注意	1-3
コピー禁止事項	1-5

2 章

各部の名称 2-1

機械本体	2-1
操作パネル	2-4
タッチパネル	2-6

3 章

ご使用前の準備 3-1

用紙の補給	3-1
用紙補給時の注意	3-1
カセットへの補給	3-2
手差しへの補給	3-4

4 章

基本的なコピー 4-1

基本的なコピーのしかた	4-1
-------------------	-----

5 章

カラーコピー設定 5-1

カラーバランス調整	5-1
色相調整	5-2
ワンタッチ画質調整	5-4
単色カラーコピーモード	5-5
光沢プリント	5-6

6 章

機能的なコピー 6-1

コピーの縮小／拡大	6-1
自動倍率選択モード	6-1
ズームコピーモード	6-1
固定変倍モード	6-2
たてよこ独立変倍モード	6-2
割り込みコピー	6-3
いろいろな原稿から両面コピー〔両面コピー〕（両面機のみ）	6-4
両面原稿からの両面コピー	6-4
見開き原稿からの両面コピー	6-4
片面原稿からの両面コピー	6-5
2 ページの原稿を 1 ページずつコピー	
〔分割コピー〕	6-7
見開き原稿からの分割コピー	6-7
両面原稿からの分割コピー	6-7
コピーにとじしろを作る〔とじしろコピー〕	6-9
とじしろ	6-9
独立とじしろ	6-9
用紙の中央にコピー〔センター移動〕	6-11
原稿の横に書き込みスペースを作る	
〔書き込み余白〕	6-12
原稿のまわりを消去してコピー〔枠消し〕	6-13
シート原稿のまわりを消去（シート枠消し）	6-13
見開き原稿のまわりと中央部を消去（ブック枠消し）	6-13
2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に〔集約コピー〕	6-14
2 in 1	6-14
4 in 1	6-14
コピーにページ数を印字〔ページ付け〕	6-16
複数枚に分けて拡大コピー〔拡大連写モード〕	6-19
小冊子（シート原稿）（両面機のみ）	6-21
小冊子（見開き原稿）（両面機のみ）	6-23
ドキュメントフィニッシュなしで仕分けを行う〔仕分けコピー〕	6-25
自動回転	6-26
コピーにカバーを付ける〔表紙付け〕	6-27
原稿サイズ選択	6-29
OHP フィルムの合紙として用紙を送る〔OHP 合紙モード〕	6-30
画像を反転してコピー〔白黒反転コピー〕	6-32
画像を鏡像にコピー〔鏡像コピー〕	6-33
試しコピーをしてから大量部数を出力	
〔試しコピー〕	6-34
コピー終了後に追加分を出力〔再コピー〕	6-35
再コピーの設定	6-35
再コピー出力	6-36
大量の原稿を一括してコピー〔連続読み込み〕	6-38
カラーコピーと白黒コピーを一度に〔配布コピー〕	6-39
シャープネス調整	6-40
トナー節約コピー〔エコプリント〕	6-41
原稿セット向き	6-42
排出先選択	6-43

コピーワークを記録する「プログラムコピー」	6-44
プログラム登録のしかた	6-44
プログラムを使ったコピー	6-44
キー名称の変更のしかた	6-45
プログラム削除のしかた	6-45
機能を機能登録キーに設定する	6-46
機能登録キーの登録	6-46
機能登録キーの削除	6-47
表紙、中表紙付きのコピーが簡単にできる「応用コピー」	6-48
応用コピーの手順	6-48
各機能の設定方法	6-51
節電機能（低電力モード）	6-59
オートスリープ機能	6-60

7 章

複写機の管理モード	7-1
部門管理モード	7-1
部門管理モードについて	7-1
部門管理メニュー画面の表示方法	7-2
部門編集	7-3
部門管理集計	7-21
部門管理の設定	7-23
部門管理初期設定	7-23
部門管理時のコピー操作	7-30
初期設定モード	7-31
マシン初期設定の項目	7-31
マシン初期設定画面の表示方法	7-33
マシン初期設定の変更方法	7-33
コピー初期設定の項目	7-44
コピー初期設定画面の表示方法	7-47
コピー初期設定の変更方法	7-47
手差し用紙設定	7-62
用紙サイズおよび用紙種類の設定	7-62
その他定形サイズの設定	7-62
原稿サイズ登録	7-64
自動階調調整	7-65
ドラムリフレッシュ	7-67
トータルカウンタの参照と印刷	7-68
レポート出力	7-69
言語切替	7-71
文字の入力方法	7-72
入力画面	7-73
ローマ字漢字入力とかな漢字入力での文字変換	7-74
区点入力での文字変換	7-76
半角文字の入力	7-77

8 章

オプション	8-1
原稿送り装置	8-1
ペーパーフィーダ	8-4
ドキュメントフィニッシャ	8-5
メモリコピーボード	8-8
キーカウンタ	8-8
キーカード	8-8
プリンタキット	8-9
ファクスキット	8-9
ネットワークスキャナ	8-9
両面ユニット	8-9

9 章

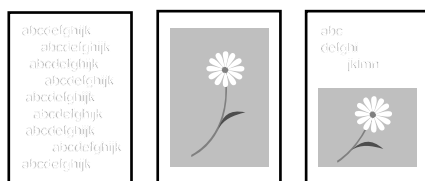
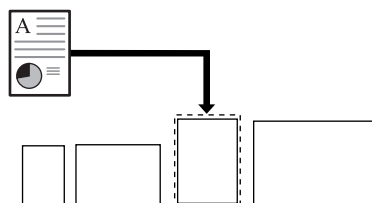
こんなときには	9-1
こんなメッセージが出たら	9-1
こんな表示がでたら	9-4
紙詰まりが発生したら	9-5
注意事項	9-5
紙詰まり位置表示	9-5
処置方法	9-6
トラブルが発生した場合	9-16

10 章

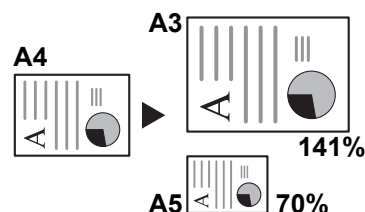
保守・運用のために	10-1
機械の清掃のしかた	10-1
トナーコンテナの交換	10-4
廃棄トナーボックスの交換	10-6
仕様	10-9
機械本体	10-9
原稿送り装置（オプション）	10-10
ドキュメントフィニッシャ（オプション）	10-11
ペーパーフィーダ（オプション）	10-11
両面ユニット（オプション）	10-11
環境仕様	10-12
製品の保守サービスについて	10-13
保守サービス契約書について	10-13
補修用性能部品について	10-13
廃棄について	10-13
オプションユニット	10-14
付録 A：機能組み合わせ一覧	10-16
付録 B：区点コード表	10-18

本機の機能を存分にご活用ください

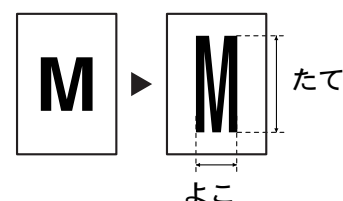
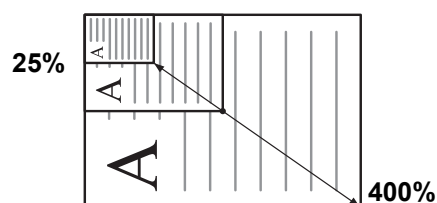
- 1** 原稿と同じサイズの用紙を機械が自動的に選択
＜自動用紙選択＞（P.4-2 参照）
- 2** 写真原稿もきれいにコピー
＜画質の選択＞（P.4-3 参照）



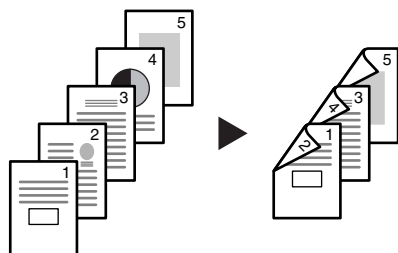
- 3** 多彩な変倍方法
・指定したカセットサイズに縮小 / 拡大＜自動倍率選択モード＞（P.6-1 参照）



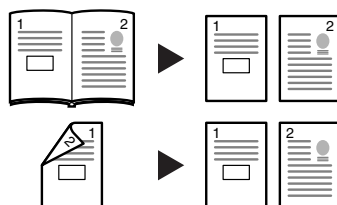
- ・25～400%の範囲で縮小 / 拡大＜ズームコピーモード＞（P.6-1 参照）
- ・ワンタッチでコピー倍率を選択＜固定変倍モード＞（P.6-2 参照）
- ・たてよこ別々にコピー倍率を選択＜たてよこ独立変倍モード＞（P.6-2 参照）



- 4** いろんな原稿を両面コピー
＜両面コピー＞（P.6-4 参照）



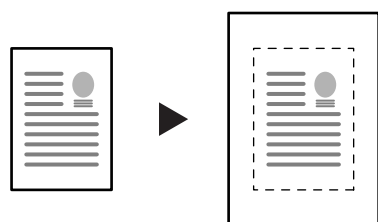
- 5** 2ページの原稿を1ページずつコピー＜分割コピー＞（P.6-7 参照）



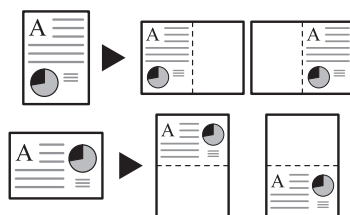
- 6** コピーにとじしろを作る＜とじしろコピー＞（P.6-9 参照）



- 7** 用紙の中央にコピー
＜センター移動＞（P.6-11 参照）



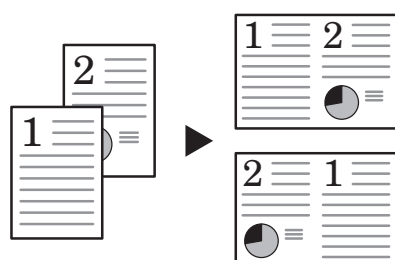
- 8** 原稿の横に書き込みスペースを作る＜書き込み余白＞（P.6-12 参照）



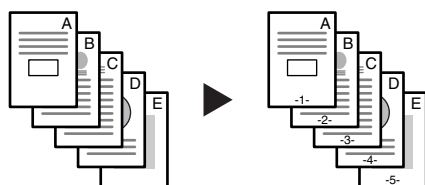
- 9** 原稿のまわりを消去してコピー＜枠消し＞（P.6-13 参照）



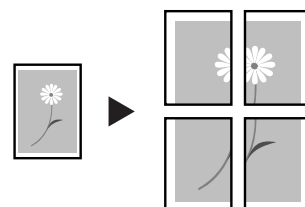
- 10** 2枚または4枚の原稿を1枚に
＜集約コピー＞（P.6-14 参照）



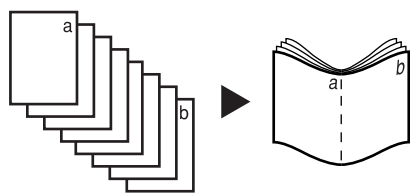
- 11** コピーにページ数を印字する＜ページ付け＞（P.6-16 参照）



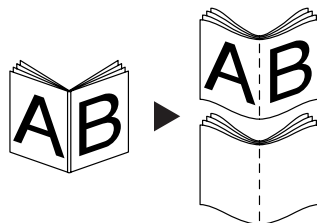
- 12** 拡大後の画像を複数枚に分けて印字する＜拡大連写モード＞（P.6-19 参照）



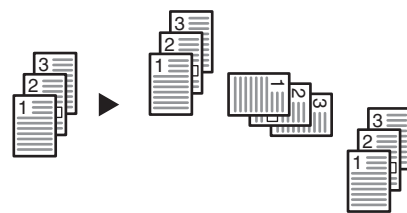
13 シート原稿を小冊子に
＜小冊子（シート原稿）＞
（P.6-21 参照）



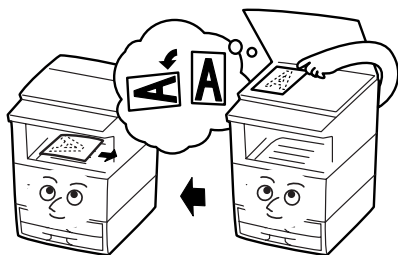
14 ブック原稿をそのままに
＜小冊子（見開き原稿）＞
（P.6-23 参照）



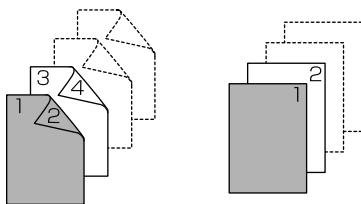
15 自動で仕分けを行う
＜仕分けコピー＞
（P.6-25 参照）



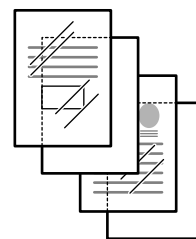
16 原稿の向きに合わせてコピー
＜自動回転＞（P.6-26 参照）



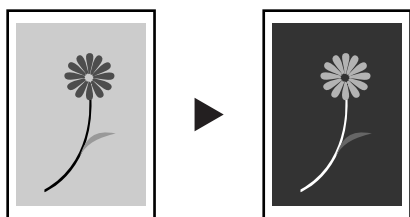
17 コピーにカバーを付ける
＜表紙付け＞（P.6-27 参照）



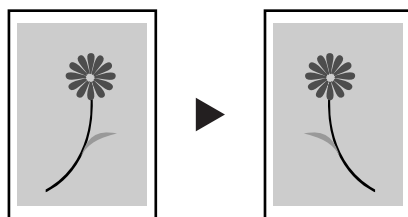
18 OHP フィルムの合紙として用
紙を送る＜OHP 合紙モード＞
（P.6-30 参照）



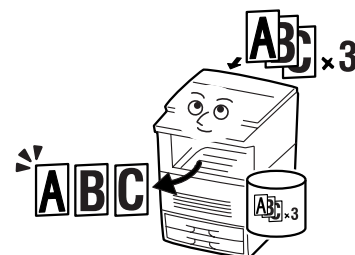
19 画像を反転してコピー
＜白黒反転コピー＞
（P.6-32 参照）



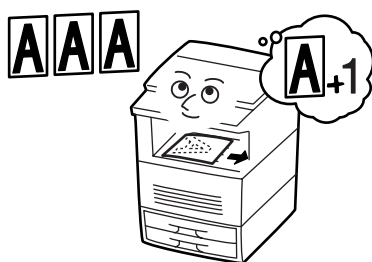
20 原稿を鏡像画像でコピー
＜鏡像コピー＞（P.6-33 参照）



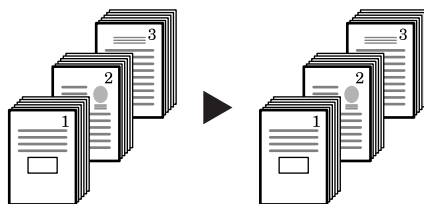
21 試しコピーをしてから大量部数
を出力＜試しコピー＞
（P.6-34 参照）



22 コピー終了後に追加分を出力
＜再コピー＞（P.6-35 参照）



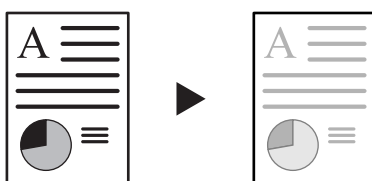
23 大量の原稿を一度にコピー
＜連続読み込み＞
（P.6-38 参照）



24 カラーコピーと白黒コピーを一
度に＜配布コピー＞
（P.6-39 参照）



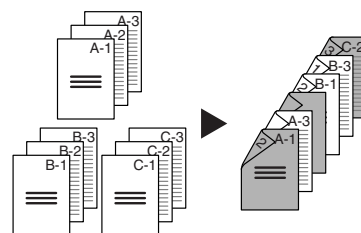
25 トナー消費量が節約できる
＜エコプリント＞
（P.6-41 参照）



26 コピーワークを記憶する
＜プログラムコピー＞
（P.6-44 参照）



27 表紙、中表紙付きのコピーが簡
単にできる＜応用コピー＞
（P.6-48 参照）



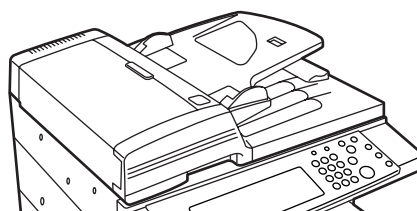
28 暗証番号で枚数管理
＜部門管理モード＞
(P.7-1 参照)



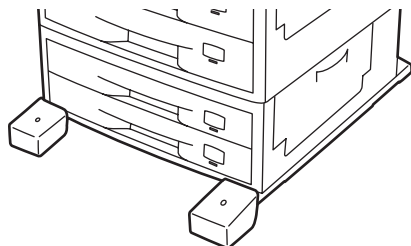
29 メッセージの言語を選択できる
＜言語切替＞ (P.7-71 参照)



30 オプションも充実
・原稿送り装置 (P.8-1 参照)



・ペーパーフィーダ (P.8-4 参照)



※ ペーパーフィーダを増設する場合は、安全対策上必ずキャストキットを一番下のペーパーフィーダに取り付けてください。



注意

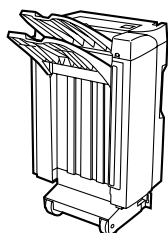
本製品を設置または移動したときは、安全対策上必ず、キャストのストップボルトを床に接地するまで引き出してください。



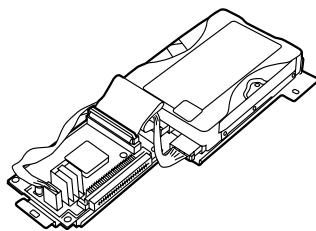
注意

安全対策上必ずキャストキットを一番下のペーパーフィーダに取り付けてください。

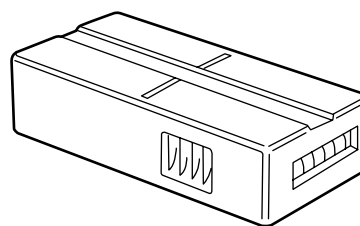
・ドキュメントフィニッシャー
(P.8-5 参照)



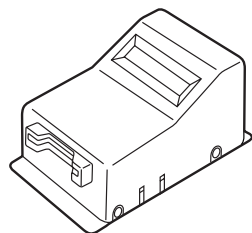
・メモリコピーボード
(P.8-8 参照)



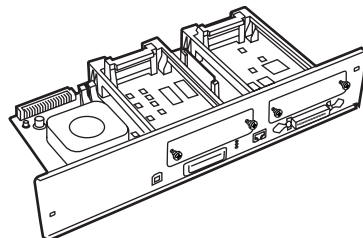
・キーカウンタ (P.8-8 参照)



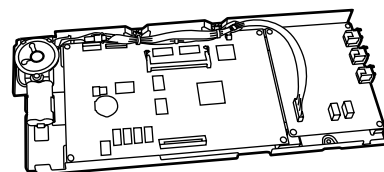
・キーカード (P.8-8 参照)



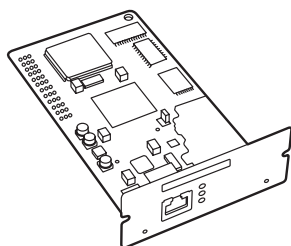
・プリンタキット (P.8-9 参照)



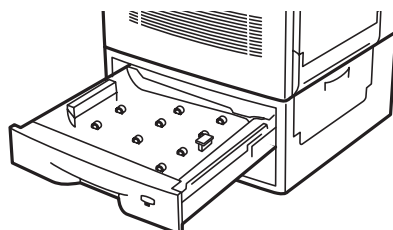
・ファクスキット (P.8-9 参照)



・ネットワークスキャナ
(P.8-9 参照)



・両面ユニット
(P.8-9 参照)





弊社は、国際エネルギースタートアッププログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートアッププログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタートアッププログラムとは

国際エネルギープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促進し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタートアッププログラムの基準により、複写機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「オフモード」を備えていることが必要です。また複写機にプリンタやファクス機能がある場合は、最後に機器を使用してから一定時間経過するとプリンタおよびファクスが待機状態のまま自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないとプリンタおよびファクスが待機状態のまま消費電力を最小にする「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタートアッププログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

「低電力モード」

最後にご使用になってから 15 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「**節電機能（低電力モード）**」をご参照ください。

「オフモード」

最後にご使用になってから 60 分を経過しますと自動的に「オフモード」に移行します。なお「オフモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「**オートスリープ機能**」をご参照ください。

「スリープモード」（複写機にプリンタおよびファクス機能がある場合）

最後にご使用になってから 60 分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは「**オートスリープ機能**」をご覧ください。

「自動両面機能について」（両面機）

エネルギースタートアッププログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。本機は用紙の両面にコピーできる機能を標準で装備しております。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙の両面にコピーすることで、紙の使用量を軽減することができます。

詳しくは「**いろんな原稿から両面コピー [両面コピー] (両面機のみ)**」をご覧ください。

「両面コピー機能について」（片面機）

エネルギースタートアッププログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。

両面コピー機能を追加装備される場合には販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

再生紙

エネルギースタートアッププログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

KM-C850 KM-C850D をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

〈おことわり〉

本機は偽造防止機能を搭載しているため、紙幣に酷似している原稿はまれに正常なコピーがとれない場合があります。

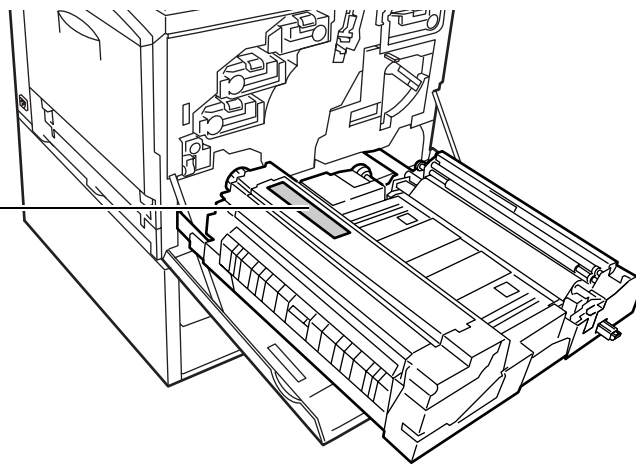
1 章 はじめにお読みください

注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

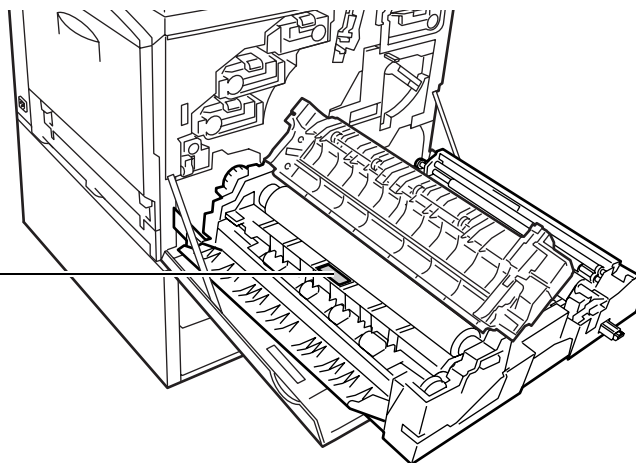
ラベル 1

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。...



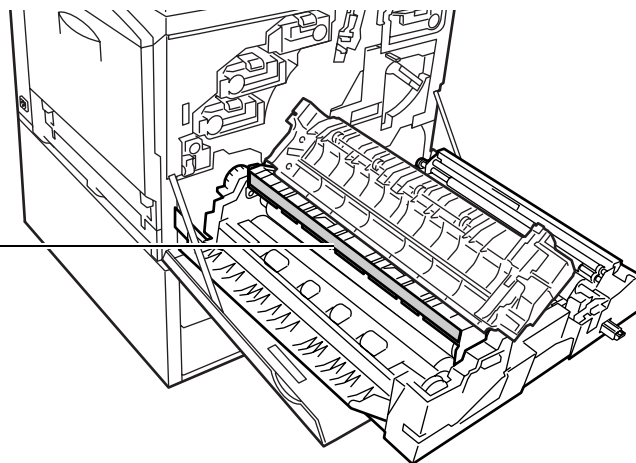
ラベル 2

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。...



ラベル 3

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。...



＜お願い＞これらのラベルははがさないようにしてください。



機械を設置するときの注意

設置環境について



注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。.....



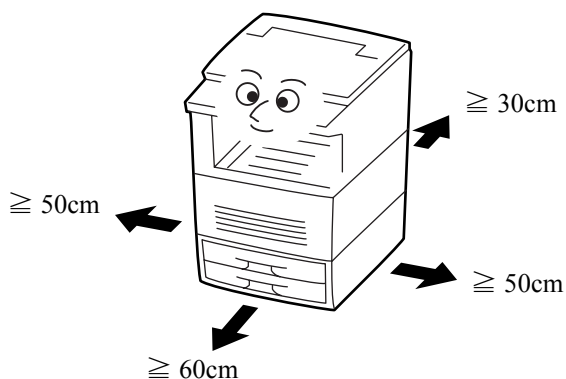
本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。



本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。.....



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。.....



その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 20℃、湿度 65% が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- ・振動の多い場所
- ・急激に温度や湿度が変化する場所
- ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- ・通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、キャスタにより傷付きやすい床の場合、床材を傷付ける恐れがあります。

本製品を設置または移動したときは、安全対策上必ず、キャスタのストッパボルトを床に接地するまで引き出してください。

安全対策上必ずキャスタキットを一番下のペーパーフィーダに取り付けてください。

複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をするをお勧めいたします。

設置電源・アースについて



警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。.....



電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。.....



必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて



警告

本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

警告

本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。.....



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。.....



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。.....



本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザ光線への被爆のおそれがあります。レーザ光洩れによる失明のおそれがあります。.....



万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。...



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。.....



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。.....



内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。.....



注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）.....



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。.....



夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。.....



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。.....



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にはほこりがたまつたまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。.....



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

コピー中には次のことをしないでください。

- ・前カバーを開ける。
- ・メインスイッチを切る。
- ・電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

機械がいかなる状態であっても、機械内部のモータの駆動音が聞こえるときは、カバー類を開けたり、電源を切ったりしないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

本製品は、機械内を冷却する為にメインスイッチを切った状態でも冷却ファンを稼働させております。冷却効果を上げる為に、電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの電源を切らないでください。

※ 電源プラグを抜くと、冷却ファンが停止し熱の影響により故障の原因となることがあります。

※ 長期間本製品をご使用にならない場合には、メインスイッチを切ってから、約 30 分程放置した後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

両面機は、HDD（ハードディスク）を搭載しています。製品本体の電源を入れたままで製品を移動しないでください。電源を入れた状態で製品本体を移動すると衝撃・振動により HDD（ハードディスク）が破損する可能性がありますので、移動する場合は、必ず製品本体の電源を OFF にしてください。

消耗品の取り扱いについて

注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。.....



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。.....



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。.....



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

消耗品は冷暗所に保管ください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたは手差しから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- ・ 通貨及び証券模造取締法
- ・ 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- ・ 郵便切手類模造等取締法
- ・ 印紙等模造取締法
- ・ 紙幣類似証券取締法

注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。

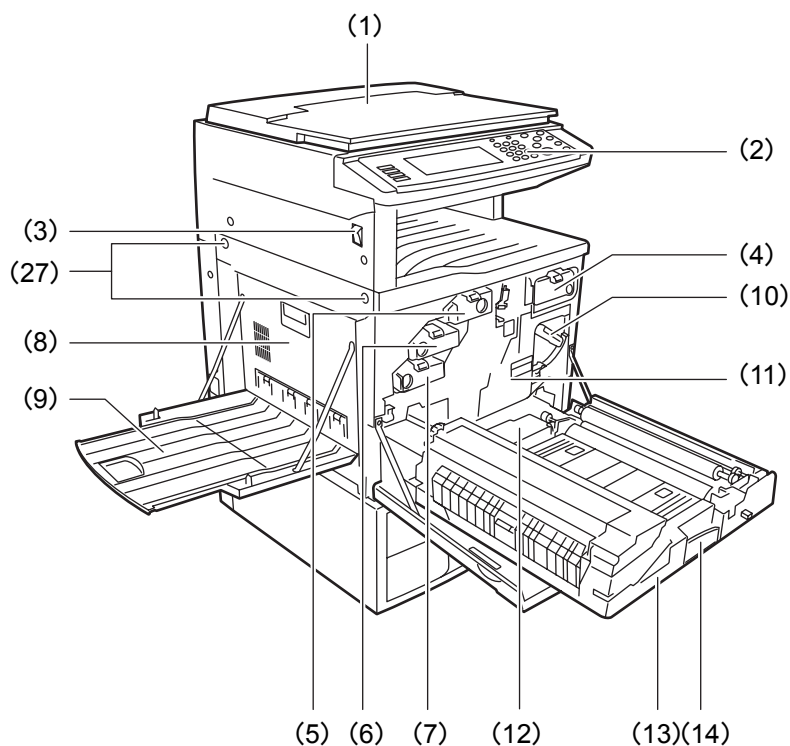


本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

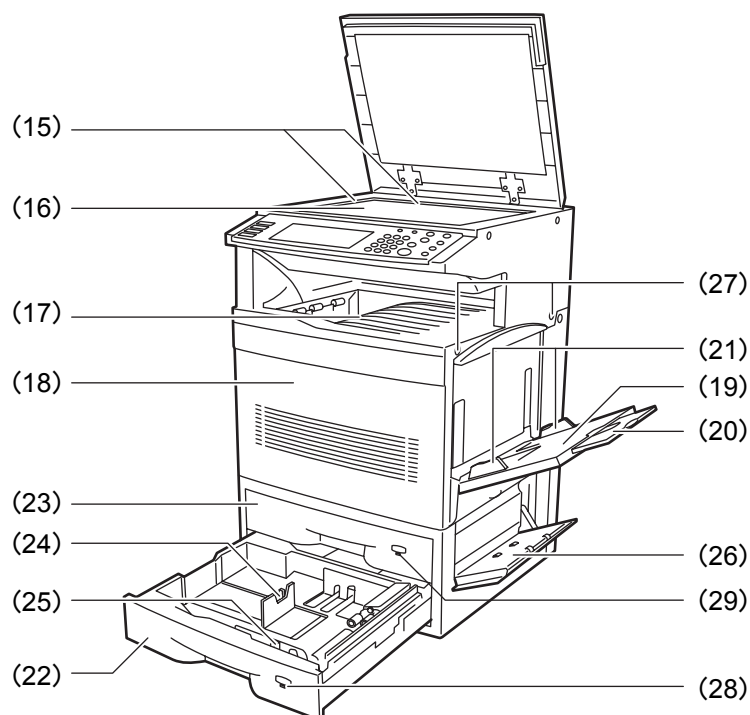
2 章 各部の名称

機械本体



- (1) 原稿押さえ (オプション)
原稿をセットするときに開閉してください。
- (2) 操作部
コピーの操作はここで行います。
- (3) メインスイッチ
コピーを始める前にこのスイッチを ON (|) にしてください。
- (4) トナーコンテナ (黒)
- (5) トナーコンテナ (イエロー)
- (6) トナーコンテナ (マゼンタ)
- (7) トナーコンテナ (シアン)
- (8) 左カバー
紙詰まりが発生したときに開いてください。
- (9) 左トレイ
仕上がったコピー用紙はここに収納されます。
- (10) 転写ユニット解除レバー
紙詰まりが発生したときに操作してください。
- (11) 転写ユニット
- (12) 廃棄トナーボックス

- (13) 搬送ユニット
- (14) 搬送ユニット解除取手
紙詰まりが発生したときに操作してください。



(15) 原稿サイズ指示板

原稿をセットするときは必ずこの指示板に合わせてください。

(16) コンタクトガラス

原稿をここにセットしてください。セットするときは左上（機械の左奥側）を基準に合わせて下向きにセットしてください。

(17) 上トレイ

仕上がったコピー用紙はここに収納されます。

(18) 前カバー

トナーコンテナ、廃棄トナーボックスを交換するとき、紙詰まりが発生したとき、清掃するときを開いてください。

(19) 手差し

(20) 手差し補助トレイ

A4R 以上の用紙をセットするときに使用してください。

(21) スライダー

手差しにセットする用紙の横サイズに合わせてください。

(22) カセット 2

500 枚収納カセット付片面機、両面機：普通紙が 500 枚セットできます。
250 枚収納カセット付片面機：普通紙が 250 枚セットできます。

(23) カセット 1（片面機）

500 枚収納カセット付片面機：普通紙が 500 枚セットできます。

250 枚収納カセット付片面機：普通紙が 250 枚セットできます。

両面ユニット（両面機）

両面コピーをとることができます。

(24) 縦サイズ変更つまみ

このつまみを持って縦ガイドをカセットにセットする用紙の縦サイズに合わせてください。

(25) 横サイズ変更つまみ

このつまみを持って横ガイドをカセットにセットする用紙の横サイズに合わせてください。

(26) カセット右カバー

紙詰まりが発生したときに開いてください。

(27) 移動用取手

引き出すと取手になります。左右に 2 カ所ずつあります。

(28) 用紙セット表示

カセットが選択されている状態で、用紙がセットされているときに点灯し、用紙がなくなったとき、紙詰まりが発生しているときに点滅します。また、カセットが選択されていないときは消灯します。

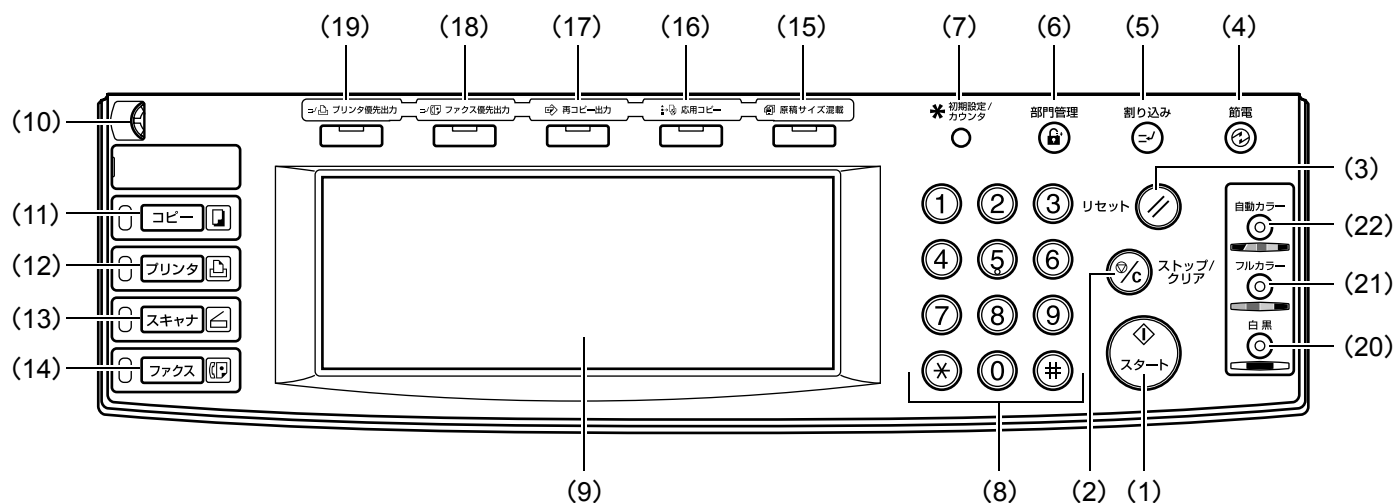
(29) 用紙セット表示（片面機）

カセットが選択されている状態で、用紙がセットされているときに点灯し、用紙がなくなったとき、紙詰まりが発生しているときに点滅します。また、カセットが選択されていないときは消灯します。

両面ユニット表示（両面機）

両面コピーが設定されているときに点灯し、紙詰まりが発生したときに点滅します。また、両面コピーが設定されていないときは消灯します。

操作パネル



- (1) **【スタート】キー (表示)**
表示がグリーン色に点灯しているときに押すとコピーが開始されます。
- (2) **【ストップ/クリア】キー**
コピーを中断するとき、またはコピー枚数を訂正するときに押してください。
- (3) **【リセット】キー**
このキーを押すと各機能がリセットされます。
(P.2-5、「初期モード (ウォームアップが完了したときまたは【リセット】キーを押したとき) について」参照)
- (4) **【節電】キー**
節電機能 (低電力モード) にするときに押してください。節電機能 (低電力モード) を解除するときにはもう一度押してください。(P.6-59 参照)
- (5) **【割り込み】キー (表示)**
割り込みコピーを行うときに押してください。割り込みコピー表示が点灯します。(P.6-3 参照)
- (6) **【部門管理】キー**
部門管理モードの場合、コピー終了時に押してください。部門コード入力画面になります。(P.7-1 参照)
- (7) **【初期設定/カウンタ】キー**
部門管理や初期設定など機械の設定を行うときに押してください。
- (8) **テンキー**
コピー枚数をセットするときや数値を入力するときに押してください。
- (9) **タッチパネル**
操作の手順や不具合、各種操作キーを表示します。
- (10) **輝度調整つまみ**
タッチパネルの明るさを調整するときに使用してください。
- (11) **【コピー】キー (表示/ランプ)**
コピー機能を使用するときに押してください。

- (12) **【プリンタ】キー (表示/ランプ)**
オプションのプリンタ機能を使用するときに、押してください。右側のプリンタ表示が点灯します。左側のランプは機械の状態によっては、グリーン色、オレンジ色に点灯または点滅します。(P.9-4 参照)
- (13) **【スキャナ】キー (表示/ランプ)**
オプションのスキャナ機能を使用するときに押してください。スキャナモード時に右側のスキャナ表示が点灯します。左側のランプは機械の状態によっては、グリーン色、オレンジ色に点灯または点滅します。(P.9-4 参照)
- (14) **【ファクス】キー (表示/ランプ)**
オプションのファクス機能を使用するときに押してください。ファクスモード時に右側のファクス表示が点灯します。左側のランプは機械の状態によっては、グリーン色に点灯または点滅します。
- (15) **【原稿サイズ混載】キー (表示)**
原稿サイズ混載モードでコピーを行うときに押してください。原稿サイズ混載表示が点灯します。オプションの原稿送り装置を装着しているときに使用できます。(P.8-3 参照)
- (16) **【応用コピー】キー (表示)**
応用コピーを行うときに押してください。応用コピー表示が点灯します。オプションのメモリコピーボードを装着しているときに使用できます。(P.6-48 参照)
- (17) **【再コピー出力】キー (表示)**
再コピーを行うときに押してください。再コピー出力表示が点灯します。オプションのメモリコピーボードを装着しているときに使用できます。(P.6-35 参照)

(18) [ファクス優先出力] キー (表示)

ファクス優先出力モードにするときに押してください。ファクス優先出力が可能な場合は点灯します。オプションのファクスキットを装着しているときに使用できます。オプションのファクスキットの使用説明書を参照してください。

(19) [プリンタ優先出力] キー (表示)

プリンタ優先出力モードにするときに押してください。プリンタ優先出力が可能な場合は点灯します。オプションのプリンタキットを装着しているときに使用できます。オプションのプリンタキットの使用説明書を参照してください。

(20) [白黒] キー (表示)

白黒でコピーするときに押してください。(P.4-1 参照)

(21) [フルカラー] キー (表示)

フルカラーでコピーするときに押してください。(P.4-1 参照)

(22) [自動カラー] キー (表示)

カラー原稿はフルカラーでコピー、白黒原稿は白黒でコピーするときに押してください。(P.4-1 参照)

初期モード (ウォームアップが完了したときまたは [リセット] キーを押したとき) について

工場出荷時には、コピーモードは原稿と同じサイズ of 用紙に等倍でコピーする “自動用紙選択モード”、コピー枚数セットは “1”、画質は “文字 + 写真モード” が自動的に選択されます。

**補足**

- 初期モードはコピー初期設定で変更できます。
- コピー濃度調整の初期設定を “自動濃度モード” に変更できます。(P.7-47、**「濃度モード」** 参照)

オートカセットチェンジ機能について

同じサイズと向きの用紙がセットされているカセットが2つ以上あって、コピー中に1つのカセットの用紙がなくなったとき、自動的に別の同じサイズの用紙がセットされているカセットに切り替えて給紙します。また、切り替えるカセットを同じ用紙種類が設定されているカセットに限定することもできます。

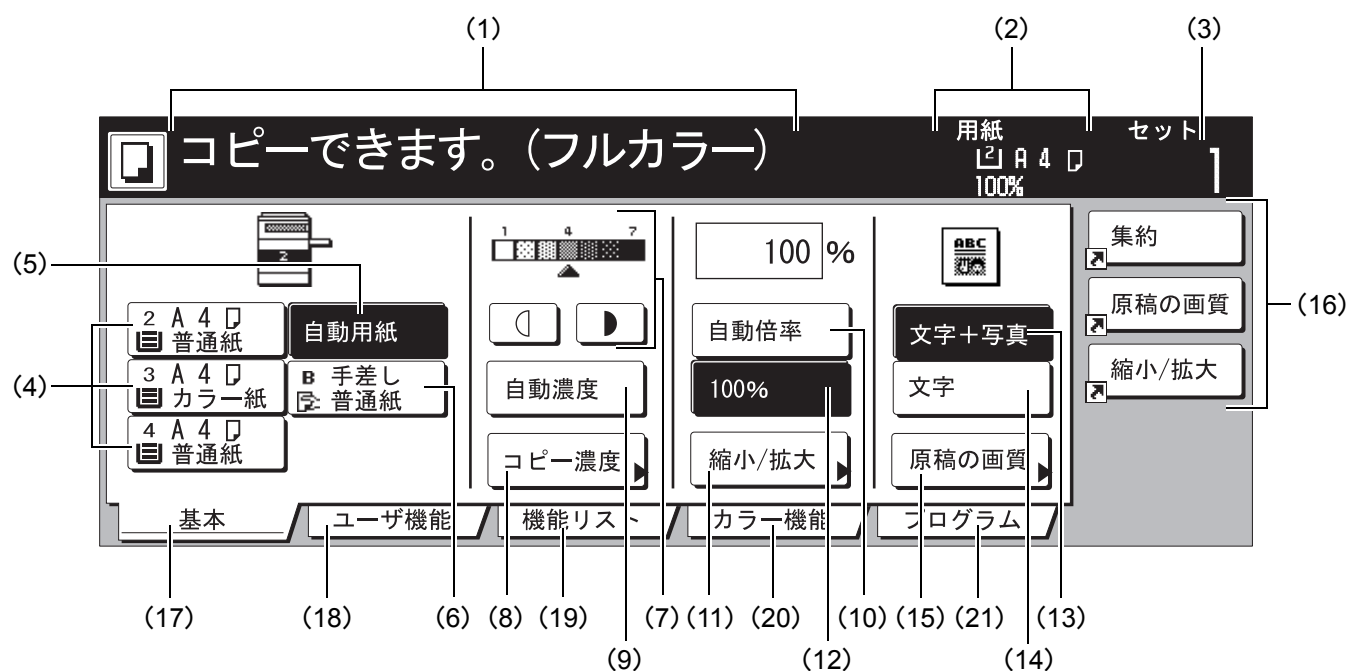
**補足**

オートカセットチェンジ機能を OFF にすることもできます。(P.7-33、**「オートカセットチェンジ」** 参照)

オートクリア機能について

コピー終了後、一定時間 (10 ～ 270 秒) 経過すると、機械は自動的にウォームアップが終了した状態に戻ります。(ただしコピー濃度モードと画質は元に戻りません。) オートクリア機能が働く前なら、コピーモードやコピー枚数、コピー濃度の設定などを同じ状態で繰り返しコピーできます。

タッチパネル



(1) 本機の状態や必要な操作メッセージを表示します。

(2) 給紙段の用紙サイズと倍率を表示します。

(3) コピー枚数を表示します。

(4) 用紙選択キー（用紙残量表示）

カセット [給紙段] を変更して用紙の選択ができます。現在選択されている用紙サイズ、用紙種類が反転されます。カセット 1 は、両面機では表示されません。カセット 3、4 はオプションのパーパーフィードを装着したときに表示されます。

(5) [自動用紙] キー

自動で用紙を選択させる場合はこのキーを押して、反転させてください。(P.4-2 参照)

(6) [手差し] キー

手差しの用紙を使用するときに押して、反転させてください。キーには用紙種類が表示されます。

(7) 濃度調整キー／濃度表示

コピー濃度を調整するときに押してください。濃度表示が現在のコピー濃度を示します。(P.4-2 参照)

(8) [コピー濃度] キー

「コピー濃度」画面を表示するときに押してください。

(9) [自動濃度] キー

このキーを押して反転させると、自動濃度モードになります。白黒コピーのときは、原稿の濃度を検知して、最適のコピー濃度をセットします。フルカラーコピーのときは自動地肌除去処理を行います。(P.4-2 参照)

(10) [自動倍率] キー

自動で倍率を選択する場合はこのキーを押して、反転させてください。(P.6-1 参照)

(11) [縮小 / 拡大] キー

倍率を変更するときに押してください。(P.6-1 参照)

(12) 等倍 (100%) キー

倍率を等倍にするときに押してください。

(13) [文字 + 写真] キー

文字と写真が混在する原稿をコピーするときに押してください。

(14) [文字] キー

書類など文字が多い原稿をコピーするときに押してください。

(15) [原稿の画質] キー

「原稿の画質」画面を表示するときに押してください。(P.4-3 参照)

(16) 機能登録ボタン

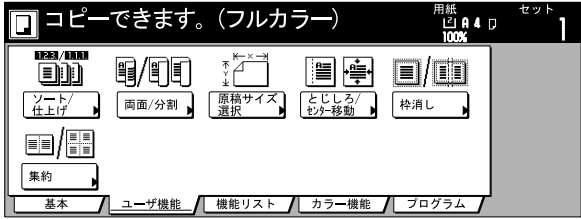
登録してある設定を呼び出すときに押してください。機能リストにある項目を機能登録ボタンに登録することができます。(P.6-46 参照)

(17) [基本] キー

「基本」画面に戻すときに押してください。

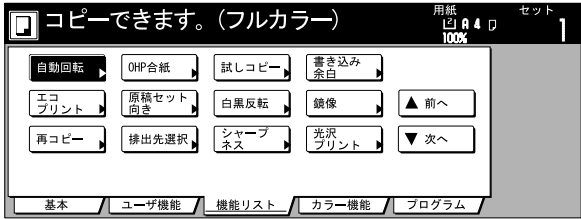
(18) [ユーザ機能] キー

「ユーザ機能」画面を表示するときに押してください。



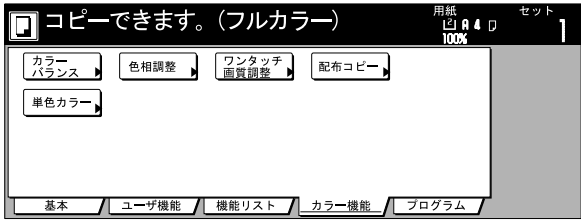
(19) [機能リスト] キー

「機能リスト」画面を表示するときに押してください。



(20) [カラー機能] キー

「カラー機能」画面を表示するときに押してください。



(21) [プログラム] キー

現在の設定をプログラムに登録するとき、または登録を削除するときに押してください。(P.6-44 参照)



補足

キーの右下に「▶」印のあるキーを押すと、その設定画面が表示されます。



[登録] キー

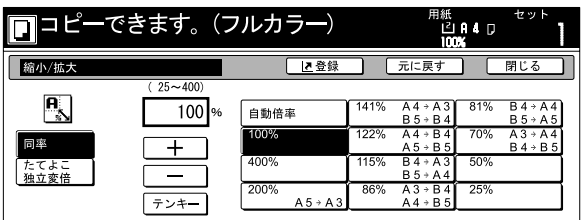
機能登録キーに登録するときに押してください。(P.6-46 参照)

[元に戻す] キー

このモードの設定を元の状態に戻すときに押してください。

[閉じる] キー

このモードの設定を確定し、前画面へ戻すときに押してください。



補足

「基本」画面、「ユーザ機能」画面の表示は、P.7-61、「画面変更（基本機能）」、P.7-61、「画面変更（追加機能）」で変更/追加することができます。

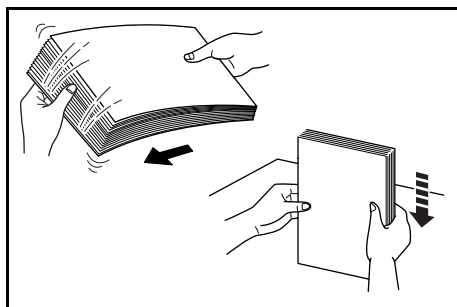
3 章 ご使用前の準備

用紙の補給

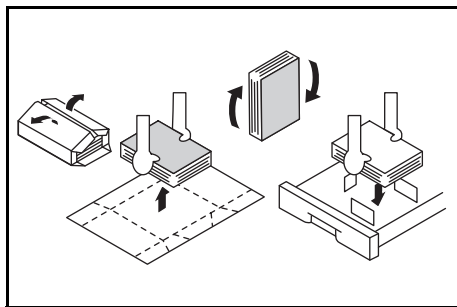
本機はカセットと手差しに用紙をセットすることができます。

用紙補給時の注意

包装紙から出した用紙はカセットや手差しにセットする前に数回さばき、平らなところで用紙の先端をよく揃えてください。



用紙は開封面を下にして、カセットにセットしてください。



重要

- 再利用紙（一度コピーした用紙）を使用する場合に、ステープル（ホッチキス）やクリップなどで止められている用紙は使用しないでください。画像不良や故障の原因となります。
- 用紙に折れやカール等がある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。紙詰まりの原因となります。



重要

特殊な用紙

本機ではカセットや手差しにセットした用紙の種類を設定することができます。（P.7-35、「用紙種類（カセット 1～4）」および P.7-62、「用紙サイズおよび用紙種類の設定」参照）
ここで設定できる用紙のうち、次に挙げるものは、用紙の構造および品質に大きなばらつきがあるため、印刷中の問題発生の可能性が高くなります。これらの用紙を実際に使用される場合は、試し印刷などで仕上がりが問題ないか確認したうえでご使用になることをおすすめします。

<注意が必要な特殊用紙>

- ラベル *1
- 封筒 *2

*1 ラベル用紙を選択する際は、糊が機械のどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。ドラムやローラー類に糊が付着したり、はがれたラベルが機械内部に残ると大きな故障の原因になります。

*2 以下のような封筒は使用できません。

- 糊が露出しているもの
- 紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式タイプのもの
糊をカバーしている小さな台紙が、機械内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるもの
- 紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるもの
- 封筒に窓の開いているもの
- 封筒の窓部にフィルム加工がされているもの

カセットへの補給

カセットには、普通紙（60～90g/m²）やカラーペーパーを 500 枚セットできる 500 枚収納カセットと、250 枚セットできる 250 枚収納カセットがあります。

- 標準で使用できるカセット
500 枚収納カセット片面機：500 枚収納カセット 2 段
250 枚収納カセット片面機：250 枚収納カセット 2 段
両面機：500 枚収納カセット 1 段
- セットできる用紙サイズ
500 枚収納カセット：A3、B4、A4、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"
250 枚収納カセット：A3、B4、A4、A4R、B5R、A5R

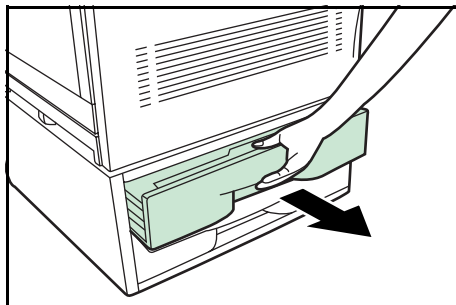
※ A4R の用紙は、500 枚収納カセットにはセットできません。



重要

- カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。
- インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。
- カセットにセットする用紙の種類（普通紙、再生紙など）を、P.7-35、「用紙種類（カセット 1～4）」で設定してください。

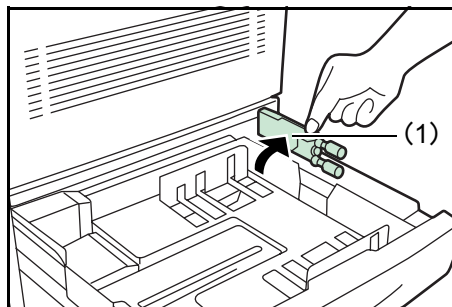
- 1** カセットを手前いっぱい引き出してください。



補足

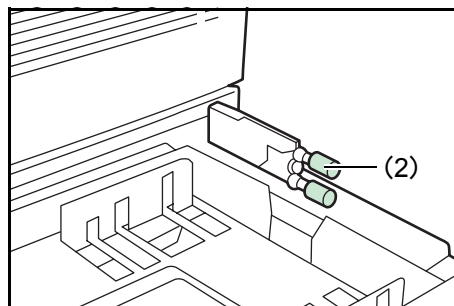
複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

- 2** 給紙ローラユニット（1）を開いてください。

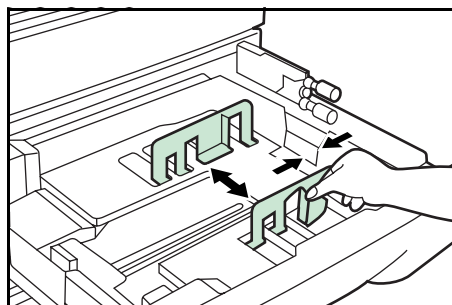


補足

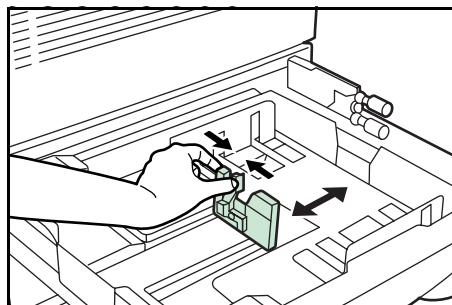
ローラ部分（2）には触れないようにしてください。



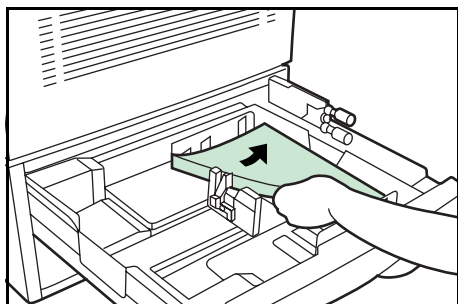
- 3** 横サイズ変更つまみを持って用紙サイズに横ガイドを合わせてください。
用紙サイズはカセットに刻印されています。



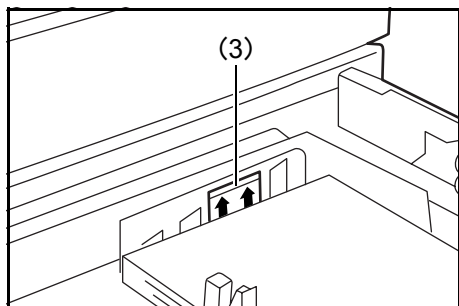
- 4** 縦サイズ変更つまみを持って用紙サイズに縦ガイドを合わせてください。
用紙サイズはカセットに刻印されています。



- 5** 用紙をカセットの右端にそろえて、セットしてください。

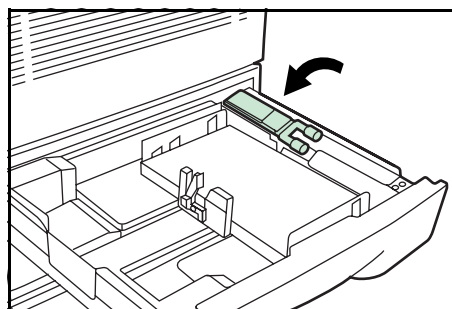
**重要**

- 用紙に折れ等がないようにセットしてください。紙詰まりの原因となります。
- 用紙の収納可能量を示すラベル (3) を貼っています。ラベルの目盛り以下に用紙をセットしてください。
- カセットに用紙を補給する場合は、開封面を下にしてセットしてください。
- 必ず縦サイズ及び横サイズのガイドを用紙のサイズに合わせてから用紙をセットしてください。斜め給紙や、紙詰まりの原因となります。
- 縦サイズ及び横サイズのガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドまたは横ガイドをセットしなおしてください。ガイドがしっかりと用紙に当たっていない場合、メッセージ表示に、セットされている用紙と異なるサイズが表示されるおそれがあります。

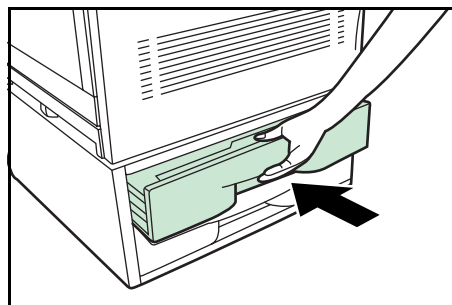
**補足**

カセットに用紙を補給する場合は、コピーされる面を下向きにセットしてください。

- 6** 給紙ローラユニットを閉じてください。



- 7** カセットを静かに押し込んでください。



- 8** セットした用紙サイズがカセット正面からわかるように、付属の用紙サイズ表示ラベルをセットしてください。

**補足**

機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

手差しへの補給

普通紙 (60 ~ 90g/m²) を 150 枚セットできます。使用できる用紙サイズは A3 ワイド (305 × 457mm)、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、A6R、はがき、12" × 18"、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13"、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、5 1/2" × 8 1/2" です。また、特殊紙へコピーするときは必ず手差しを使用してください。



補足

- 使用できる特殊紙とそのセット可能枚数は次のとおりです。
OHP フィルム：25 枚 (OHP フィルムは A4 のみ使用できます。また、OHP フィルムをセットするときは手でさばいてからセットしてください。)
官製はがき：30 枚
厚紙 (91 ~ 220g/m²)：100 枚 ~ 30 枚 (紙の厚さやサイズによって異なります。)
- セットできる厚紙の紙厚はサイズによって異なります。
A4 以下の用紙：91 ~ 220g/m²
A4 を越える用紙：91 ~ 135g/m²
- オプションのドキュメントフィニッシャを使用する場合にセットできる用紙の厚さは次のとおりです。
サブトレイに排出時：60 ~ 200 g/m²
メイントレイに排出時：60 ~ 160 g/m²
ステープル、パンチ時：60 ~ 160 g/m²

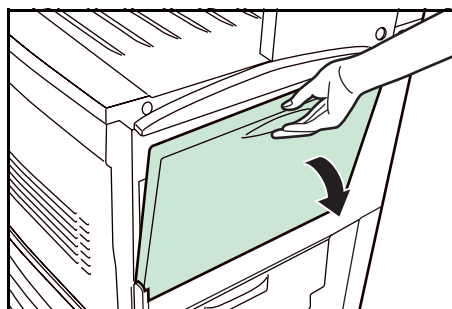


重要

- カラーコピーをより鮮明にとっていただくためには、カラー専用の用紙をお使いください。
- インクジェットプリンタ用紙や表面に特殊なコートがされている用紙は使用しないでください。
- [手差し] キーを押すと「手差し設定」画面が表示されます。P.7-62 の手順 3 以降を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。

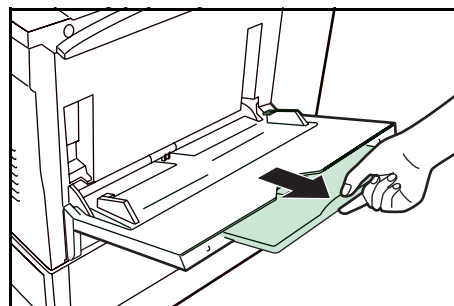
1

手差しを開いてください。



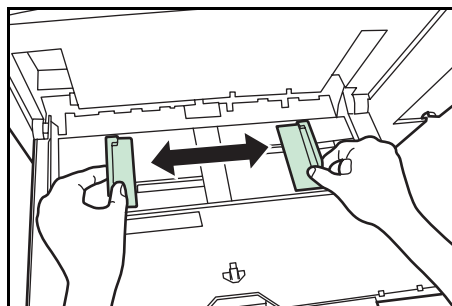
補足

A4R 以上の用紙をセットするときは、手差し補助トレイを引き出してください。

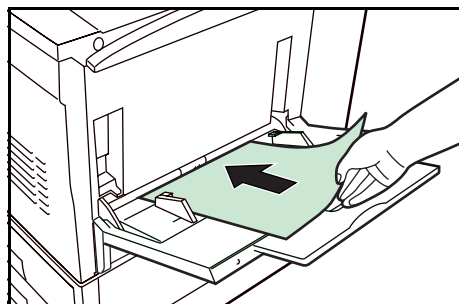


2

セットする用紙の幅にスライダーを合わせてください。

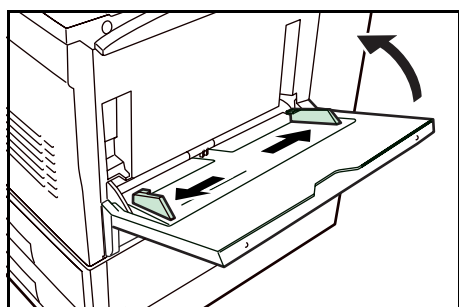


- 3** 用紙をスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。



重要

- 用紙を補給する場合は、開封面を上にしてセットしてください。先端が反っている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。
- 反っている用紙は必ず反りを直してから使用してください。（反り量：コピー用紙 10mm 以下、はがき 5mm 以下）
- 特殊紙へコピーするときは、左トレイに排出してください。（P.7-39、「コピー排出先設定」参照）
- 手差しを閉じるときは、手差し補助トレイを押し込み、スライダーを両端に合わせた状態で閉じてください。



補足

手差しに用紙を補給する場合は、コピーされる面を上にしてセットしてください。

封筒に印刷するとき

オプションのプリンタ機能使用時には、封筒に印刷することができます。

封筒は手差しに 10 枚までセットできます。

詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。

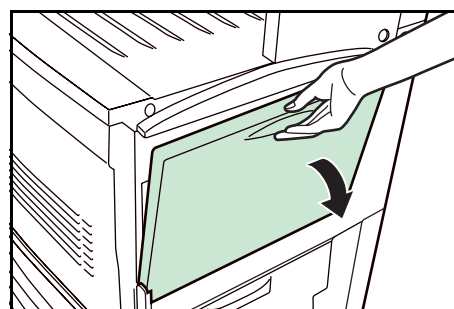
使用できる封筒とそのサイズは下表をご覧ください。

使用できる封筒	サイズ
Monarch	3 1/8" × 7 1/2"
Comm. #10	3 3/8" × 9 1/2"
Envelope DL	110 × 220 (mm)
Envelope C5	162 × 229 (mm)
Executive	7 1/4" × 10 1/2"
Comm. #9	3 7/8" × 8 7/8"
Comm. #6-3/4	3 5/8" × 6 1/2"
ISO B5	176 × 250 (mm)
Envelope C4	229 × 324 (mm)
往復はがき	200 × 148 (mm)
洋形 2 号 ハグルマ封筒株式会社 「スイス洋 2 枠なし WE-S2」	162 × 114 (mm)
洋形 4 号 「LIFE E506B (枠なし)」	234 × 105 (mm)

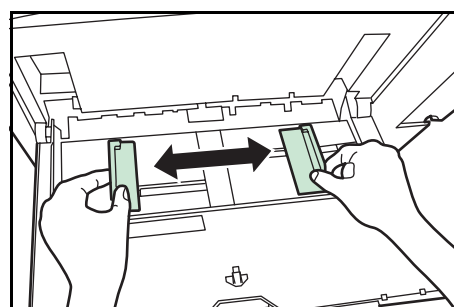
手差しへの封筒のセット

次の手順で封筒を手差しにセットしてください。

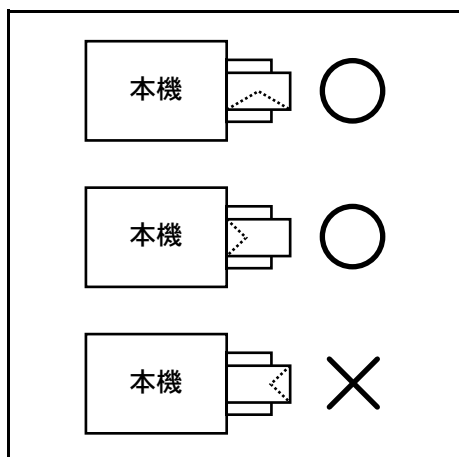
- 1** 手差しを開いてください。



- 2** セットする封筒のサイズにスライダーを合わせてください。



- 3** 封筒を閉じたまま、印字する面を上にし、開封部が手前側または封筒の先端側になるようにスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。



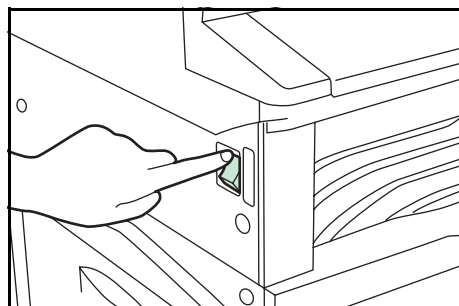
補足

- セット方法は封筒の種類によって異なります。
- 開封部を封筒の後端側にしてセットしないでください。紙詰まりの原因になるおそれがあります。
- 手差しに封筒をセットするときは、P.7-62、「手差し用紙設定」で封筒の種類を設定してください。

4 章 基本的なコピー

基本的なコピーのしかた

1 機械のウォームアップ



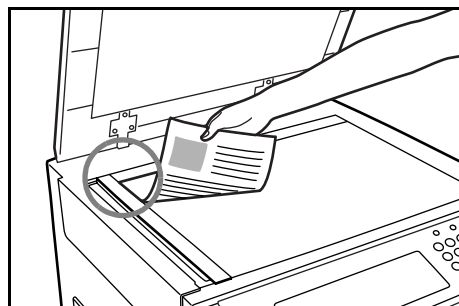
メインスイッチを ON (|) にし、ウォームアップが完了すると、メッセージ表示に“コピーできます。”が表示されます。



補足

メモリコピーボード装着時は、ウォームアップが完了する前に、原稿をセットして「スタート」キーを押すと、ウォームアップが完了すると同時にコピーを開始します。

2 原稿のセット



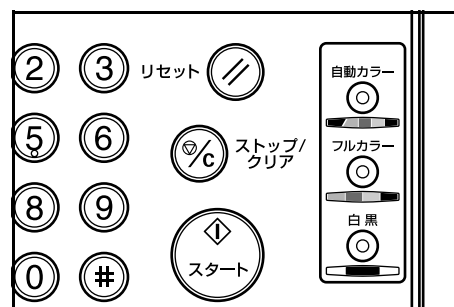
原稿押さえを開けて、コンタクトガラスにコピーする面を下にして、原稿をセットしてください。このとき原稿は左上（機械の左奥側）を基準に合わせてセットしてください。



補足

原稿送り装置（オプション）に原稿をセットする方法は、P.8-2、「原稿送り装置への原稿のセット」を参照してください。

3 カラーモードの選択



「フルカラー」キー、「自動カラー」キーまたは「白黒」キーを押して、キーを点灯させてください。

フルカラーコピーモード：「フルカラー」キーを押してください。キーが点灯します。フルカラーでコピーするときに選択します。

自動カラーコピーモード：「自動カラー」キーを押してください。キーが点灯します。カラー原稿、白黒原稿を自動的に識別し、カラー原稿はフルカラーコピーモードで、白黒原稿は白黒コピーモードでコピーします。

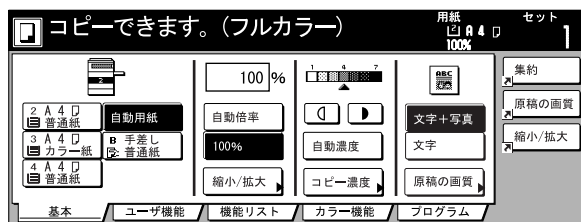
白黒コピーモード：「白黒」キーを押してください。キーが点灯します。白黒でコピーするときに選択します。



補足

- 単色カラーコピーモードを設定されているときは、“シアン”、“マゼンタ”、“イエロー”、“レッド”、“グリーン”、“ブルー”のなかで設定されている色を表示します。（P.5-5、「単色カラーコピーモード」参照）
- カラー画質の調整をすることができます。
 - カラーバランス調整（P.5-1 参照）
 - 色相調整（P.5-2 参照）
 - ワンタッチ画質調整（P.5-4 参照）
 - 光沢プリント（P.5-6 参照）

4 機能の選択



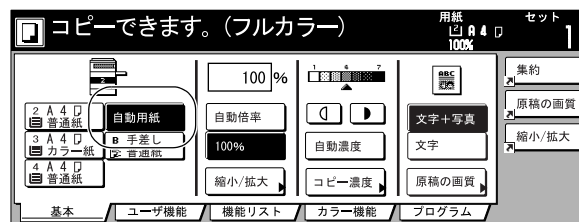
本機の持つさまざまな機能を選択してください。

- コピーの縮小／拡大 (P.6-1 参照)
- 割り込みコピー (P.6-3 参照)
- カラーバランス調整 (P.5-1 参照)
- 色相調整 (P.5-2 参照)
- ワンタッチ画質調整 (P.5-4 参照)
- 単色カラーコピーモード (P.5-5 参照)
- 光沢プリント (P.5-6 参照)
- いろんな原稿から両面コピー (P.6-4 参照) ^{*1}
- 2 ページの原稿を 1 ページずつコピー (P.6-7 参照)
- コピーにとじしろを作る (P.6-9 参照)
- 用紙の中央にコピー (P.6-11 参照)
- 原稿の横に書き込みスペースを作る (P.6-12 参照) ^{*2}
- 原稿のまわりを消去してコピー (P.6-13 参照)
- 2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に (P.6-14 参照) ^{*2}
- コピーにページ数を印字 (P.6-16 参照) ^{*2}
- 複数枚に分けて拡大コピー (P.6-19 参照) ^{*2}
- 小冊子を作る (シート原稿) (P.6-21 参照) ^{*1}
- 小冊子を作る (見開き原稿) (P.6-23 参照) ^{*1}
- ドキュメントフィニッシュなしで仕分けを行う (P.6-25 参照) ^{*2}
- 自動回転 (P.6-26 参照)
- コピーにカバーを付ける (P.6-27 参照) ^{*2}
- OHP フィルムの合紙として用紙を送る (P.6-30 参照) ^{*2}
- 画像を反転してコピー (P.6-32 参照)
- 画像を鏡像にコピー (P.6-33 参照)
- 試しコピーをしてから大量部数を出力 (P.6-34 参照) ^{*2}
- コピー終了後に追加分を出力 (P.6-35 参照) ^{*2}
- 大量の原稿を一括してコピー (P.6-38 参照) ^{*2}
- カラーコピーと白黒コピーを一度に (P.6-39 参照) ^{*2}
- シャープネス調整 (P.6-40 参照)
- 排出先選択 (P.6-43 参照)
- 表紙、中表紙付きのコピーが簡単にできる (P.6-48 参照) ^{*2}

^{*1} 両面機で使用できます。

^{*2} 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

5 用紙の選択



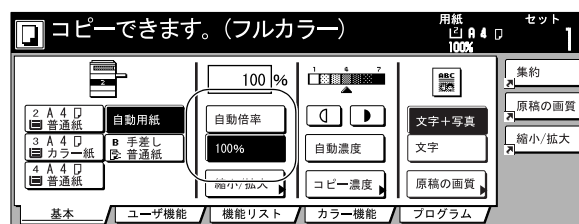
タッチパネルの「自動用紙」キーが反転されていると原稿と同じサイズの用紙を自動的に選択します。任意の用紙サイズに等倍でコピーするときは用紙選択キーを押して用紙を選択してください。



補足

- 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。 (P.7-50、「用紙選択」参照)
- 自動的に優先して使用するカセット (給紙段) を選択することができます。 (P.7-52、「優先カセット」参照)

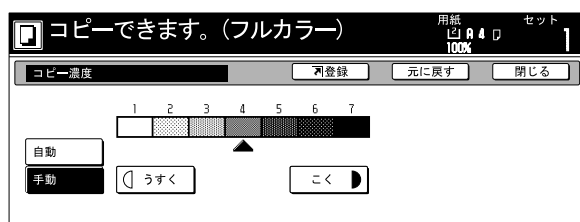
6 コピー濃度の調整



コピー濃度を手で調整します。コピーを濃くしたいときは、右の濃度調整キーを押して濃度目盛りを右に移動してください。コピーを薄くしたいときは、左の濃度調整キーを押して濃度目盛りを左に移動してください。

「自動濃度」キーを押すと、白黒コピーのときは、原稿の濃度を検知して最適のコピー濃度をセットします。フルカラーコピーのときは、自動地肌除去処理を行います。

「コピー濃度」キーを押すと、「コピー濃度」画面が表示され、この画面でも同様にコピー濃度の調整を行うことができます。



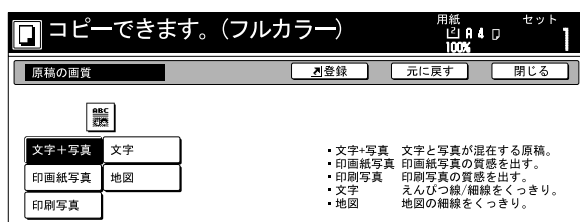
補足

- 自動濃度で全体的に濃度が薄いときや濃いときは、濃度調整を行うことができます。(P.7-53、「自動濃度調整 (カラー)」、P.7-54、「自動濃度調整 (白黒)」参照)
- コピー濃度調整の初期設定を自動濃度モードにすることができます。(P.7-47、「濃度モード」参照)

7 画質の選択



原稿の種類に合わせて、画質を選択することができます。「機能リスト」キー、「原稿の画質」キーを順に押して、「原稿の画質」画面を表示させてください。



文字+写真モード：文字と写真が混在する原稿をコピーする時に選択します。

文字モード：書類など文字が多い原稿をコピーする時に選択します。

印刷写真モード：カメラで撮った写真などの原稿をコピーする時に選択します。

印刷写真モード：雑誌など印刷された写真原稿をコピーする時に選択します。

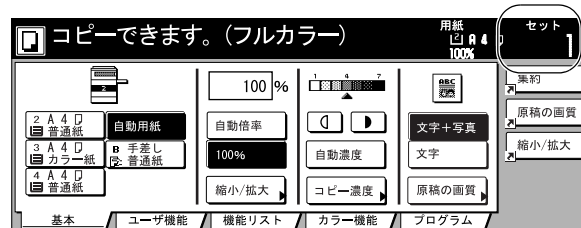
地図モード：地図原稿をコピーする時に選択します。



補足

- 初期モードで選択される画質のモードを選択することができます。(P.7-48、「原稿の画質」参照)
- それぞれの画質のモードで濃度調整を行うことができます。(P.7-55、「手動濃度調整 (文字 + 写真)」、P.7-55、「手動濃度調整 (印刷写真)」、P.7-56、「手動濃度調整 (印刷写真)」、P.7-56、「手動濃度調整 (文字)」、P.7-57、「手動濃度調整 (地図)」参照)

8 コピー枚数の設定



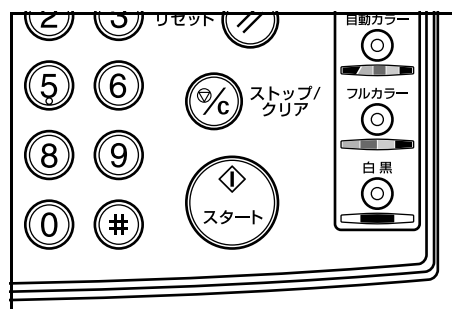
テンキーを押して、メッセージ表示のコピー枚数表示を希望の枚数にしてください。一度に 999 枚までセットできます。



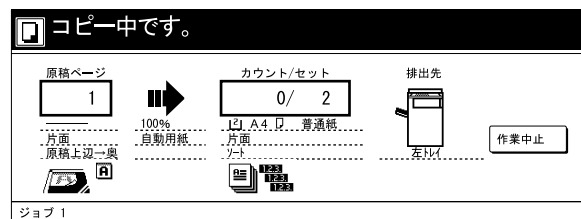
補足

- 一度にできるコピー枚数を制限することもできます。(P.7-59、「コピー部数制限」参照)

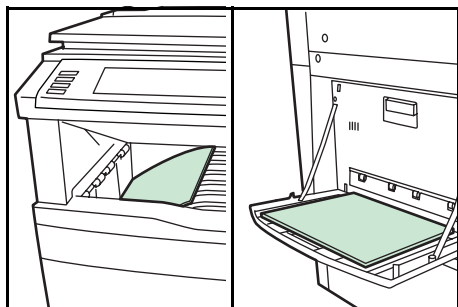
9 コピースタート



「スタート」キーを押してください。スタート表示が緑色に点灯し、メッセージ表示に「コピーできます。」が表示されているときはコピーできます。



10 コピー終了

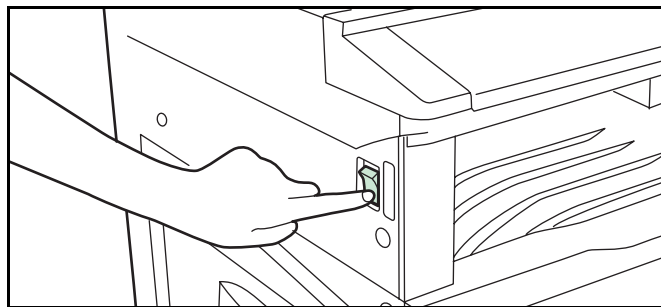


仕上がったコピーは上トレイまたは左トレイに排紙されます。



重要

- 収納枚数は普通紙（60 ～ 90g/m²）で上トレイ 500 枚、左トレイ 150 枚までです。但し、使用ペーパーの状態により収納枚数は変化します。
- “上トレイ用紙オーバーです。用紙を取り除いてください。”が出た場合は、上トレイの排出枚数オーバーです。上トレイの用紙を取り除いた後、[スタート] キーを押してコピーを再開してください。
- 仕上がったコピーがカールなどしてきれいに収納されないときは、使用されているカセットまたは手差しの用紙を一度取り出し、裏返してからセットしなおしてください。



⚠ 注意

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



補足

- 本機はメインスイッチを切った後、約 30 分間ファンによる冷却が必要です。メインスイッチを切った後も、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 本製品は、機械内を冷却する為にメインスイッチを切った状態でも冷却ファンを稼働させております。冷却効果を上げる為に、電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの電源を切らないでください。
- 電源プラグを抜くと、冷却ファンが停止し熱の影響により故障の原因となることがあります。
- 長期間本製品をご使用にならない場合には、メインスイッチを切ってから、約 30 分程放置した後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

5 章 カラーコピー設定

カラーバランス調整

シアン（青系色）、マゼンタ（赤系色）、イエロー（黄色）、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を調整することにより、色調を微妙に調整します。



補足

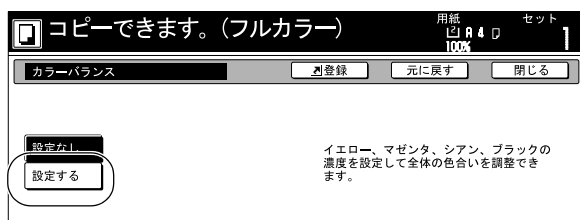
- フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。
- 自動濃度モードと併用することはできません。
- ワンタッチ画質調整と併用することはできません。
- カラーバランス調整の効果は、P.ii、「カラーバランス調整」のサンプル画像を参照してください。

1 [カラー機能] キーを押してください。
「カラー機能」画面が表示されます。

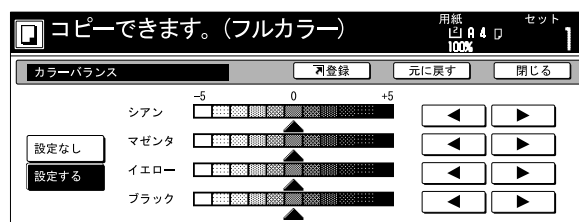
2 [カラーバランス] キーを押してください。
「カラーバランス」画面が表示されます。



3 [設定する] キーを押してください。



4 調整する色（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック）の右側にある、[◀] キーまたは [▶] キーで、各色を調整してください。



5 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

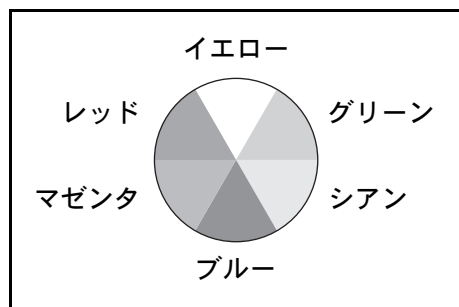
色相調整

色調（色合い）を調整します。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージの変わったコピーができます。



補足

- フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。
- 自動濃度モードと併用することはできません。
- ワンタッチ画質調整と併用することはできません。
- 設定できる項目は、次の通りです。
 “全体”：色全体にわたり、色調を調整できます。
 “イエロー - グリーン & ブルー - マゼンタ”：イエローとグリーン、ブルーとマゼンタの色合いを調整できます。
 “グリーン - シアン & マゼンタ - レッド”：グリーンとシアン、マゼンタとレッドの色合いを調整できます。
 “シアン - ブルー & レッド - イエロー”：シアンとブルー、レッドとイエローの色合いを調整できます。



- この調整は色の鮮やかな画像で効果的です。

1 「カラー機能」キーを押してください。
「カラー機能」画面が表示されます。

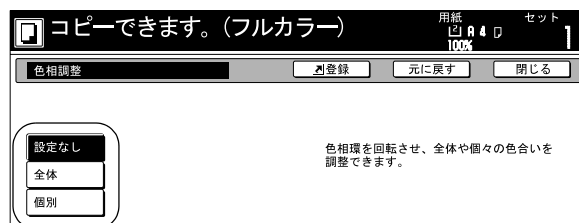
2 「色相調整」キーを押してください。
「色相調整」画面が表示されます。



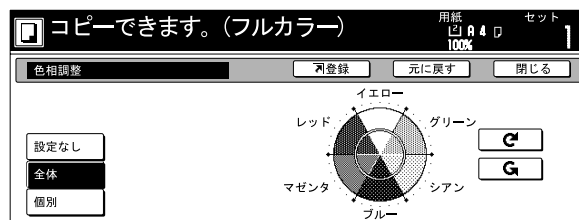
3 「全体」キーまたは「個別」キーを押してください。

「全体」キーを押した場合は、次の手順に進んでください。

「個別」キーを押した場合は、手順6に進んでください。

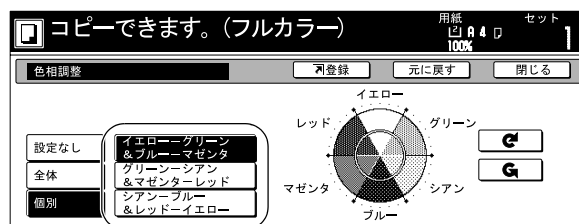


4 カラー全体の色相を調整します。「C」キーまたは「G」キーを押して調整してください。



5 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

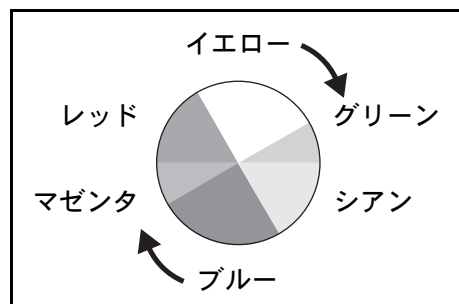
6 調整する色の組み合わせを選択してください。



- 7** カラーの色相を調整します。[C] キーまたは [G] キーを押して調整してください。

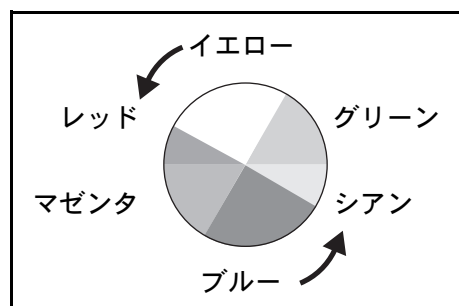
(例 1)

“イエロー - グリーン & ブルー - マゼンタ” を選択し、[C] キーを押した場合、イエローに近いグリーンをイエローに、ブルーに近いマゼンタをブルーに調整できます。(P.iii のサンプル (1) 参照)



(例 2)

“シアン - ブルー & レッド - イエロー” を選択し、[G] キーを押した場合、イエローに近いレッドをイエローに、ブルーに近いシアンをブルーに調整できます。(P.iii のサンプル (2) 参照)



- 8** [閉じる] キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

ワンタッチ画質調整

「あざやかに」や「シックに」など、イメージにあわせて画質を選択します。



補足

- フルカラーコピー、自動カラーコピー時に機能します。
- 自動濃度モードと併用することはできません。
- カラーバランス調整と併用することはできません。
- ワンタッチ画質調整は6種類のなかから1つを選んでください。複数の項目を同時に選択することはできません。
- 設定できる項目は、“あざやかに”、“シックに”、“メリハリつけて”、“なめらかに”、“かるく”、“おもく”の6種類です。それぞれの項目の効果は、P.i、「ワンタッチ画質調整」のサンプル画像を参照してください。

1 [カラー機能] キーを押してください。
「カラー機能」画面が表示されます。

2 [ワンタッチ画質調整] キーを押してください。
「ワンタッチ画質調整」画面が表示されます。



3 画質イメージを選択してください。



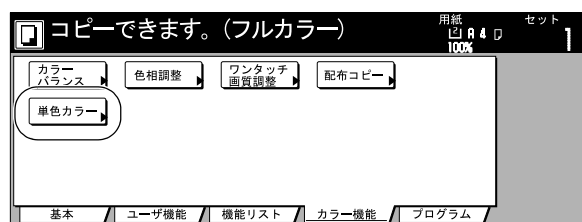
4 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

単色カラーコピーモード

シアン、マゼンタ、イエロー、レッド、グリーン、ブルーから1色を指定して、原稿の種類に関係なくその色でコピーします。

1 [カラー機能] キーを押してください。
「カラー機能」画面が表示されます。

2 [単色カラー] キーを押してください。
「単色カラー」画面が表示されます。

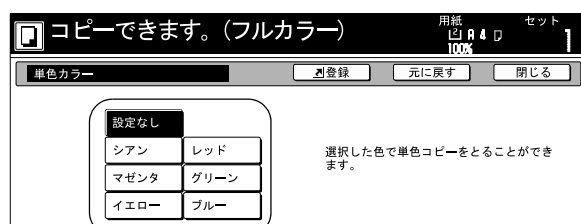


3 希望の色を選択してください。



補足

選択できる色は、シアン、マゼンタ、イエロー、レッド、グリーン、ブルーの6色です。



4 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

光沢プリント

光沢を増してコピーします。



補足

- コピーの速度が遅くなります。
- 原稿によっては効果が出にくいものがあります。
- 光沢プリントを選択すると用紙の種類や状態によっては、印字中に用紙にしわが入ることがあります。しわが入ってしまう場合には、しわの入りにくい少し厚めの用紙を使用するか、もしくは通常のコピーモードでコピーしてください。
- 光沢プリントの効果は、P.iii、「光沢プリント」のサンプル画像を参照してください。

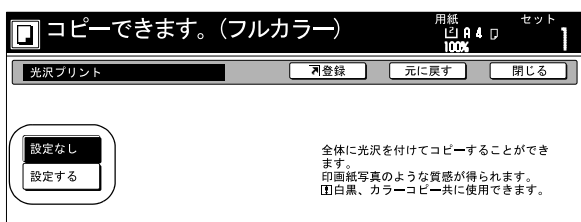
1 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

2 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。

3 「光沢プリント」キーを押してください。
「光沢プリント」画面が表示されます。



4 「設定する」キーまたは「設定なし」キーを押してください。



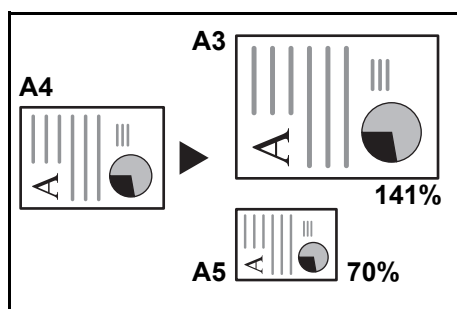
5 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

6 章 機能的なコピー

コピーの縮小／拡大

自動倍率選択モード

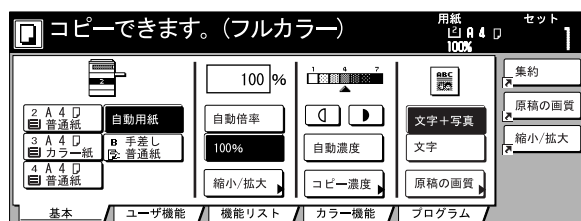
選択した用紙サイズ（カセット）に合わせて縮小／拡大します。



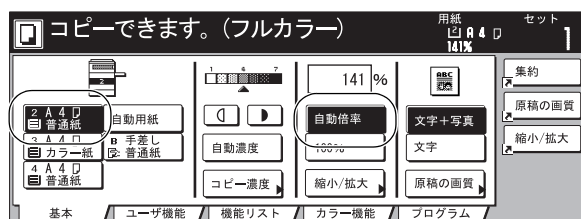
重要

このモードを常時使用するときには、P.7-50、「用紙選択」で「自動倍率」を設定してください。

- 1 原稿をセットしてください。
原稿サイズを自動的に検知し、同じ用紙サイズが選択されます。



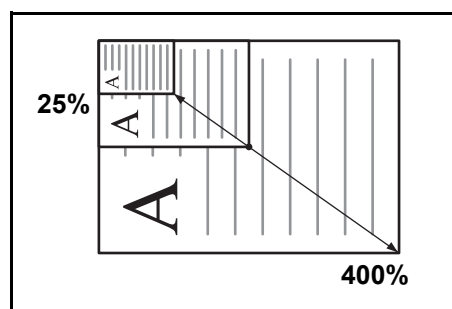
- 2 [用紙選択] キーを押して用紙を選択してください。
[自動倍率] キーを押してください。
コピー倍率が表示されます。



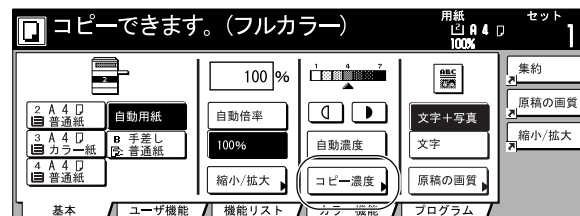
- 3 [スタート] キーを押すとコピーを開始します。

ズームコピーモード

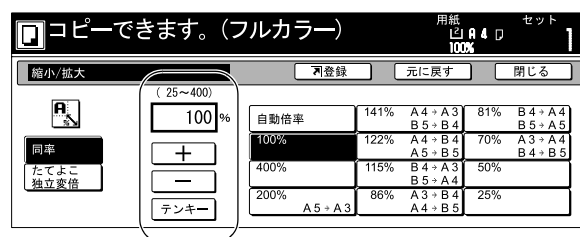
25～400%の範囲で1%刻みで倍率を変えることができます。



- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [縮小/拡大] キーを押してください。
「縮小/拡大」画面が表示されます。



- 3 [+] キーまたは [-] キーで、表示されている倍率を変更してください。
[テンキー] キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 4 [スタート] キーを押すとコピーを開始します。

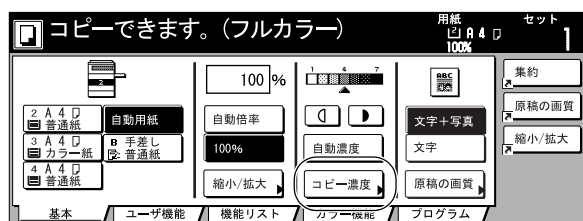
固定変倍モード

あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小／拡大コピーができます。

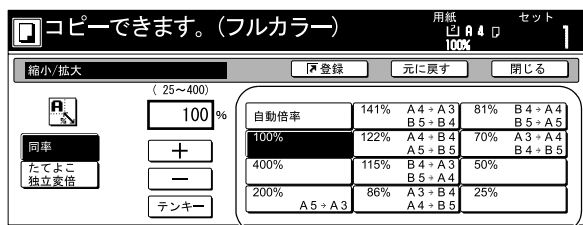
〔選択できる倍率〕

縮小	25%
	50%
	70%: A3 → A4、B4 → B5
	81%: B4 → A4、B5 → A5
	86%: A3 → B4、A4 → B5
拡大	115%: B4 → A3、B5 → A4
	122%: A4 → B4、A5 → B5
	141%: A4 → A3、B5 → B4
	200%: A5 → A3
	400%

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 〔縮小／拡大〕キーを押してください。
「縮小／拡大」画面が表示されます。



- 3 固定倍率キーを押してください。



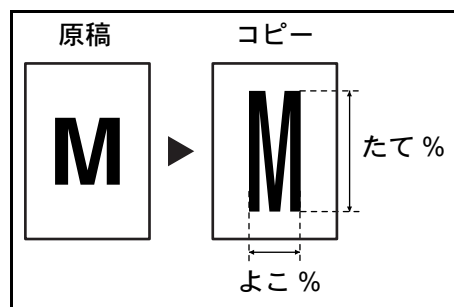
補足

- 選択した倍率から〔+〕キー、〔-〕キーを押して1%刻みで倍率を変更することができます。
- 〔テンキー〕キーを押してからテンキーで入力することもできます。

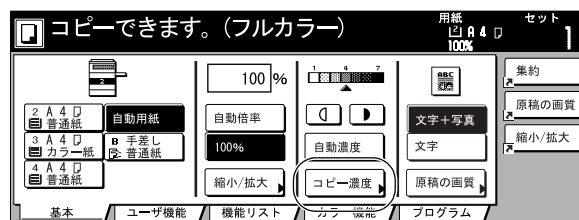
- 4 〔スタート〕キーを押すとコピーを開始します。

たてよこ独立変倍モード

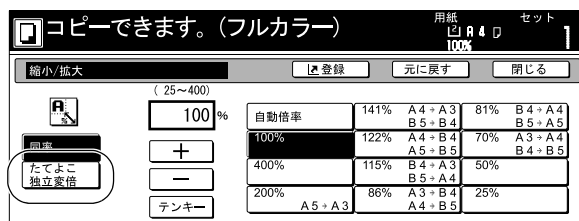
たて、よこ別々に倍率を変更することができます。倍率は25～400%の範囲で1%刻みで倍率を変えることができます。



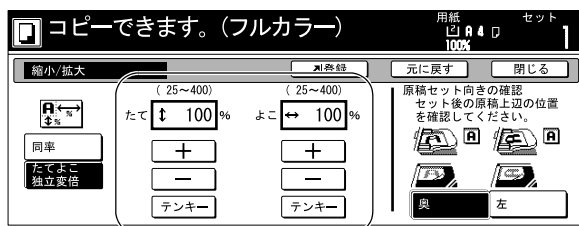
- 1 原稿をセットしてください。
- 2 〔縮小／拡大〕キーを押してください。
「縮小／拡大」画面が表示されます。



- 3 〔たてよこ独立変倍〕キーを押してください。
変倍モード設定画面が表示されます。



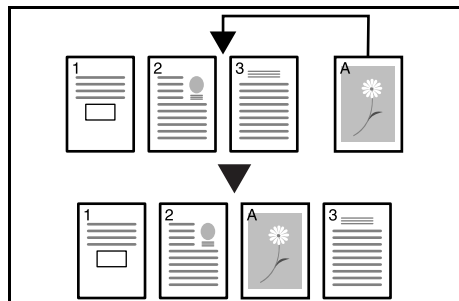
- 4 〔+〕キーまたは〔-〕キーで表示されている「たて」、または「よこ」の倍率を変更してください。
〔テンキー〕キーを押してからテンキーで入力することもできます。



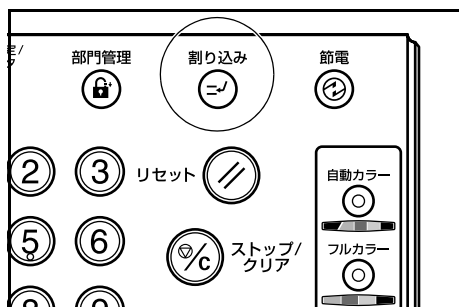
- 5 セット後の原稿上辺の位置を確認してください。
- 6 〔スタート〕キーを押すとコピーを開始します。

割り込みコピー

コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーしたいときは、割り込みコピーが便利です。割り込んだコピーの後に、中断されたコピーを同じ設定で再開することができます。

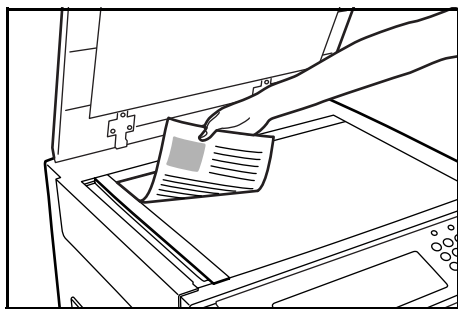


- 1** [割り込み] キーを押して、表示を点灯させてください。
“割り込みコピーできます。”が表示されます。

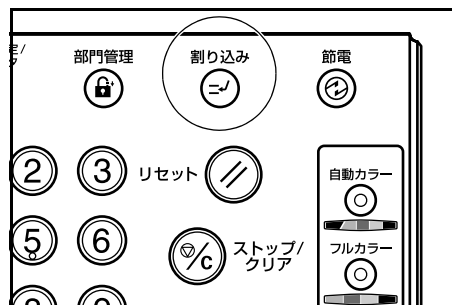


- 2** コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。

- 3** 割り込み原稿をセットしてコピーを行ってください。



- 4** 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] キーを押し、保管していた原稿に替えてください。
[スタート] キーを押すとコピーを再開します。



補足

メモリコピーボードを装着している場合や両面機を使用している場合、ハードディスク内に読み込んだデータからコピーを再開しますので再度保管していた原稿を読み込む必要はありません。

いろんな原稿から両面コピー [両面コピー] (両面機のみ)

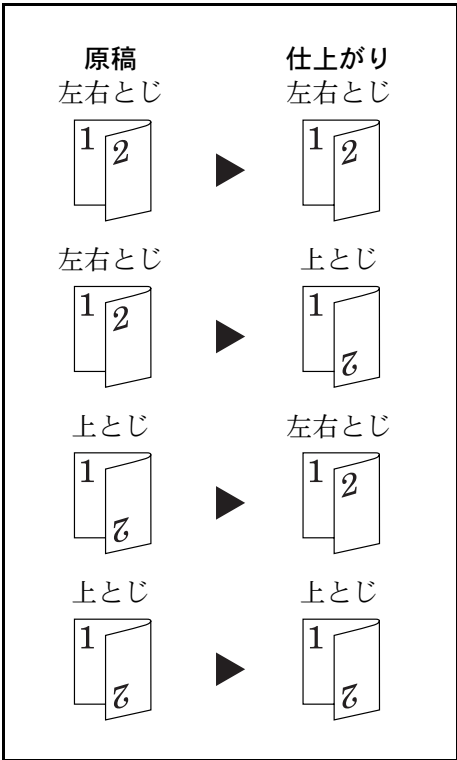
見開き原稿や両面原稿などいろんな原稿から両面コピーがとれます。

**補足**

- この機能は両面機で使用できます。
- 手差しからは両面コピーできません。

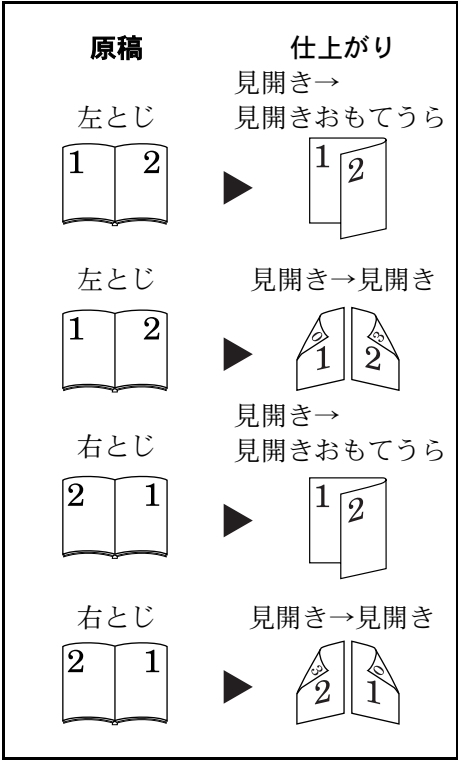
両面原稿からの両面コピー

裏表両面の原稿を同じように両面コピーします。



見開き原稿からの両面コピー

雑誌や本などの見開き 2 ページを 1 回の [スタート] キー操作で用紙の両面にコピーを行います。

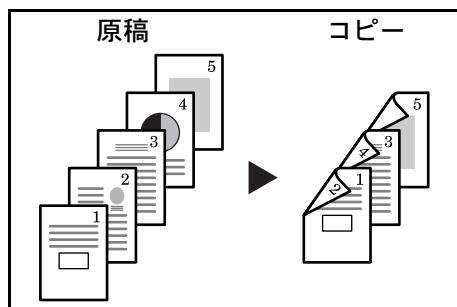


**補足**

このモードに使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11" に限られます。

片面原稿からの両面コピー

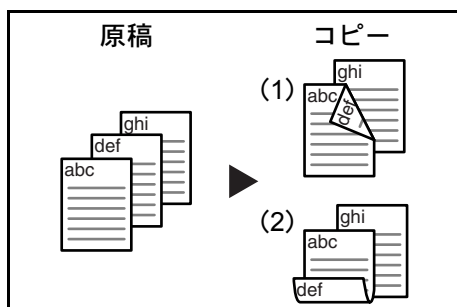
片面原稿を裏表に両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページの裏面が白紙になります。



補足

裏面のコピーを 180 度回転させてコピーすることもできます。

- (1) 原稿左／右と同じ→仕上がり左／右と同じ：
裏面のコピーをそのままの方向でコピーします。
- (2) 原稿左／右と同じ→仕上がり上と同じ：
裏面のコピーを 180 度回転させてコピーします。仕上がったコピーを上で綴じて、各見開きのページが同じ方向にコピーされているようにできます。

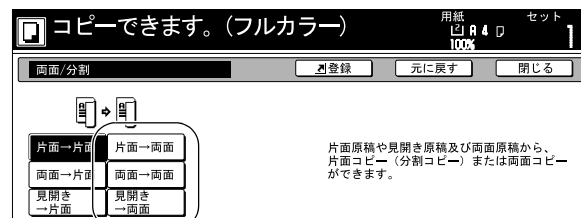


- 1** 原稿をセットしてください。
- 2** [機能リスト] キーを押してください。[機能リスト] 画面が表示されます。
- 3** [両面 / 分割] キーを押してください。
「両面 / 分割」画面が表示されます。



4

両面原稿のときは [両面→両面] キー、見開き原稿のときは [見開き→両面] キー、片面原稿のときは [片面→両面] キーを押してください。
[両面→両面] キーまたは [見開き→両面] キーを押したときは次の手順に進んでください。
[片面→両面] キーを押したときは手順 6 に進んでください。

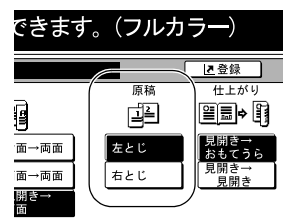
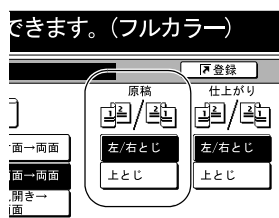


5

原稿のと同じ位置を選択してください。

両面原稿のとき

見開き原稿のとき

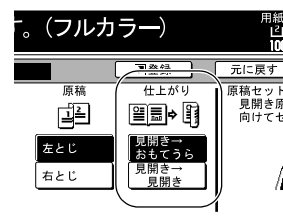
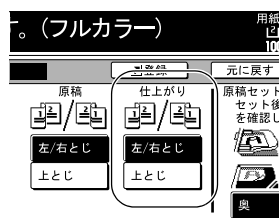


6

仕上がりのと同じ位置を選択してください。

片面または両面原稿のとき

見開き原稿のとき



7

右側に表示されるメッセージにしたがい、原稿のセット向きを確認してください。

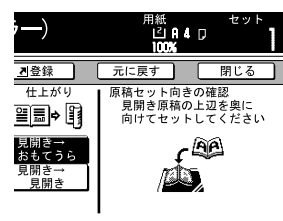
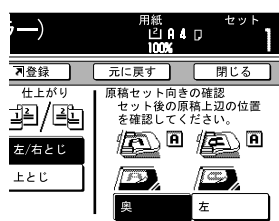


重要

原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

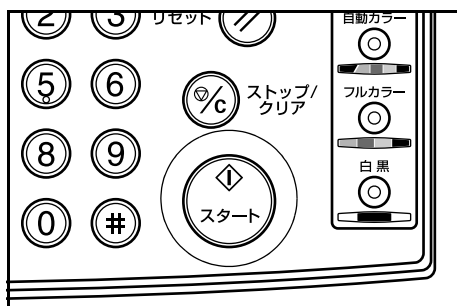
片面または両面原稿のとき

見開き原稿のとき



- 8** [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

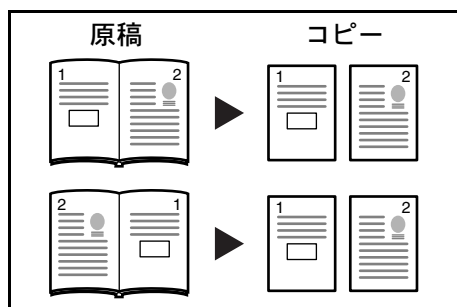


- 9** 原稿を入れ替えて [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 10** 次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。
コピーが開始されます。

2 ページの原稿を 1 ページずつコピー [分割コピー]

見開き原稿からの分割コピー

雑誌・本などの見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。

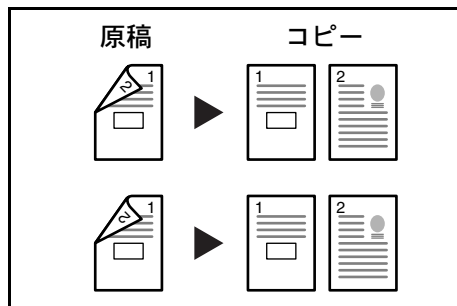


補足

使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17" と 8 1/2" × 11" に、用紙サイズは A4、A4R、B5、B5R に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

両面原稿からの分割コピー

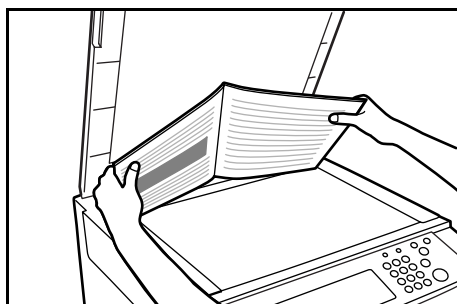
両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



補足

原稿送り装置（オプション）が必要です。

1 原稿をセットしてください。

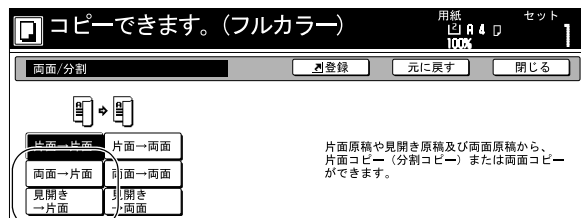


2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

3 [両面 / 分割] キーを押してください。
「両面 / 分割」画面が表示されます。



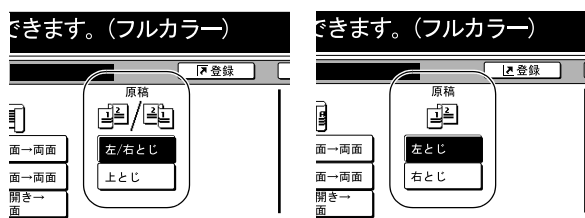
4 原稿の種類を選択してください。
原稿の種類にしたがって [両面→片面] キーまたは [見開き→片面] キーを押してください。



5 原稿のと同じ位置を選択してください。

両面原稿のとき

見開き原稿のとき



6 右側に表示されるメッセージにしたがい、原稿のセット向きを確認してください。

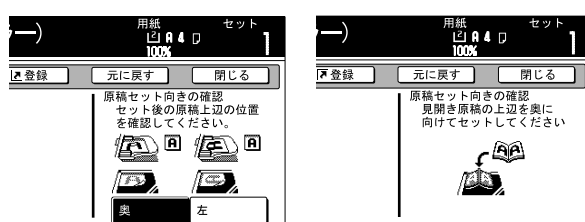


重要

原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

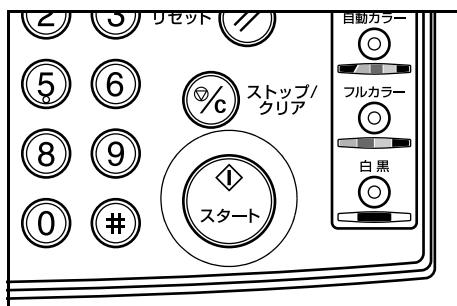
両面原稿のとき

見開き原稿のとき



- 7** [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

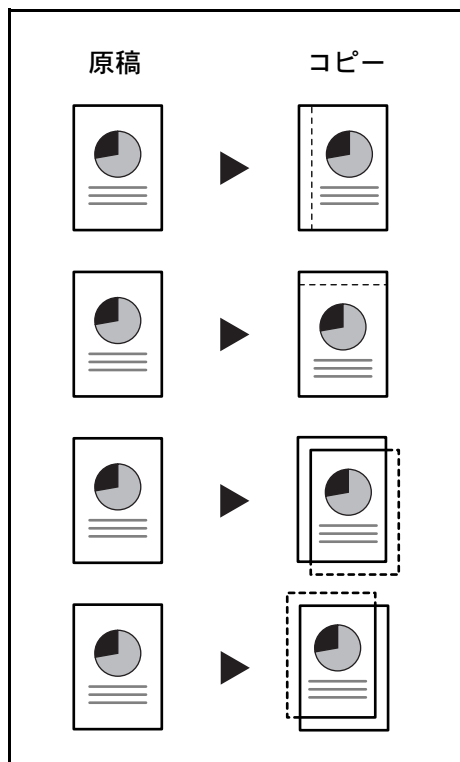


- 8** 原稿を入れ替えて [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 9** 次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。
コピーが開始されます。

コピーにとじしろを作る [とじしろコピー]

とじしろ

原稿の画像の位置を左右、上下にずらしてコピーし、0mm～18mm（1mm 単位）の幅でとじしろ（余白）を作ります。

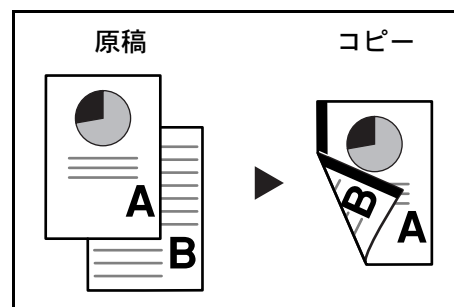


補足

- とじしろの幅を設定することができます。（P.7-58、「とじしろ初期値」参照）
- 両面コピー設定時に例えばとじしろの左幅を設定すると、裏面の設定が自動の場合は表面と同じ幅のとじしろの右幅が自動的に設定されます。

独立とじしろ

両面コピーをとるとき、表面と裏面のマージンの位置やマージン幅を独立して選択することができます。それぞれに0mm～18mm（1mm 単位）の幅でとじしろ（余白）を作ります。



補足

この機能は両面機で使用できます。

1

原稿をセットしてください。



重要

原稿は上辺が奥方向（または左方向）になるようにセットし、セット後の原稿の位置を確認してください。原稿のセット方向を誤ると、設定した位置にとじしろが作られません。

2

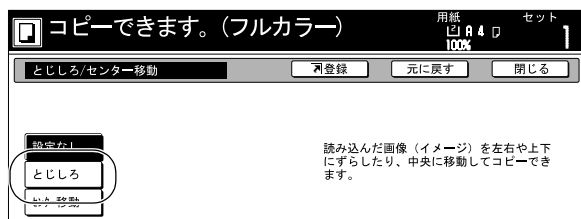
「機能リスト」キーを押してください。「機能リスト」画面が表示されます。

3

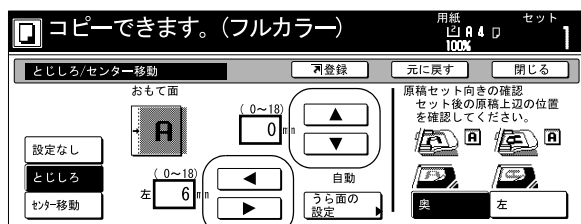
「とじしろ / センター移動」キーを押してください。「とじしろ / センター移動」画面が表示されます。



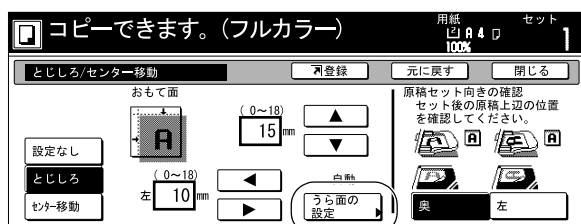
- 4** [とじしろ] キーを押してください。
おもて面のとじしろ設定画面が表示されます。



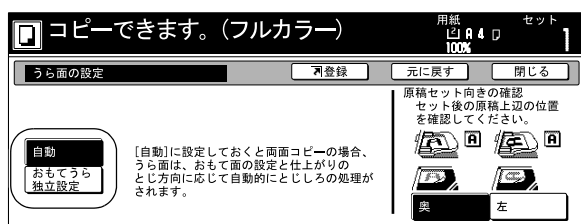
- 5** [▲] キー、[▼] キー、[◀] キー、[▶] キーで
上下、左右のとじしろを設定してください。



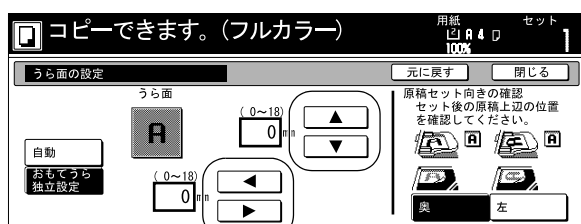
- 6** 両面コピーのときは、[うら面の設定] キーを押
してください。
「うら面の設定」画面が表示されます。



- 7** うら面もおもて面に合わせて同じとじしろを作
るときは、[自動] キーを押してください。
おもてうら別のとじしろのときは、[おもてうら
独立設定] キーを押してください。
うら面のとじしろ設定画面が表示されます。



- 8** [▲] キー、[▼] キー、[◀] キー、[▶] キーで
上下、左右のとじしろを設定してください。



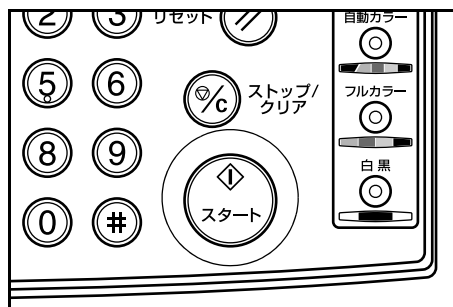
- 9** 画面の右に表示される原稿セット向きの確認位
置に原稿がセットされていることを確認してく
ださい。



重要

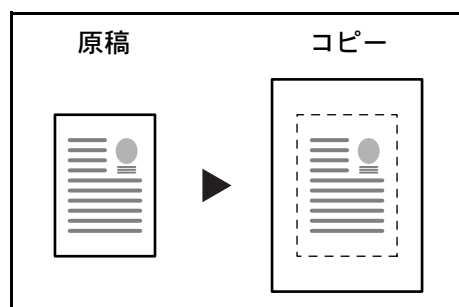
正しくセットされていない場合は、正しくコ
ピーされないことがあります。

- 10** [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。



用紙の中央にコピー [センター移動]

原稿のサイズよりもコピーする用紙サイズが大きい場合に、画像を中央に移動させてコピーします。



1 原稿をセットしてください。



重要

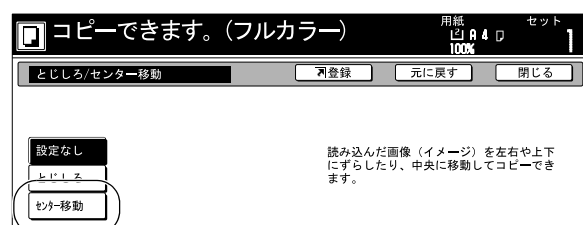
原稿は上辺が奥方向（または左方向）になるようにセットし、セット後の原稿の位置を確認してください。原稿のセット方向を誤ると、正しくコピーされない場合があります。

2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

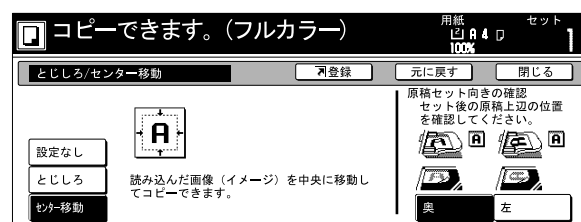
3 [とじしろ/センター移動] キーを押してください。
「とじしろ/センター移動」画面が表示されます。



4 [センター移動] キーを押してください。



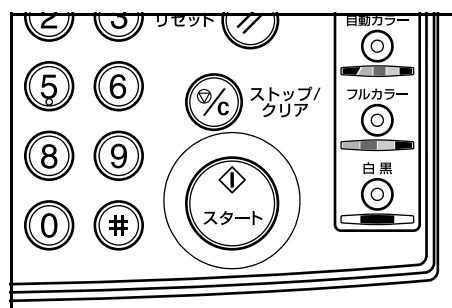
5 画面の右に表示される原稿セット向きの確認位置に原稿がセットされていることを確認してください。



重要

原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

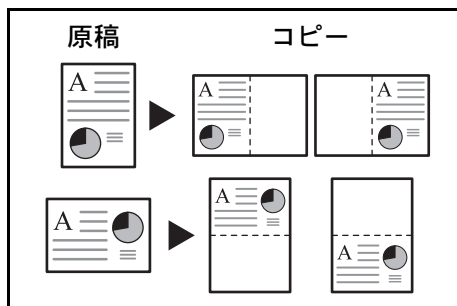
6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。



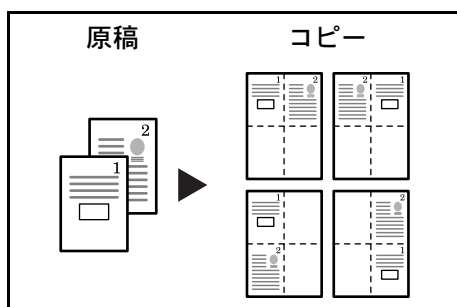
原稿の横に書き込みスペースを作る [書き込み余白]

コピーした用紙にコメントが書き込めるスペースを作ります。また、2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピーすることもできます。

原稿 1 枚を 1 枚の用紙に (レイアウト A)



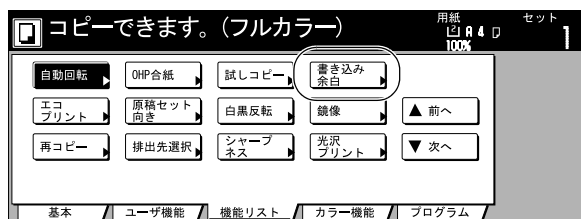
原稿 2 枚を 1 枚の用紙に (レイアウト B)



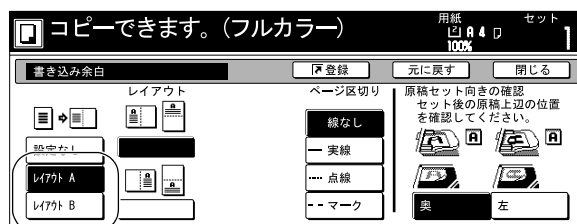
補足

- 原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。
- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

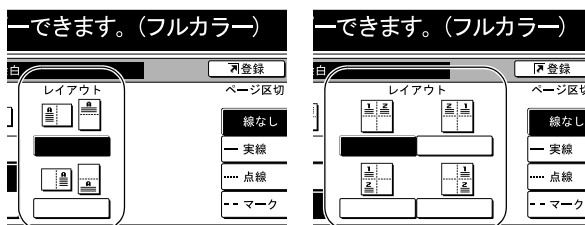
- 1 原稿をセットしてください。
- 2 「機能リスト」キー、[▼次へ]キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 3 「書き込み余白」キーを押してください。
「書き込み余白」画面が表示されます。



- 4 「レイアウト A」キーまたは「レイアウト B」キーを押してください。
レイアウト設定画面が表示されます。

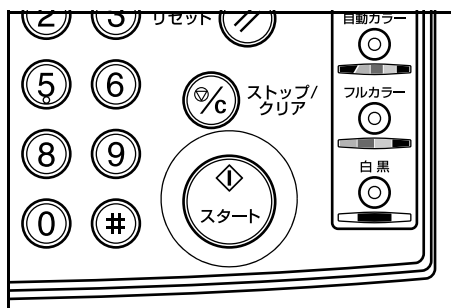


- 5 レイアウトを選択してください。
レイアウト A のとき レイアウト B のとき



- 6 ページ区切りの線種を選択してください。
- 7 「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。コンタクトガラスにセットしたときは、原稿入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

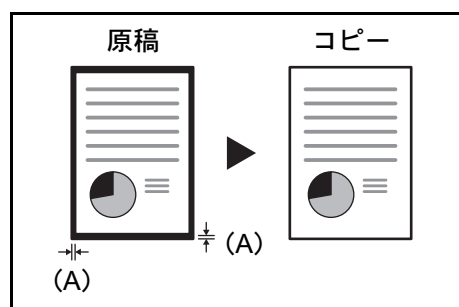


- 8 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 9 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。
コピーが開始されます。

原稿のまわりを消去してコピー [枠消し]

シート原稿のまわりを消去（シート枠消し）

シート原稿のまわりにできた黒い影を消すときに使用してください。枠消し幅は 0mm ～ 18mm（1mm 単位）の範囲で調整できます。（イラストの（A）は枠消し幅）

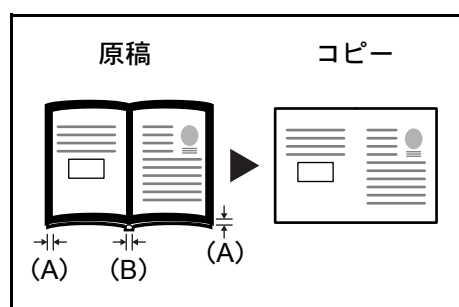


補足

枠消し幅の初期値を設定することができます。（P.7-59、「枠消し初期値」参照）

見開き原稿のまわりと中央部を消去（ブック枠消し）

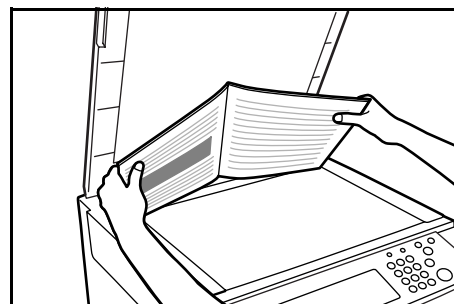
分厚い本をきれいにコピーするとき使用してください。外枠幅は 0mm ～ 18mm（1mm 単位）の範囲で調整できます。中枠幅は 0mm ～ 36mm（1mm 単位）の範囲で調整できます。（イラストの（A）は外枠消し幅、（B）は中枠消し幅）



補足

枠消し幅の初期値を設定することができます。（P.7-59、「枠消し初期値」参照）

- 1 原稿をセットしてください。

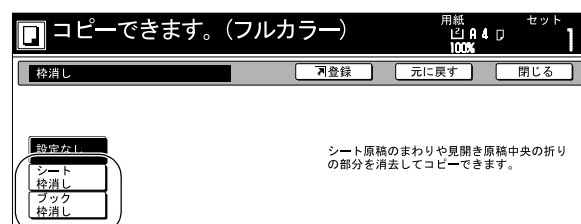


- 2 「機能リスト」キーを押してください。「機能リスト」画面が表示されます。

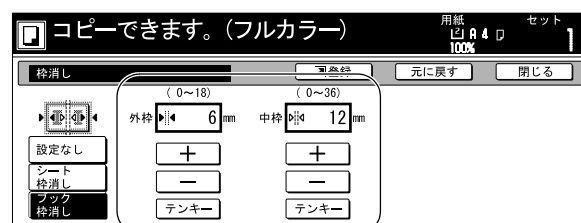
- 3 「枠消し」キーを押してください。「枠消し」画面が表示されます。



- 4 「シート枠消し」または「ブック枠消し」キーを押してください。外枠、中枠（ブック選択時）設定画面が表示されます。



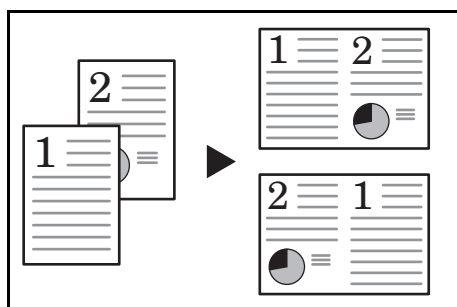
- 5 「+」キーまたは「-」キーで枠消し幅を設定してください。「テンキー」キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 6 「スタート」キーを押してください。コピーを開始します。

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚に [集約コピー]

2 枚あるいは 4 枚の原稿を縮小し、1 枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線で区切ることもできます。



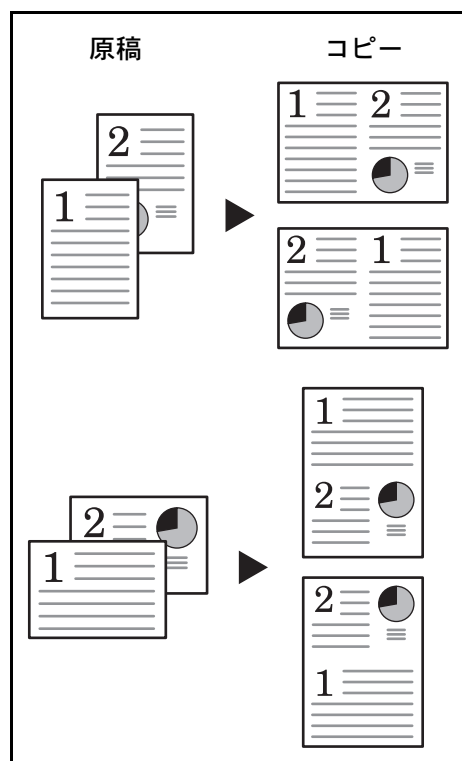
補足

- 原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。
- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

2 in 1

2 枚の原稿を 1 枚のコピーにします。両面コピーと併用すると 4 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。

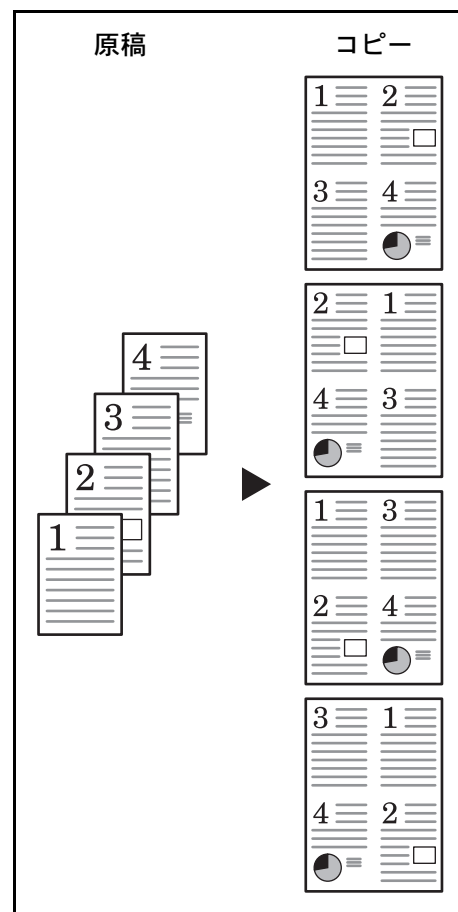
(原稿をコンタクトガラスにセットするときは、下記イラストの 1 → 2 の順で行ってください。)



4 in 1

4 枚の原稿を 1 枚のコピーにします。両面コピーと併用すると 8 枚の原稿を 1 枚の両面コピーにすることができます。

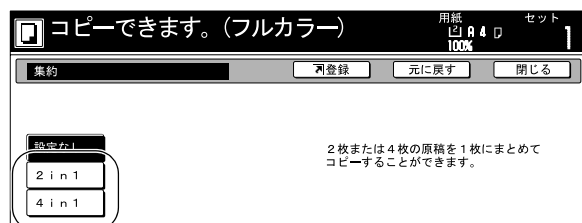
(原稿をコンタクトガラスにセットするときは、下記イラストの 1 → 2 → 3 → 4 の順で行ってください。)



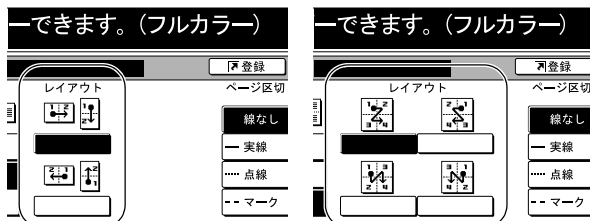
- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。「機能リスト」画面が表示されます。
- 3 [集約] キーを押してください。「集約」画面が表示されます。



- 4** [2 in 1] キーまたは [4 in 1] キーを押してください。
レイアウト設定画面が表示されます。



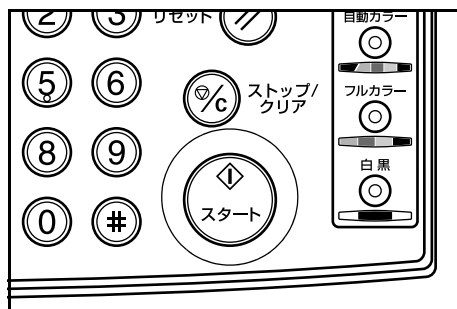
- 5** レイアウトを選択してください。



- 6** ページ区切りの線種を選択してください。

- 7** [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

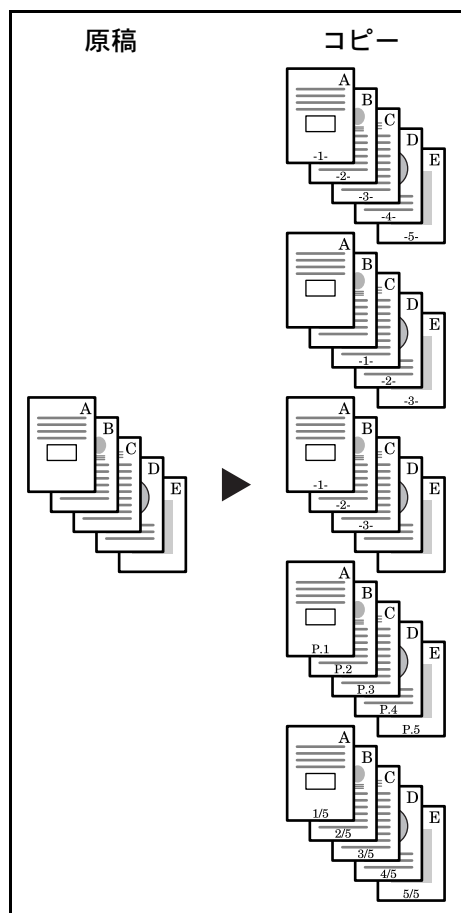


- 8** 原稿を入れ替えて [スタート] キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 9** 次の原稿がなければ、[読み込み終了] キーを押してください。
コピーが開始されます。

コピーにページ数を印字 [ページ付け]

複数枚原稿からコピーを行ったときに、原稿の上から順番にページ番号をつけていくことができます。ページのスタイルとして“- 1 -”、“P.1”、“1/n”の3種類があります。

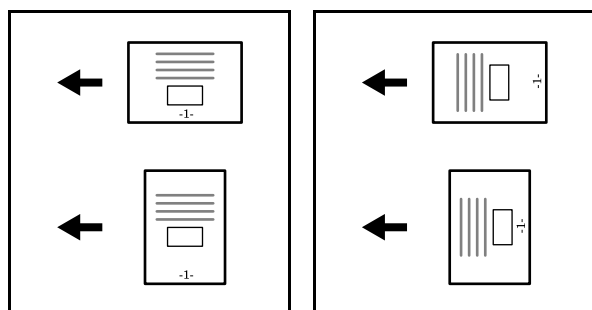
- “1/n”を選択したときは、分母に総ページ数が印字されます。



- ページ数は、原稿の下側中央に印字されます。(図の矢印は原稿を通す向きを示しています。)

原稿セット向き：奥

原稿セット向き：左



補足

片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

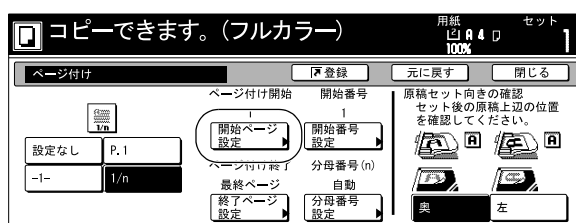
- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 3 [ページ付け] キーを押してください。
「ページ付け」画面が表示されます。



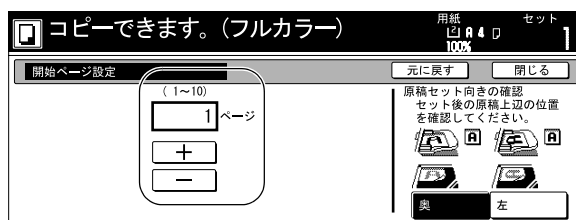
- 4 ページ付けのタイプキーを押してください。
ページ設定画面が表示されます。



- 5 開始ページが1でない場合は、[開始ページ設定] キーを押してください。
「開始ページ設定」画面が表示されます。

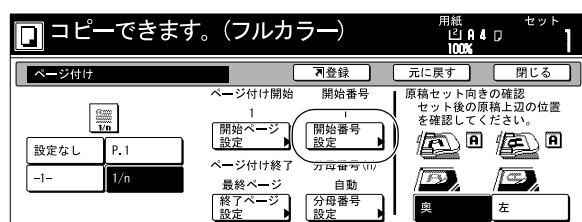


- 6 [+] キーまたは [-] キーで開始ページを設定してください。

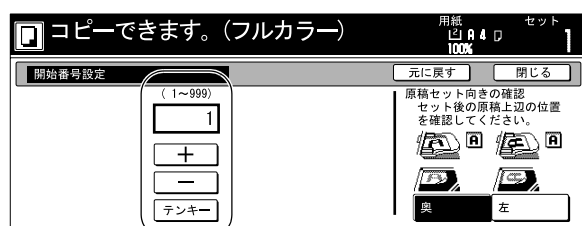


- 7 [閉じる] キーを押してください。
手順5の画面へ戻ります。

- 8** 開始番号が1でない場合は、[開始番号設定] キーを押してください。
「開始番号設定」画面が表示されます。

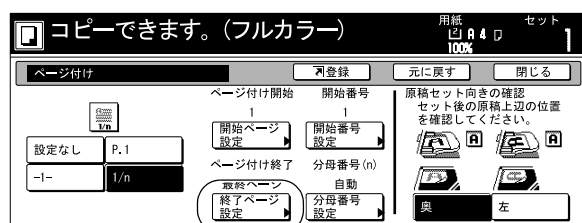


- 9** [+] キーまたは [-] キーで開始番号を設定してください。
[テンキー] キーを押してからテンキーで入力することもできます。

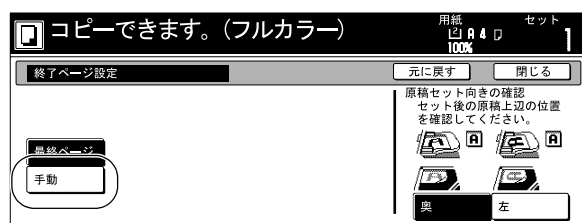


- 10** [閉じる] キーを押してください。
手順8の画面へ戻ります。

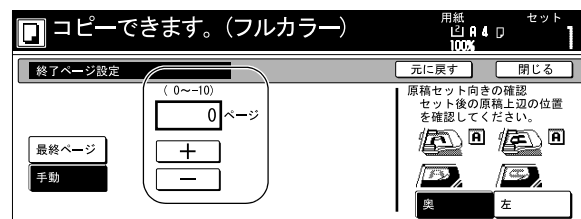
- 11** 終了ページが最終原稿でない場合は、[終了ページ設定] キーを押してください。
「終了ページ設定」画面が表示されます。



- 12** [手動] キーを押してください。
終了ページ手動設定画面が表示されます。

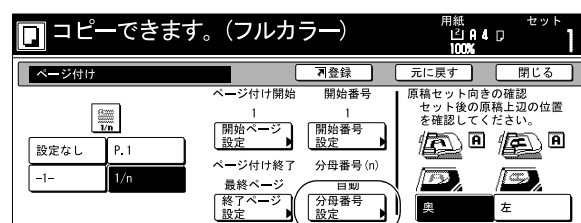


- 13** [+] キーまたは [-] キーで終了ページを設定してください。

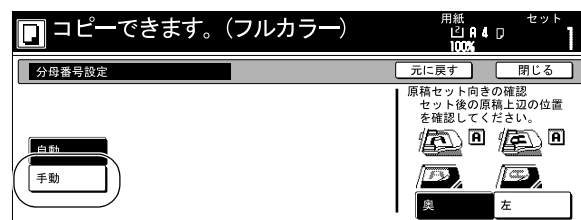


- 14** [閉じる] キーを押してください。
手順11の画面へ戻ります。
[1/n] キーを選択した場合は、[分母番号設定] キーが表示されます。

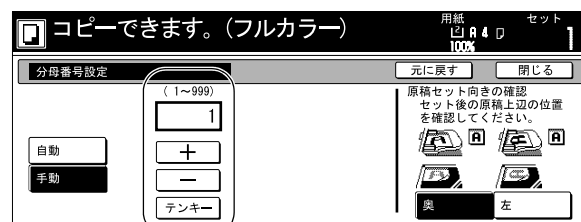
- 15** 手動で分母番号を設定する場合は、[分母番号設定] キーを押してください。
「分母番号設定」画面が表示されます。



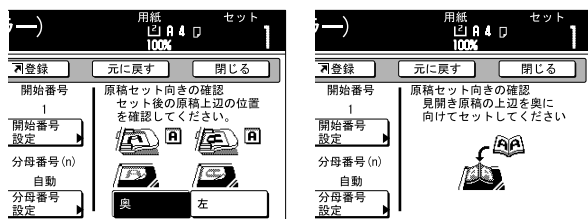
- 16** [手動] キーを押してください。
分母番号入力画面が表示されます。



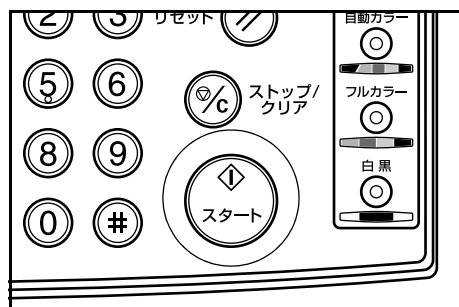
- 17** [+] キーまたは [-] キーで分母番号を設定してください。
[テンキー] キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 18** 右側に表示されるメッセージにしたがい、原稿のセット向きを確認してください。

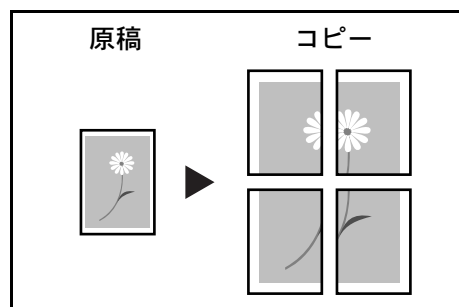


- 19** [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。



複数枚に分けて拡大コピー [拡大連写モード]

拡大後のコピーサイズが使用できる用紙サイズの最大よりも大きくなる場合、拡大後の画像を複数枚に分けてコピーすることができます。



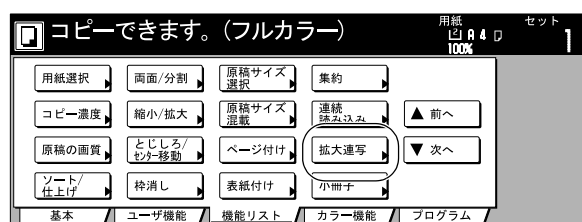
補足

- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。
- 仕上がったコピーは重複してコピーされた部分があり、この部分を貼り合わせていくと1枚のコピーになります。
- 原稿サイズは A3、A4R に、用紙サイズは A3 サイズに限られます。
- 拡大連写には原稿サイズと仕上がりサイズを指定する仕上がりサイズ指定と、任意の倍率を指定する倍率設定の2種類の方法があります。

1 原稿をセットしてください。

2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

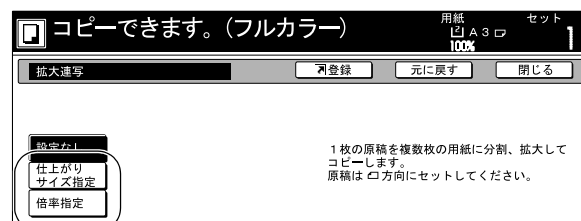
3 [拡大連写] キーを押してください。
「拡大連写」画面が表示されます。



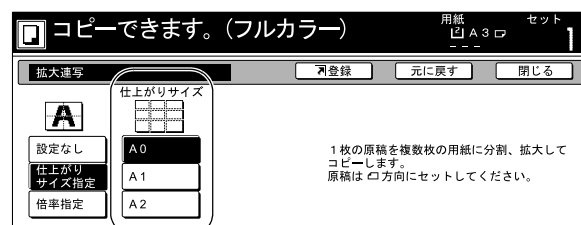
4 [仕上がりサイズ指定] または [倍率指定] キーを押してください。

[仕上がりサイズ指定] キーを押した場合は、次の手順に進んでください。

[倍率指定] キーを押した場合は、手順7に進んでください。



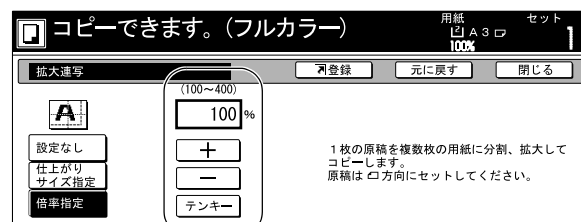
5 仕上がりサイズを選択してください。



6 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

7 [+] キーまたは [-] キーで、表示されている倍率を変更してください。

[テンキー] キーを押してからテンキーで入力することもできます。



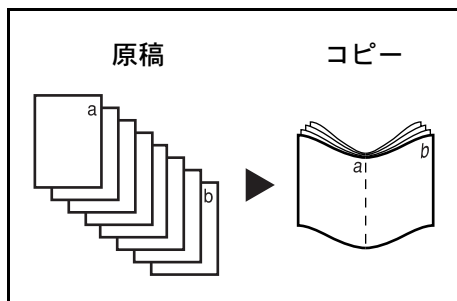
8 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

原稿サイズと仕上がりサイズを指定した場合
のコピー枚数

原稿サイズ	仕上がりサイズ	コピー枚数
A4R	A0	9 枚 (A3)
A4R	A1	4 枚 (A3)
A4R	A2	4 枚 (A3)
A3	A0	9 枚 (A3)
A3	A1	4 枚 (A3)
A3	A2	4 枚 (A3)

小冊子（シート原稿）（両面機のみ）

両面または片面原稿を見開き両面コピーにして、仕上がったコピーを重ねて折れば週刊誌やパンフレットのように入ることができます。また、表紙にカラー紙や厚紙を設定することもできます。

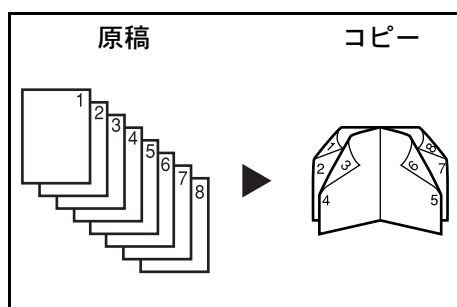


補足

- この機能は、両面機で使用できます。
- 手差しからは両面コピーできません。
- 用紙サイズは、A3、B4、A4、A4R、B5R、11" × 17"、11" × 8 1/2" に限られます。
- 表紙に使用する用紙をセットしている給紙段を変更することができます。（P.7-52、「表紙用紙カセット」参照）

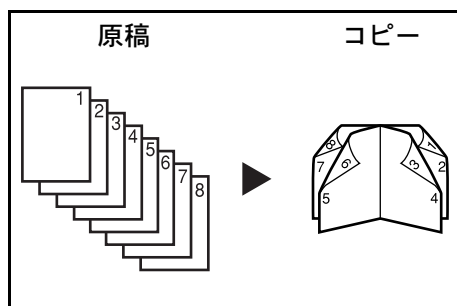
仕上がりが左とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが左から右へ進むようにコピーします。



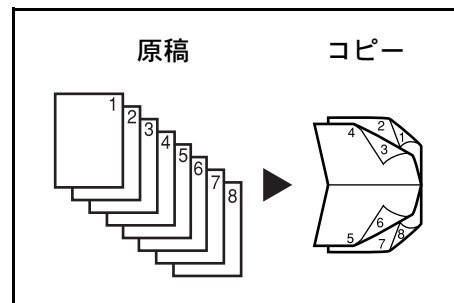
仕上がりが右とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが右から左へ進むようにコピーします。



仕上がりが上とじの場合

仕上がったコピーを重ねて折ると、ページが上から下へ進むようにコピーします。



製本表紙を設定した場合

おもて表紙、うら表紙にそれぞれコピーするか、しないの設定をすることができます。

	おもて表紙	うら表紙
コピーなし		
外面コピー		
内面コピー		
両面コピー		



補足

- 表紙の「☆」のページがコピーされます。
- 上記イラストは左とじの場合です。

1

1 枚目の原稿をセットしてください。

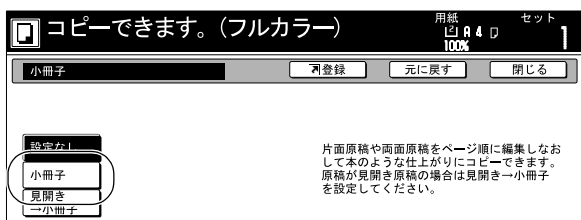
2

「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

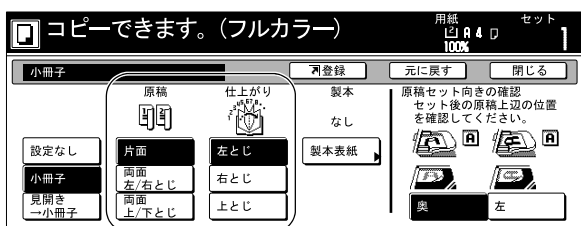
- 3** 「小冊子」キーを押してください。
「小冊子」画面が表示されます。



- 4** 「小冊子」キーを押してください。
原稿、仕上がり設定画面が表示されます。



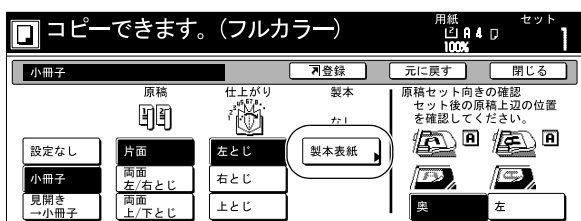
- 5** 原稿と仕上がりを選択してください。



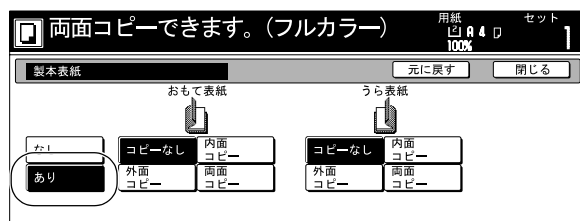
- 6** “現在の設定ではコピーできません。原稿、仕上りの設定を変更してください。”とメッセージが表示された場合は、原稿セット向きの確認（タッチパネル右側）で原稿の向きが正しいかどうかと、原稿と仕上りの設定が正しいかどうかを確認してください。



- 7** 表紙の設定を行う場合は「製本表紙」キーを押して次の手順に進んでください。
表紙の設定を行わない場合は、手順9に進んでください。

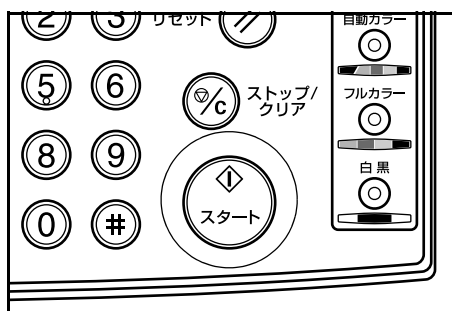


- 8** 「あり」キーを押して、おもて表紙、うら表紙にそれぞれコピーを行うかどうかの設定をしてください。



- 9** 「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。
コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

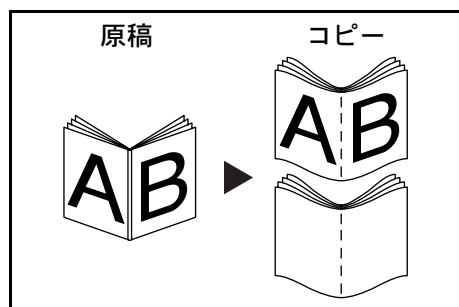


- 10** 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。

- 11** 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。
コピーが開始されます。

小冊子（見開き原稿）（両面機のみ）

表紙をつけて週刊誌のようにコピーしたり、おもて表紙、うら表紙とも白紙にしてコピーすることもできます。

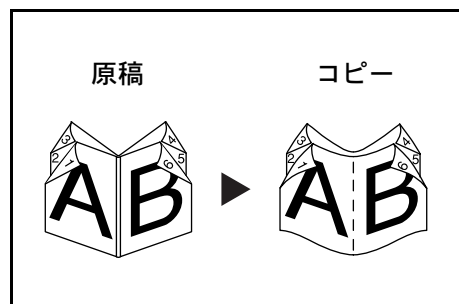


補足

- この機能は、両面機で使用できます。
- 手差しからは両面コピーできません。
- 原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11" に、用紙は A3、B4、A4、A4R、B5R、11" × 17" と 11" × 8 1/2" に限られます。
- 表紙に使用する用紙をセットしている給紙段を変更することができます。(P.7-52、「表紙用紙カセット」参照)

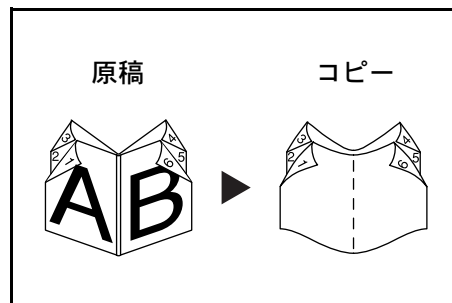
表紙付き

最初に表紙の原稿を読み取り、コピーが仕上がったときにセンターでコピーを折ると、そのページが表紙になります。

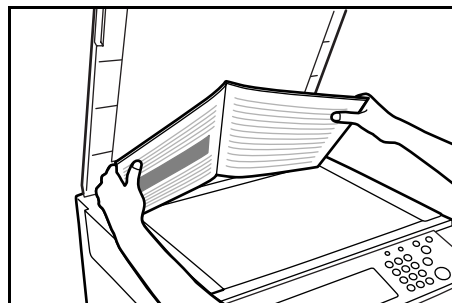


表紙なし

コピーが仕上がったときにセンターで折ると、おもて表紙、うら表紙とも白紙になります。



- 1 見開き原稿をセットしてください。

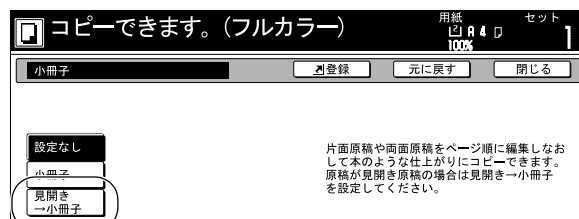


- 2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

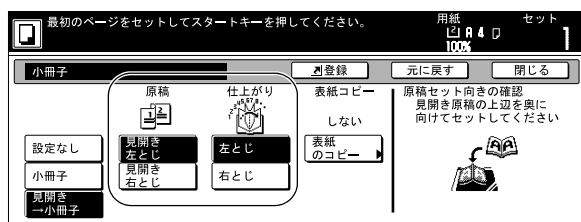
- 3 [小冊子] キーを押してください。
「小冊子」画面が表示されます。



- 4 [見開き→小冊子] キーを押してください。
原稿、仕上がり設定画面が表示されます。



5 原稿と仕上がりを選択してください。

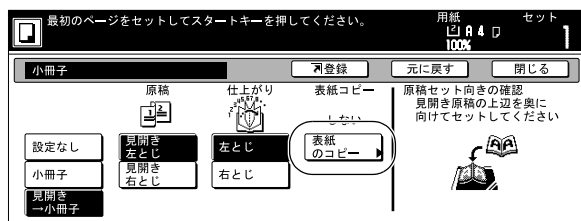


10 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。

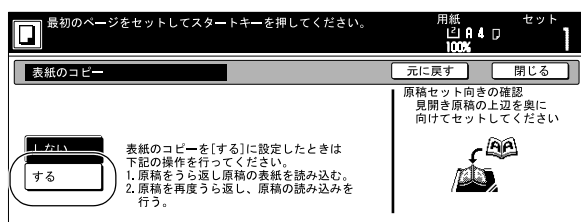
コピーが開始されます。

6 表紙がある場合は、「表紙のコピー」キーを押してください。

「表紙のコピー選択」画面が表示されます。
表紙のコピーをしない場合は手順 8 に進んでください。



7 「する」キーを押してください。

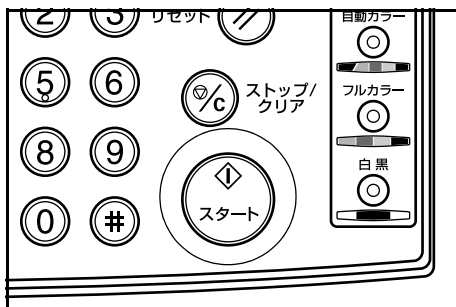


重要
表紙のコピーをする場合は、はじめに表紙をセットしてください。

8 「スタート」キーを押してください。

原稿の読み取りが開始されます。

原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。次の手順に進んでください。

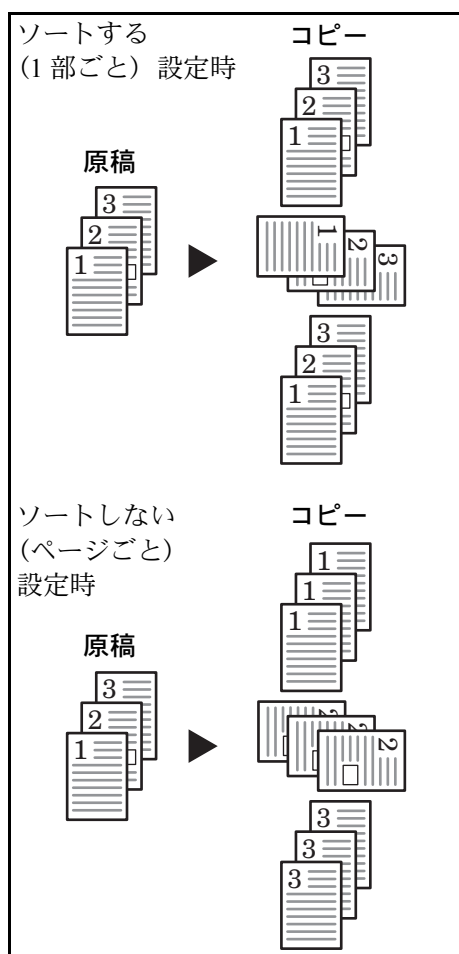


9 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。

原稿の読み取りが行われます。

ドキュメントフィニッシャなしで仕分けを行う [仕分けコピー]

複数枚の原稿をいったんメモリに入れてコピーを行うため、オプションのドキュメントフィニッシャがなくとも、必要部数の仕分けを行うことができます。



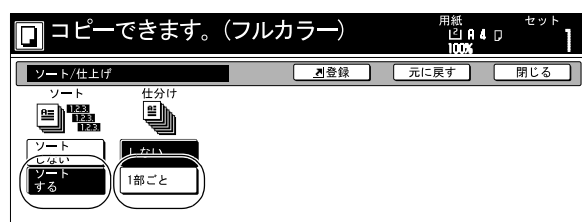
補足

- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。
- 1部ごとで同サイズ、向きが異なる用紙がない場合、仕分けされずにそのまま出力されます。
- 初期モードでソートするか、しないかを変更することができます。(P.7-57、「ソート」参照)

- 3** [ソート / 仕上げ] キーを押してください。
「ソート / 仕上げ」画面が表示されます。



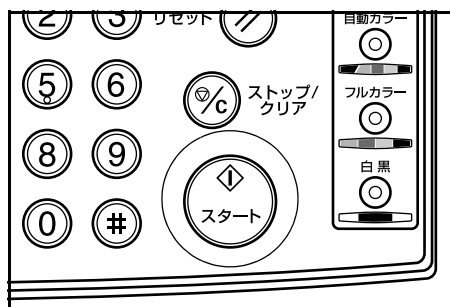
- 4** [ソートする] キーを押してください。



- 5** [1部ごと] キーを押してください。

- 6** テンキーを使って、コピー部数を設定してください。

- 7** [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

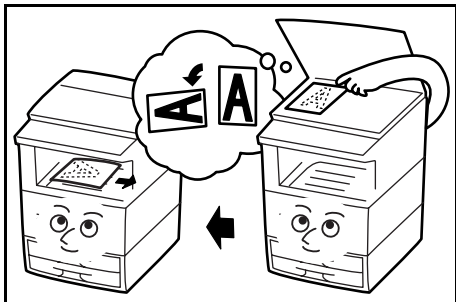


- 1** 原稿をセットしてください。

- 2** [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

自動回転

セットした原稿の向きとカセットの中の用紙の向きが異なる場合でも、画像を反時計回りに 90 度回転してコピーします。この機能に関して、特に設定などを行う必要はありません。

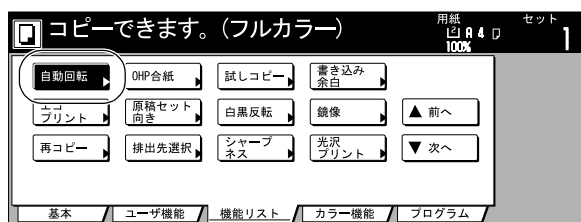


補足

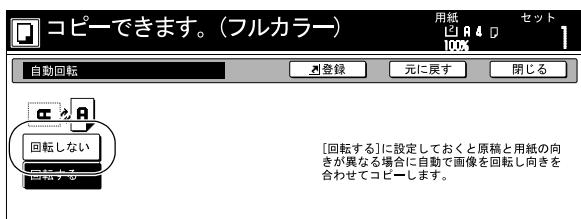
- 自動回転で使える用紙サイズは A4 / 11" × 8 1/2" 以下です。B4、A3、8 1/2" × 14"、11" × 17" は自動回転できません。
- 初期設定で自動回転するか、しないかを変更することができます。(P.7-58、「自動回転」参照)

自動で回転させない場合は下記の手順を行ってください。

- 1** 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 2** 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 3** 「自動回転」キーを押してください。
「自動回転」画面が表示されます。



- 4** 「回転しない」キーを押してください。



コピーにカバーを付ける [表紙付け]

表紙にカラー紙や、厚紙を使ってコピーすることができます。



補足

- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリーコピーボードが必要です。
- 両面コピーとうら面コピーは両面機のみ設定できます。
- 手差しからは両面コピーできません。
- 表紙に使用する用紙をセットしている給紙段を変更することができます。(P.7-52、「表紙用紙カセット」参照)

おもて表紙、うら表紙それぞれに、両面コピー、おもて面コピー、うら面コピー、コピー無し（白紙）を選択できます。またうら表紙を無しに設定できます。

	おもて表紙	うら表紙
両面コピー *1		
おもて面コピー		
うら面コピー *1		
コピーなし (白紙)		
うら表紙なし	—	

*1 イラストはコピーの仕上がりとして両面コピーを選択したときの例

コピーの仕上がりが片面コピーのときは、表紙に両面コピーまたはうら面コピーの設定を行っても表紙は設定通りにコピーされません。

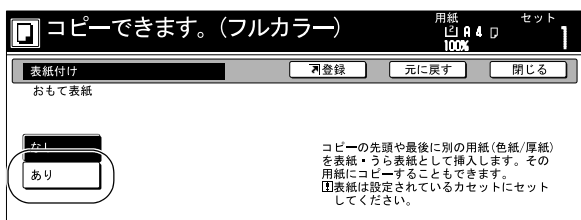
1 原稿をセットしてください。

2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

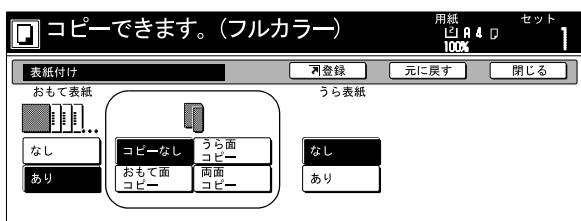
- 3** 「表紙付け」キーを押してください。
「表紙付け」画面が表示されます。



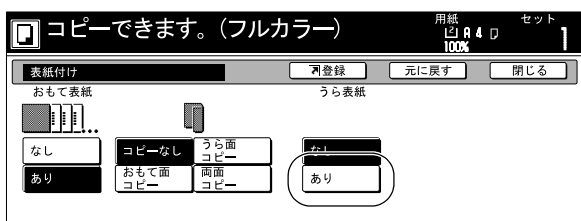
- 4** 「あり」キーを押してください。
おもて表紙選択画面が表示されます。



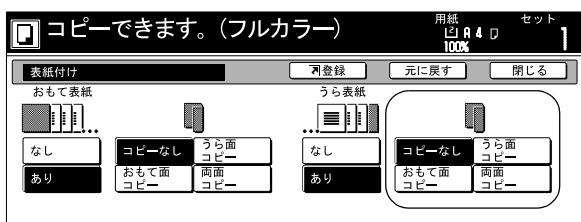
- 5** おもて表紙のコピー状態を選択してください。



- 6** うら表紙の「あり」または「なし」キーを押してください。
「あり」を選ぶと、うら表紙選択画面が表示されます。

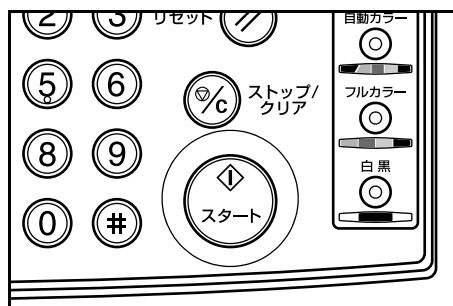


- 7** うら表紙のコピー状態を選択してください。



- 8** 「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。コンタクトガラスにセットしたときは、原稿入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

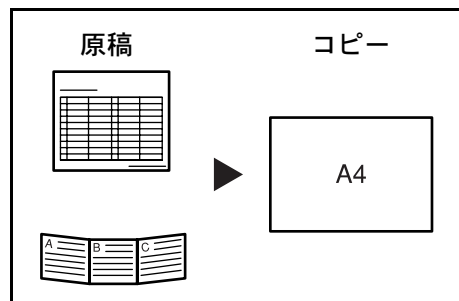


- 9** 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。

- 10** 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。
コピーが開始されます。

原稿サイズ選択

手動で原稿サイズを指定するときに、選択した原稿サイズ分のみ読み込み、コピーすることができます。また、不定形サイズ of 原稿を使用する時にも使用します。



補足

- よく使用する不定形サイズをユーザ登録で設定しておくことができます。(P.7-64、「原稿サイズ登録」を参照してください。)
- 不定形サイズの原稿はコンタクトガラス上にセットしてください。
- 原稿サイズ選択を設定しておく、原稿押さえや原稿送り装置を上げた状態でもコンタクトガラス上にセットした原稿のコピーが可能です。
- センター移動と併用すると、不定形サイズの原稿を用紙の中央にコピーすることができます。(P.6-11、「用紙の中央にコピー [センター移動]」参照)

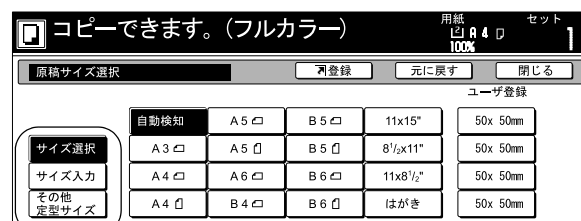
1 原稿をセットしてください。

2 [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

3 [原稿サイズ選択] キーを押してください。
「原稿サイズ選択」画面が表示されます。



4 原稿サイズを選択してください。
定型サイズから選択する場合は、原稿のサイズを選択して手順9に進んでください。
その他の定形サイズから選択する場合は、次の手順に進んでください。
原稿サイズを入力する場合は、手順7に進んでください。

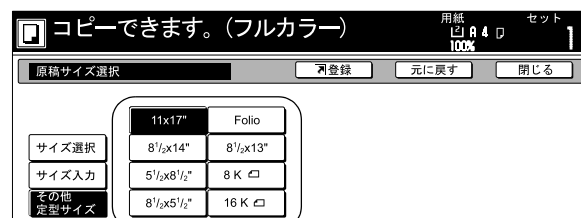


補足

原稿サイズのユーザ登録をしている場合は、登録した原稿サイズを選択することができます。(P.7-64、「原稿サイズ登録」参照)

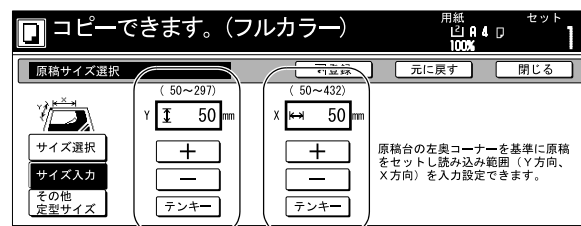
5 [その他定形サイズ] キーを押してください。

6 原稿のサイズを選択して手順9に進んでください。



7 [サイズ入力] キーを押してください。
原稿サイズ入力画面が表示されます。

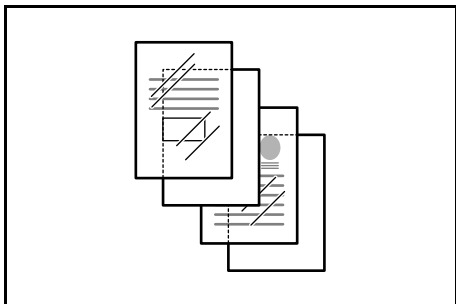
8 コンタクトガラス左奥を基準に、[+] キーまたは [-] キーでたておよびよこ方向の読み込み範囲を設定してください。
[テンキー] キーを押してからテンキーで入力することもできます。



9 [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

OHP フィルムの合紙として用紙を送る [OHP 合紙モード]

OHP フィルムは 2 枚、3 枚と重なると静電気のために取り扱いが難しくなります。OHP 給紙モードを使うと、自動的に用紙がフィルムの間にはさみ込まれ、取り扱いが容易となります。また、その用紙に同じ原稿のコピーをすることもでき、多数枚コピーすることもできます。



重要

OHP フィルムは必ず手差しを使用してください。

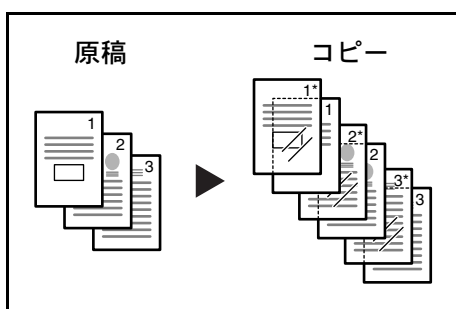


補足

片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

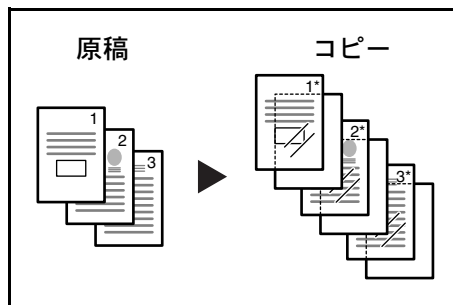
コピー合紙

原稿を OHP フィルムにコピーした後、合紙の用紙にも同じ原稿のコピーをします。（* は OHP フィルムを示します。）



白紙の合紙

原稿を OHP フィルムにコピーした後、白紙の合紙を排紙します。（* は OHP フィルムを示します。）

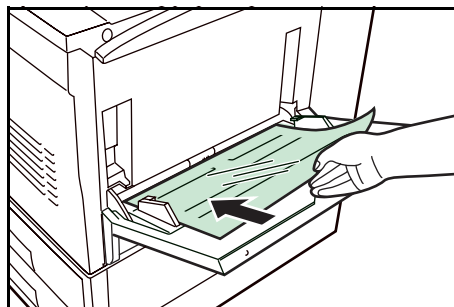


1

原稿をセットしてください。

2

手差しに OHP フィルムをセットしてください。



重要

- OHP フィルムは手でさばいてからセットしてください。
- OHP フィルムは 25 枚までセットできます。
- OHP フィルムは A4 のみ使用できます。
- OHP フィルムと同じサイズで同じ向きの用紙がセットされていることも確認してください。

3

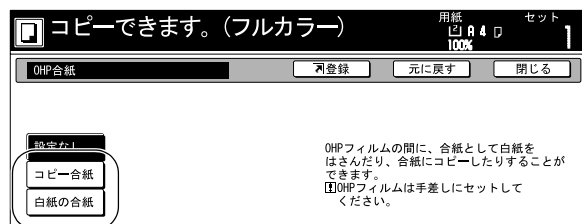
「機能リスト」キー、[▼次へ] キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。

4

「OHP 合紙」キーを押してください。
「OHP 合紙」画面が表示されます。



- 5** [コピー合紙] または [白紙の合紙] キーを押してください。

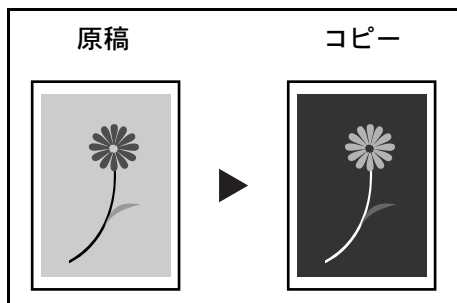


- 6** [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。

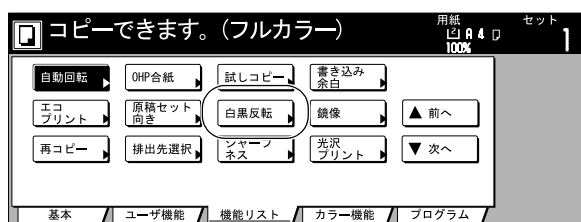
画像を反転してコピー [白黒反転コピー]

原稿の色相や濃淡を反転してコピーします。

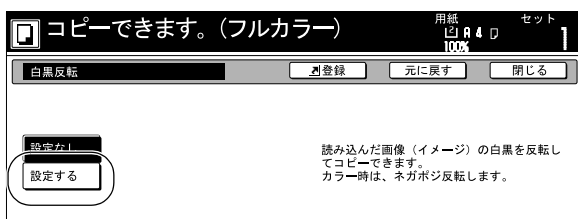
※多枚数の反転コピーを行うと、“しばらくお待ちください 調整中です”のメッセージが表示されることがあります。



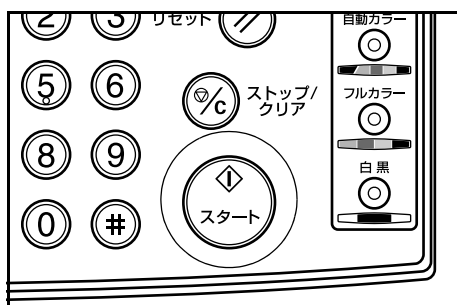
- 1** 原稿をセットしてください。
- 2** 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 3** [▼次へ] キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 4** 「白黒反転」キーを押してください。
「白黒反転」画面が表示されます。



- 5** 「設定する」キーを押してください。

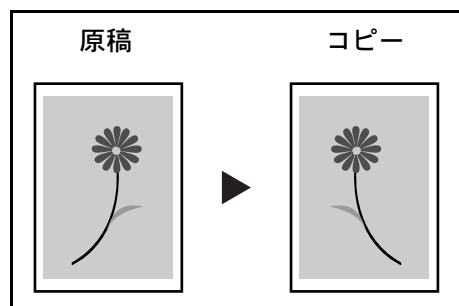


- 6** 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。



画像を鏡像にコピー [鏡像コピー]

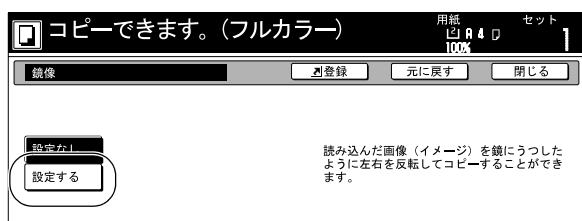
原稿を鏡に映したようにコピーします。



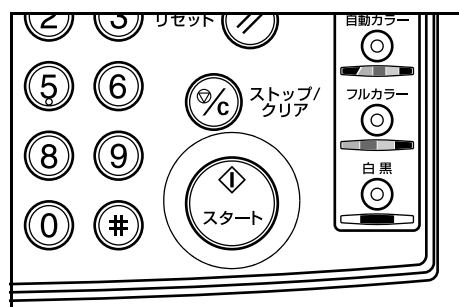
- 1** 原稿をセットしてください。
- 2** [機能リスト] キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 3** [▼次へ] キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 4** [鏡像] キーを押してください。
「鏡像」画面が表示されます。



- 5** [設定する] キーを押してください。

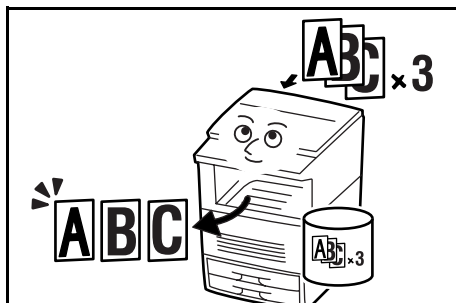


- 6** [スタート] キーを押してください。
コピーが開始されます。



試しコピーをしてから大量部数を出力 [試しコピー]

大量の部数をコピーする前に 1 部だけ試しコピーし、出力結果を確認してから設定した部数を出力することができます。また、コピー結果に問題がある場合は、出力をキャンセルできるのでミスコピーによる用紙の無駄を省くことができます。



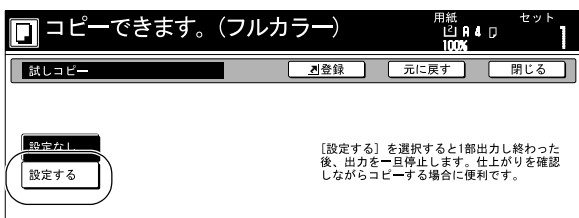
補足

片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 3 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 4 「試しコピー」キーを押してください。
「試しコピー」画面が表示されます。



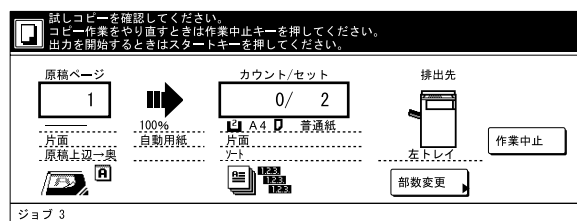
- 5 「設定する」キーを押してください。



- 6 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。

原稿の入れ替えを促すメッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

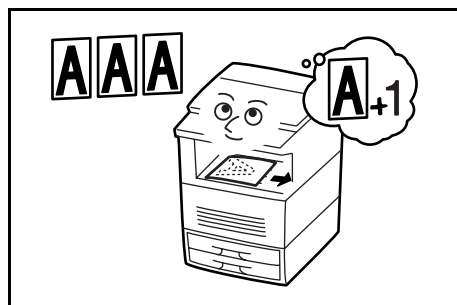
- 7 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが行われます。
- 8 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。
試しコピーが開始されます。
- 9 試しコピーを出力すると、設定した部数の出力を開始するかどうかの確認画面を表示し、本機は待機状態となります。出力されたコピーを確認してください。



- ・コピーに問題がない場合
「スタート」キーを押して設定した部数の出力を開始してください。コピー部数を変更する場合は、「部数変更」キーを押して部数を変更してください。
- ・コピーに問題がある場合
「作業中止」キーを押してコピーを中止し、最初から作業をやり直してください。

コピー終了後に追加分を出力 [再コピー]

コピー終了後にもう1部必要となった場合、再コピーを設定しておく、後から必要になった部数を追加出力することができます。また、機密保持のため再コピー設定時に暗証コードを設定することもできます。その場合は出力時にコードを入力し、コードが一致しないと出力できません。



補足

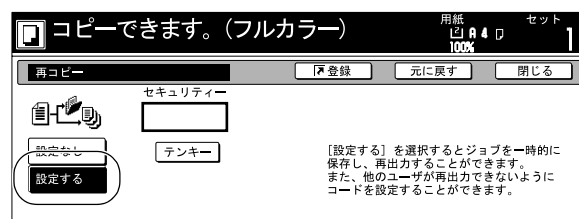
- 再コピーでデータを保持できるのは1件だけです。新しく再コピーのデータが登録されると、古いデータは削除されます。
- 再コピーのデータは、メインスイッチを切ったり、スキャナ機能（オプション）を行うと消去されます。
- 片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。
- 再コピーを禁止したり、初期モードで再コピーを設定することができます。（P.7-60、「再コピー設定」参照）

再コピーの設定

- 1 原稿をセットしてください。
- 2 [機能リスト] キーを押してください。「機能リスト」画面が表示されます。
- 3 [▼次へ] キーを押してください。「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 4 [再コピー] キーを押してください。「再コピー」画面が表示されます。



- 5 [設定する] キーを押してください。



セキュリティを設定する場合は次の手順に進んでください。
セキュリティを設定しない場合は手順7に進んでください。

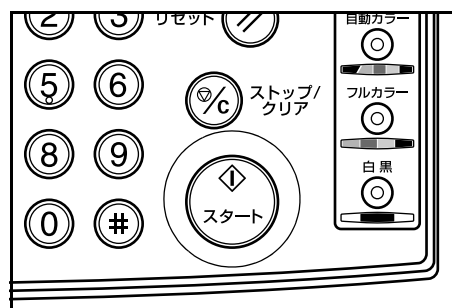
- 6 [テンキー] キーを押してキーを反転させ、テンキーでコードを入力してください。



- ### 補足
- コードは1～8桁の数字で入力してください。
 - コードを忘れてしまうと再コピー出力することができなくなります。必要に応じてメモを取るようにしてください。

- 7 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

原稿入れ替えを促すメッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。



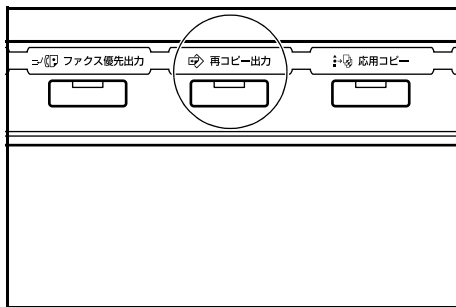
- 8 原稿を入れ替えて [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。
- 9 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。コピーが開始されます。

再コピー出力

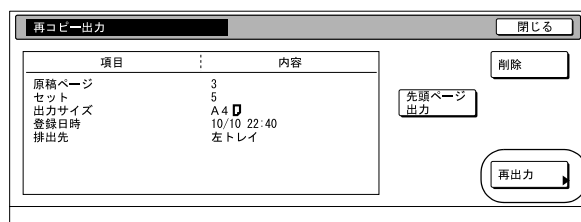
「再コピー出力」キーを押すと「再コピー出力」画面が表示され、登録されているジョブの内容を参照することができます。登録されているジョブは、再出力、先頭ページの出力、削除をすることができます。

ジョブ再出力

- 1 「再コピー出力」キーを押してください。「再コピー出力」画面が表示されます。



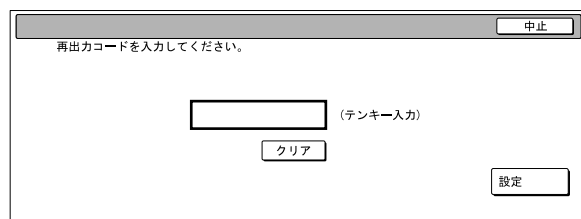
- 2 「再出力」キーを押してください。



再コピー設定時にコードを入力している場合はコードの入力画面が表示されます。次の手順に進んでください。

再コピー設定時にコードを入力していない場合は出力部数の設定画面が表示されます。手順4に進んでください。

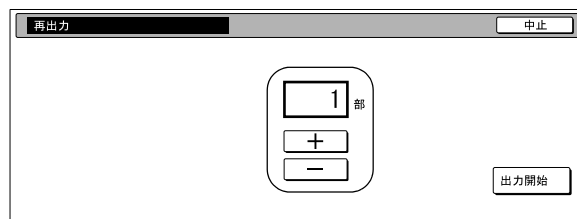
- 3 テンキーでコードを入力し、「設定」キーを押してください。コードが一致すると出力部数の設定画面が表示されます。



補足

- コードの入力をし直す時は、「クリア」キーを押してください。
- 「中止」キーを押すと、手順2の画面に戻ります。

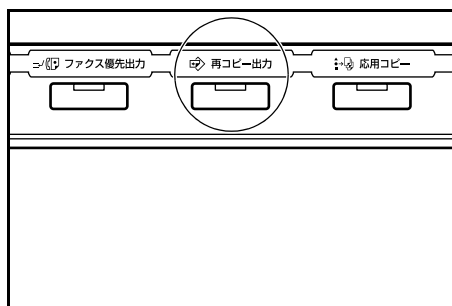
- 4 「+」または「-」キーを押して部数を設定してください。



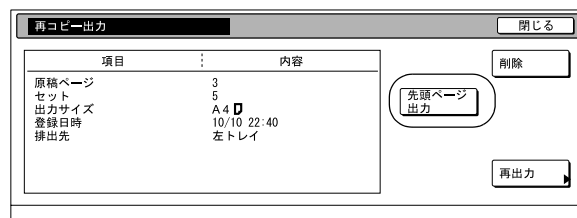
- 5 「出力開始」キーを押してください。出力が開始されます。

先頭ページの出力

- 1 「再コピー出力」キーを押してください。「再コピー出力」画面が表示されます。



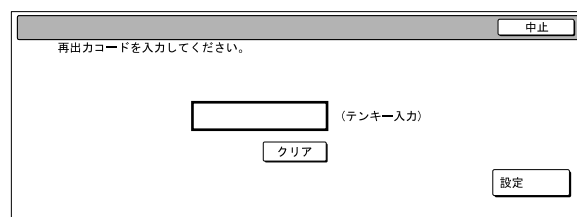
- 2 「先頭ページ出力」キーを押してください。



再コピー設定時にコードを入力している場合は、コードの入力画面が表示されます。次の手順に進んでください。

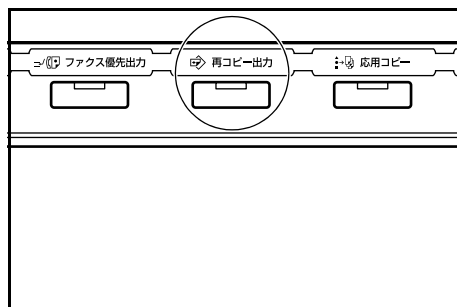
再コピー設定時にコードを入力していない場合は、先頭ページの出力が開始されます。

- 3 テンキーでコードを入力し、「設定」キーを押してください。コードが一致すると先頭ページの出力が開始されます。

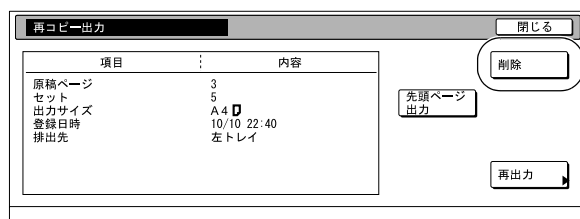


ジョブの削除

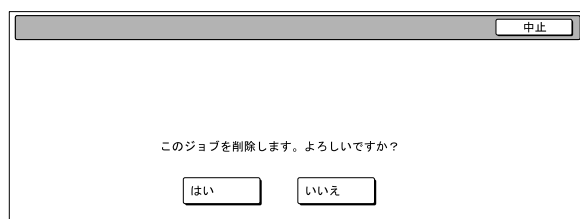
- 1** [再コピー出力] キーを押してください。
「再コピー出力」画面が表示されます。



- 2** [削除] キーを押してください。確認画面が表示されます。



- 3** [はい] または [いいえ] キーを押してください。

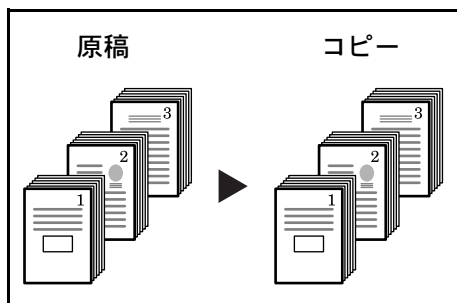


[はい] キーを押すと、ジョブを削除し、基本画面が表示されます。

[いいえ] キーを押すと、ジョブを削除せずに手順2の画面に戻ります。

大量の原稿を一括してコピー [連続読み込み]

連続読み込みコピー機能は原稿を複数回に分けて読み込みを行い、一括してコピーすることができる機能です。同一の種類の原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップを蓄積していくことで、大量の原稿を一括してコピーすることができます。



補足

片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

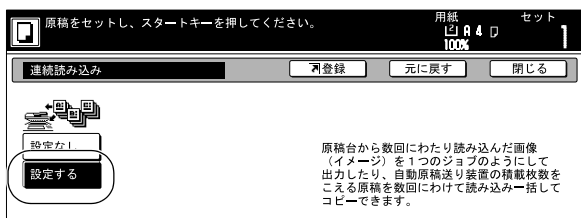
1 原稿をセットしてください。

2 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

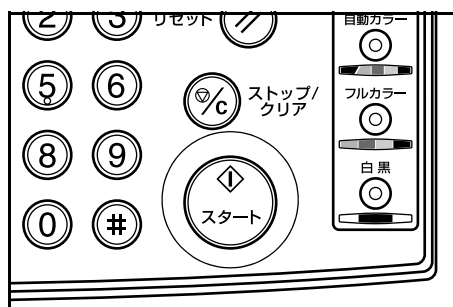
3 「連続読み込み」キーを押してください。
「連続読み込み」画面が表示されます。



4 「設定する」キーを押してください。



5 「スタート」キーを押してください。
原稿の読み取りが開始されます。

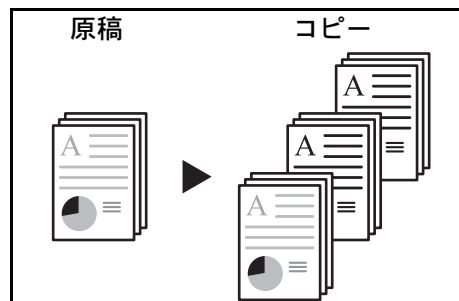


6 原稿を入れ替えて「スタート」キーを押してください。
次のステップの読み取りが行われます。

7 次の原稿がなければ、「読み込み終了」キーを押してください。
コピーが開始されます。

カラーコピーと白黒コピーを一度に「配布コピー」

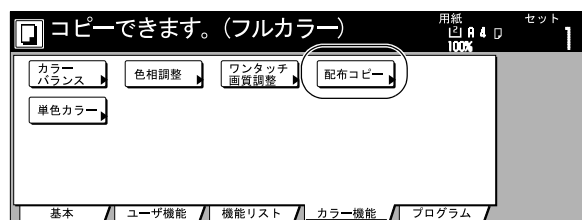
特にカラーコピーが必要部数いらず、白黒のコピーで代用できる場合に便利です。白黒コピーはカラーコピーに比べてコピー時間も少なくすむため時間も節約できます。



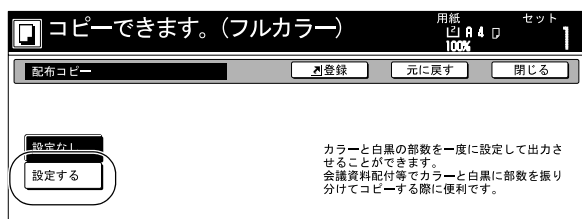
補足

片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

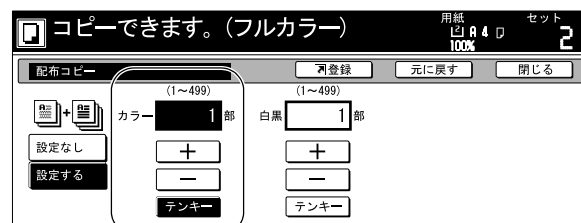
- 1 原稿をセットしてください。
- 2 「カラー機能」キーを押してください。
「カラー機能」画面が表示されます。
- 3 「配布コピー」キーを押してください。
「配布コピー」画面が表示されます。



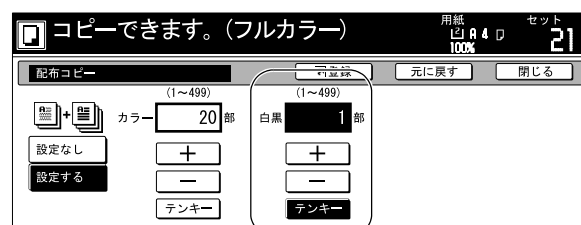
- 4 「設定する」キーを押してください。



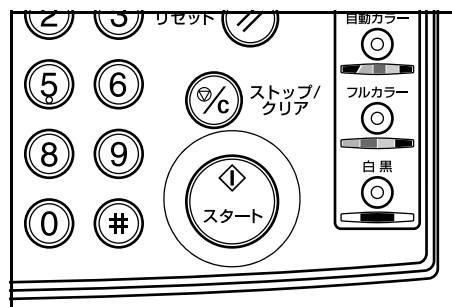
- 5 左側の「+」キーまたは「-」キーで、カラーコピーの部数を設定してください。
左側の「テンキー」キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 6 右側の「+」キーまたは「-」キーで、白黒コピーの部数を設定してください。
右側の「テンキー」キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 7 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。



シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。鉛筆で書かれた原稿などをコピーすると、文字や線がかすれたり、つぶれたりするような場合、シャープネスを＋側（強く）に調整すると文字や線が鮮明にコピーできます。また、雑誌の写真など網点で表現される画像をコピーすると、モワレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する場合、シャープネスを－側（弱く）に調整すると輪郭をぼかし、モワレを弱めることができます。



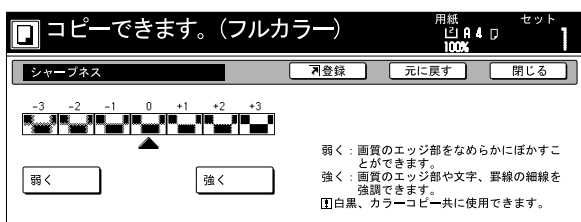
補足

シャープネス調整の効果は、P.iv、「シャープネス調整」のサンプル画像を参照してください。

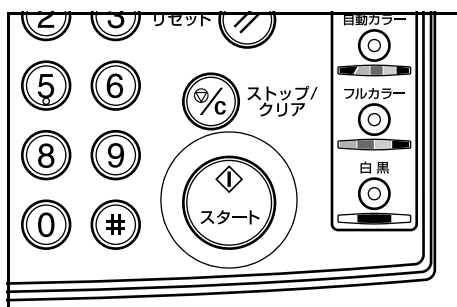
- 1** 原稿をセットしてください。
- 2** 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 3** 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 4** 「シャープネス」キーを押してください。
「シャープネス」画面が表示されます。



- 5** 「強く」キーまたは「弱く」キーを押して、調整してください。



- 6** 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。

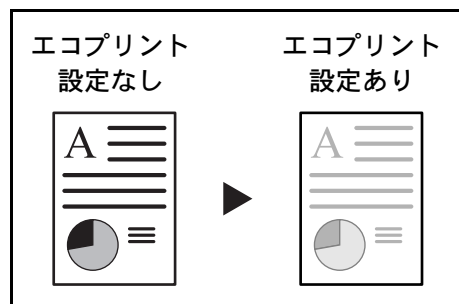


トナー節約コピー [エコプリント]

エコプリントを設定するとトナーの消費量が節約できます。

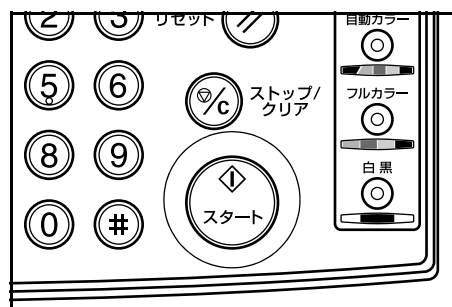
試し印刷など高品質な印刷が必要でないときに使用してください。初期モードでエコプリントを設定するか、しないかは P.7-50、「エコプリント」を参照してください。

※画像がやや薄くなります。



6

「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。



1

原稿をセットしてください。

2

「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。

3

「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。

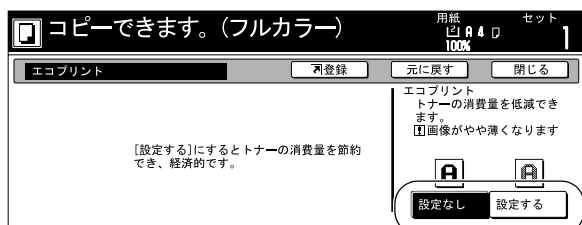
4

「エコプリント」キーを押してください。
「エコプリント」画面が表示されます。



5

「設定なし」または「設定する」キーを押してください。



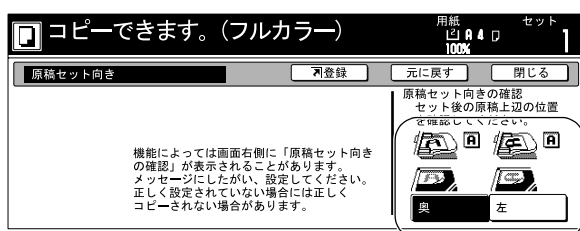
原稿セット向き

両面、分割、とじしろ、センター移動、書き込み余白、枠消し、集約、ページ付け、小冊子、原稿サイズ混載コピー（オプション）、ステープル（オプション）、パンチ（オプション）を使用する場合は、原稿の向きの指定が必要です。

- 1 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 2 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 3 「原稿セット向き」キーを押してください。
「原稿セット向き」画面が表示されます。



- 4 「奥」または「左」キーを選択してください。



排出先選択

仕上がったコピーの排出先を指定することができます。

- 1 「機能リスト」キーを押してください。
「機能リスト」画面が表示されます。
- 2 「▼次へ」キーを押してください。
「機能リスト」画面の次画面が表示されます。
- 3 「排出先選択」キーを押してください。
「排出先選択」画面が表示されます。



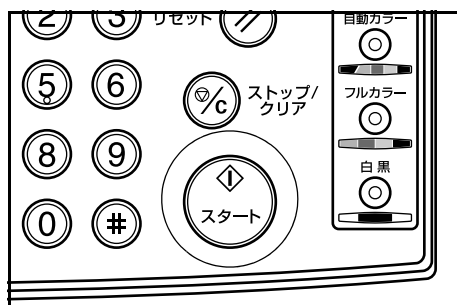
- 4 排出先を選択してください。



補足

ドキュメントフィニッシャ（オプション）を装着している場合は「上トレイ」と「フィニッシャ」から選択できます。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
手順1の画面に戻ります。
- 6 原稿をセットしてください。
- 7 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始され、仕上がったコピーは、選択したトレイに排出されます。



- 8 コピーが終わったら、トレイから仕上がったコピーを取り出してください。

コピーワークを記録する [プログラムコピー]

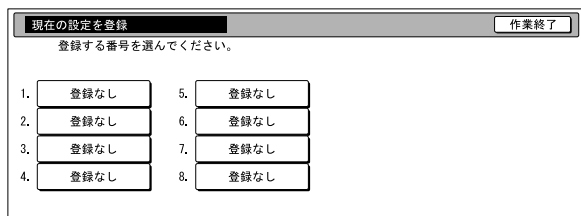
操作パネルに表示しているモードおよび機能の組み合わせを8種類まで登録できます。プログラムには名称を付けることができます。

プログラム登録のしかた

- 1 登録したいコピーモードを設定してください。
- 2 [プログラム] キーを押して、「プログラム」画面を表示させてください。
- 3 [現在の設定を登録] キーを押してください。



- 4 登録するプログラム番号 (1 ~ 8) の [登録なし] キーを押してください。
名称登録画面が表示されます。

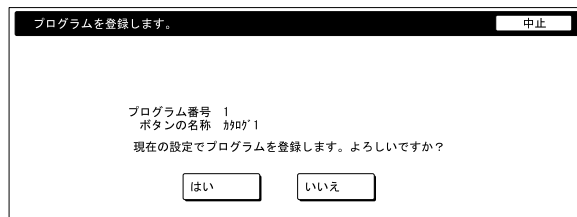


- 5 名称を入力し、[入力終了] キーを押してください。



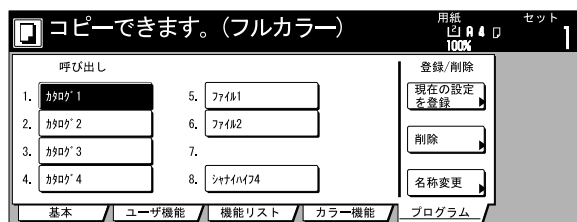
補足
文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

- 6 [はい] または [いいえ] キーを押してください。
[はい] キーを押すと、プログラムが登録され、手順3の画面に戻ります。
プログラムに登録した内容でコピーができます。

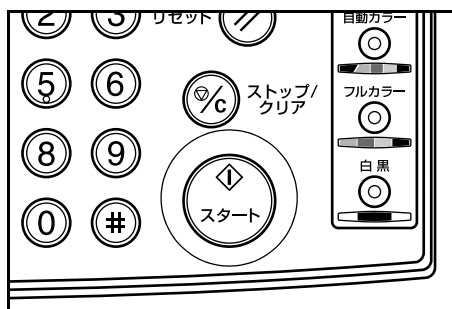


プログラムを使ったコピー

- 1 [プログラム] キーを押して、「プログラム」画面を表示させてください。
- 2 呼び出すプログラム番号のキーを押してください。

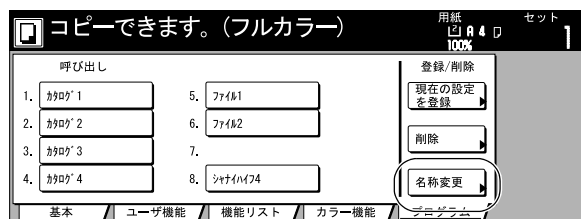


- 3 原稿をセットし、[スタート] キーを押してください。
設定したプログラムでコピーされます。

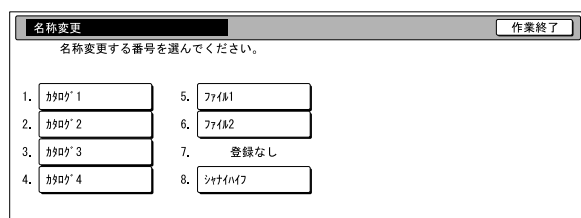


キー名称の変更のしかた

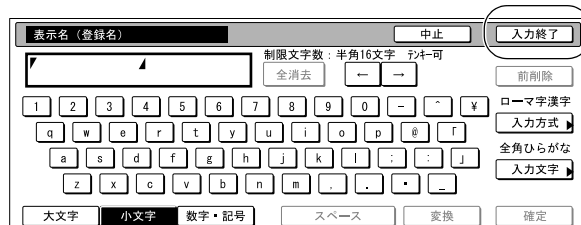
- 1 「プログラム」キーを押して、「プログラム」画面を表示させてください。
- 2 「名称変更」キーを押してください。



- 3 変更するプログラムキー（1～8）を押してください。
名称登録画面が表示されます。



- 4 元のキー名を削除し、新しいキー名を入力した後、[入力終了]キーを押してください。



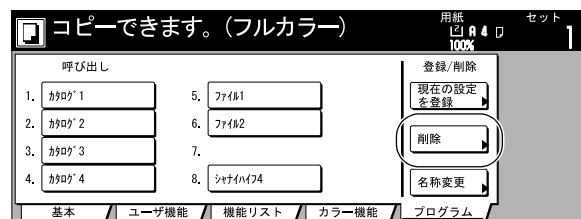
補足

文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

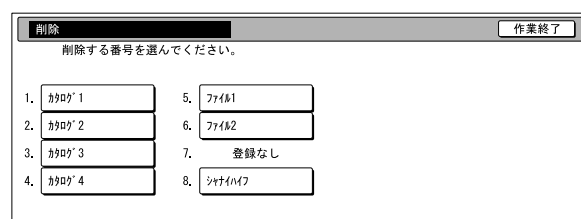
- 5 “現在の設定でプログラムを登録します。よろしいですか？”メッセージ画面が表示されたら、キーの名称を確認し、[はい]キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

プログラム削除のしかた

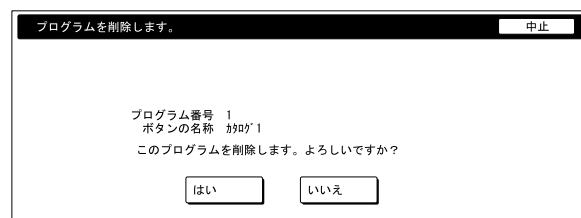
- 1 「プログラム」キーを押して、「プログラム」画面を表示させてください。
- 2 「削除」キーを押してください。



- 3 削除するプログラム番号（1～8）を押してください。



- 4 [はい] または [いいえ] キーを押してください。



[はい] キーを押すと選択したプログラムキーを削除し、手順2の画面に戻ります。
[いいえ] キーを押すと選択したプログラムキーを削除せずに手順3の画面に戻ります。

機能を機能登録キーに設定する

機能リスト画面の中から頻繁に使う機能を3つまで機能登録キーに登録することができます。基本画面、ユーザ機能画面の機能も登録可能です。

機能登録キーの登録

機能登録キーに登録します。

下記の設定例（4 in 1 の例）を参考にして登録を行ってください。

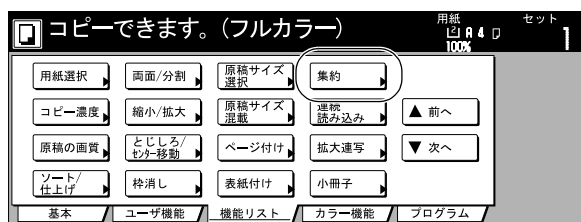


重要

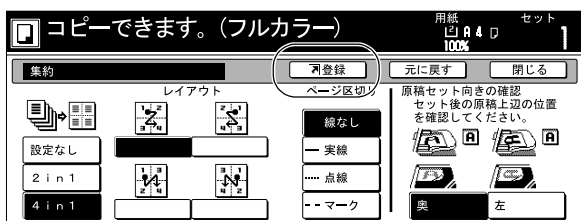
機能登録キーを設定する場合は、P.7-60、「登録ボタンの表示」を「表示する」に設定してください。

1 「機能リスト」キーを押してください。
「機能選択」画面が表示されます。

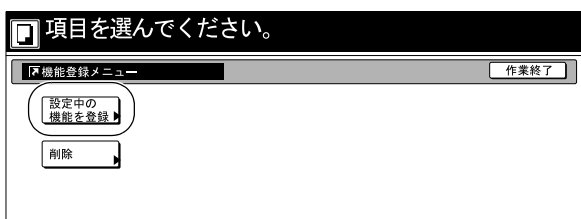
2 「集約」キーを押してください。
「集約」画面が表示されます。



3 「4 in 1」を選択して、「登録」キーを押してください。

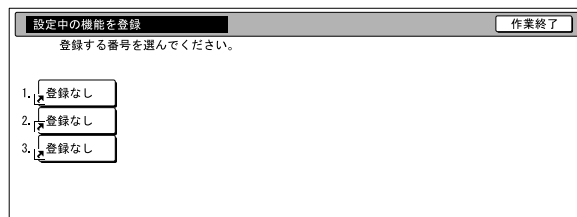


4 「機能登録メニュー」画面で「設定中の機能を登録」キーを押してください。
「設定中の機能を登録」画面が表示されます。

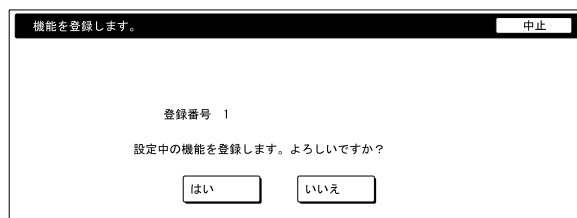


5 「設定中の機能を登録」画面で登録する番号のボタンを選んでください。

“設定中の機能を登録します。よろしいですか？”メッセージが表示されます。

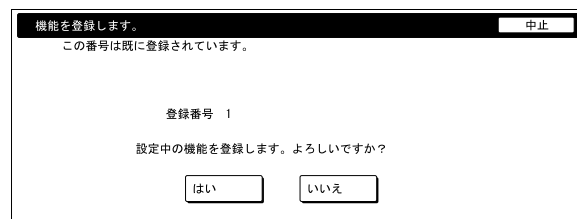


6 [はい] キーを押してください。
「集約」画面が表示されます。



補足

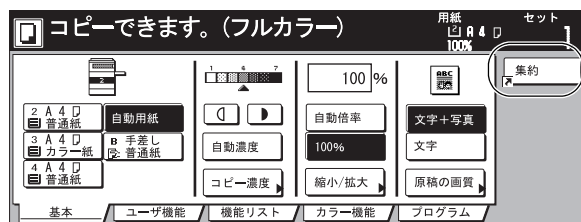
「設定中の機能を登録」画面ですでに登録されたキーを選択すると下記の画面が表示されます。



[はい] キーを押すと、設定中の機能に登録し直します。

[いいえ] キーを押すと、登録をせずに手順5の画面に戻ります。

- 7** 「閉じる」キーを押してください。画面右側に「集約」キーが表示されます。



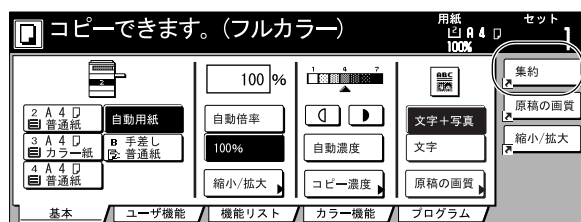
補足

「基本」画面、「ユーザ機能」画面の機能も登録可能です。登録可能な機能には登録キーが表示されます。

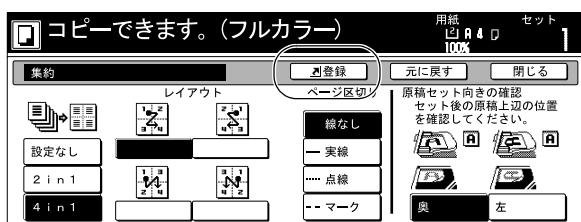
機能登録キーの削除

登録した機能登録を削除します。

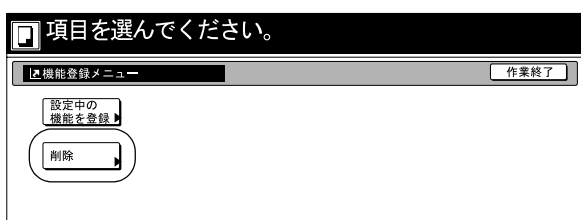
- 1** 基本画面右側の「機能登録」ボタンの中から削除するもの（例：集約）を選んでください。「集約」画面が表示されます。



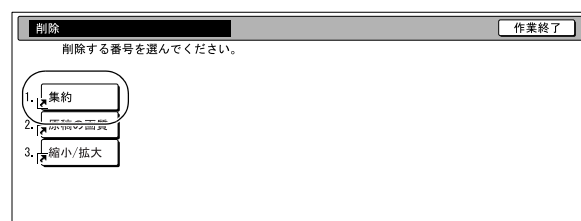
- 2** 各機能を登録した画面（例：「集約」画面）で登録キーを押してください。「機能登録メニュー」画面が表示されます。



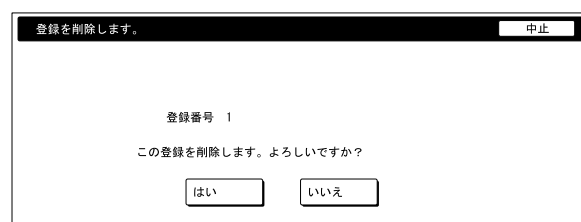
- 3** 「機能登録メニュー」画面で「削除」キーを押してください。削除画面が表示されます。



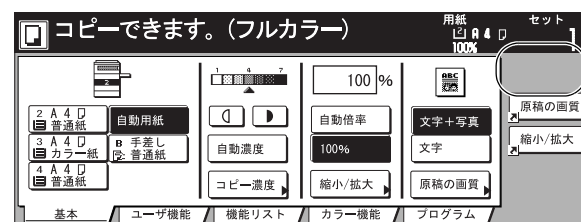
- 4** 削除する番号を選んでください。「この登録を削除します。よろしいですか？」メッセージが表示されます。



- 5** 「はい」キーを押してください。「集約」画面が表示されます。

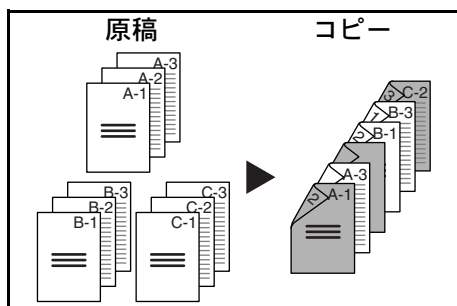


- 6** 「閉じる」キーを押してください。基本画面右側の「集約」キーが消えます。



表紙、中表紙付きのコピーが簡単にできる【応用コピー】

応用コピー機能は原稿を複数回に分けて読み込みを行い、一括してコピーすることができる機能です。一度に読み込む原稿をひとつのステップとして読み込み、ステップごとに拡大/縮小、枠消し、原稿のタイプ（両面原稿/片面原稿/ブック原稿）の指定などを設定することができます。またステップとステップの間に白紙を挿入したり、両面コピー時にステップの最初のページを表に設定することもできます。



補足

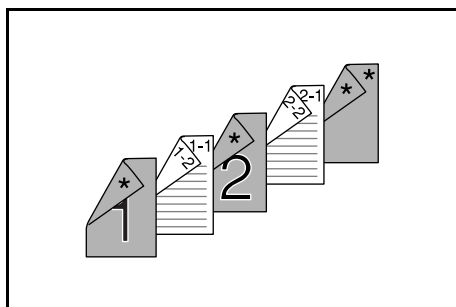
片面機でこの機能を使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

応用コピーの手順

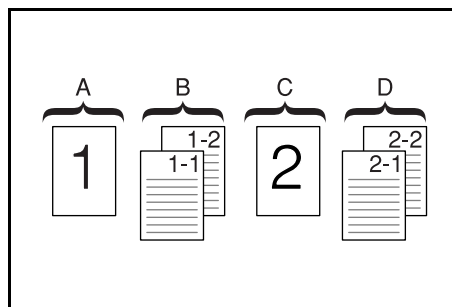
応用コピーを次の例で行った場合の手順を説明します。

[例]

＜仕上がり＞（“*” は白紙を示します。）



＜原稿＞



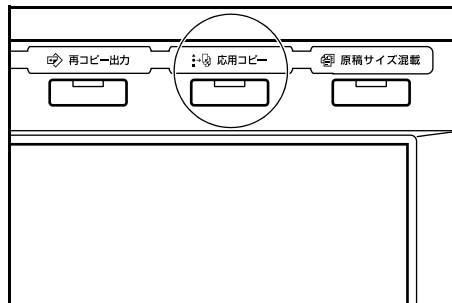
補足

表紙に使用するカラー用紙がカセット2にセットされ、普通紙がペーパーフィーダ（オプション）のカセット3にセットされているものとします。

「応用コピー」画面を表示させる（ステップ1）

1

「応用コピー」キーを押してください。「応用コピー」画面が表示されます。



全ステップの設定を行う

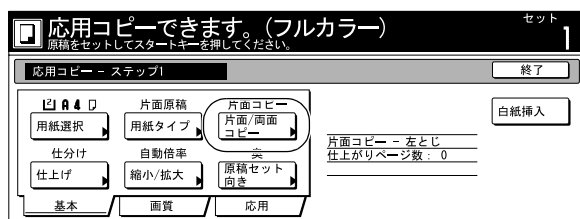
両面コピー、再コピーを設定します。



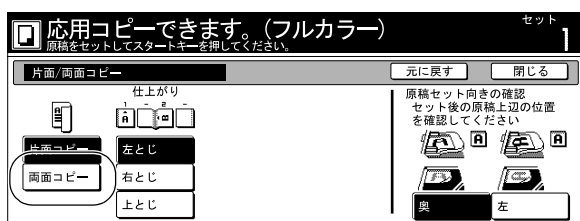
補足

- 再コピーは後から部数を増やすために設定しておきます。
- 例で使用している以外にも各種機能を設定することができます。（P.6-51、「各機能の設定方法」参照）

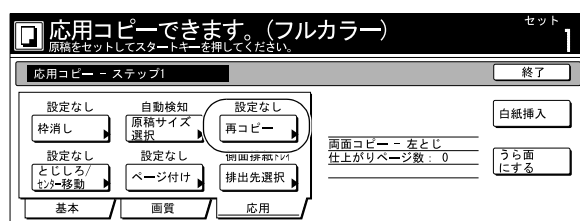
- 2** [片面 / 両面コピー] キーを押してください。
「片面 / 両面コピー」画面が表示されます。



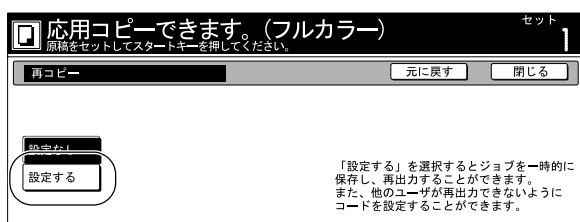
- 3** [両面コピー] キーを押し、[左とじ] キーを押します。[閉じる] キーを押すと手順 2 の画面に戻ります。



- 4** [応用] キーを押してください。表示された画面で [再コピー] キーを押してください。「再コピー」画面が表示されます。



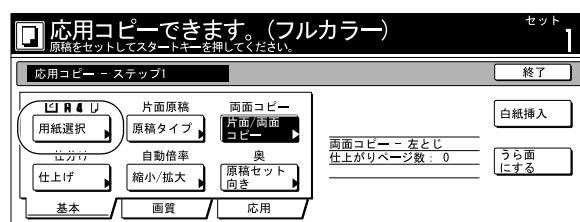
- 5** [設定する] キーを押します。[閉じる] キーを押すと手順 4 の画面に戻ります。



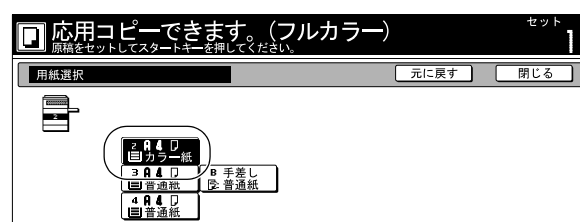
原稿 A の設定

用紙選択でカセット 2 (カラー用紙) を設定します。

- 6** [用紙選択] キーを押してください。
「用紙選択」画面が表示されます。



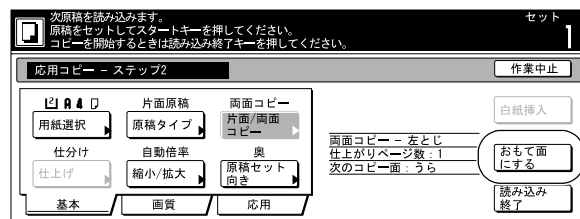
- 7** 「カセット 2」を選択します。[閉じる] キーを押すと手順 6 の画面に戻ります。



- 8** 原稿 A をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 A のうら面を白紙に設定 (ステップ 2)

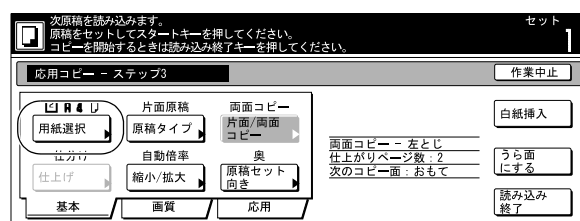
- 9** [おもて面にする] キーを押してください。
用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーを行います。



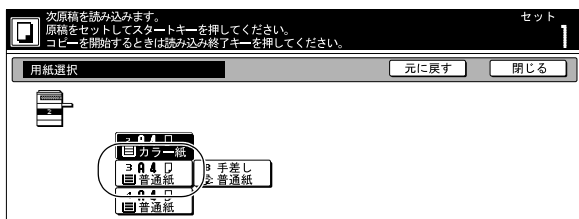
原稿 B の設定 (ステップ 3)

用紙選択でカセット 3 (普通紙) を設定します。

- 10** [用紙選択] キーを押してください。
「用紙選択」画面が表示されます。



- 11** 「カセット 3」を選択します。[閉じる] キーを押すと手順 10 の画面に戻ります。

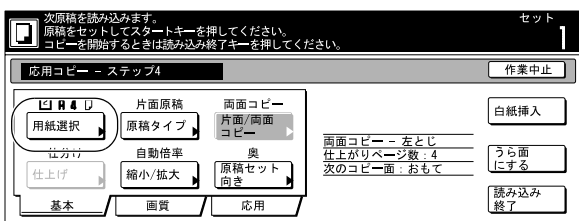


- 12** 原稿 B をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

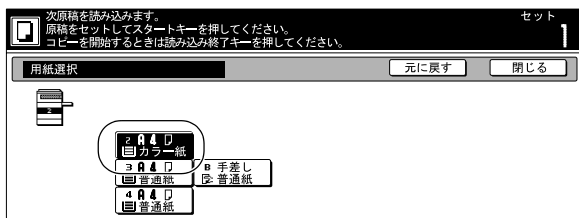
原稿 C の設定（ステップ 4）

用紙選択でカセット 2（カラー用紙）を設定します。

- 13** [用紙選択] キーを押してください。「用紙選択」画面が表示されます。



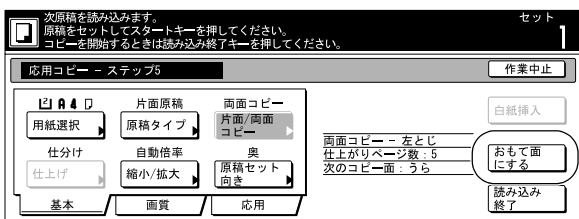
- 14** 「カセット 2」を選択します。[閉じる] キーを押すと手順 13 の画面に戻ります。



- 15** 原稿 C をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りを開始します。

原稿 C のうら面を白紙に設定（ステップ 5）

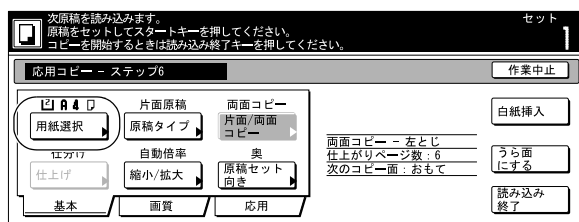
- 16** [おもて面にする] キーを押してください。用紙のうら面を白紙にして、次の用紙からコピーを行います。



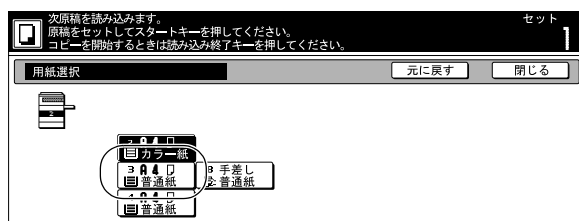
原稿 D の設定（ステップ 6）

用紙選択でカセット 3（普通紙）を設定する。

- 17** [用紙選択] キーを押してください。「用紙選択」画面が表示されます。



- 18** 「カセット 3」を選択します。[閉じる] キーを押すと手順 17 の画面に戻ります。

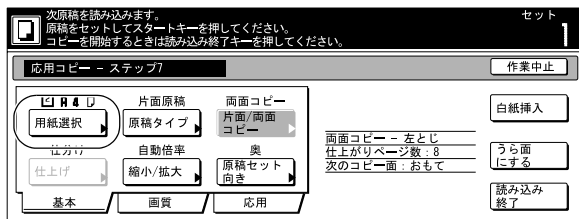


- 19** 原稿 D をセットして、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

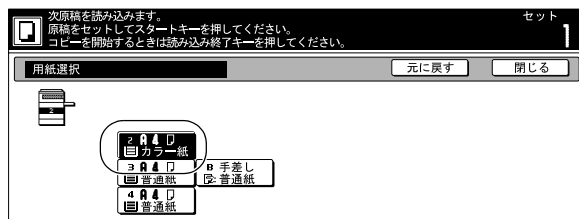
白紙のカラー用紙を設定（ステップ 7）

用紙選択でカセット 2（カラー用紙）を設定します。

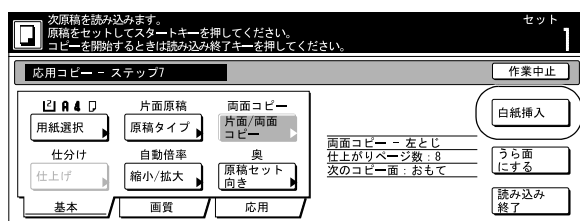
- 20** [用紙選択] キーを押してください。「用紙選択」画面が表示されます。



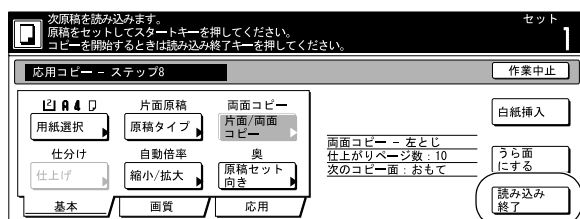
- 21** 「カセット 2」を選択します。[閉じる] キーを押すと手順 20 の画面に戻ります。



22 [白紙挿入] キーを押してください。



23 以上で原稿の読み込みが完了しました、「読み込み終了」キーを押してください。出力を開始します。



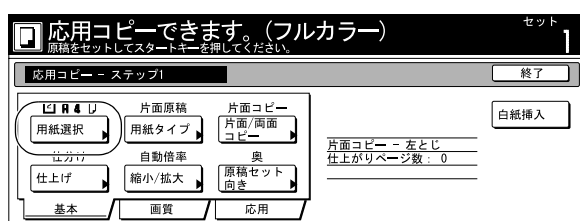
24 出力が問題なければ、再コピーに必要な部数を出力します。(P.6-36、「再コピー出力」参照) 以上で作業は完了です。

各機能の設定方法

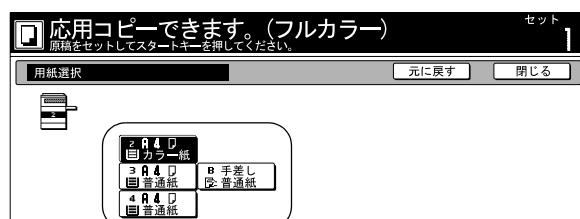
用紙選択

用紙サイズを選択します。

1 「基本」画面で「用紙選択」キーを押してください。「用紙選択」画面が表示されます。



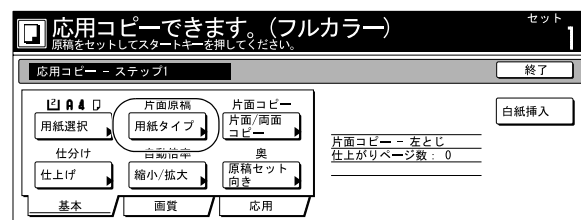
2 給紙段を選択し、「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。



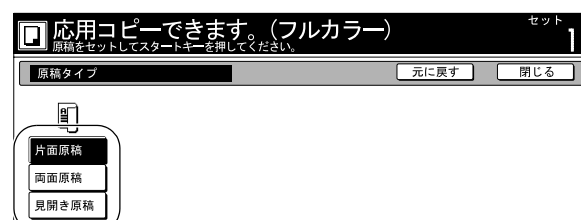
原稿タイプ

原稿が片面原稿か、両面原稿か、見開き原稿かを選択します。

1 「基本」画面で「原稿タイプ」キーを押してください。「原稿タイプ」画面が表示されます。



2 セットする原稿に合わせて、「片面原稿」、「両面原稿」、「見開き原稿」の中から選択してください。



補足

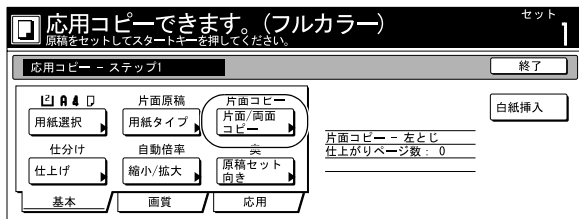
- 「片面原稿」を選択したときは、原稿のセット向きの確認をしてください。
- 「両面原稿」を選択したときは、原稿のと同じ方向の確認と、原稿のセット向きの確認をしてください。
- 「見開き原稿」を選択したときは、原稿のと同じ方向の確認をしてください。
- 「両面原稿」キーは、オプションの原稿送り装置を装着しているときに表示します。

3 [閉じる] キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

片面 / 両面コピー

片面コピーか両面コピーかを選択します。

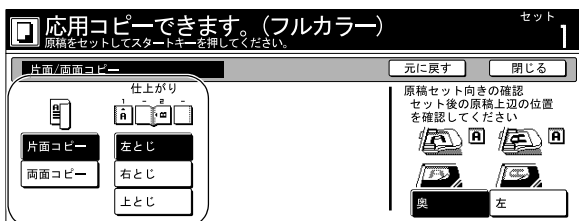
- 1 「基本」画面で「片面 / 両面コピー」キーを押してください。「片面 / 両面コピー」画面が表示されます。



補足

片面 / 両面コピーの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 「片面」または「両面」キーを押して、仕上がりのとじ位置を選択してください。右側に表示されるメッセージにしたがい、原稿のセット向きを確認してください。



重要

原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。



補足

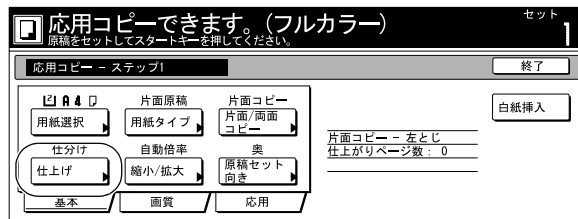
片面機では「両面コピー」キーは表示されません。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

仕上げ

オプションのドキュメントフィニッシャを装着しているときにはステープル、パンチの設定ができます。

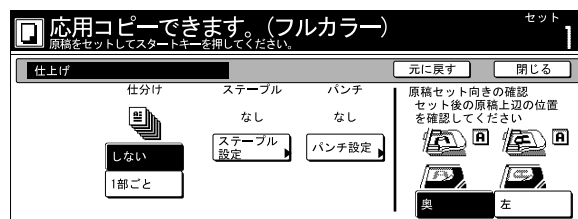
- 1 「基本」画面で「仕上げ」キーを押してください。「仕上げ」画面が表示されます。



補足

仕上げの設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 仕分けの設定を行います。「ステープル設定」キーまたは「パンチ設定」キーを押すとそれぞれステープル、パンチの設定ができます。右側に表示されるメッセージにしたがい、原稿のセット向きを確認してください。



重要

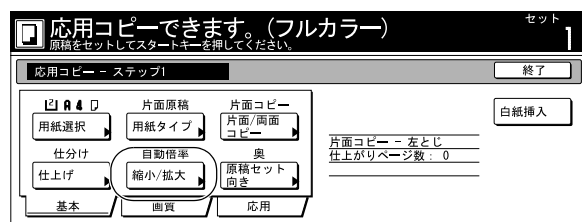
原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

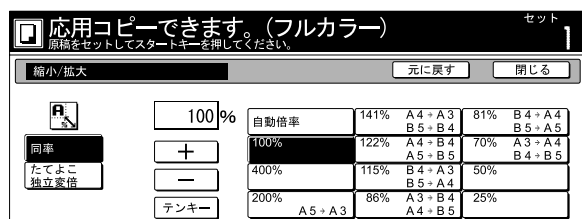
縮小 / 拡大

コピー倍率を設定します。

- 1 「基本」画面で「縮小 / 拡大」キーを押してください。「縮小 / 拡大」画面が表示されます。



- 2 コピー倍率を設定します。自動で倍率を設定する場合は「自動倍率」を押してください。1%ずつ倍率を変更するときは、[+] または [-] キーを押して設定してください。([テンキー] キーを押してからテンキーで倍率を入力することもできます。) 右側の固定倍率キーを押して設定することもできます。たてよこ独立変倍を設定する場合は「たてよこ独立変倍」キーを押して設定してください。

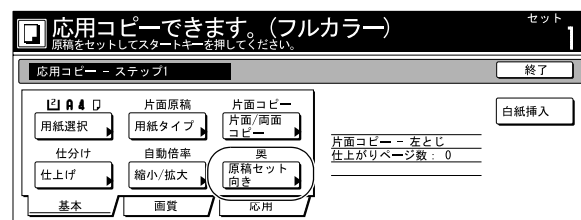


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

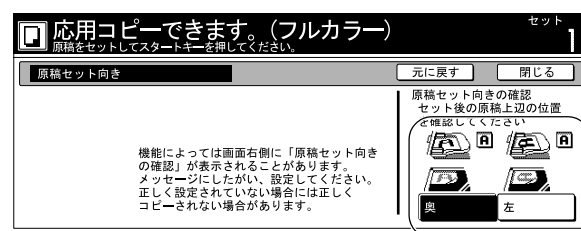
原稿セット向き

原稿のセット向きを設定します。

- 1 「基本」画面で「原稿セット向き」キーを押してください。「原稿セット向き」画面が表示されます。



- 2 セットした原稿に合わせて、[奥] または [左] キーを押してください。



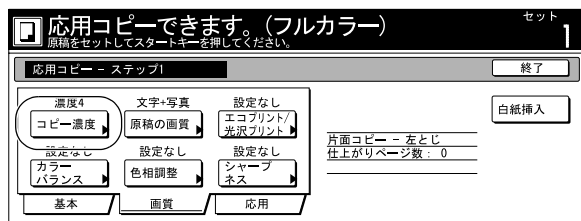
- 重要**
原稿が正しくセットされていない場合は、正しくコピーされないことがあります。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

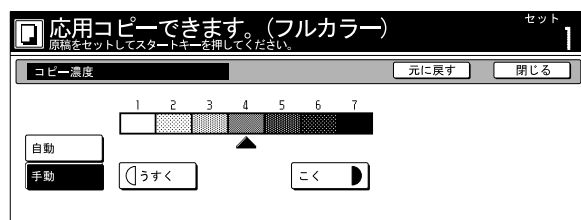
読み込み濃度

コピー濃度を設定します。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「コピー濃度」キーを押してください。「コピー濃度」画面が表示されます。



- 2 コピー濃度を自動で調整する場合は、「自動」キーを押してください。手動でコピー濃度を調整する場合は「手動」キーを押して、「うすく」または「こく」キーを押して調整してください。

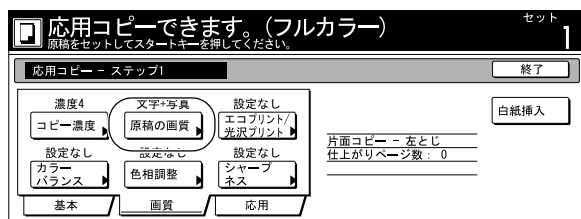


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

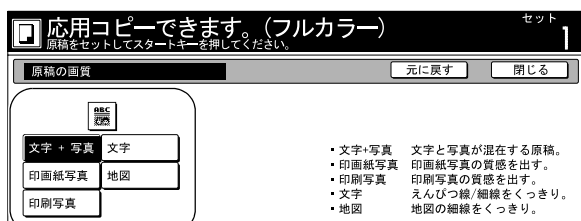
原稿の画質

原稿の種類に合わせて画質モードを選択します。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「原稿の画質」キーを押してください。「原稿の画質」画面が表示されます。



- 2 「文字+写真」、[印画紙写真]、[印刷写真]、[文字]、[地図]、から画質モードを選択してください。

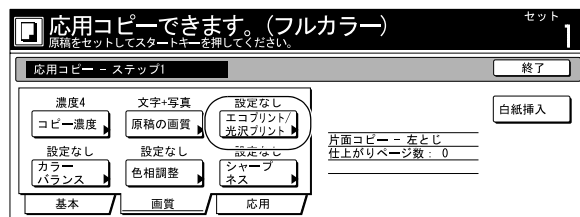


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

エコプリント

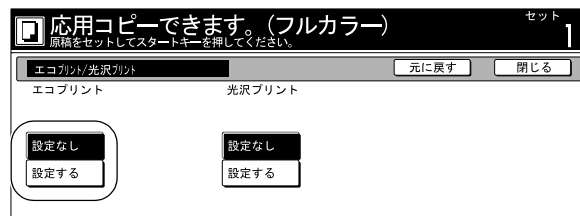
エコプリントを設定するとトナーの消費を節約できます。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「エコプリント/光沢プリント」キーを押してください。「エコプリント/光沢プリント」画面が表示されます。



- 補足**
エコプリントは全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 エコプリントを設定するときは、「設定する」キーを押してください。

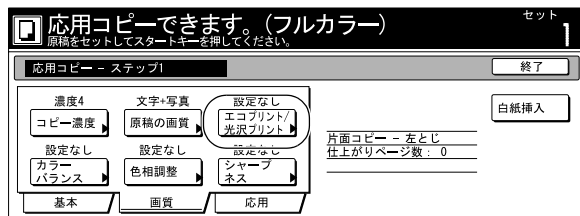


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

光沢プリント

光沢を増してコピーします。

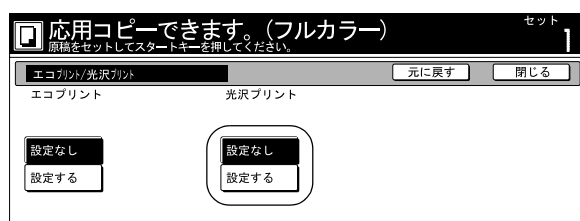
- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「エコプリント/光沢プリント」キーを押してください。「エコプリント/光沢プリント」画面が表示されます。



補足

光沢プリントは全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 「設定なし」または「設定する」キーを押してください。

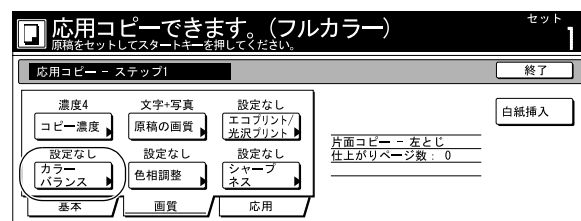


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

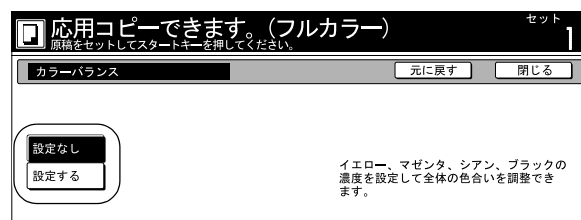
カラーバランス調整

シアン（青系色）、マゼンタ（赤系色）、イエロー（黄色）、ブラック（黒）のそれぞれの色の強弱を調整することにより、色調を微妙に調整します。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「カラーバランス」キーを押してください。「カラーバランス」画面が表示されます。



- 2 カラーバランス調整の設定方法についてはカラーバランス調整 (P.5-1) を参照してください。

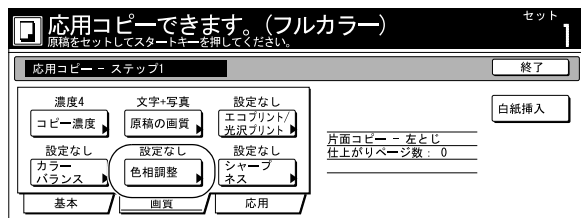


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

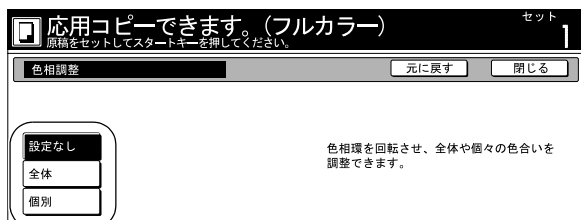
色相調整

色調（色合い）を調整します。赤を黄色の強い赤にしたり、黄色を黄緑色に近い色にしたりすることによって、イメージの変わったコピーができます。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「色相調整」キーを押してください。「色相調整」画面が表示されます。



- 2 色相調整の設定方法については色相調整（P.5-2）を参照してください。

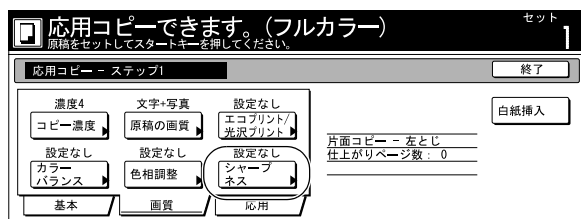


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

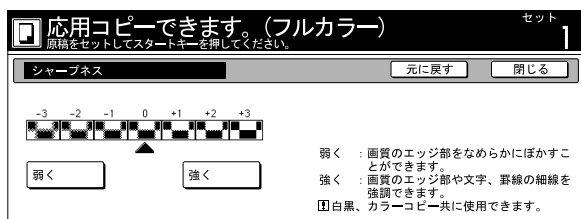
シャープネス調整

画像の輪郭の強弱を調整します。

- 1 「画質」キーを押して表示される画面から「シャープネス」キーを押してください。「シャープネス」画面が表示されます。



- 2 シャープネスの設定方法についてはシャープネス調整（P.6-40）を参照してください。

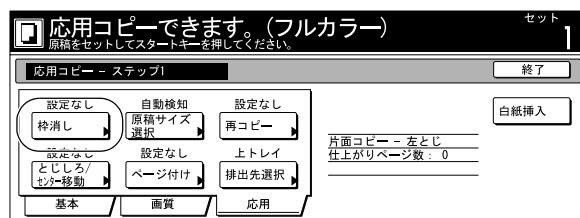


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

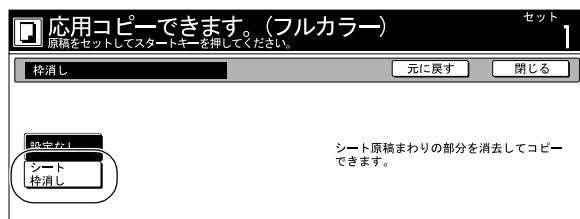
枠消し

原稿のまわりにできた黒い影を消去してコピーします。

- 1 「応用」キーを押して表示される画面から「枠消し」キーを押してください。「枠消し」画面が表示されます。



- 2 「シート枠消し」キーを押して、枠消し幅を設定してください。

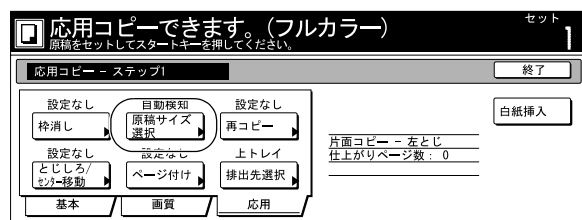


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

原稿サイズ選択

原稿サイズのサイズを指定できます。

- 1 「[応用]」キーを押して表示される画面から「[原稿サイズ選択]」キーを押してください。「原稿サイズ選択」画面が表示されます。



- 2 自動で原稿サイズを検知する場合は「[自動検知]」を定形サイズを指定する場合は、右側から原稿サイズを選択してください。その他の定形サイズを選択する場合は、「[その他定形サイズ]」キーを押してください。任意の原稿サイズを設定する場合は「[サイズ入力]」キーを押して設定してください。

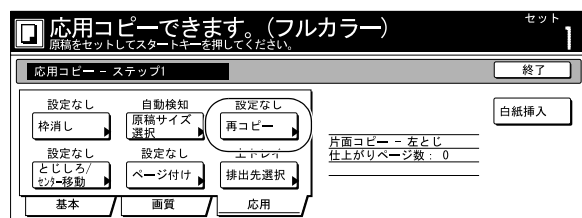


- 3 「[閉じる]」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

再コピー

再コピーの設定ができます。再コピーを設定しておく
とコピー終了後に追加出力が可能です。

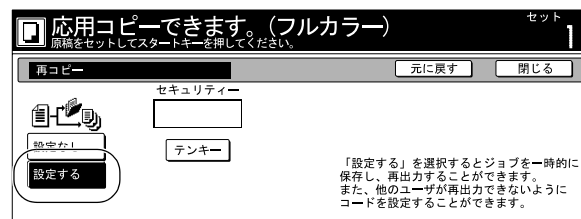
- 1 「[応用]」キーを押して表示される画面から「[再コピー]」キーを押してください。「再コピー」画面が表示されます。



補足

- 再コピー出力のしかたは P.6-36、「再コピー出力」を参照してください。
- 再コピー設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 再コピーを設定するときは、「[する]」キーを押してください。

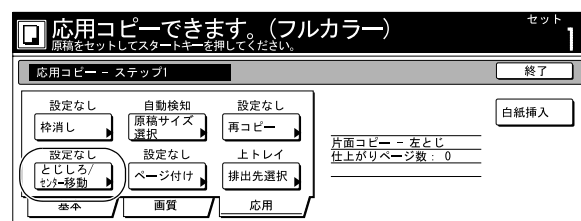


- 3 「[閉じる]」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

とじしろ / センター移動

とじしろ（余白）設定およびセンター移動が設定できます。

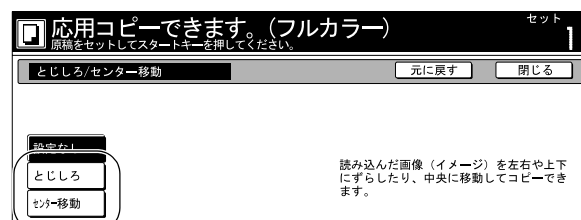
- 1 「[応用]」キーを押して表示される画面から「[とじしろ / センター移動]」キーを押してください。「とじしろ / センター移動」画面が表示されます。



補足

とじしろ / センター移動は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 とじしろ設定、センター移動の設定方法についてはとじしろコピー（P.6-9）とセンター移動（P.6-11）を参照してください。

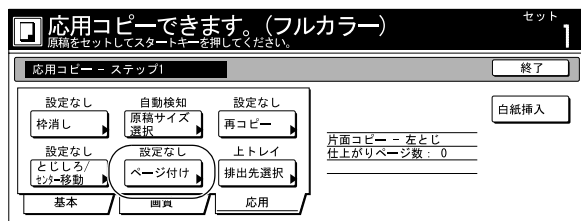


- 3 「[閉じる]」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

ページ付け

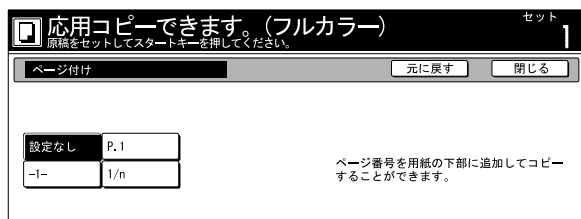
原稿の上から順番にページ番号を付けます。

- 1 「応用」キーを押して表示される画面から「ページ付け」キーを押してください。「ページ付け」画面が表示されます。



- 補足**
ページ付け設定は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 ページ付け設定の設定方法についてはページ付け (P.6-16) を参照してください。

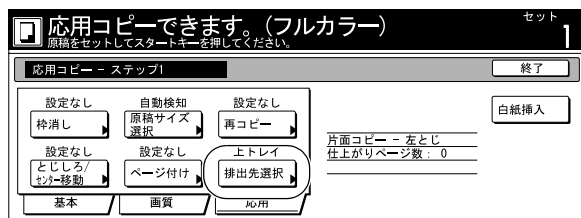


- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

排出先選択

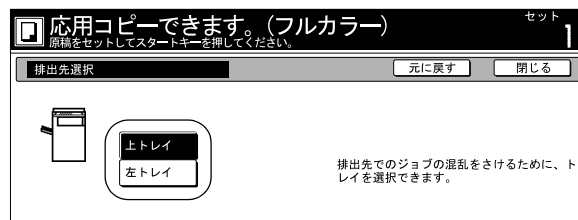
仕上がったコピーの排出先を指定することができます。

- 1 「応用」キーを押して表示される画面から「排出先選択」キーを押してください。「排出先選択」画面が表示されます。



- 補足**
排出先選択は全ステップ共通の設定となります。最初のステップの設定時のみ設定することができます。

- 2 排出先を指定してください。



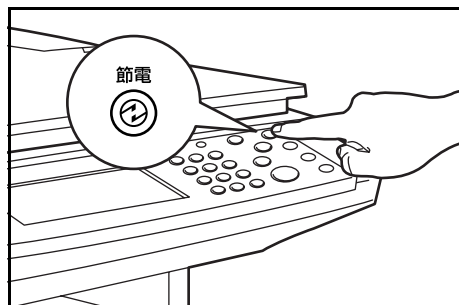
- 補足**
ドキュメントフィニッシャ (オプション) を装着している場合は、「上トレイ」と「フィニッシャ」から選択します。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

節電機能（低電力モード）

メインスイッチが ON のときでも「節電」キーを押すと、機械は休止状態（低電力モード）になります。操作パネル上の節電表示だけが点灯し、他は消灯します。

コピーを再開するときは、もう一度「節電」キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は 30 秒以内です。

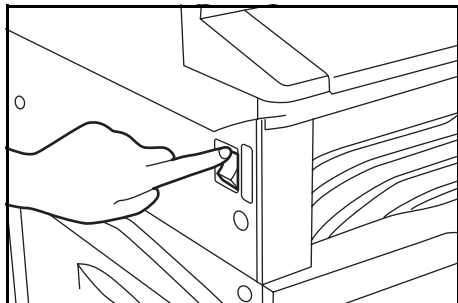


補足

本機は、一定時間コピー操作がないと自動的に節電機能（低電力モード）が働く自動低電力機能を備えています。（P.7-38、「低電力モード移行時間」を参照）

オートスリープ機能

オートスリープ機能は、一定時間（15 ～ 240 分）コピー操作を行わないと、自動的にメインスイッチを OFF（○）にする機能です。コピーを行うときはメインスイッチを ON（|）にしてください。
工場出荷時は、60 分に設定されています。



オートスリープ機能について

オートスリープ機能は、一定時間コピー操作がないと自動的に電源を OFF（○）にする節電機能です。
複写機は、一般にコピー作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費する電力が全体の大きな割合を占めています。複写機本体が自動的に電源を OFF（○）にすることにより、待機中や夜間の電源の消し忘れなどの不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を行うことができます。



補足

- オートスリープ機能が働くまでの時間の変更は、P.7-38、「スリープモード移行時間」を、オートスリープ機能を解除するときは、P.7-43、「オートスリープ」を参照してください。
- オプションのプリンタキットまたはファクスキットを装着している場合は、オートスリープ機能が働くとスリープモードになります。この状態で印刷データを感知すると自動的にコピー可能状態に復帰し、出力を開始します。

7 章

複写機の実管理モード

部門管理モード

部門管理モードは、部門別に部門コードを設定することにより部門別のトータルコピー枚数を管理することができます。

本機の部門管理モードには、次の特長を備えています。

- 同じ部門コードで、オプションのプリンタ / スキャナ / ファクス機能も一括管理することができます。
- 最大 500 部門の管理ができます。
- 部門コードは 0 ～ 99999999 までの最大 8 桁で設定できます。
- 全部門または部門別でコピー枚数を集計することができます。
- フルカラーコピー、単色カラーコピーの制限枚数を別々に設定したり、集計できます。
- 制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。
- カウンタのクリアは全部門でも各部門ごとでもできます。
- 管理コードが無くても、部門コード入力で自部門のコピー枚数の集計を参照することができます。



重要

部門編集で「使用制限」の設定を行う場合は、部門管理初期設定の「コピー部門管理」で「設定しない」を「設定する」に変更しておく必要があります。また、オプションのプリンタキット、ネットワークスキャナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定の「プリンタ部門管理」、「スキャナ部門管理」または「ファクス部門管理」で部門管理を行う機能を「設定する」に設定してください。(P.7-23、「部門管理初期設定」参照)



補足

片面機で部門管理モードを使用するためには、オプションのメモリコピーボードが必要です。

部門管理モードについて

部門管理モード	部門管理モードの内容	参照ページ
部門編集	• 「新規部門登録」 部門コードと使用制限の登録を行います。部門コードは、500 部門まで登録することができます。	7-3
	• 「部門削除」 登録された部門を抹消します。	7-17
	• 「部門情報修正」 部門名称や部門コードの変更を行います。	7-18
	• 「使用制限の変更」 各部門の使用制限の変更を行います。	7-20

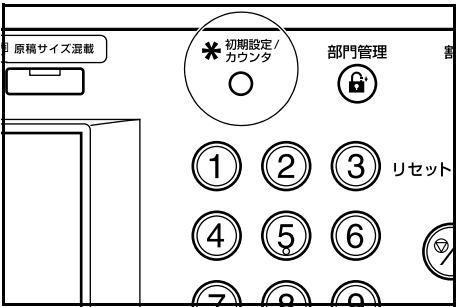
部門管理モード	部門管理モードの内容	参照ページ
部門管理集計	・「全部門集計」 全部門のトータルコピー枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。	7-21
	・「部門別集計」 部門別のトータルコピー枚数の集計と、カウンタのクリアができます。	7-22
部門管理の設定	部門管理を行うときには「設定する」キーを押し、部門管理を行わないときには「設定なし」キーを押します。	7-23
部門管理初期設定	部門管理モードの初期設定を変更します。	7-23

部門管理メニュー画面の表示方法

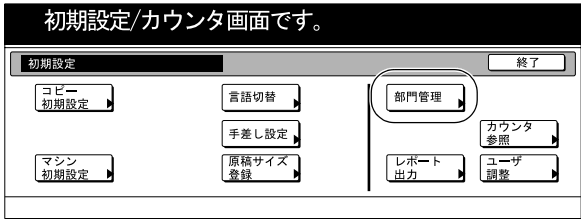
下記の手順にしたがって部門管理メニュー画面を表示させてください。

- 1
- 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。

「初期設定」画面が表示されます。



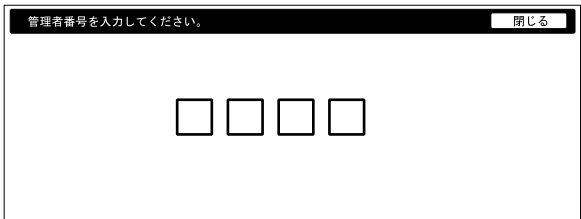
- 2
- 画面右側の「部門管理」キーを押してください。



- 3
- テンキーで暗証番号“0000”を押してください。

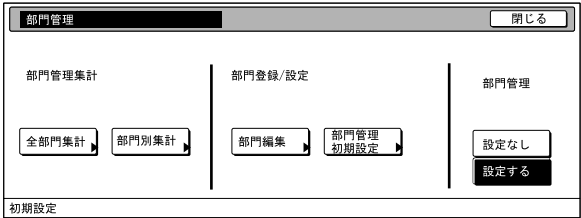
工場出荷時は“3100”となっています。

暗証番号が合致すれば、部門管理メニュー画面が表示されます。



- 4
- 各モードのキーを押してください。

各モードの設定画面が表示されます。



補足

- ・ 4桁の暗証番号は変更することができます。
(P.7-42、「管理者暗証番号変更」参照)
- ・ 以降の各モードの設定方法を参照して設定を行ってください。

部門編集

新規部門登録

最大 8 桁の部門コード、部門名とその使用制限の登録を行います。

- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
 (「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)

初期設定/カウンタ画面です。

- 2 「部門編集」キーを押してください。
 「部門編集」画面が表示されます。

- 3 「新規登録」キーを押してください。
 「新規登録」画面が表示されます。

- 4 左側の設定項目欄から部門コードを選んで、「設定値変更」キーを押してください。
 「部門コード」画面が表示されます。

- 5 部門コード（最大 8 桁）をテンキーで入力してください。
 0 ～ 99999999 まで入力できます。

- 6 「閉じる」キーを押してください。
 手順 4 の画面に戻ります。
- 7 左側の設定項目欄から表示名（登録名）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
 「表示名（登録名）」画面が表示されます。

- 8 登録名を入力し、「入力終了」キーを押してください。
 手順 4 の画面に戻ります。

- 補足**
 文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

- 9 左側の設定項目欄からフリガナ（半角）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
 「フリガナ（半角）」画面が表示されます。

- 重要**
 部門コード、登録名、フリガナで入力していない項目があるとエラーになります。

10 フリガナを入力し、[入力終了] キーを押してください。手順4の画面に戻ります。

フリガナ (半角) 中止

入力終了

制限文字数: 半角32文字 テキスト可

エイゴの11111111 全消去 ← →

前削除

半角カタカナ

入力文字

大文字 小文字 数字・記号 スペース 変換 確定



補足

文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

11 すべての登録ができましたら、[次へ] キーを押してください。

新規登録		作業中止
設定項目	:	設定値
部門コード	:	0007
表示名 (登録名)	:	営業1課1係
フリガナ (半角)	:	エイト 3011 掛
		▲ ▼ 設定値変更
初期設定 - 部門管理 - 部門編集		次へ



補足

- 登録されていない項目があるとエラーとなり、次の画面に進みません。登録もれが無いかな確認をしてください。
- すでに登録している部門コードや部門名で登録しようするとエラーとなり、次の画面に進みません。別の部門コードや部門名に変更してください。

12 使用制限の設定を行ってください。

新規登録		作業中止	
0007 営業1課1係			
設定項目	:	設定値	
コピー制限	:	使用する	▲
プリンタ制限	:	使用する	▼
制限(全体)	:	制限なし	設定値変更
制限(単色カラー)	:	制限なし	
制限(フルカラー)	:	制限なし	
スキャナ制限	:	制限なし	登録



補足

使用制限の設定方法は P.7-5、「使用制限の設定」を参照してください。

13 使用制限の設定ができましたら、[登録] キーを押してください。手順 3 の画面に戻ります。

新規登録		作業中止
0007 営業1課1係		
設定項目	設定値	
コピー制限	使用する	▲
プリンタ制限	使用する	▼
制限（全体）	制限なし	
制限（単色カラー）	制限なし	
制限（フルカラー）	制限なし	
スキャナ制限	制限なし	設定値変更
		登録

14 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

部門編集

閉じる

部門

0007	営業1課1係
02	営業1課2係
0001	営業1課3係
0014	営業2課1係
00000015	営業2課2係
00000016	営業2課3係
00000017	営業3課1係

▲ 前へ

▲

▼

▼ 次へ

表示順

部門情報修正

削除

新規登録

使用制限

001/010

初期設定 - 部門管理



補足

登録されていない部門を登録するときは「新規登録」キーを押して、手順4～14を行ってください。

15 [閉じる] キーを押してください。

使用制限の設定

登録された部門ごとに使用制限を設定できます。

部門管理初期設定の「コピー / プリンタ出力の管理」で「一括」か「個別」、どちらを選択するかによって使用制限の設定項目が変わります。(P.7-26、「コピー / プリンタ出力の管理」参照)

設定できる項目は次の通りです。

コピー / プリンタ出力の管理で「一括」を設定した場合（工場出荷時）

	コピー			プリンタ		スキャナ	ファクス	参照ページ
	B/W	M/C	F/C	B/W	F/C	読み込み	ファクス送信	
コピー制限	●	●	●					7-6
プリンタ制限				●	●			7-6
制限（全体）	△	△	△	△	△			7-7
制限（単色カラー）		○						7-8
制限（フルカラー）			○		○			7-9
スキャナ制限						○		7-10
ファクス送信制限							○	7-11

○：制限なし / カウンタ制限 / 使用不可を設定可能

△：制限なし / カウンタ制限を設定可能

●：使用する / 使用不可を設定可能

B/W：白黒コピーまたは白黒印刷

M/C：単色カラーコピー

F/C：フルカラーコピーまたはフルカラー印刷

コピー / プリンタ出力の管理で「個別」を設定した場合

	コピー			プリンタ		スキャナ	ファクス	参照ページ
	B/W	M/C	F/C	B/W	F/C	読み込み	ファクス送信	
コピー制限（全体）	○	○	○					7-12
コピー制限（単色カラー）		○						7-13
コピー制限（フルカラー）			○					7-14
プリンタ制限（全体）				○	○			7-15
プリンタ制限（フルカラー）					○			7-16
スキャナ制限						○		7-10
ファクス送信制限							○	7-11

○：制限なし / カウンタ制限 / 使用不可を設定可能

B/W：白黒コピーまたは白黒印刷

M/C：単色カラーコピー

F/C：フルカラーコピーまたはフルカラー印刷

コピー制限

コピーの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

補足
部門管理初期設定の「コピー部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます。

- 1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

- 2 左側の設定項目欄からコピー制限を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「コピー制限」画面が表示されます。

- 3 コピーの使用を許可する場合は、[使用する] キーを押し、コピーを使用できないようにする場合は、[使用不可] キーを押してください。

補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

プリンタ制限

オプションのプリンタキットを装着しているとき、プリンタの使用を許可するか、禁止するか設定できます。

補足
部門管理初期設定の「プリンタ部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます。

- 1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

- 2 左側の設定項目欄からプリンタ制限を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「プリンタ制限」画面が表示されます。

- 3 プリンタの使用を許可する場合は、[使用する] キーを押し、プリンタを使用できないようにする場合は、[使用不可] キーを押してください。

補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

制限（全体）

コピーの制限枚数を設定できます。オプションのプリンタキットを装着している場合は、コピーとプリンタで使用した合計枚数でカウントします。



補足

- すべてのカラーモード（フルカラー、単色カラー、白黒）を合計した枚数の上限を設定します。
- 「コピー制限」と「プリンタ制限」の設定を両方とも「使用不可」に設定している場合や、「コピー制限」を「使用不可」に設定し、プリンタキットを装着していない場合は、この項目は表示されません。

4

テンキーを使って制限枚数を入力してください。制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

5

「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

1

使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」またはP.7-20、「使用制限の変更」を参照)

2

左側の設定項目欄から制限（全体）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「制限（全体）」画面が表示されます。

3

コピーとプリンタの制限枚数を設定するときは、「[カウンタ制限]」キーを押し、次の手順に進んでください。

制限枚数を設定しない場合は、「[制限無し]」キーを押し、手順5に進んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

制限（単色カラー）

単色カラーコピーの制限枚数を設定できます。



補足

- 「コピー制限」と「プリンタ制限」の設定を両方とも「使用不可」に設定している場合や、「コピー制限」を「使用不可」に設定し、プリンタキットを装着していない場合は、この項目は表示されません。
- この項目で設定した制限枚数を超えていない場合でも、「制限（全体）」で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

1

使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

2

左側の設定項目欄から制限（単色カラー）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「制限（単色カラー）」画面が表示されます。

3

単色カラーコピーの制限枚数を設定するときは、「カウンタ制限」キーを押し、次の手順に進んでください。

制限枚数を設定しない場合は、「制限無し」キーを、単色カラーコピーを使用できないようにする場合は、「使用不可」キーを押し、手順5に進んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

4

テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

5

「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

制限（フルカラー）

フルカラーコピーの制限枚数を設定できます。



補足

- 「コピー制限」と「プリンタ制限」の設定を両方とも「使用不可」に設定している場合や、「コピー制限」を「使用不可」に設定し、プリンタキットを装着していない場合は、この項目は表示されません。
- この項目で設定した制限枚数を超えていない場合でも、「制限（全体）」で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

1

使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

2

左側の設定項目欄から制限（フルカラー）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「制限（フルカラー）」画面が表示されます。

3

フルカラーコピーとフルカラー印刷の制限枚数を設定するときは、「カウンタ制限」キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、「制限無し」キーを、コピーをできないようにする場合は、「使用不可」キーを押し、手順5に進んでください。

4

テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

5

「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。



補足

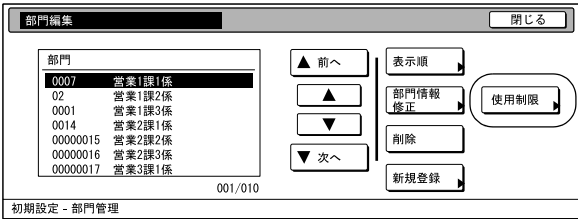
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

スキャナ制限

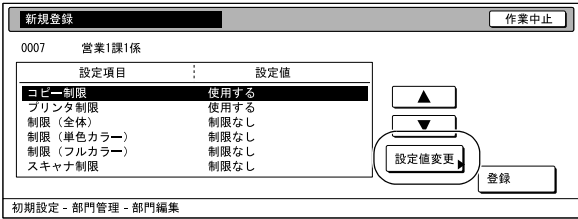
オプションのネットワークスキャナを装着しているとき、読み込みの制限枚数を設定できます。

補足
部門管理初期設定の「スキャナ部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます

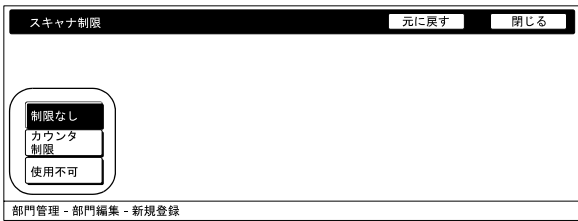
1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)



2 左側の設定項目欄からスキャナ制限を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「スキャナ制限」画面が表示されます。

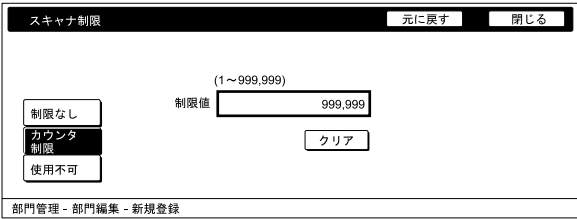


3 読み込みの制限枚数を設定するときは、「カウンタ制限」キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、「制限無し」キーを、スキャンをできないようにする場合は、「使用不可」キーを押し、手順 5 に進んでください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

4 テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。



5 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

ファクス送信制限

オプションのファクスキットを装着しているとき、ファクス送信の制限枚数を設定できます。



補足

部門管理初期設定の「ファクス部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます

- 1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

- 2 左側の設定項目欄からファクス送信制限を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「ファクス送信制限」画面が表示されます。

- 3 ファクス送信の制限枚数を設定するときは、[カウンタ制限] キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、[制限無し] キーを、ファクス送信をできないようにする場合は、[使用不可] キーを押し、手順5に進んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

- 5 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

コピー制限（全体）

コピーの制限枚数を設定できます。



補足

- すべてのカラーモード（フルカラー、単色カラー、白黒）を合計した枚数の上限を設定します。
- 部門管理初期設定の「コピー部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます

1

使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

2

左側の設定項目欄からコピー制限（全体）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「コピー制限（全体）」画面が表示されます。

3

コピーの制限枚数を設定するときは、「カウンタ制限」キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、「制限無し」キーを、コピーをできないようにする場合は、「使用不可」キーを押し、手順5に進んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

4

テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

5

「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

コピー制限（単色カラー）

単色カラーコピーの制限枚数を設定できます。



補足

- ・「コピー制限（全体）」で「使用不可」を設定している場合、この項目は表示されません。
- ・この項目で設定した制限枚数を超えていない場合でも、「コピー制限（全体）」で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

- 1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

- 2 左側の設定項目欄からコピー制限（単色カラー）を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「コピー制限（単色カラー）」画面が表示されます。

- 3 単色カラーコピーの制限枚数を設定するときは、[カウンタ制限] キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、[制限無し] キーを、コピーをできないようにする場合は、[使用不可] キーを押し、手順5に進んでください。

- 4 テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

- 5 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。



補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

コピー制限（フルカラー）

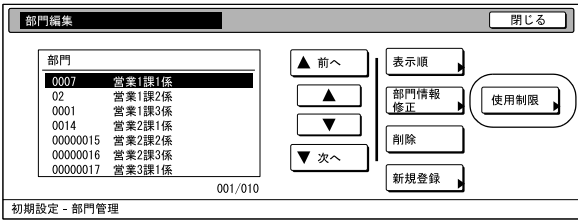
フルカラーコピーの制限枚数を設定できます。



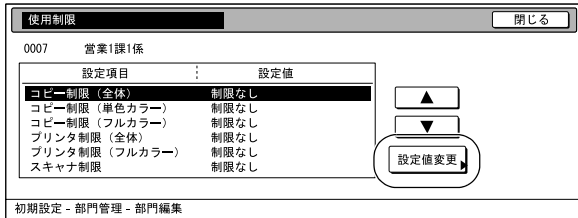
補足

- 「コピー制限（全体）」で「使用不可」を設定している場合、この項目は表示されません。
- この項目で設定した制限枚数を超えていない場合でも、「コピー制限（全体）」で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

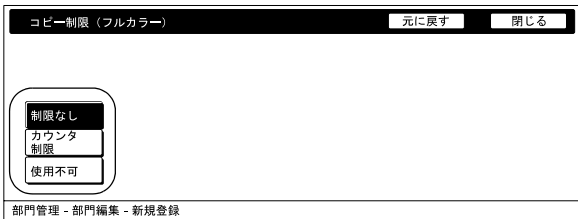
1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)



2 左側の設定項目欄からコピー制限（フルカラー）を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「コピー制限（フルカラー）」画面が表示されます。



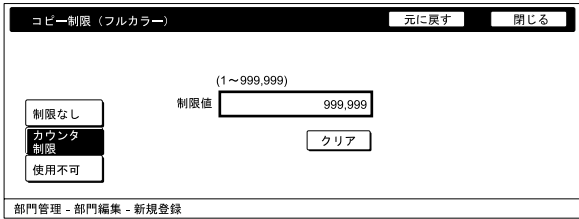
3 フルカラーコピーの制限枚数を設定するときは、[カウンタ制限] キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、[制限無し] キーを、コピーをできないようにする場合は、[使用不可] キーを押し、手順5に進んでください。



補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

4 テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。



5 [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

プリンタ制限（全体）

オプションのプリンタキットを装着しているとき、プリンタの制限枚数を設定できます。



補足

- フルカラー印刷と白黒印刷を合計した枚数の上限を設定します。
- 部門管理初期設定の「プリンタ部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます。

- 1 使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

- 2 左側の設定項目欄からプリンタ制限（全体）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「プリンタ制限（全体）」画面が表示されます。

- 3 プリンタの制限枚数を設定するときは、「カウンタ制限」キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、「制限無し」キーを、印刷をできないようにする場合は、「使用不可」キーを押し、手順5に進んでください。

- 4 テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

プリンタ制限（フルカラー）

オプションのプリンタキットを装着しているとき、フルカラー印刷の制限枚数を設定できます。



補足

- 「プリンタ制限（全体）」で「使用不可」を設定している場合、この項目は表示されません。
- この項目で設定した制限枚数を超えていない場合でも、「プリンタ制限（全体）」で設定した制限枚数を超えると使用禁止または警告メッセージが表示されます。

1

使用制限の設定画面を表示させてください。
(P.7-3、「新規部門登録」または P.7-20、「使用制限の変更」を参照)

2

左側の設定項目欄からプリンタ制限（フルカラー）を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「プリンタ制限（フルカラー）」画面が表示されます。

3

フルカラー印刷の制限枚数を設定するときは、[カウンタ制限] キーを押し、次の手順に進んでください。
制限枚数を設定しない場合は、[制限無し] キーを、印刷をできないようにする場合は、[使用不可] キーを押し、手順5に進んでください。

4

テンキーを使って制限枚数を入力してください。
制限枚数を1枚単位で999,999枚まで設定することができます。

5

[閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。



補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

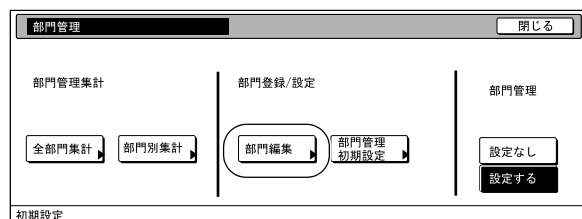
部門削除

登録された部門を抹消します。

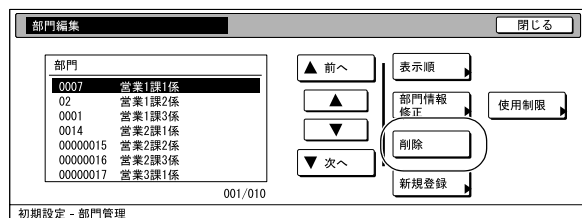
- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- 2 「部門編集」キーを押してください。
「部門編集」画面が表示されます。



- 3 削除したい部門コードを選択して、「削除」キーを押してください。

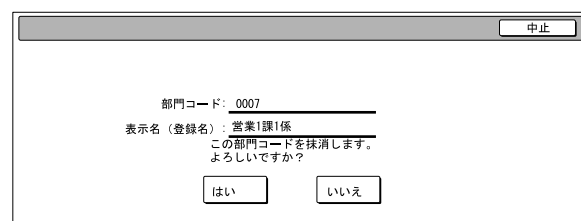


補足

リストの表示順を変更することができます。
「表示順」キーを押して、「コードによる並び替え」または「名称による並び替え」を選択することができます。

4

削除するコードを確認して、「はい」キーを押してください。
手順3の画面に戻ります。



補足

その他の部門を削除するときは手順3～4を行ってください。

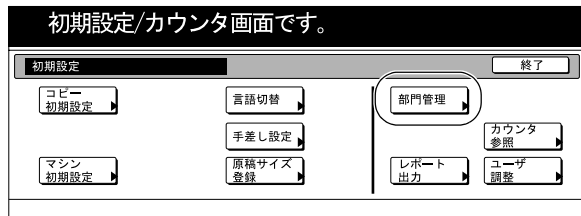
5

「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

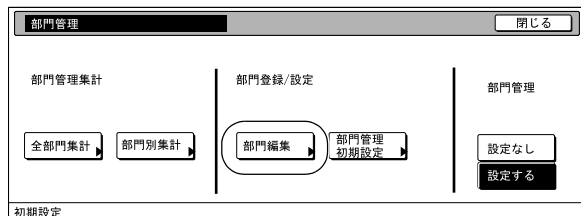
部門情報修正

一度登録した部門名称や部門コードを変更します。

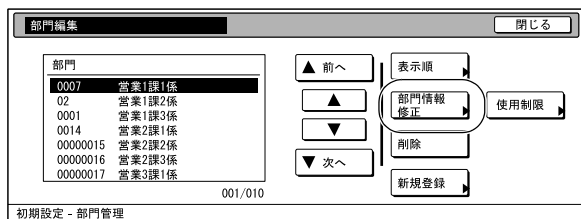
- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- 2 「部門編集」キーを押してください。
「部門編集」画面が表示されます。



- 3 変更したい部門コードを選択して、「部門情報修正」キーを押してください。「部門情報修正」画面が表示されます。



部門コードの変更を行う場合は、次の手順に進んでください。

表示名（登録名）の変更を行う場合は、手順 7 に進んでください。

フリガナ（半角）の変更を行う場合は、手順 10 に進んでください。



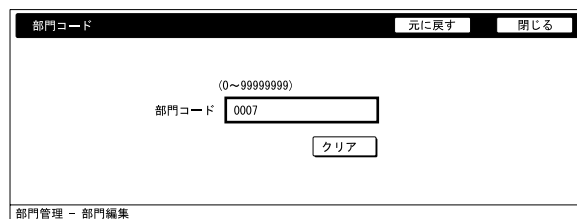
補足

リストの表示順を変更することができます。
「表示順」キーを押して、「コードによる並び替え」または「名称による並び替え」を選択することができます。

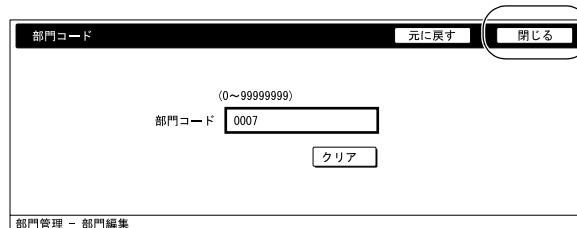
- 4 左側の設定項目欄から部門コードを選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「部門コード」画面が表示されます。



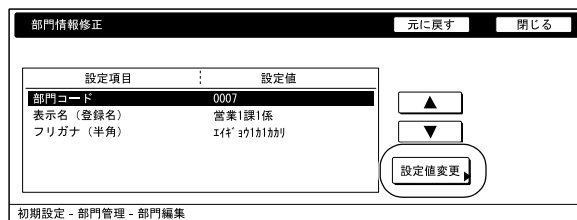
- 5 「クリア」キーを押して、古い部門コードを削除し、新しい部門コード（最大 8 桁）をテンキーで入力してください。



- 6 「閉じる」キーを押してください。
手順 4 の画面に戻ります。手順 13 に進んでください。



- 7 左側の設定項目欄から表示名（登録名）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「表示名（登録名）」画面が表示されます。



- 8** 「全消去」キーを押して、古い登録名を削除し、新しい登録名を入力してください。

- 13** 「閉じる」キーを押してください。
手順3の画面に戻ります。

- 14** 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 15** 「閉じる」キーを押してください。



補足

文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

- 9** 「入力終了」キーを押してください。
手順7の画面に戻ります。手順13に進んでください。

- 10** 左側の設定項目欄からフリガナ（半角）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「フリガナ（半角）」画面が表示されます。

- 11** 「全消去」キーを押して、古い登録名を削除し、新しい登録名を入力してください。



補足

文字の入力方法は P.7-72、「文字の入力方法」を参照してください。

- 12** 「入力終了」キーを押してください。
手順10の画面に戻ります。

使用制限の変更

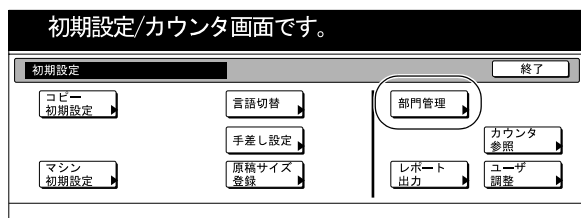
部門ごとに設定された使用制限を変更します。



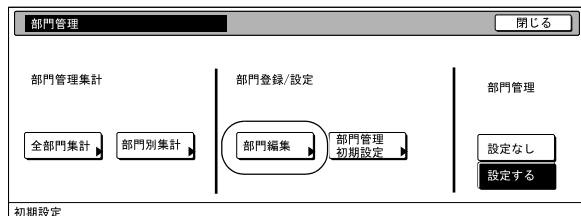
重要

部門編集で「使用制限」の設定を行う場合は、部門管理初期設定の「コピー部門管理」で「設定しない」を「設定する」に変更しておく必要があります。また、オプションのプリンタキット、ネットワークスキャナまたはファクスキットを装着している場合は、部門管理初期設定の「プリンタ部門管理」、「スキャナ部門管理」または「ファクス部門管理」で部門管理を行う機能を「設定する」に設定してください。（P.7-23、「部門管理初期設定」参照）

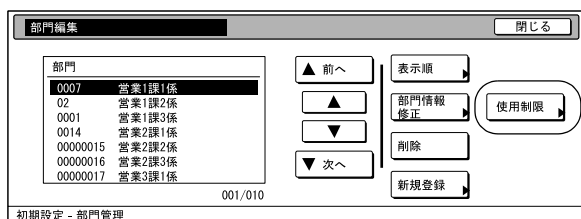
- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。（P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照）



- 2 「部門編集」キーを押してください。「部門編集」画面が表示されます。



- 3 変更したい部門コードを選択して、「使用制限」キーを押してください。「使用制限」画面が表示されます。

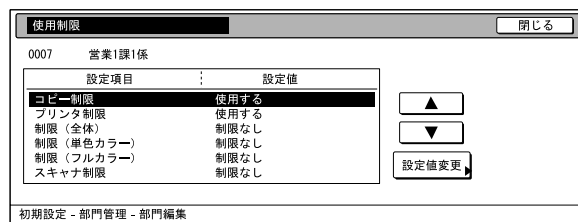


補足

リストの表示順を変更することができます。「表示順」キーを押して、「コードによる並び替え」または「名称による並び替え」を選択することができます。

4

使用制限の変更を行ってください。

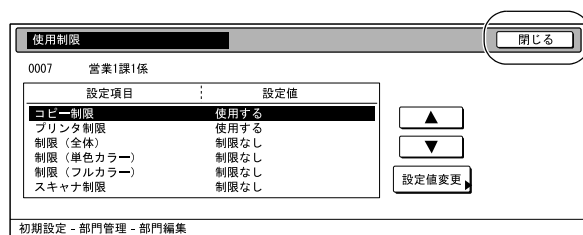


補足

使用制限の設定方法は P.7-5、「使用制限の設定」を参照してください。

5

「閉じる」キーを押してください。手順3の画面に戻ります。



6

「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

7

「閉じる」キーを押してください。

部門管理集計

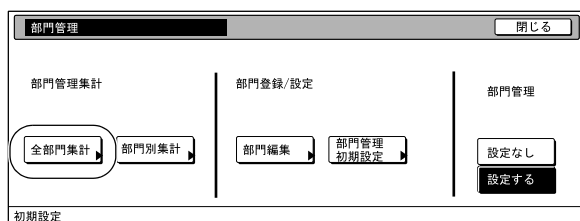
全部門集計

全部門のトータルコピー枚数の参照、部門管理レポート出力と、カウンタのクリアができます。

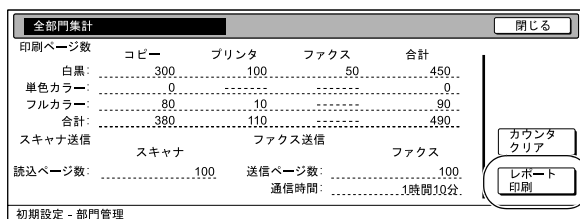
- 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- [全部門集計] キーを押してください。
「全部門集計」画面が表示されます。



- 全部門の出力枚数が表示されますので確認してください。部門管理レポートを出力する場合は[レポート印刷] キーを押してください。



サンプル：部門管理レポート（一括）

DEPT. COUNT REPORT (COPY+PRINT) () LIMIT									
DEPT ID	TOTAL	FULL COLOR	MONO COLOR	B/W	SCANNER	FAX TX	TIME	FAX RX	
01	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
02	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
ETC	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
TOTAL	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	

サンプル：部門管理レポート（個別）

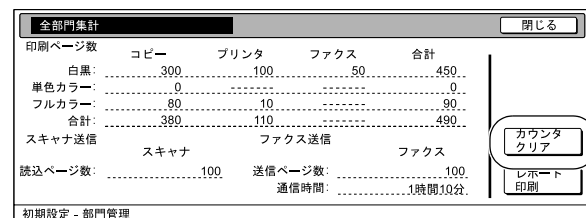
DEPT. COUNT REPORT (COPY+PRINT) () LIMIT									
DEPT ID	TOTAL (COPY)	FULL (COPY)	MONO (COPY)	B/W (COPY)	SCANNER	FAX TX	TIME	FAX RX	
01	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
02	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
ETC	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	
TOTAL	0	0	0	0	0	0	0000mths	0	



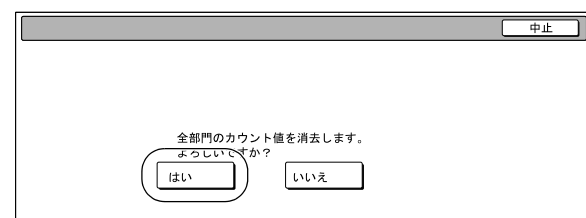
補足

- 部門管理初期設定の「コピー/プリンタ出力の管理」の設定によって、出力されるフォームが変わります。
- 部門管理初期設定の「集計サイズ1～5」を設定している場合、集計サイズレポートも一緒に出力します。

- カウンタのクリアを行う場合は、[カウンタクリア] キーを押してください。



- 確認画面が表示されますので、[はい] キーを押してください。



- [閉じる] キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- [閉じる] キーを押してください。

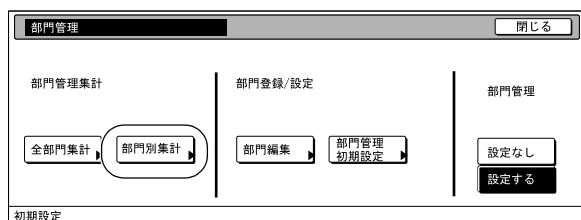
部門別集計

部門別のトータルコピー枚数の集計と、カウンタのクリアができます。

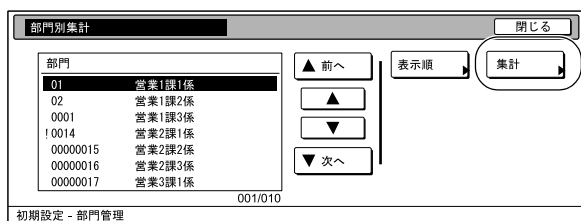
- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- 2 「部門別集計」キーを押してください。
「部門別集計」画面が表示されます。



- 3 希望の部門コードを選択して、「集計」キーを押してください。



- ・リストに表示される「---ETC」は、部門コードを入力しないで印刷された枚数をカウントします。
「---ETC」でカウントされる印刷は次の通りです。
 - ・各種レポートの印刷
 - ・プリンタエラーレポートの印刷
 - ・部門コードが設定していないコンピュータからの印刷（部門管理初期設定の「部門登録外の印刷（プリンタ）」を「設定する」にしている場合）
 - ・ファクスの受信印刷
 - ・ファクスのレポート印刷
- ・リストの表示順を変更することができます。
「表示順」キーを押して、「コードによる並び替え」または「名称による並び替え」を選択することができます。

- 4 選択した部門の出力枚数が表示されますので確認してください。

部門別集計				閉じる
印刷ページ数	コピー	プリンタ	合計	() 内の数字は制限値です。
白黒:	50	30	80	
単色カラー:	0		0(1,000)	
フルカラー:	13	5	18(1,000)	
合計:	63	35	98(5,000)	
スキャナ送信	スキャナ	ファクス送信	ファクス	カウンタクリア
送達ページ数:	100	送信ページ数:	100	
		通信時間:	1時間10分	
初期設定 - 部門管理		01	営業1課1係	

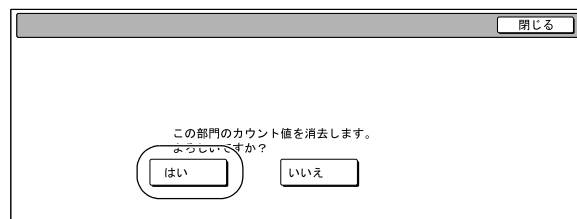


- 補足**
「部門別集計」画面では、出力枚数の後のカッコの中に制限枚数が表示されます。

- 5 カウンタのクリアを行う場合は、「カウンタクリア」キーを押してください。

部門別集計				閉じる
印刷ページ数	コピー	プリンタ	合計	() 内の数字は制限値です。
白黒:	50	30	80	
単色カラー:	0		0(1,000)	
フルカラー:	13	5	18(1,000)	
合計:	63	35	98(5,000)	
スキャナ送信	スキャナ	ファクス送信	ファクス	カウンタクリア
送達ページ数:	100	送信ページ数:	100	
		通信時間:	1時間10分	
初期設定 - 部門管理		01	営業1課1係	

- 6 確認画面が表示されますので、「はい」キーを押してください。



- 7 「閉じる」キーを押してください。
手順3の画面に戻ります。

- 8 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 9 「閉じる」キーを押してください。

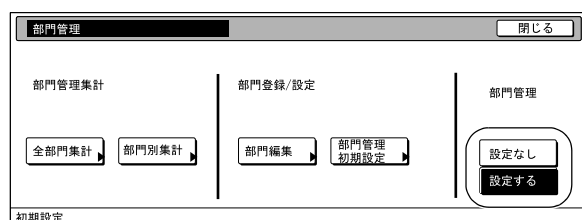
部門管理の設定

部門管理を有効または無効に設定します。

- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- 2 部門管理を行うときは、「設定する」キーを押し、部門管理を行わないときには、「設定なし」キーを押します。



- 3 「閉じる」キーを押してください。

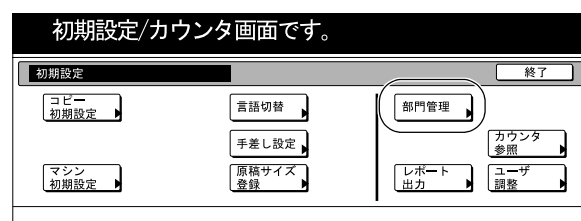
部門管理初期設定

部門管理の初期設定を変更します。
部門管理初期設定では次の項目が設定できます。

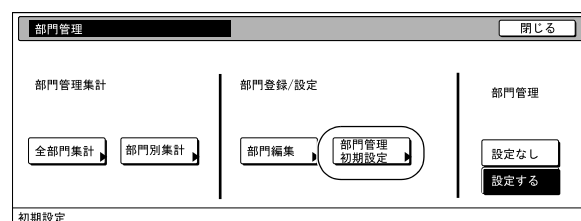
- コピー部門管理 (P.7-24)
- プリンタ部門管理 (P.7-24)
- プリンタエラーレポート (P.7-25)
- 部門登録外の印刷 (プリンタ) (P.7-26)
- コピー/プリンタ出力の管理 (P.7-26)
- スキャナ部門管理 (P.7-27)
- ファクス部門管理 (P.7-27)
- 制限超過時の設定 (P.7-28)
- カウンタ制限の初期値 (P.7-28)
- 集計サイズ 1 ～ 5 (P.7-29)

部門管理初期設定画面の表示方法

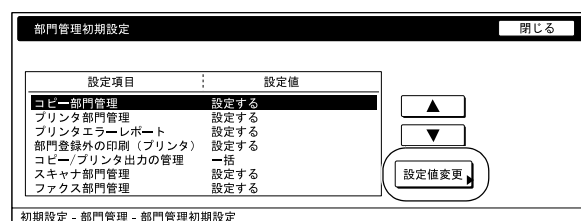
- 1 「部門管理メニュー」画面を表示させてください。
(P.7-2、「部門管理メニュー画面の表示方法」参照)



- 2 「部門管理初期設定」キーを押してください。
「部門管理初期設定」画面が表示されます。



- 3 変更する初期設定項目を選択し、「設定値変更」キーを押してください。

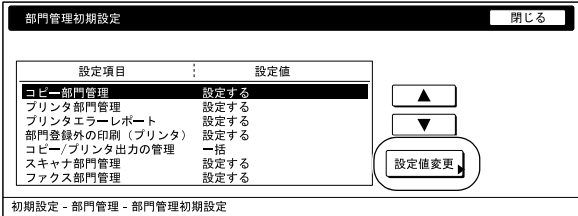


補足
以降の各項目を参照して設定を行ってください。

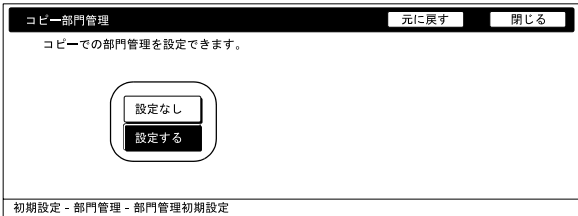
コピー部門管理

コピー機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

- 1
- 左側の設定項目欄からコピー部門管理を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「コピー部門管理」画面が表示されます。



- 2
- コピー機能の部門管理を行うときは、「設定する」キーを押してください。



-  補足
- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

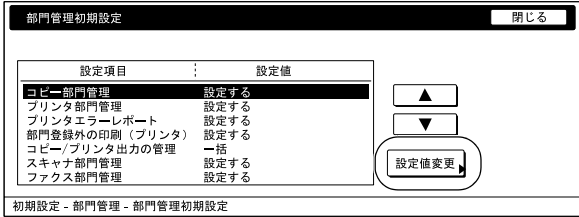
- 3
- 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

プリンタ部門管理

プリンタ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。

-  補足
- この設定は、オプションのプリンタキットを装着したときに表示されます。

- 1
- 左側の設定項目欄からプリンタ部門管理を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「プリンタ部門管理」画面が表示されます。



- 2
- プリンタ機能の部門管理を行うときは、「設定する」キーを押してください。



-  補足
- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

- 3
- 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

プリンタエラーレポート

プリンタ機能で部門管理を有効にしている場合、まちがった部門コードでプリントしたときに、エラーレポートを出力することができます。



補足

「プリンタ部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます。

- 1 左側の設定項目欄からプリンタエラーレポートを選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「プリンタエラーレポート」画面が表示されます。

設定項目	設定値
コピー部門管理	設定する
プリンタ部門管理	設定する
プリンタエラーレポート	設定する
部門登録外の印刷（プリンタ）	設定する
コピー/プリンタ出力の管理	一括
スキャナ部門管理	設定する
ファクス部門管理	設定する

初期設定 - 部門管理 - 部門管理初期設定

- 2 プリントエラーレポートを出力したいときは [設定する] キーを押し、レポートを出力しないときは、[設定なし] キーを押してください。

プリンタエラーレポート

部門コードミスマッチ時にエラーレポートを出力します。

設定なし

設定する

初期設定 - 部門管理 - 部門管理初期設定



補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

3

[閉じる] キーを押してください。
手順 1 の画面に戻ります。



補足

まちがった部門コードでプリントした場合はプリンタ機能でのエラーとなり出力はされません。[プリンタ] キーを押すと「この部門コードは登録されていません。」とメッセージを表示します。

[印刷可/解除] キーを押すと、エラーレポートを出力します。[キャンセル] キーを押すと、プリントをキャンセルすることができます。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。

この部門コードは登録されていません。
一時停止中です。

キャンセル

印刷可/解除

部門登録外の印刷（プリンタ）

プリンタ機能で部門管理を有効にしている場合、部門管理機能の無いプリンタドライバからでも出力できるようにします。

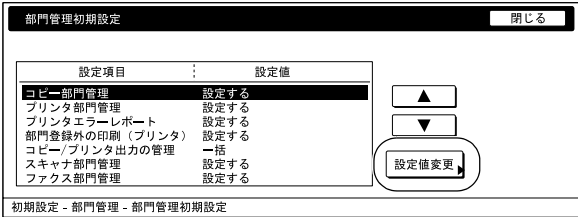


補足

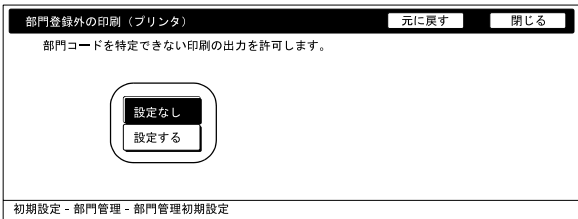
「プリンタ部門管理」で「設定する」を設定している場合に、この項目は表示されます。

- 1
- 左側の設定項目欄から部門登録外の印刷（プリンタ）を選んで、[設定値変更] キーを押してください。

「部門登録外の印刷（プリンタ）」画面が表示されます。



- 2
- 部門管理機能の無いプリンタドライバからの出力を許可する場合は、[設定する] キーを押してください。





補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

- 3
- [閉じる] キーを押してください。

手順 1 の画面に戻ります。

コピー / プリンタ出力の管理

コピーとプリンタの管理を一括で行うか、個別に行うか選択することができます。

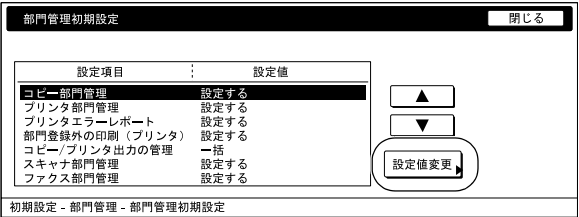


補足

この設定を変更すると、コピーとプリンタの使用制限の設定項目が変わります。(P.7-5、「使用制限の設定」参照)

- 1
- 左側の設定項目欄からコピー / プリンタ出力の管理を選んで、[設定値変更] キーを押してください。

「コピー / プリンタ出力の管理」画面が表示されます。



- 2
- コピーとプリンタの管理を一括で行うときは、[一括] キーを押してください。コピーとプリンタの管理を個別で行うときは、[個別] キーを押してください。





補足

設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

- 3
- [閉じる] キーを押してください。

手順 1 の画面に戻ります。

スキャナ部門管理

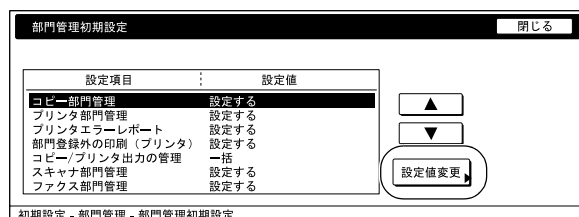
スキャナ機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。



補足

この設定は、オプションのネットワークスキャナを装着したときに表示されます。

- 1 左側の設定項目欄からスキャナ部門管理を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「スキャナ部門管理」画面が表示されます。



- 2 スキャナ機能の部門管理を行うときは、「設定する」キーを押してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

ファクス部門管理

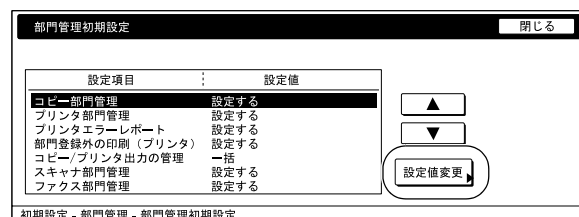
ファクス機能で部門管理を有効にするか、無効にするか設定できます。



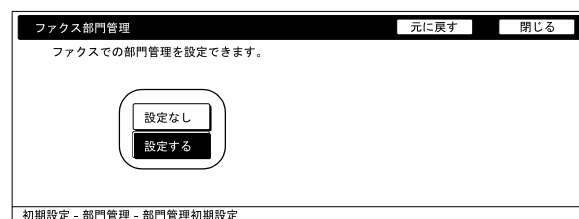
補足

この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

- 1 左側の設定項目欄からファクス部門管理を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「ファクス部門管理」画面が表示されます。



- 2 ファクス機能の部門管理を行うときは、「設定する」キーを押してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

- 3 「閉じる」キーを押してください。手順1の画面に戻ります。

制限超過時の設定

使用制限で設定されている制限枚数を超過してしまった場合、使用不可にするか、警告メッセージの表示のみを行うか選択できます。

- 1
- 左側の設定項目欄から制限超過時の設定を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「制限超過時の設定」画面が表示されます。

部門管理初期設定

閉じる

設定項目	設定値
スキャナ部門管理	設定する
ファクス部門管理	設定する
制限超過時の設定	使用不可
カウンタ制限の初期値	999999
集計サイズ1	A3 普通紙
集計サイズ2	A4 普通紙
集計サイズ3	B4 普通紙

設定値変更

初期設定 - 部門管理

- 2
- 制限枚数を越えたときに使用不可にする場合は、「使用不可」キーを押してください。警告メッセージの表示のみを行う場合は、「警告のみ」キーを押してください。

制限超過時の設定

元に戻す

閉じる

制限超過時の方法を設定できます。

使用不可

警告のみ

初期設定 - 部門管理 - 部門管理初期設定

補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

- 3
- 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

カウンタ制限の初期値

新規部門登録を行うとき、制限枚数の初期値を変更することができます。

- 1
- 左側の設定項目欄からカウンタ制限の初期値を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「カウンタ制限の初期値」画面が表示されます。

部門管理初期設定

閉じる

設定項目	設定値
スキャナ部門管理	設定する
ファクス部門管理	設定する
制限超過時の設定	使用不可
カウンタ制限の初期値	999999
集計サイズ1	A3 普通紙
集計サイズ2	A4 普通紙
集計サイズ3	B4 普通紙

設定値変更

初期設定 - 部門管理

- 2
- テンキーを使って制限枚数の初期値を入力してください。制限枚数を 1 枚単位で 999,999 枚まで設定することができます。

カウンタ制限の初期値

元に戻す

閉じる

カウンタ制限の初期値を設定できます。

(1 ~ 999,999)

制限値 999,999

クリア

初期設定 - 部門管理 - 部門管理初期設定

補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

- 3
- 「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

集計サイズ 1～5

特定の用紙サイズを指定して、その用紙の使用枚数を集計し、確認することができます。また、用紙サイズと用紙種類を指定して集計することもできます。



補足

- 集計する用紙サイズは、集計サイズ 1～5 の 5 種類を指定することができます。
- 用紙種類を設定していない場合は、用紙種類にかかわらず指定したサイズの使用枚数を集計します。ただし、別の設定が同じサイズで用紙種類を指定している場合、その設定で指定している用紙種類の使用枚数を除いて集計します。

- 左側の設定項目欄から集計サイズ 1～5 を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「集計サイズ 1～5」画面が表示されます。

- 「設定する」キーを押してください。

- 「サイズ選択」キーを押してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。

4

指定する用紙サイズを選択して、「閉じる」キーを押してください。

5

用紙種類を指定する場合は、「用紙種選択」キーを押して、次の手順に進んでください。用紙種類を指定しない場合は、手順 7 に進んでください。

6

指定する用紙種類を選択して、「閉じる」キーを押してください。

7

「閉じる」キーを押してください。手順 1 の画面に戻ります。



補足

集計サイズ 1～5 で指定した用紙の使用枚数は部門管理レポートと一緒に出力される集計サイズレポートで確認することができます。部門管理レポートの出力方法は P.7-21、「全部門集計」を参照してください。

サンプル：集計サイズレポート

01/01/00 DEPT. SIZE REPORT P.									
DEPT. ID	A3 (Plain)	B4	A4	B5	A5	ETC			
0000	2	0	3	0	0	0	0	0	0
1000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1111	0	0	3	0	0	0	0	0	0
2000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ETC	0	0	3	0	0	0	0	0	0
TOTAL	0	0	7	0	0	0	0	0	0

部門管理時のコピー操作

部門管理を行っているときは、所属する部門コードをテンキー入力することによってのみコピー操作ができます。

重要
コピー終了後は、必ず「部門管理」キーを押してください。部門コード入力画面が表示されます。



- 2
- 通常のコピー操作を行ってください。
- 3
- コピー終了後、「部門管理」キーを押してください。



- 1
- 部門コードをテンキー入力して「設定」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

部門コードを入力してください。

部門別集計

クリア

設定

-  補足
- 入力を間違えたときは、「クリア」キーを押して入力しなおしてください。
 - 入力された部門コードが登録された部門コードと一致しない場合はエラー音が鳴ります。
正しい部門コードを入力してください。
 - 部門コードを入力し、「部門別集計」キーを押すと、自部門の使用枚数が表示されます。

部門別集計				閉じる
印刷ページ数		コピー	プリンタ	合計
白黒	50	30		80
単色カラー	0			0(1,000)
フルカラー	12	5		17(1,000)
合計	62	35		97(1,000)
スキャナ送信		ファクス送信		
スキャナ		ファクス		
読込ページ数	100	送信ページ数	100	
		通信時間	1時間10分	

初期設定 - 部門管理01営業1課1係

() 内の数字は制限値です。

初期設定モード

本機では、ウォームアップが終了した後や「リセット」キーを押した後の状態を初期モードといいます。初期モードのときに自動的に設定される機械の内容を初期設定と呼びます。初期設定は“コピー初期設定”と“マシン初期設定”に分かれます。使用のしかたに応じてこれらの設定は自由に変更できます。

マシン初期設定の項目

マシン初期設定には下記の項目があります。
コピー機を効率的に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

マシン初期設定	マシン初期設定の内容	設定できる値	出荷時	参照ページ
オートカセットチェンジ	使用中の給紙段から用紙がなくなったときに同一サイズ / 同一向きの他の給紙段に自動的に切り替えコピーを続けます。 オートカセットチェンジを使用する場合は「使用する」に設定します。	使用する / 使用しない	使用する	7-33
	オートカセットチェンジを設定しているときに、違う用紙種類を設定している給紙段に切り替えない場合は、「区別する」に設定してください。	区別しない / 区別する	区別しない	
用紙サイズ（カセット 1～4）	カセット（1～4）の用紙サイズを設定できます。 用紙サイズの検知を自動で行うときは「自動検知」に設定します。手動で用紙サイズを選択するときは「定型サイズ」に設定します。 ※カセット 1、2 は 250 枚収納カセットのみ表示されます。 ※カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。	自動検知 / 定型サイズ	自動検知	7-34
	＜「定型サイズ」を選択した場合＞ 用紙サイズを選択してください。	A3 A4 A4R A5R B4 B5R 11 × 17" 8 1/2 × 14" 11 × 8 1/2" 8 1/2 × 11"	---	
用紙種類（カセット 1～4）	カセット（1～4）の用紙の種類を設定、表示できます。 ※両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット 1 が表示されません。 ※カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。	普通紙 再生紙 カラー紙 上質紙 カスタム 1～8	普通紙	7-35
手差し設定の確認画面表示	「基本」画面で「手差し」キーを押したとき、「手差し設定」画面を表示します。	使用する / 使用しない	使用しない	7-36
用紙種類の属性（定着設定）	用紙種類のカスタム（1～8）に対して定着設定を行います。厚紙の場合は「普通」を設定してください。	低い / 普通	低い	7-36

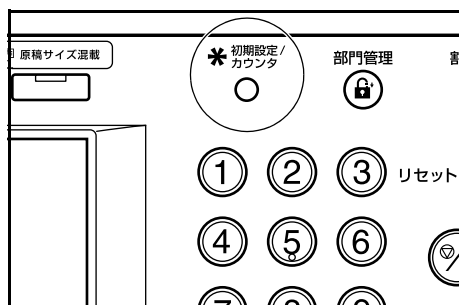
7 章 複写機の管理モード

マシン初期設定	マシン初期設定の内容	設定できる値	出荷時	参照ページ
用紙種類の属性 (両面印刷)	用紙種類のカスタム (1 ～ 8) をそれぞれ両面印刷に使用するかどうか設定します。	使用する / 使用しない	使用する	7-36
スリープモード移行時間	コピー終了後または最後に操作をしてから自動的に電源が切れる時間を設定できます。 ※ 複写機を頻繁に使用する場合は、オートスリープ機能が働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めいたします。	15 ～ 240 (分)	60 (分)	7-38
低電力モード移行時間	コピー作業が終了して自動的に低電力モードになるまでの時間を設定できます。	1 ～ 45、60、90、120、180、240 (分)	15 (分)	7-38
コピー排出先設定	コピー出力時に優先される排出先を設定できます。 ※ オプションのドキュメントフィニッシャ装着時は「上トレイ」と「フィニッシャ」から選択します。	上トレイ 左トレイ (フィニッシャ)	上トレイ	7-39
ファクス排出先設定	ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排出先を設定します。 ※ この設定は、オプションのファクスキットとドキュメントフィニッシャを装着しているときに表示されます。	上トレイ フィニッシャ	上トレイ	7-39
電源投入時モード	電源を入れたときに初期の状態が表示される画面を、コピー画面かファクス画面か設定します。	コピー画面 ファクス画面	コピー画面	7-40
タッチパネル音	タッチパネルを押したときに鳴る「ピッ」という音を出すか出さないか設定できます。	あり / なし	あり	7-40
静音モード	コピー前後のレーザー書き込みモーターの回転時間を短くできます。モーター音が気になる場合に使用してください。	使用する / 使用しない	使用しない	7-41
日付 / 時刻	現在の時刻を設定します。	年：2001 ～ 2049 月：1 ～ 12 日：1 ～ 31 時分：00：00 ～ 23：59	出荷時に時刻を設定	7-41
時差	世界標準時間 (GMT) との時差を設定します。	+ 12：00 ～ - 12：00	+ 9：00	7-42
管理者暗証番号変更	本機管理者の暗証番号を変更できます。 重要： ※ 暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れたときは、サービス担当者に連絡してください。	0000 ～ 9999	3100	7-42
オートスリープ	コピー終了後または最後に操作をしてから一定時間操作を行わなければ、自動的に電源を OFF にすることができます。 ※ コピー操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープ機能を使用しない設定にしてください。オートスリープ機能を使用しない設定にする前に、まずオートスリープ機能が働くまでの時間を長めに設定することをお勧めします。	使用する / 使用しない	使用する	7-43

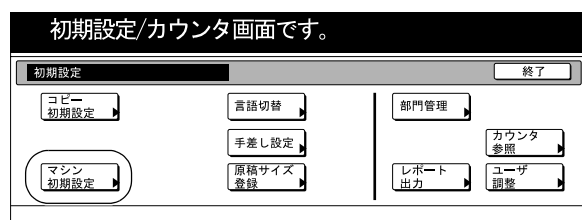
マシン初期設定画面の表示方法

下記の手順にしたがって、マシン初期設定画面を表示させてください。

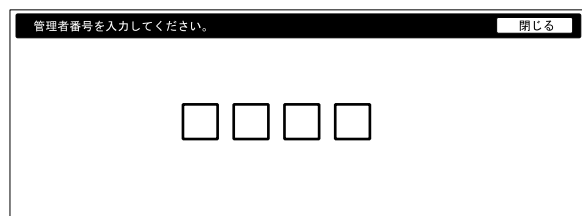
- 1 「基本」画面が表示された状態で操作パネルの「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



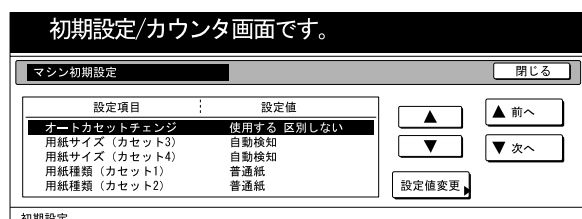
- 2 「マシン初期設定」キーを押してください。



- 3 テンキーで暗証番号“0000”を押してください。
工場出荷時は“3100”となっています。



- 4 暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。



補足

- 4桁の暗証番号は変更することができます。(P.7-42、「管理者暗証番号変更」参照)
- 以降の「マシン初期設定の変更方法」を参照して設定を行ってください。

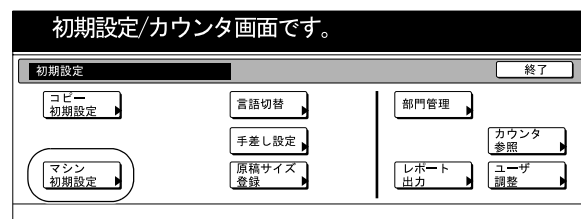
マシン初期設定の変更方法

下記にマシン初期設定の各項目の変更方法を説明します。

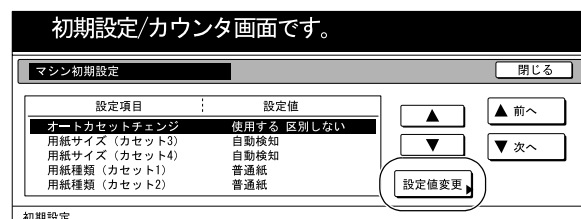
オートカセットチェンジ

オートカセットチェンジ機能を使うかどうかを選択します。

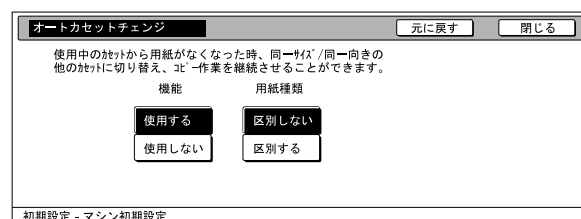
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からオートカセットチェンジを選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「オートカセットチェンジ」画面が表示されます。



- 3 オートカセットチェンジ機能を使用するときは、「使用する」を選択してください。



- 4 オートカセットチェンジ設定時に、違う用紙種類を設定しているカセットに切り替えない場合は、用紙種類の下の「区別する」キーを押してください。

補足

- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

6 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

7 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

用紙サイズ（カセット 1～4）

カセット 1～4 の用紙サイズを設定します。



補足

- カセット 1、2 は 250 枚収納カセットのみ表示されます。
- カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。

1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)

初期設定/カウンタ画面です。

初期設定		終了	
コピー 初期設定	言語切替	部門管理	カウンタ 参照
マシン 初期設定	手差し設定	レポート 出力	ユーザ 読取
	原稿サイズ 登録		

2 左側の設定項目欄から用紙サイズ（カセット 1～4）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「用紙サイズ（カセット 1～4）」画面が表示されます。

初期設定/カウンタ画面です。

マシン初期設定		閉じる	
設定項目	設定値	▲ 前へ	▼ 次へ
オートカセットチェンジ	使用する 区別しない	▲ 前へ	▼ 次へ
用紙サイズ（カセット3）	自動検知	▲ 前へ	▼ 次へ
用紙サイズ（カセット4）	自動検知	▲ 前へ	▼ 次へ
用紙種類（カセット1）	普通紙	▲ 前へ	▼ 次へ
用紙種類（カセット2）	普通紙	▲ 前へ	▼ 次へ
		設定値変更	

初期設定

3 「定型サイズ」を選択したときは、用紙のサイズを選択してください。

用紙サイズ（カセット3）

用紙のサイズを設定できます。

自動検知	A3 ☐	B4 ☐	11x17"
定型サイズ	A4 ☒	B5 ☐	8 1/2 x 14"
	A4 ☐		11x8 1/2"
	A5 ☐		8 1/2 x 11"

元に戻す 閉じる

初期設定 - マシン初期設定



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

4 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6** 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

用紙種類（カセット 1～4）

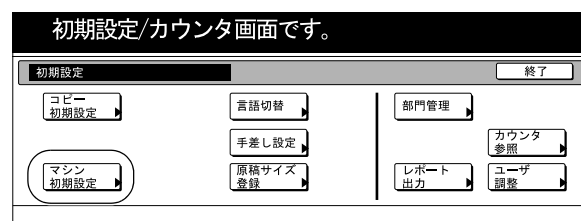
カセット 1～4 の用紙の種類を設定、表示します。



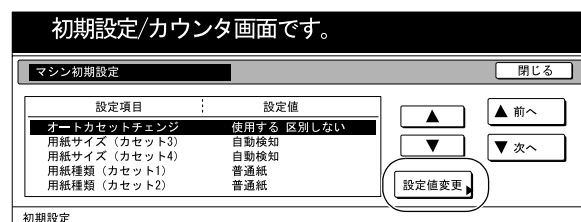
補足

- 両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット 1 が表示されません。
- カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。

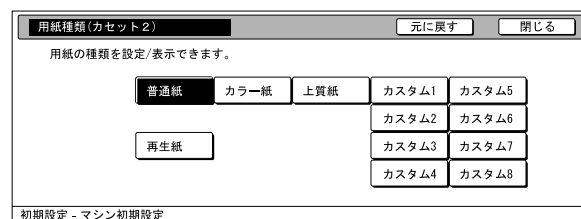
- 1** 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2** 左側の設定項目欄から用紙種類（カセット 1～4）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「用紙種類（カセット 1～4）」画面が表示されます。



- 3** 用紙の種類を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4** 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

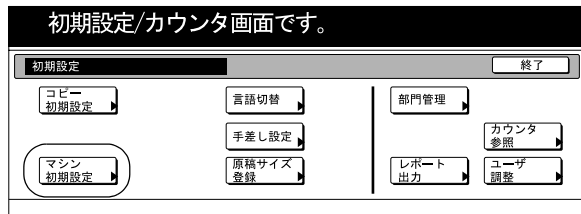
- 5** 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6** 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

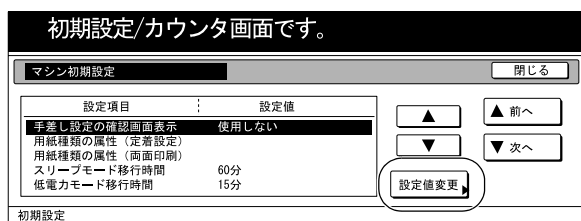
手差し設定の確認画面表示

「基本」画面で「手差し」キーを押したとき、「手差し設定」画面を表示します。

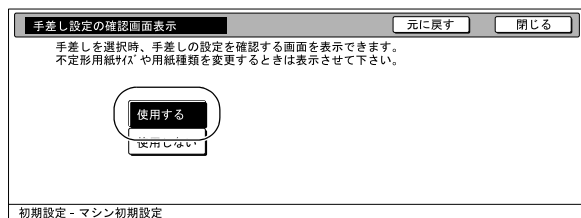
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から手差し設定の確認画面表示を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「手差し設定の確認画面表示」画面が表示されます。



- 3 「手差し設定」画面を表示させる場合は、「使用する」キーを押してください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

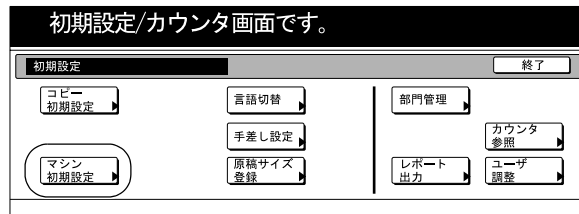
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

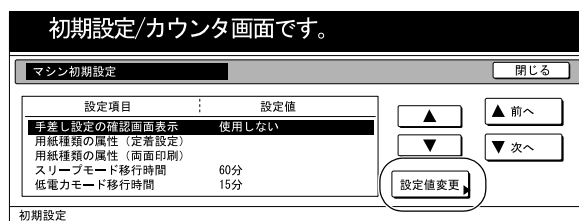
用紙種類の属性（定着設定）

用紙種類のカスタム（1～8）に対して定着設定を行います。

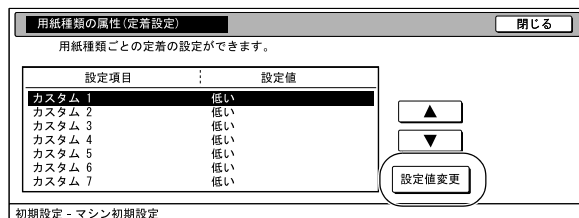
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



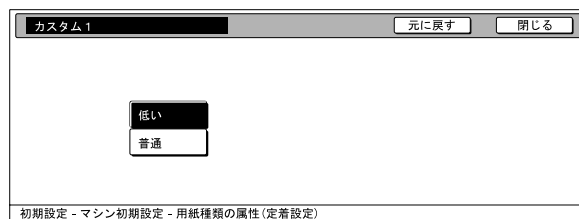
- 2 左側の設定項目欄から用紙種類の属性（定着設定）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「用紙種類の属性（定着設定）」画面が表示されます。



- 3 設定を変更するカスタム種類を選び、「設定値変更」キーを押してください。



- 4 厚紙を使用する場合は、「普通」キーを押してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順3の画面に戻ります。

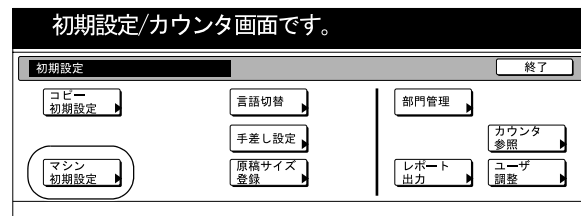
- 5 「閉じる」キーを押してください。
手順3の画面に戻ります。

- 6 [閉じる] キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。
- 7 [閉じる] キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 8 [終了] キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

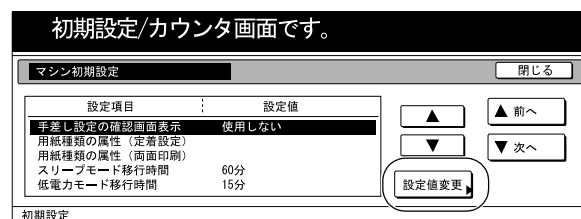
用紙種類の属性（両面印刷）

用紙種類のカスタム（1～8）をそれぞれ両面印刷に使用するかどうか設定します。

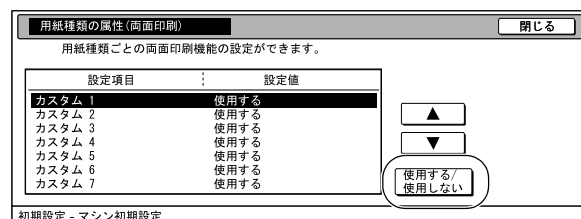
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から用紙種類の属性（両面印刷）を選んで、[設定値変更] キーを押してください。
「用紙種類の属性（両面印刷）」画面が表示されます。



- 3 設定を変更するカスタム種類を選び、[使用する / 使用しない] キーを押してください。両面コピーに使用しない場合は、「使用しない」を設定してください。

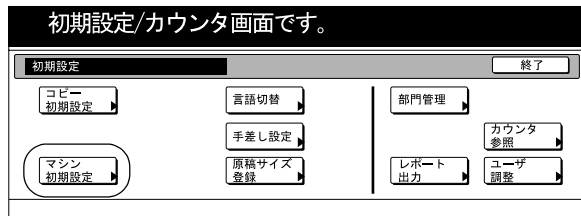


- 4 [閉じる] キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。
- 5 [閉じる] キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 6 [終了] キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

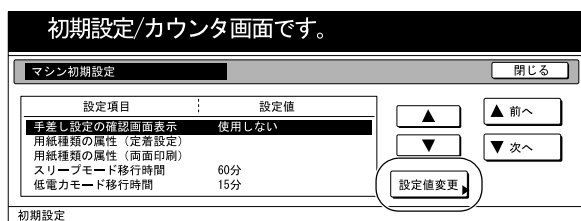
スリープモード移行時間

コピー終了後または最後に操作をしてから自動的に電源が切れる時間を設定します。

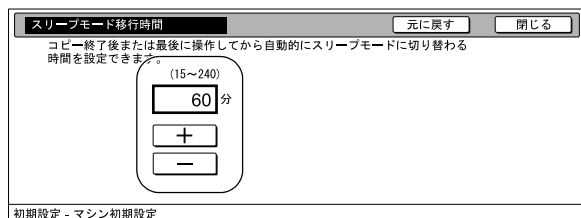
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からスリープモード移行時間を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「スリープモード移行時間」画面が表示されます。



- 3 [+] キーまたは [-] キーを押して、15 (分) から 240 (分) までの時間を選んでください。



補足

- 複写機を頻繁に使用する場合は、オートスリープ機能が働くまでの時間を長めに、使用しない時間が長い場合は短めに設定することをお勧めいたします。
- 設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4 [閉じる] キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

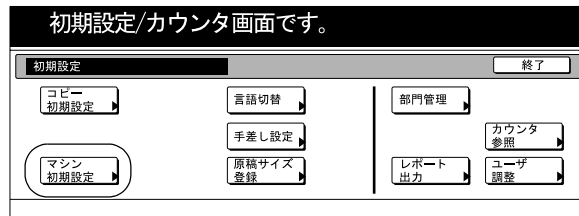
- 5 [閉じる] キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 [終了] キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

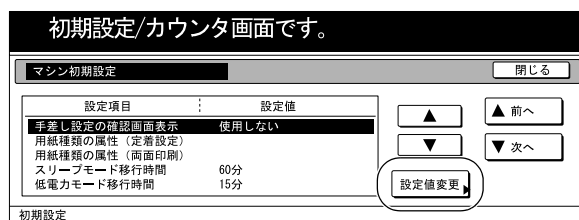
低電力モード移行時間

コピー作業が終了して自動的に低電力モードになるまでの時間を設定します。

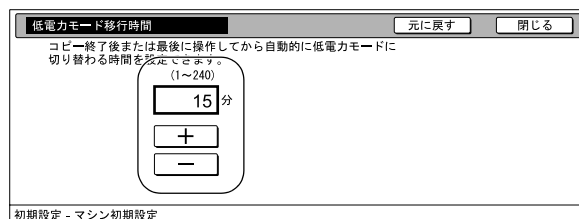
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から低電力モード移行時間を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「低電力モード移行時間」画面が表示されます。



- 3 [+] キーまたは [-] キーを押して、1 (分) から 240 (分) までの時間を選んでください。



補足

- 設定できる時間は、1 分～45 分 (1 分単位)、60 分、90 分、120 分、180 分、240 分です。
- 設定を解除するには [元に戻す] キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4 [閉じる] キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

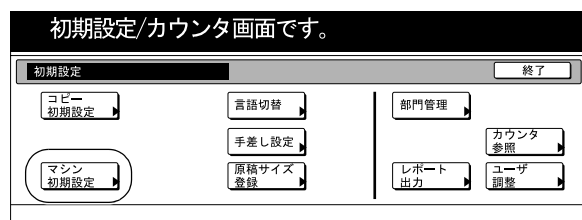
- 5 [閉じる] キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 [終了] キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

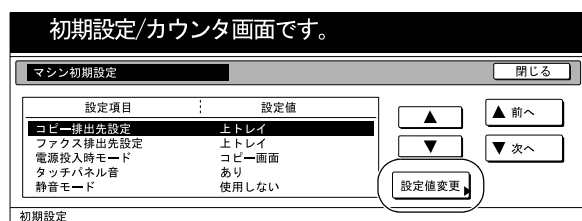
コピー排出先設定

コピー出力時に優先される排出先を設定します。

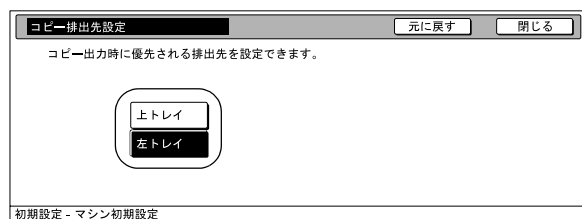
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からコピー排出先設定を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「コピー排出先設定」画面が表示されます。



- 3 コピー排出先を選んでください。



補足

- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。
- オプションのドキュメントフィニッシャ装着時は「上トレイ」と「フィニッシャ」から選択します。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

ファクス排出先設定

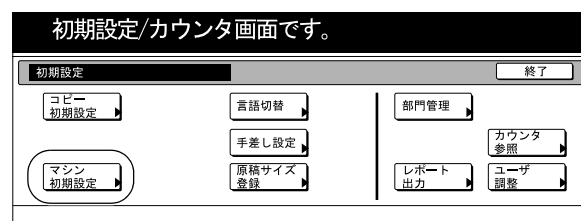
ファクスで受信した原稿、各種レポートの出力時に優先される排出先を設定します。



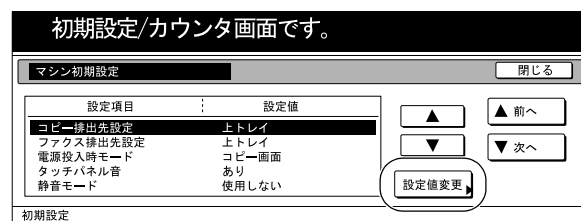
補足

この設定は、オプションのファクスキットとドキュメントフィニッシャを装着したときに表示されます。

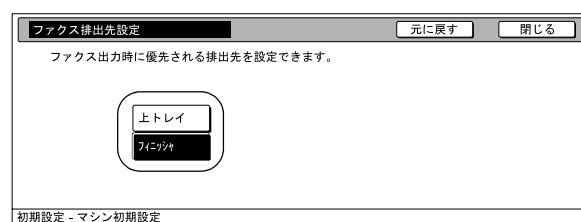
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からファクス排出先を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「ファクス排出先」画面が表示されます。



- 3 ファクス排出先を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

電源投入時モード

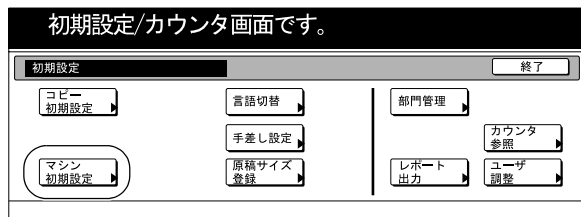
電源を入れたときに初期の状態が表示される画面をコピー画面か、ファクス画面か設定できます。



補足

この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から電源投入時モードを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「電源投入時モード」画面が表示されます。



- 3 「コピー画面」か「ファクス画面」を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

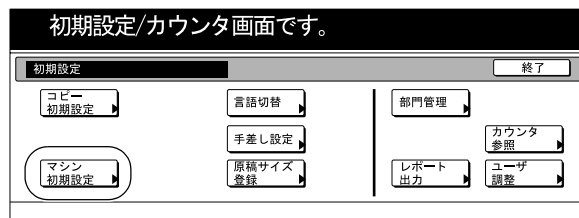
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

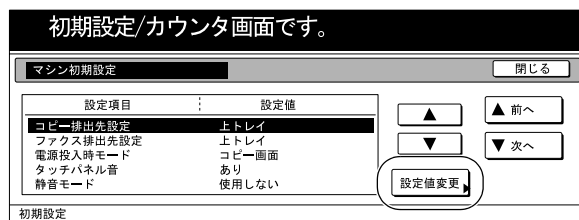
タッチパネル音

タッチパネルを押したときに鳴る「ピッ」という音を出すか出さないか設定します。音を消す場合には、「なし」を選択してください。

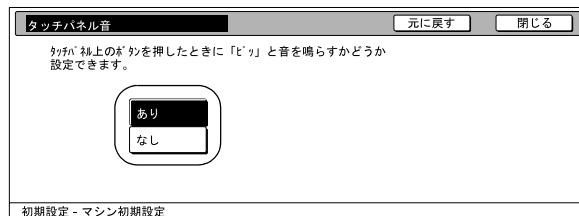
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からタッチパネル音を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「タッチパネル音」画面が表示されます。



- 3 タッチパネルを押したときに「ピッ」という音を鳴らしたいときは「あり」、音を消したいときは「なし」を選びます。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

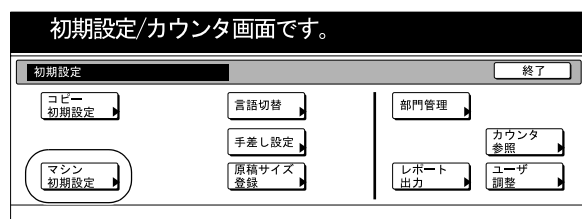
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

静音モード

コピー前後のレーザー書き込みモーターの回転時間を短くします。モーター音が気になる場合に使用してください。

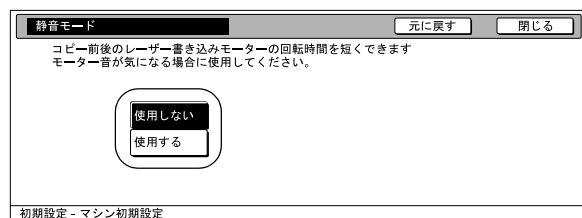
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から静音モードを選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「静音モード」画面が表示されます。



- 3 静音モードを使用するときは、「使用する」を選んでください。



- 補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

日付 / 時刻の設定

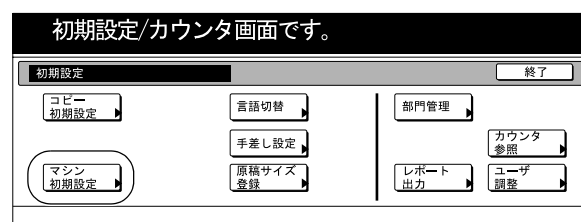
日付と時刻の設定を行います。



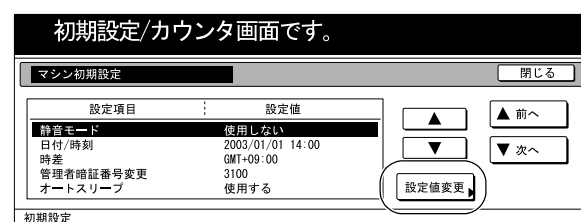
補足

日付の設定を行う場合は、先に時差の設定を行ってください。

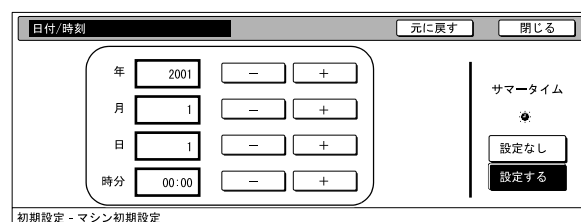
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から日付 / 時刻を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「日付 / 時刻」画面が表示されます。



- 3 「年」、「月」、「日」、「時分」の項目を「+」、「-」キーを使って設定してください。サマータイムを設定する場合は、サマータイムの「設定する」キーを押してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

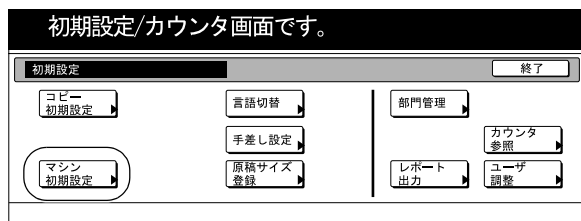
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

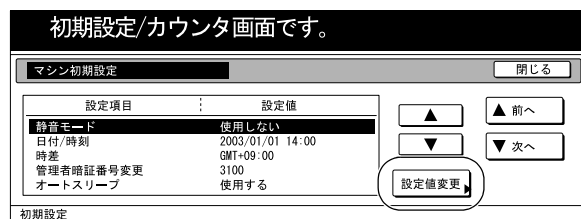
時差の設定

世界標準時間（GMT）との時差の設定を行います。

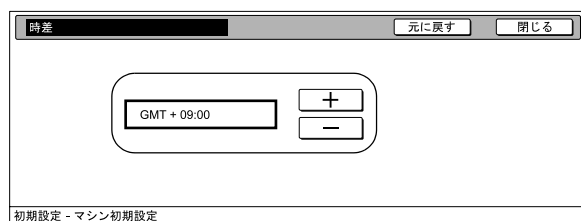
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から時差を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「時差」画面が表示されます。



- 3 [+], [-] キーを使って、時差を設定してください。



- 補足**
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

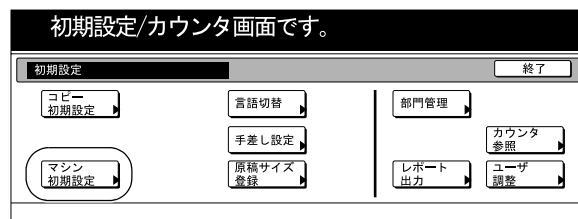
- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

管理者暗証番号変更

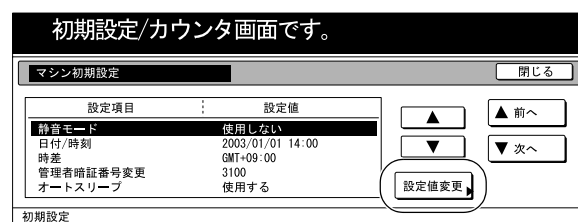
本機管理者の暗証番号を変更します。

- 重要**
暗証番号を変更したときは必ずメモを取るようにしてください。万一忘れたときは、サービス担当者にご連絡ください。

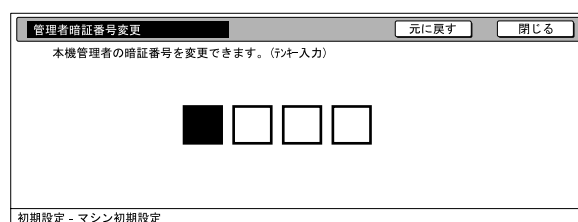
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。（P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から管理者暗証番号変更を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「管理者暗証番号変更」画面が表示されます。



- 3 新しい管理者暗証番号をテンキー入力してください。



- 補足**
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

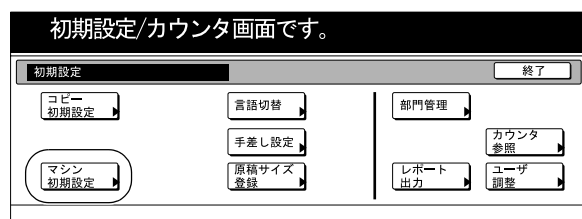
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

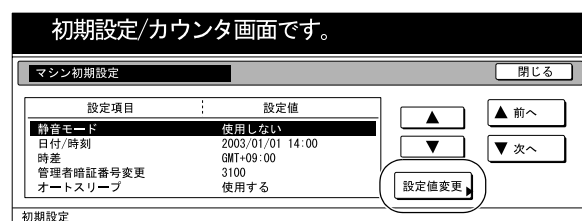
オートスリープ

コピー終了後または最後に操作をしてから一定時間操作を行わなければ、自動的に電源を OFF にすることができます。

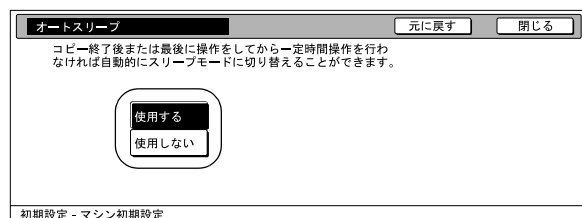
- 1 「マシン初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-33、「マシン初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からオートスリープを選んで、
「設定値変更」キーを押してください。
「オートスリープ」画面が表示されます。



- 3 オートスリープ機能を使うときは「使用する」
を選んでください。



補足

- コピー操作においてオートスリープ機能が使用上の不便さを与える場合には、オートスリープ機能を使用しない設定にしてください。オートスリープ機能を使用しない設定にする前に、まずオートスリープ機能が働くまでの時間を長めに設定することをお勧めします。
- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順 2 の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

コピー初期設定の項目

コピー初期設定には下記の項目があります。

コピー機を効率的に活用するために、必要に応じて各設定を行ってください。

コピー初期設定	コピー初期設定の内容	設定できる値	出荷時	参照ページ
濃度モード	初期状態でのコピー濃度が自動か手動かを設定します。	手動 / 自動	手動	7-47
濃度ステップ	コピー濃度の調整ステップ数を変更します。0.5 ステップにするとさらにこまかい濃度の調整ができます。	1 ステップ / 0.5 ステップ	1 ステップ	7-48
原稿の画質	初期状態での原稿の画質を設定できます。	文字 + 写真 / 印刷画紙写真 / 印刷写真 / 文字 / 地図	文字 + 写真	7-48
カラーコピーモード設定	初期状態でのカラーコピーモードを設定します。	自動カラー / フルカラー / 白黒	フルカラー	7-49
自動カラー判別基準設定	自動カラーコピー時のカラー原稿と白黒原稿の識別レベルを調整することができます。数値を小さくするとカラー原稿と識別することが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と識別することが多くなります。	1 ～ 5	3	7-49
エコプリント	電源投入時のエコプリントモードの初期値を選択します。エコプリントモードの初期値を「設定する」にすることもできます。エコプリントモードを使用すると、濃度が薄くなりトナーの消費量が少なくなります。	設定しない / 設定する	設定しない	7-50
用紙選択	原稿をセットしたときに自動的に同じサイズの下紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは優先カセット段を選択するかを設定します。	自動用紙 / 優先カセット	自動用紙	7-50
用紙種類の指定 (カラー自動用紙)	カラーコピー時、自動用紙選択機能で選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。 ※ 現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。	設定なし / 設定する	設定する	7-51
		普通紙 再生紙 カラー紙 上質紙 カスタム 1 ～ 8	普通紙	
用紙種類の指定 (白黒自動用紙)	白黒コピー時、自動用紙選択機能で選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。 ※ 現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。	設定なし / 設定する	設定する	7-51
		普通紙 再生紙 カラー紙 上質紙 カスタム 1 ～ 8	普通紙	

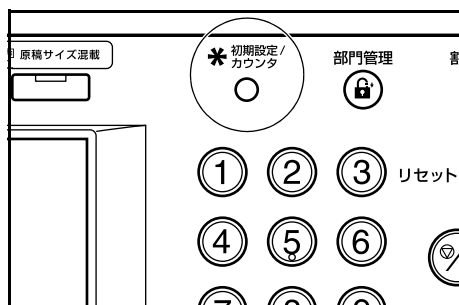
コピー初期設定	コピー初期設定の内容	設定できる値	出荷時	参照ページ
優先カセット	自動的に優先して使用するカセットを選択します。 ※手差しは優先カセットとして設定することはできません。 ※両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット 1 が表示されません。 ※カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。	カセット 1 ～ 4	カセット 2	7-52
表紙用紙カセット	表紙付け機能や小冊子機能で使用するカバー用紙のカセットを設定します。 ※両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット 1 が表示されません。 ※カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。	カセット 1 ～ 4、手差し	手差し	7-52
優先倍率	任意の用紙段の選択時に自動倍率させるかどうかを設定できます。	等倍 / 自動倍率	等倍	7-53
自動濃度調整 (カラー)	カラーコピー時、自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃淡を調整します。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-53
自動濃度調整 (白黒)	白黒コピー時、自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃淡を調整します。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-54
自動濃度調整 (OCR)	オプションのスキナ機能で、OCR を使ってスキャンをするときの全体的な画像の濃淡を調整します。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-54
手動濃度調整 (文字 + 写真)	コピー濃度の手動濃度 (文字 + 写真) の濃度中央値を調整できます。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-55
手動濃度調整 (印画紙写真)	コピー濃度の手動濃度 (印画紙写真) の濃度中央値を調整できます。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-55
手動濃度調整 (印刷写真)	コピー濃度の手動濃度 (印刷写真) の濃度中央値を調整できます。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-56
手動濃度調整 (文字)	コピー濃度の手動濃度 (文字) の濃度中央値を調整できます。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-56
手動濃度調整 (地図)	コピー濃度の手動濃度 (地図) の濃度中央値を調整できます。	-3 ～ +3	基準 (0)	7-57
ソート	初期状態でソートを設定するかしないかを変更します。	ソートしない / ソートする	ソートする	7-57
自動回転	初期状態で自動回転を設定するかしないかを変更します。 自動回転を設定するとセットした原稿の向きとカセットの中の用紙の向きが異なる場合でも、画像を回転してコピーします。	回転しない / 自動回転する	自動回転する	7-58
とじしろ初期値	とじしろ幅の初期値を設定します。	左右 : 0 ～ 18	左 6mm	7-58
		上下 : 0 ～ 18	上 0mm	
枠消し初期値	シート枠消しの枠消し幅およびブック枠消しの初期値を設定します。	外枠 : 0 ～ 18	6mm	7-59
		中枠 : 0 ～ 36	12mm	
コピー部数制限	一度にコピーできる部数を制限します。	1 ～ 999	999 部	7-59

コピー初期設定	コピー初期設定の内容	設定できる値	出荷時	参照 ページ
再コピー設定	再コピー機能を使用するかしないかを設定します。	使用しない / 使用する	使用する	7-60
	初期状態で再コピーを設定するかしないかを設定します。	設定なし / 設定する	設定なし	
登録ボタンの表示	ワンタッチ設定の登録ボタンの表示 / 非表示を設定できます。ワンタッチ設定の登録 / 削除は各設定画面の「登録」キーより行えます。	表示する / 表示しない	表示する	7-60
画面変更（基本機能）	基本機能の画面を使いやすいようにレイアウトを変更します。 ※6種類の機能を並び替えることができます。	• コピー濃度 • 縮小 / 拡大 • 原稿の画質 • ソート / 仕上げ • 両面 / 分割 • 原稿サイズ選択	1 コピー濃度 2 縮小 / 拡大 3 原稿の画質 4 ソート / 仕上げ 5 両面 / 分割 6 原稿サイズ選択	7-61
画面変更（追加機能）	頻繁に使う機能を使いやすいように画面レイアウトできます。	基本機能を除く機能	7 とじしろ 8 枠消し 9 集約 10 (設定なし) 11 (設定なし) 12 (設定なし) 13 (設定なし)	7-61

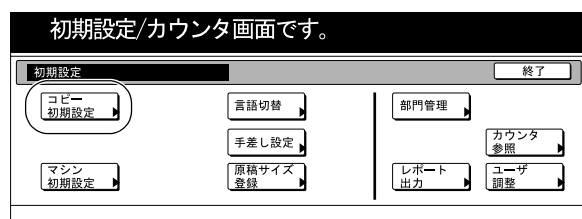
コピー初期設定画面の表示方法

下記の手順にしたがって、コピー初期設定画面を表示させてください。

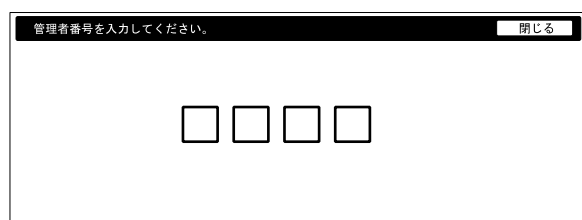
- 1 「基本」画面が表示された状態で操作パネルの「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



- 2 画面内の「コピー初期設定」キーを押してください。



- 3 テンキーで暗証番号“0000”を入力してください。
工場出荷時は“3100”となっています。



- 4 暗証番号が合致すれば、「コピー初期設定」画面が表示されます。



補足

- 4桁の暗証番号は変更することができます。(P.7-42、「管理者暗証番号変更」参照)
- 以降の「コピー初期設定の変更方法」を参照して設定を行ってください。

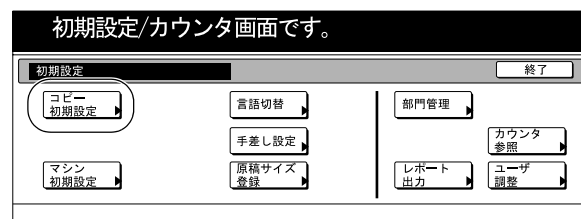
コピー初期設定の変更方法

下記にコピー初期設定の各項目の変更方法を説明します。

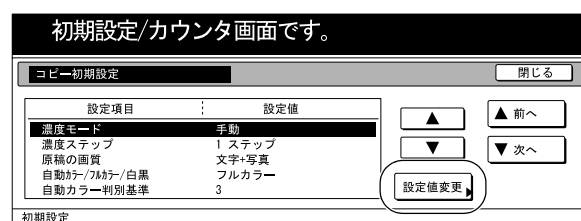
濃度モード

初期状態でのコピー濃度が自動か手動かを設定します。

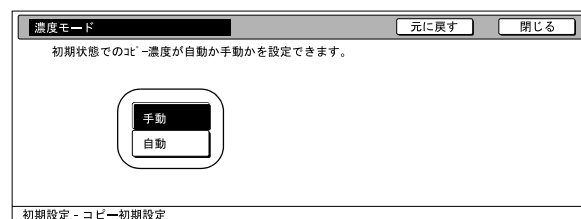
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から濃度モードを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「濃度モード」画面が表示されます。



- 3 「手動」か「自動」を選んでください。



- 4 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

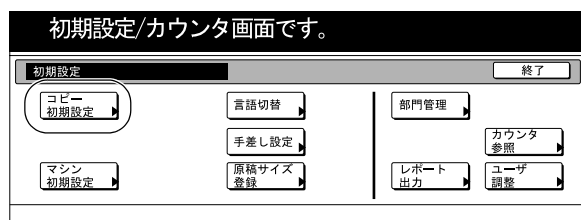
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

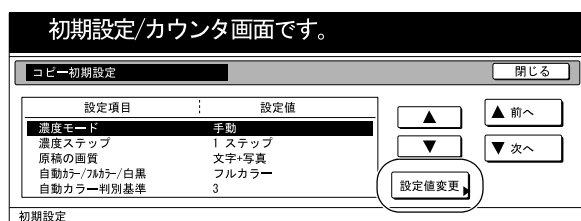
濃度ステップ

コピー濃度のステップ数を変更します。

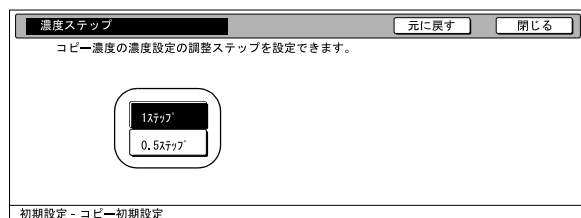
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から濃度ステップを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「濃度ステップ」画面が表示されます。



- 3 「1 ステップ」か「0.5 ステップ」を選んでください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

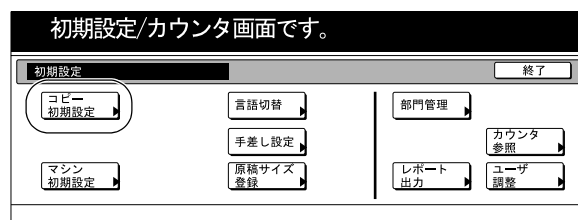
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

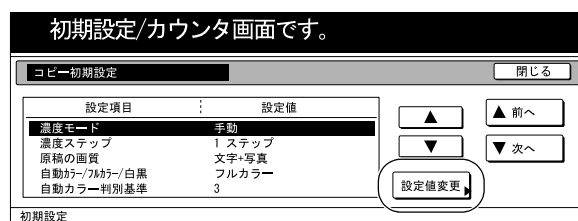
原稿の画質

初期状態での原稿の画質を設定します。

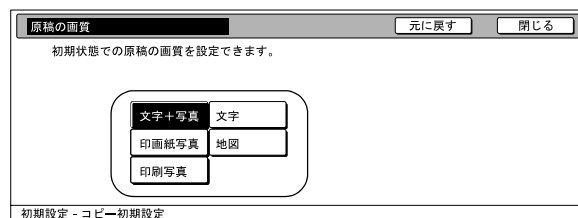
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から原稿の画質を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「原稿の画質」画面が表示されます。



- 3 「文字+写真」、[印画紙写真]、[印刷写真]、[文字]、または「地図」を選んでください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

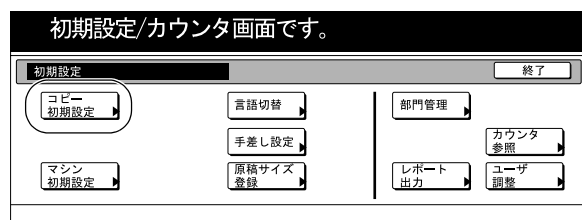
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

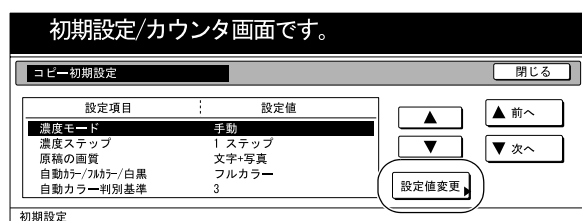
カラーコピーモード設定

初期状態でのカラーコピーモードを設定します。

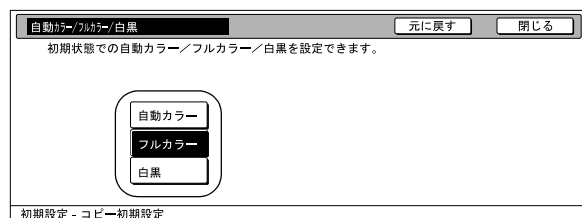
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から自動カラー/フルカラー/白黒を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「自動カラー/フルカラー/白黒」画面が表示されます。



- 3 [自動カラー]、[フルカラー]、または [白黒] を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

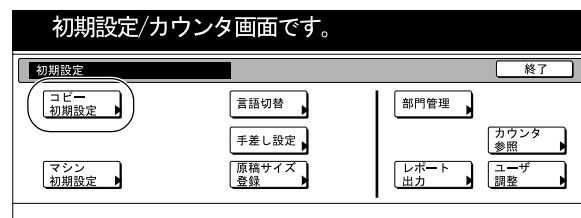
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

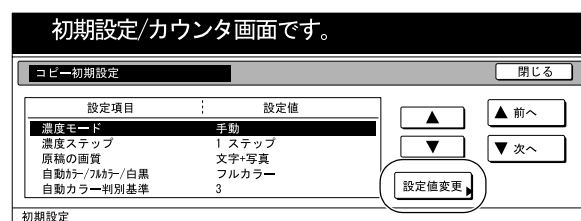
自動カラー判別基準設定

自動カラーコピー時のカラー原稿と白黒原稿の識別レベルを調整することができます。

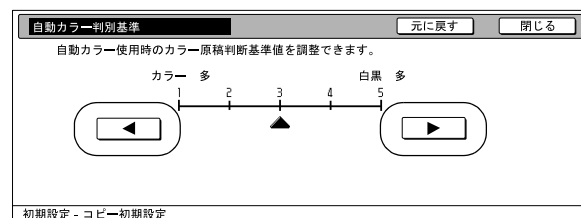
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から自動カラー判別基準を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「自動カラー判別基準設定」画面が表示されます。



- 3 [◀] キーと [▶] キーで黒矢印の位置を変えて数値を調整してください。



補足

- 数値を小さくするとカラー原稿と識別することが多くなり、数値を大きくすると白黒原稿と識別することが多くなります。
- 設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

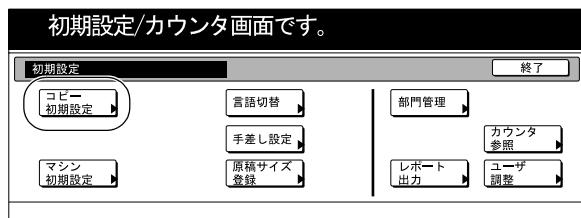
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

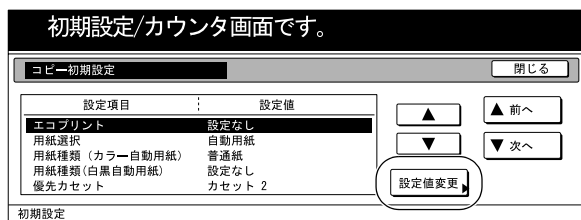
エコプリント

電源投入時のエコプリントの初期値を選択します。エコプリントの初期値を「設定する」にすることもできます。

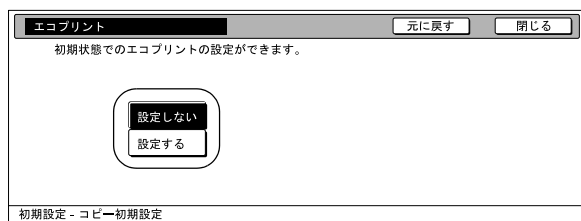
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からエコプリントを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「エコプリント」画面が表示されます。



- 3 エコプリントを初期値で使うときは「設定する」を選んでください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

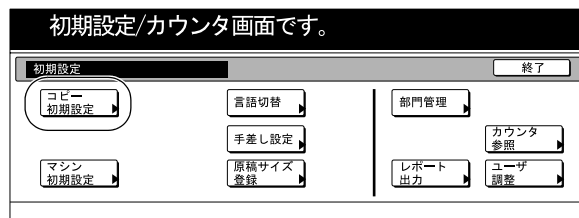
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

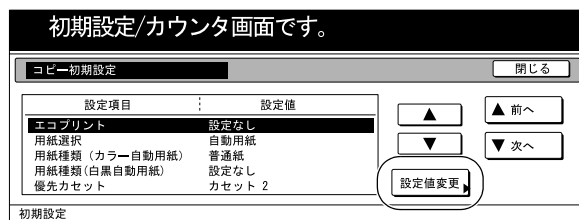
用紙選択

原稿をセットしたときに自動的に同じサイズの下紙が入ったカセットを選択させるか、あるいは優先カセット（固定）を設定します。

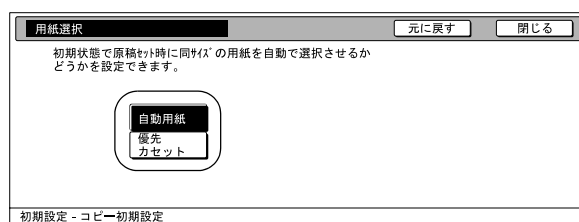
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から用紙選択を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「用紙選択」画面が表示されます。



- 3 自動的に同じサイズの下紙が入ったカセットを選択させるときは「自動用紙」キーを、固定させるときは「優先カセット」キーを押してください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

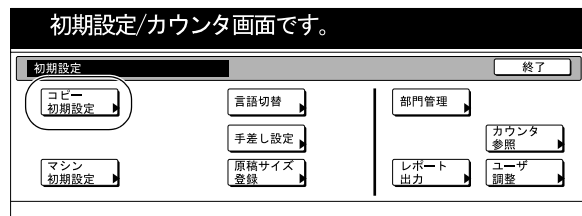
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

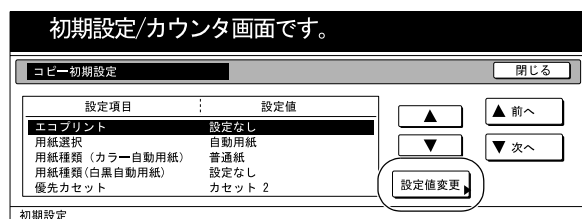
用紙種類の指定（カラー自動用紙）

カラーコピー時、自動用紙選択機能で選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。

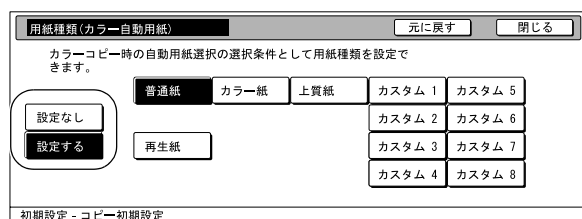
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から用紙種類（カラー自動用紙）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「用紙種類（カラー自動用紙）」画面が表示されます。



- 3 「設定する」キーを押して、用紙種類を選択してください。反転表示されている用紙種類は自動用紙選択で選択されます。設定しない場合は、「設定なし」キーを押してください。



補足

- ・現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。
- ・設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

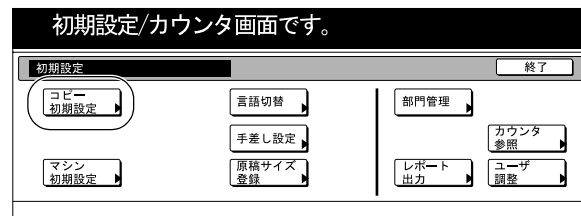
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

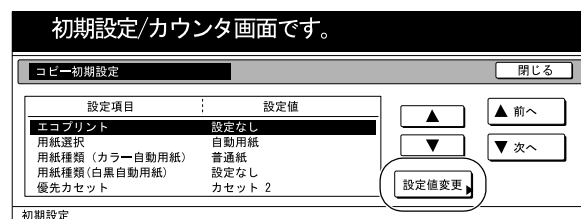
用紙種類の指定（白黒自動用紙）

白黒コピー時、自動用紙選択機能で選択する用紙を、用紙種類で限定することができます。

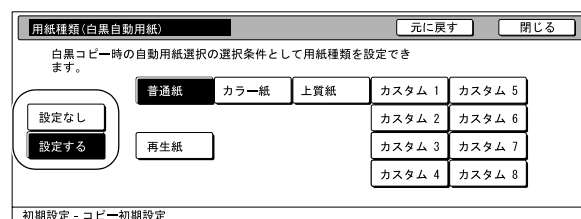
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から用紙種類（白黒自動用紙）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「用紙種類（白黒自動用紙）」画面が表示されます。



- 3 「設定する」キーを押して、用紙種類を選択してください。反転表示されている用紙種類は自動用紙選択で選択されます。設定しない場合は、「設定なし」キーを押してください。



補足

- ・現在カセットに設定されている用紙種類が選択できます。
- ・設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

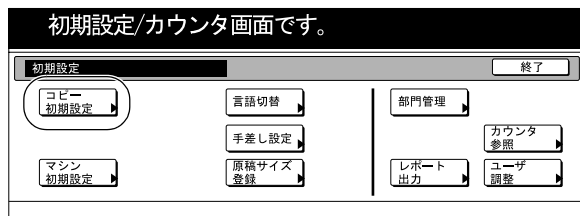
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

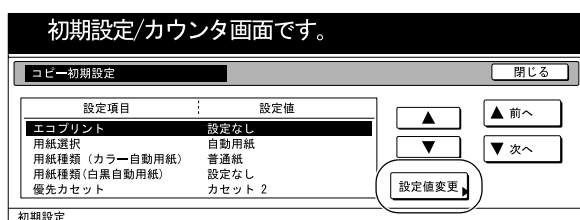
優先カセット

自動的に優先して使用するカセットを選択します。手差しは優先カセットとして設定することはできません。

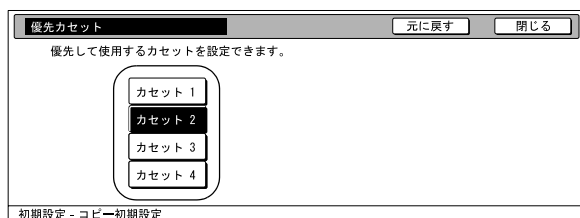
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から優先カセットを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「優先カセット」画面が表示されます。



- 3 優先して使用するカセットを選んでください。



補足

- ・設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。
- ・両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット1が表示されません。
- ・カセット3、4はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

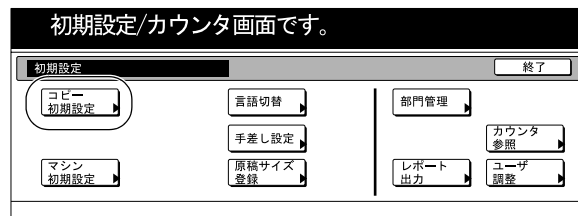
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

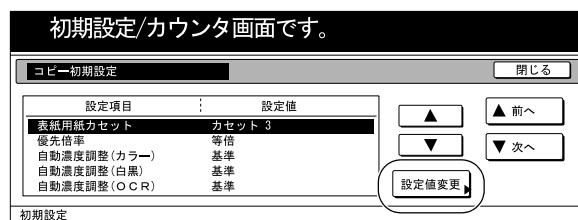
表紙用紙カセット

表紙付け機能や小冊子機能で使用するカバー用紙のカセット段を設定します。

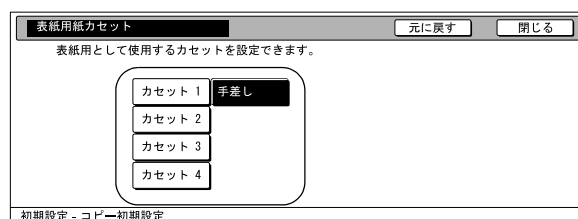
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から表紙用紙カセットを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「表紙用紙カセット」画面が表示されます。



- 3 カバー用紙給紙段に指定するカセットを選択してください。



補足

- ・設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。
- ・両面機は、両面ユニットを装着しているため、カセット1が表示されません。
- ・カセット3、4はオプションのペーパーフィーダを設置している場合に表示します。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

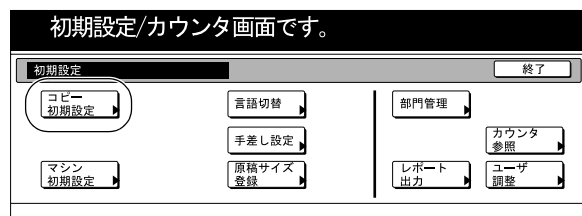
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

優先倍率

任意の用紙段の選択時に自動倍率させるかどうかを設定します。

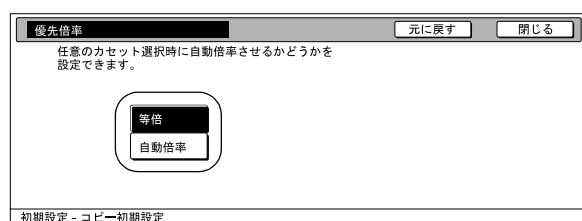
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から優先倍率を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「優先倍率」画面が表示されます。



- 3 優先倍率を「等倍」にするか「自動倍率」にするかを選んでください。



補足

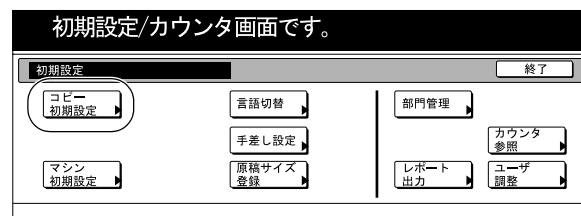
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

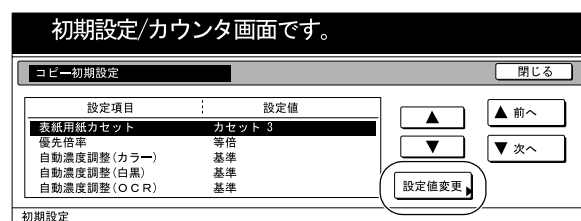
自動濃度調整（カラー）

カラーコピー時、自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃淡を調整します。

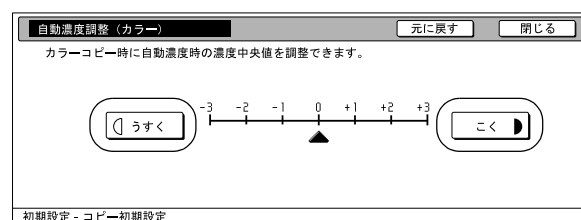
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から自動濃度調整（カラー）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「自動濃度調整（カラー）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



補足

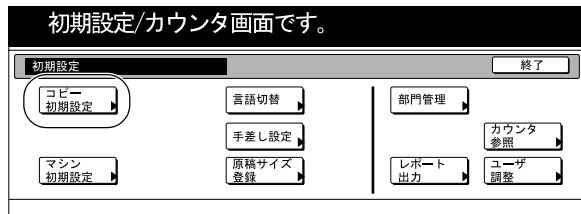
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

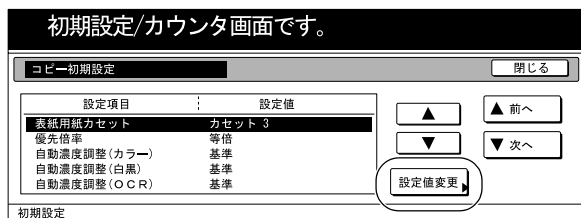
自動濃度調整（白黒）

白黒コピー時、自動濃度モード使用時の全体的なコピーの濃淡を調整します。

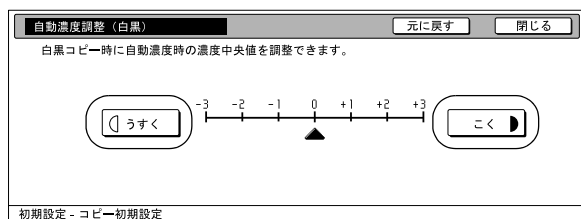
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から自動濃度調整（白黒）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「自動濃度調整（白黒）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



- 補足**
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

自動濃度調整（OCR）

オプションのスキナ機能でOCRを使ってスキャンをするときの全体的な画像の濃淡を調整します。



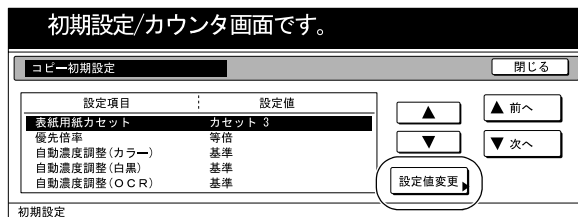
補足

この設定は、オプションのファクスキットを装着したときに表示されます。

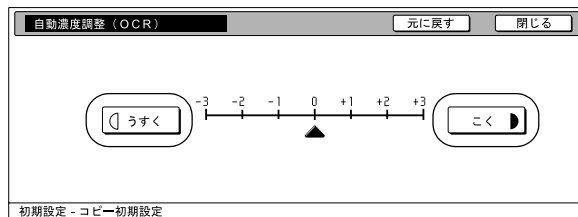
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から自動濃度調整（OCR）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「自動濃度調整（OCR）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

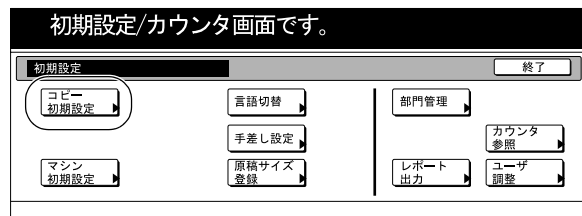
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

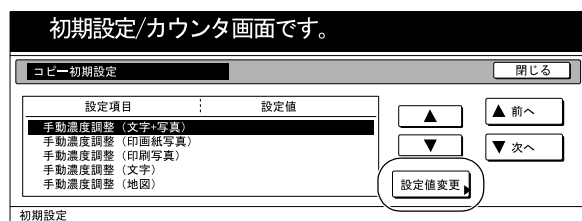
手動濃度調整（文字 + 写真）

コピー濃度の手動濃度（文字 + 写真）の濃度中央値の濃淡を調整します。

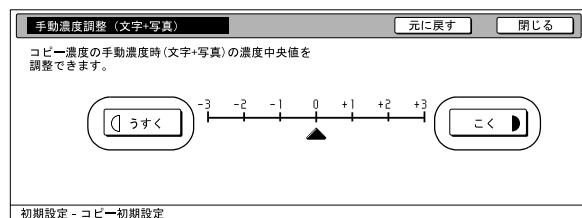
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から手動濃度調整（文字 + 写真）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「手動濃度調整（文字 + 写真）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

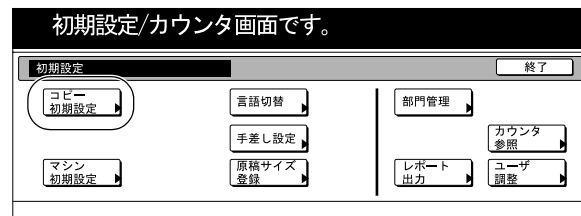
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

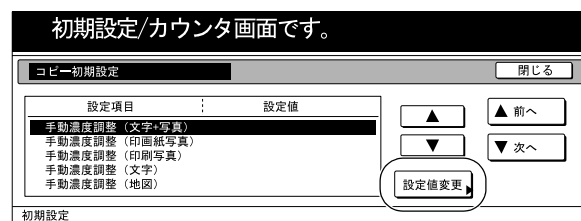
手動濃度調整（印画紙写真）

コピー濃度の手動濃度（印画紙写真）の濃度中央値の濃淡を調整します。

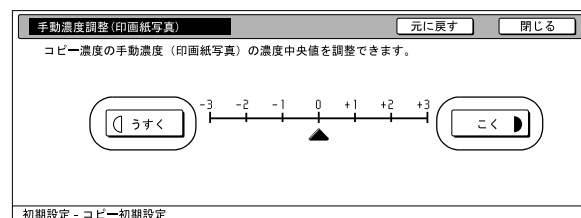
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から手動濃度調整（印画紙写真）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「手動濃度調整（印画紙写真）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

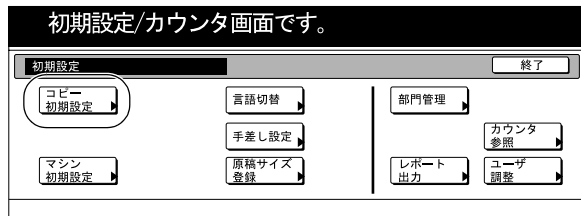
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

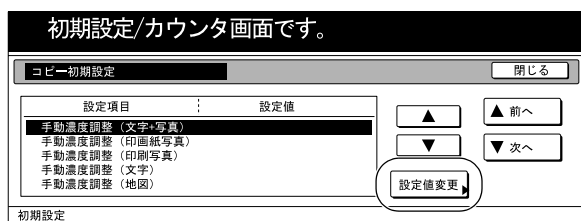
手動濃度調整（印刷写真）

コピー濃度の手動濃度（印刷写真）の濃度中央値の濃淡を調整します。

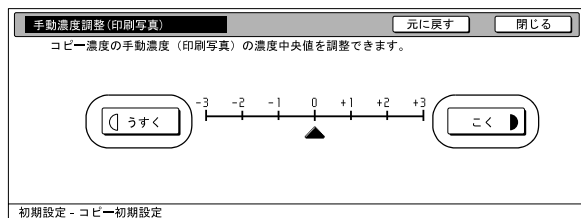
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から手動濃度調整（印刷写真）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「手動濃度調整（印刷写真）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



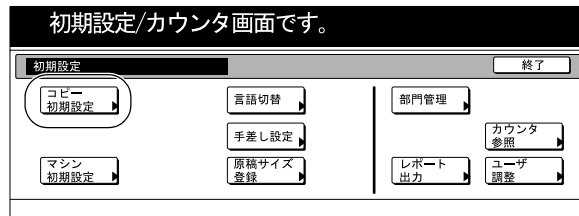
- 補足**
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

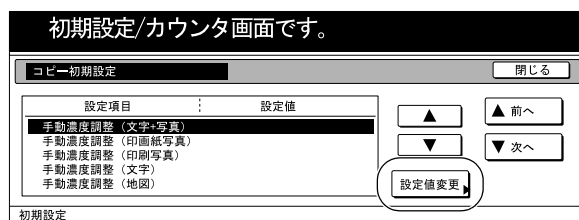
手動濃度調整（文字）

コピー濃度の手動濃度（文字）の濃度中央値の濃淡を調整します。

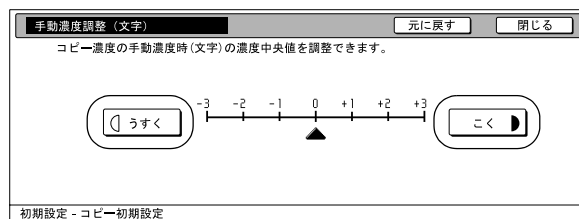
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から手動濃度調整（文字）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「手動濃度調整（文字）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



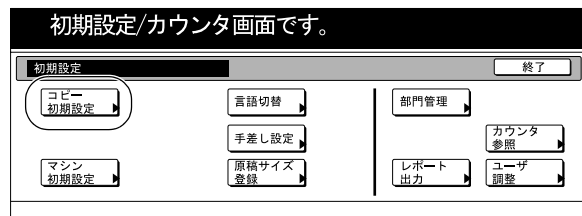
- 補足**
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

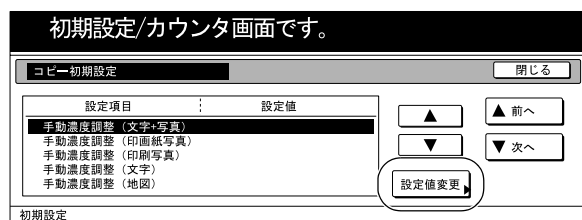
手動濃度調整（地図）

コピー濃度の手動濃度（地図）の濃度中央値の濃淡を調整します。

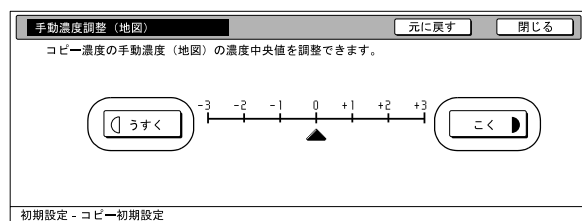
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄から手動濃度調整（地図）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「手動濃度調整（地図）」画面が表示されます。



- 3 「うすく」キーと「こく」キーで黒矢印の位置を変えて濃度を調整してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

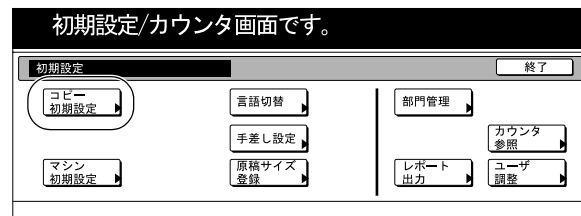
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

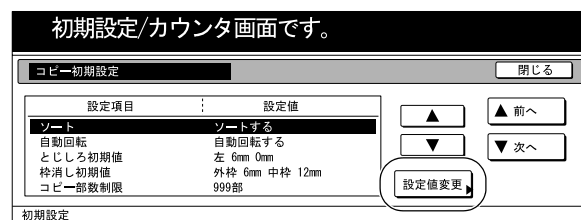
ソート

初期モードでソートを設定するか、しないかを変更できます。

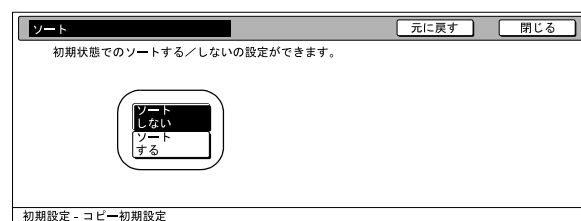
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。（P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照）



- 2 左側の設定項目欄からソートを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「ソート」画面が表示されます。



- 3 ソートを初期値で使うときは「ソートする」を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

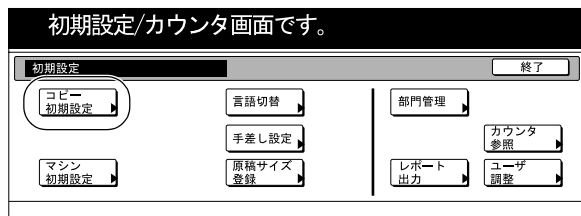
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

自動回転

初期モードで自動回転を設定するか、しないかを変更できます。

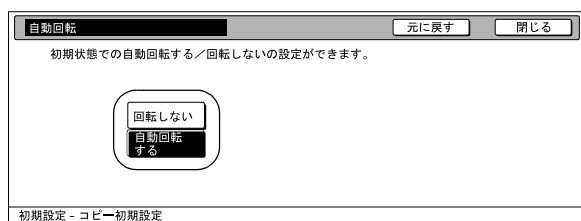
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から自動回転を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「自動回転」画面が表示されます。



- 3 自動回転を初期モードで使うときは「自動回転する」を選んでください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

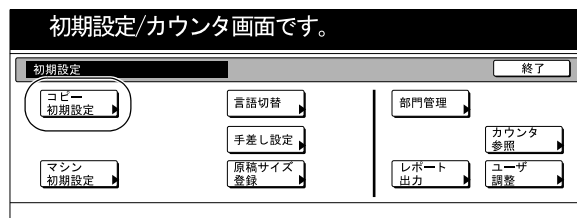
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

とじしろ初期値

とじしろの幅を設定します。

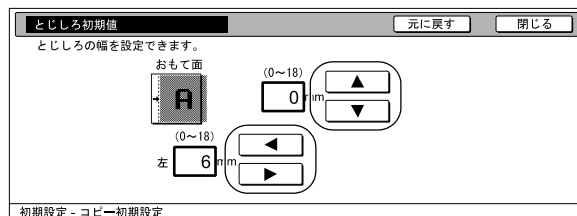
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からとじしろ初期値を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「とじしろ初期値」画面が表示されます。



- 3 「▲」キー、「▼」キー、「◀」キー、「▶」キーで上下左右のとじしろ幅を設定してください。



補足
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

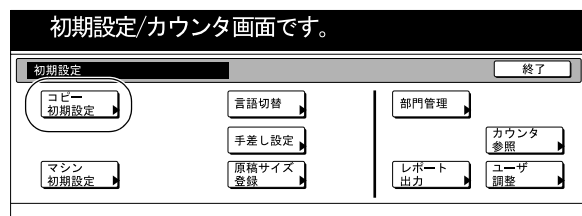
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

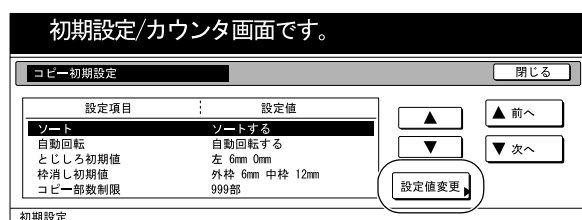
枠消し初期値

シート枠消しの枠消し幅およびブック枠消しの初期値を設定します。

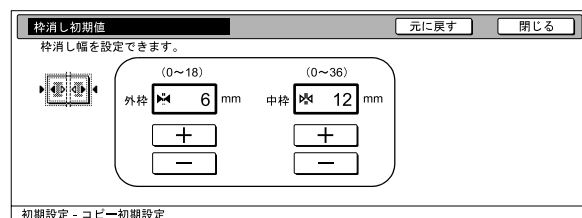
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から枠消し初期値を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「枠消し初期値」画面が表示されます。



- 3 [+] キーまたは [-] キーで枠消し幅およびブック枠消しの外枠と内枠幅の初期値を設定してください。



補足

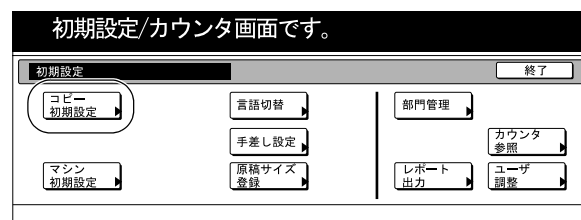
設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

コピー部数制限

一度にコピーできる部数を制限します。

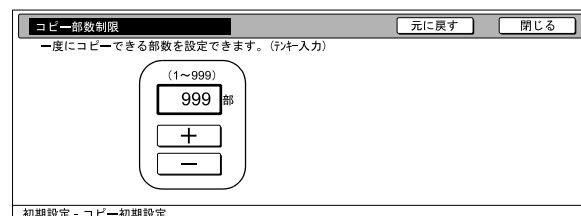
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄からコピー部数制限を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「コピー部数制限」画面が表示されます。



- 3 [+] キーまたは [-] キーでコピー部数制限値 (1 ~ 999) を設定してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。
- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

再コピー設定

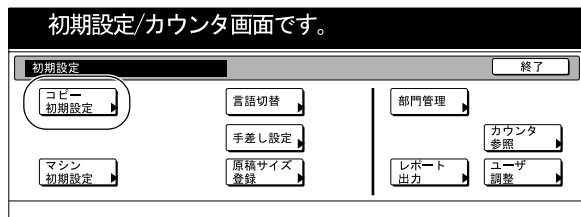
再コピー機能を禁止したり、初期モードで再コピーを設定することができます。



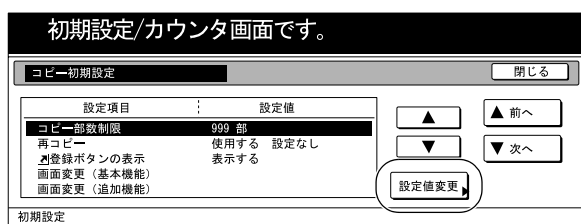
補足

この設定は、両面機またはオプションのメモリコピーボードを装着したときに表示されます。

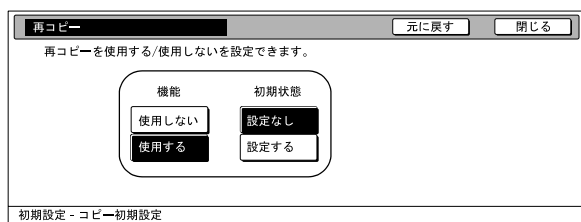
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から再コピーを選んで、「設定値変更」キーを押してください。「再コピー」画面が表示されます。



- 3 再コピー機能を使用しない場合は「使用しない」を選択してください。また、初期モードで再コピー機能を設定する場合は「設定する」を選択してください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

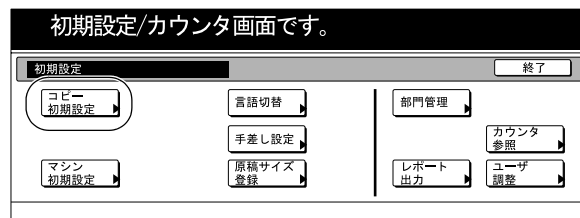
- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

登録ボタンの表示

ワンタッチ設定の登録ボタンの表示 / 非表示を設定します。ワンタッチ設定の登録 / 削除は各設定画面の登録キーより行えます。

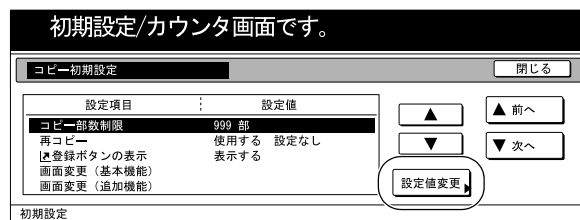
1

- 「コピー初期設定」画面を表示させてください。(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



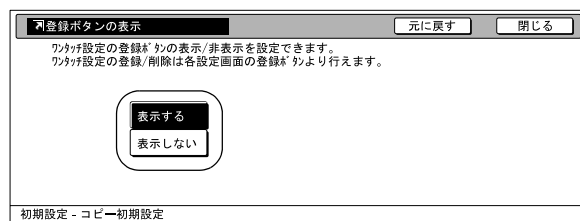
2

- 左側の設定項目欄から登録ボタンの表示を選んで、「設定値変更」キーを押してください。「登録ボタンの表示」画面が表示されます。



3

- 登録ボタンを表示させるときは「表示する」、隠すときは「表示しない」を選んでください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

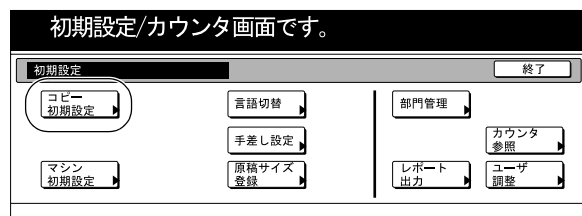
- 5 「閉じる」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

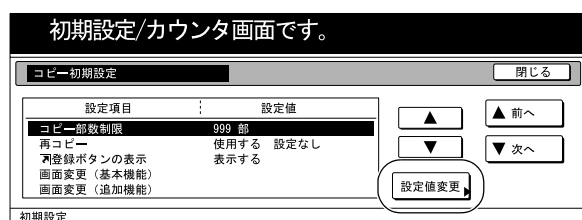
画面変更（基本機能）

基本機能の画面を使いやすいようにレイアウトを変更します。

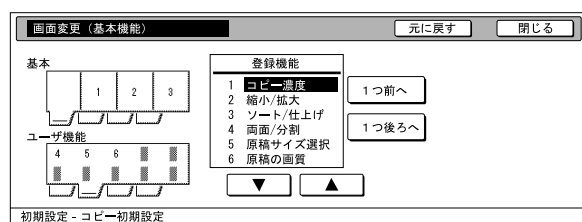
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から画面変更（基本機能）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「画面変更（基本機能）」画面が表示されます。



- 3 画面表示を変更したい場合は、[▼] [▲] キーで1つ選択し、その機能を「1つ前へ」キーと「1つ後ろへ」キーを使って登録機能の順番を変えて、番号と対応する表示位置の機能を入れ替えてください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

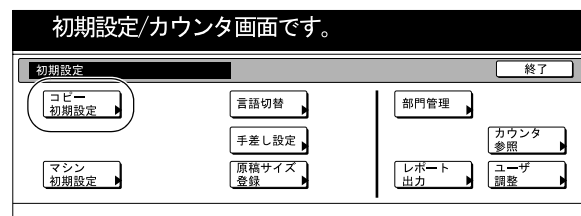
- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

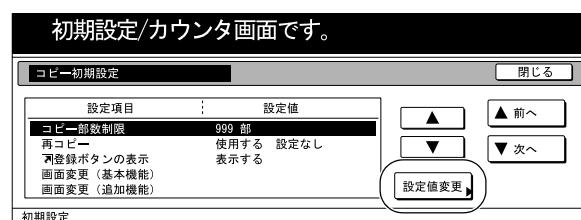
画面変更（追加機能）

頻繁に使う機能を使いやすいように画面レイアウトできます。

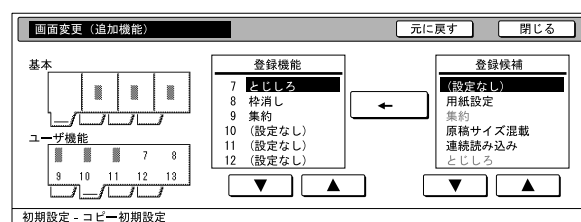
- 1 「コピー初期設定」画面を表示させてください。
(P.7-47、「コピー初期設定画面の表示方法」参照)



- 2 左側の設定項目欄から画面変更（追加機能）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「画面変更（追加機能）」画面が表示されます。



- 3 画面を変更したい場合は、右側の [▼] [▲] キーで登録候補を選び、左側の [▼] [▲] キーで場所を選んで、[←] キーを押して番号と対応する表示位置の登録機能欄に移動させてください。



補足

設定を解除するには「元に戻す」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。

- 4 「閉じる」キーを押してください。
手順2の画面に戻ります。

- 5 「閉じる」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。

- 6 「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

手差し用紙設定

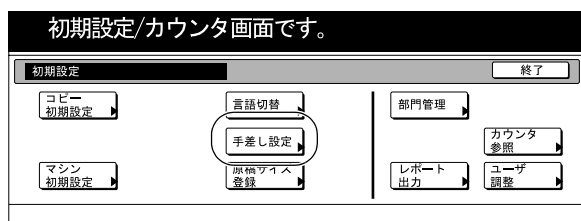
用紙サイズおよび用紙種類の設定

手差しから給紙する場合は、次の設定を行ってください。

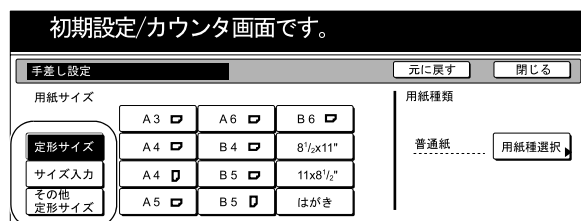
- 1 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



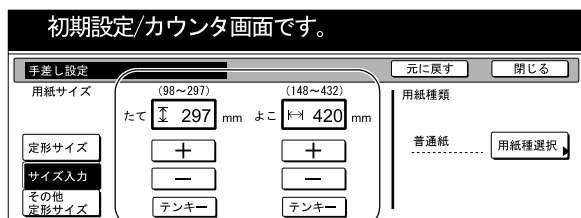
- 2 「手差し設定」キーを押してください。「手差し設定」画面が表示されます。



- 3 用紙サイズを選択して、手順5に進んでください。任意の用紙サイズを入力する場合は、「サイズ入力」キーを押して、次の手順に進んでください。

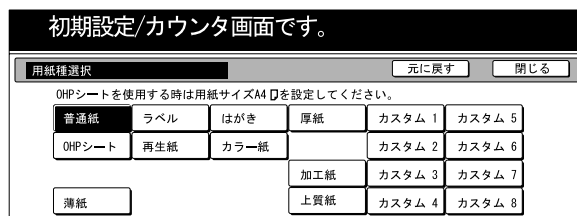


- 4 「+」または「-」キーを使って用紙サイズを入力してください。「テンキー」キーを押してからテンキーで入力することもできます。



- 5 用紙種類を設定します。「用紙種選択」キーを押してください。「用紙種選択」画面が表示されます。

- 6 用紙種類を選択し、「閉じる」キーを押してください。手順4の画面に戻ります。

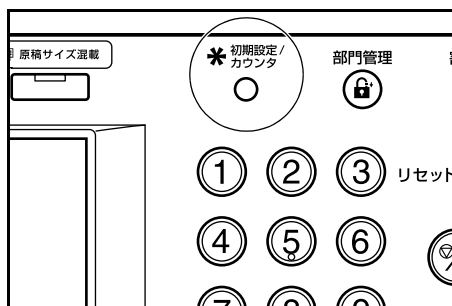


- 7 「閉じる」キーを押してください。手順2の画面に戻ります。「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

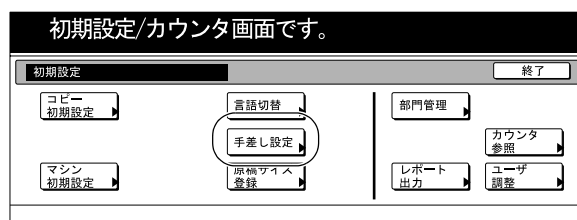
その他定形サイズの設定

特殊な定型サイズを印刷する場合は、次の設定を行ってください。

- 1 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



- 2 「手差し設定」キーを押してください。「手差し設定」画面が表示されます。



3 [その他定形サイズ] キーを押してください。

初期設定/カウンタ画面です。

手差し設定			元に戻す		閉じる
用紙サイズ					
用紙サイズ	A 3 ☐	A 6 ☐	B 6 ☐		
定形サイズ	A 4 ☐	B 4 ☐	8 1/2 x 11" ☐		
サイズ入力	A 4 ☐	B 5 ☐	11 x 8 1/2" ☐		
その他定形サイズ	A 5 ☐	B 5 ☐	はがき ☐		
			用紙種類		
			普通紙	用紙種選択	

4 [サイズ選択] キーを押してください。「サイズ選択」画面が表示されます。

初期設定/カウンタ画面です。

手差し設定			元に戻す		閉じる
用紙サイズ					
用紙サイズ					
定形サイズ	サイズ選択				
サイズ入力					
その他定形サイズ					
			用紙種類		
			普通紙	用紙種選択	

5 セットする用紙のサイズを選択し、[閉じる] キーを押してください。手順 4 の画面に戻ります。

初期設定/カウンタ画面です。

サイズ選択					元に戻す	閉じる
11x17"	ISO B5	Comm.#10	Executive	8 1/2 x 13"		
8 1/2 x 14"	Envelope DL	Comm.#9	往復はがき	A3 ワイド		
5 1/2 x 8 1/2"	Envelope C5	Comm.#6,3/4	洋形 2 号	8K ☐		
Folio	Envelope C4	Monarch	洋形 4 号	16K ☐		

6 [用紙種選択] キーを押してください。「用紙種選択」画面が表示されます。 セットする用紙の種類を選択し、[閉じる] キーを押してください。手順 4 の画面に戻ります。

初期設定/カウンタ画面です。

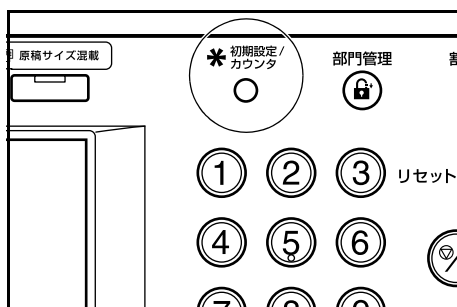
用紙種選択						元に戻す	閉じる
OHPシートを使用する時は用紙サイズA4 ☐ を設定してください。							
普通紙	ラベル	はがき	厚紙	カスタム 1	カスタム 5		
OHPシート	再生紙	カラー紙		カスタム 2	カスタム 6		
			加工紙	カスタム 3	カスタム 7		
薄紙			上質紙	カスタム 4	カスタム 8		

7 [閉じる] キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。[終了] キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

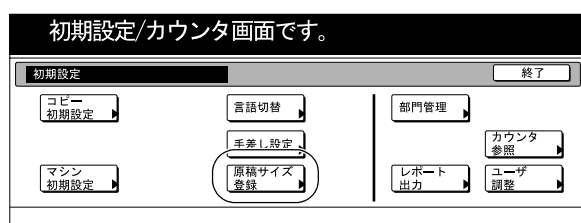
原稿サイズ登録

原稿サイズ選択で使用する原稿サイズのユーザ登録を設定します。

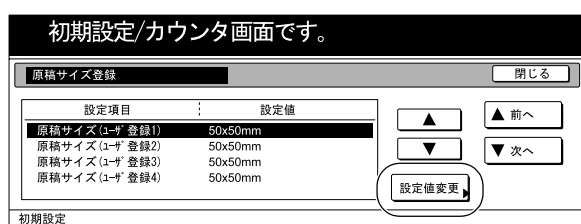
- 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。



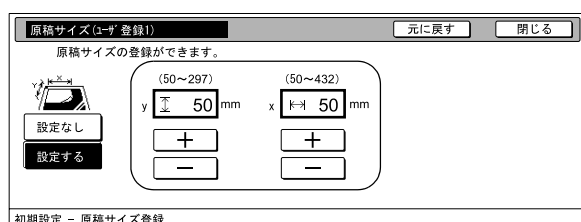
- 「原稿サイズ登録」キーを押してください。
「原稿サイズ登録」画面が表示されます。



- 左側の設定項目欄から原稿サイズ（ユーザ登録 1～4）を選んで、「設定値変更」キーを押してください。
「原稿サイズ（ユーザ登録 1～4）」画面が表示されます。



- 原稿サイズの「Y（幅）」と「X（長さ）」を「+」キーと「-」キーを使って設定してください。
原稿サイズのユーザ登録をしない場合は、「設定なし」を押してください。



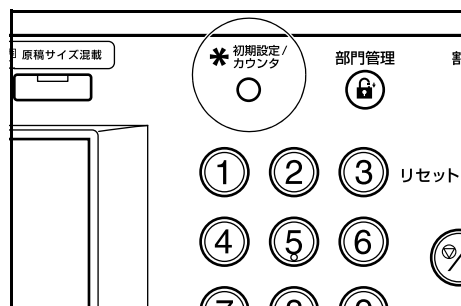
- 「閉じる」キーを押してください。手順 3 の画面に戻ります。

- 「閉じる」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

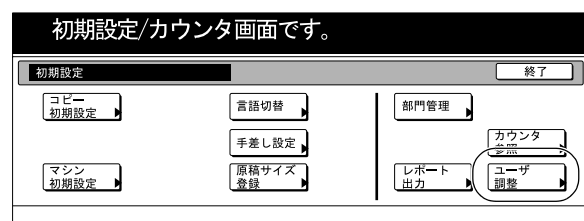
自動階調調整

カラーコピー機は長期間使用していると、色味のズレが生じる場合があります。原稿とコピーの色味が異なる場合はこのモードを使ってカラーコピーの設定を調整することができます。

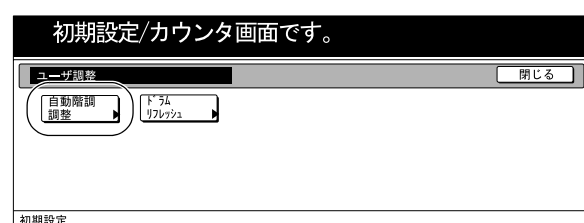
- 1** 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。



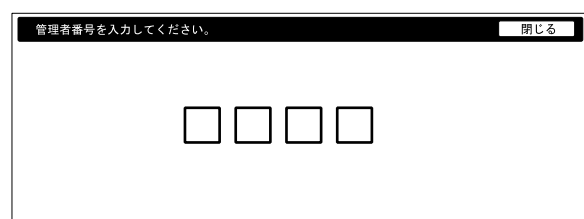
- 2** 「ユーザ調整」キーを押してください。



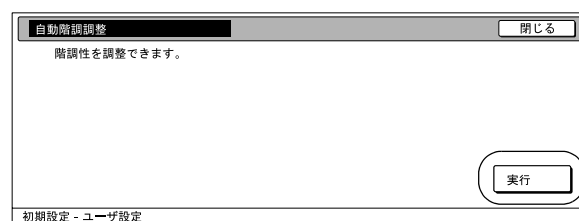
- 3** 「自動階調調整」キーを押してください。



- 4** テンキーで暗証番号“0000”を押してください。
工場出荷時は“3100”となっています。
暗証番号が合致すれば、「自動階調調整」画面が表示されます。



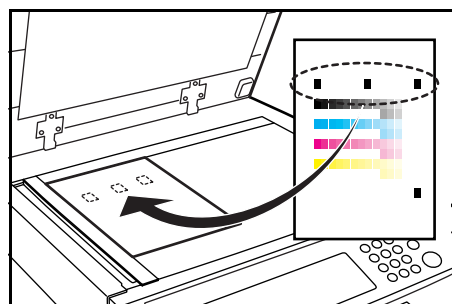
- 5** 「実行」キーを押してください。カラーパターンの出力を開始します。



- 補足**
A4 の用紙がカセットにセットされていることを確認してください。

- 6** 出力が終了したら、カラーパターンをコンタクトガラスにセットしてください。

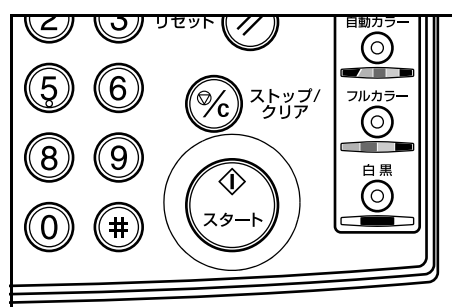
- 補足**
・カラーパターンは、イラストのように、■が3つ並んでいる方を上側にしてセットしてください。



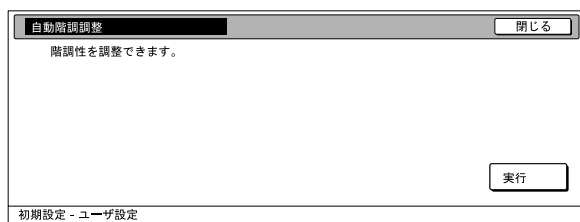
- ・カラーパターンは印刷されている面を下向きにしてコンタクトガラスにセットしてください。
- ・キャンセルするときは「作業中止」キーを押してください。

- 7** 原稿押さえを閉じてください。

- 8** 「スタート」キーを押してください。カラーパターンの読み込みを開始し、調整を実行します。



9 調整が終了すると、手順 5 の画面に戻ります。



10 「閉じる」キーを押してください。手順 3 の画面に戻ります。

11 「閉じる」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

ドラムリフレッシュ

出力された用紙に、画像が流れたようにじみや、部分的に白い抜けが発生する場合に行ってください。約 5 分間かかります。

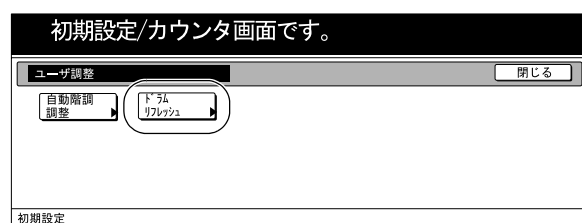
- 1 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。



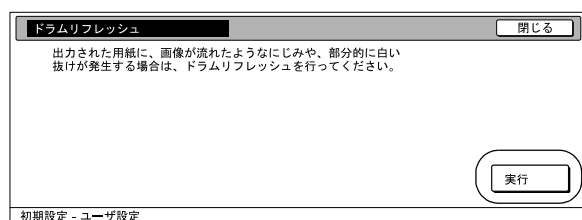
- 2 「ユーザ調整」キーを押してください。



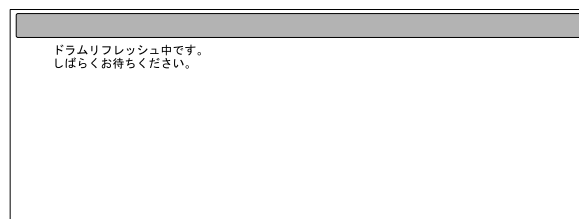
- 3 「ドラムリフレッシュ」キーを押してください。
「ドラムリフレッシュ」画面が表示されます。



- 4 「実行」キーを押してください。ドラムリフレッシュを開始します。約 5 分間お待ちください。



- 5 ドラムリフレッシュが終了したら、「閉じる」キーを押してください。
手順 3 の画面に戻ります。



- 6 「閉じる」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。「終了」キーを押してください。
「基本」画面が表示されます。

トータルカウンタの参照と印刷

操作パネルでトータルカウントを参照することができます。またカウンタレポートとして出力することができます。



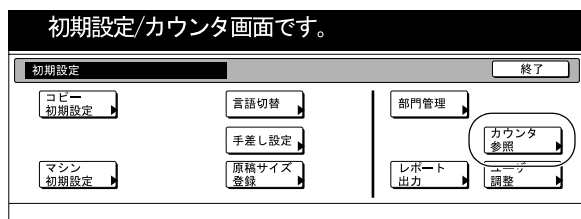
補足

- フルカラーコピー、単色カラーコピー、白黒コピーごとに合計枚数を確認できます。
- オプションのプリンタ、スキャナ、ファクスごとの出力枚数を確認することもできます。
- 原稿の読み込み枚数の合計も確認できます。

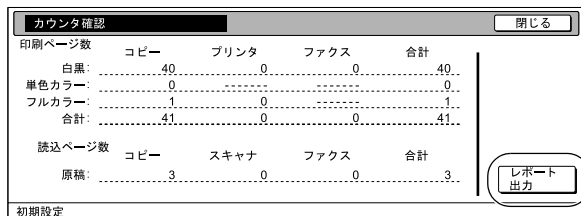
- 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



- 「カウンタ参照」キーを押してください。「カウンタ参照」画面が表示されます。



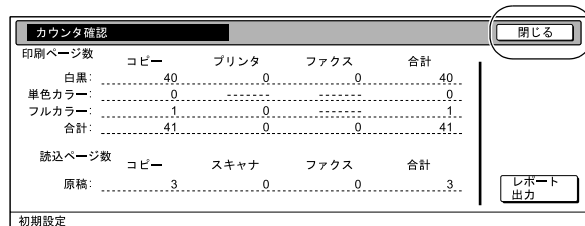
- 出力枚数が表示されますので確認してください。レポートを出力する場合は「レポート出力」キーを押してください。



補足

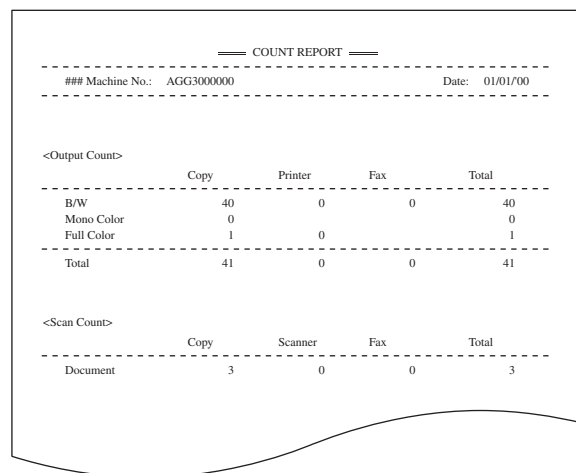
レポートを出力するときは、A4 の用紙がカセットにセットされていることを確認してください。

- 確認が終了したら、「閉じる」キーを押してください。手順 2 の画面に戻ります。



- 「終了」キーを押してください。「基本」画面が表示されます。

サンプル：カウンタレポート



レポート出力

下記の手順にしたがって各レポートの出力を行ってください。



補足

A4 の用紙がカセットにセットされていることを確認してください。

<コピーステータスレポート>

```

===== USER COPY SETTING LIST =====
[ Manual ] Exposure mode
[ 1 step ] Exposure steps
[ Text+Photo ] Original image quality
[ Full Color ] Auto Color/Full-Color/B&W
[ 3 ] Auto Color Correction
[ Off ] Eco Print
[ APS ] Select paper
[ Plain ] Pap. Type(Auto col. pap.)
[ Plain ] Paper Type(Auto BW Paper)
[ 2nd paper ] Default drawer
[ Bypass ] Drawer for cover paper
[ Manual ] Default magnification
[ Standard ] Adjust auto expo. (color)
[ Standard ] Adjust auto exposure(B&W)
[ Standard ] Adjust auto exposure(OCR)
[ Standard ] Adj. manual expo. (Mixed)
[ Standard ] Adj. manual expo. (photo)
[ Standard ] Adj. manual expo. (print)
[ Standard ] Adj. manual expo. (Text)
[ Standard ] Adj. manual expo. (map)
[ Sort: On ] Sort
[ Rotate ] Auto Rotation
[ Left 6 0 ] Default margin width
[ Border 6 Center 12 ] Default erase width
[ +999 ] Preset limit
[ On Default Off ] Modify Copy
[ On ] Display register key
  
```

<マシンステータスレポート>

```

===== USER MACHINE SETTING LIST =====
[ On All types of paper ] Auto drawer switching
[ Auto Centimeter ] Paper size(3rd drawer)
[ Auto Centimeter ] Paper size(4th drawer)
[ Plain ] Paper type(1st drawer)
[ Plain ] Paper type(2nd drawer)
[ Plain ] Paper type(3rd drawer)
[ Plain ] Paper type(4th drawer)
[ On ] Check bypass sizing
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 1)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 2)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 3)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 4)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 5)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 6)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 7)
[ Low ] Paper type(Fixing set)(Custom 8)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 1)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 2)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 3)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 4)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 5)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 6)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 7)
[ On ] Select paper type(2sided)(Custom 8)
[ 60 ] Sleep mode changing time
[ 15 ] Low power mode chng. time
[ Top tray ] Select Copy output mode
[ Top tray ] Select FAX output mode
[ Copy mode ] Select the main mode
[ On ] Key sound ON/OFF
[ Off ] Silent mode
[ 01/17/04 02:59 ] Date/Time
[ GMT + 00:00 ] Time difference
[ 3100 ] Management code change
[ On ] Auto sleep
  
```

<トナーカバレッジレポート>

```

01/01/00 ----- TONER COVERAGE REPORT ( FAX COVERAGE) ----- P.1/1
01/01/00 ----- TONER COVERAGE REPORT ( PRINTER COVERAGE) ----- P.1/1
01/01/00 ----- TONER COVERAGE REPORT ( COPY COVERAGE) ----- P.1/1

01/01/00 ----- TONER COVERAGE REPORT ( TOTAL COVERAGE) ----- P.1/1
MACHINE NUM: AGG3000000 TOTAL DEPT.: 0
PRINT TOTAL: 173 (COPY+PRINTER+FAX: 155+ 18+ 0) SCAN TOTAL: 0
< B/W BLACK > TOTAL
PAGE SIZE COUNT COVERAGE(%)
-----
A3 1 0.75
B4 0 0.00
A4 66 1.85
B5 0 0.00
A5 0 0.00
B6 0 0.00
POST 0 0.00
OTHER 14 4.37
-----
81 2.26

< 4-COL. BLACK > TOTAL < 4-COL. CYAN > TOTAL
PAGE SIZE COUNT COVERAGE(%) PAGE SIZE COUNT COVERAGE(%)
-----
A3 0 0.00 A3 0 0.00
B4 0 0.00 B4 0 0.00
A4 20 3.20 A4 20 5.84
B5 0 0.00 B5 0 0.00
A5 0 0.00 A5 0 0.00
B6 0 0.00 B6 0 0.00
POST 0 0.00 POST 0 0.00
OTHER 3 4.63 OTHER 3 8.43
-----
23 3.39 23 6.18

< 4-COL. MAGENTA > TOTAL < 4-COL. YELLOW > TOTAL
PAGE SIZE COUNT COVERAGE(%) PAGE SIZE COUNT COVERAGE(%)
-----
A3 0 0.00 A3 0 0.00
B4 0 0.00 B4 0 0.00
A4 20 6.29 A4 20 6.33
B5 0 0.00 B5 0 0.00
A5 0 0.00 A5 0 0.00
B6 0 0.00 B6 0 0.00
POST 0 0.00 POST 0 0.00
OTHER 3 11.00 OTHER 3 7.49
-----
23 6.91 23 6.48
  
```



補足

トナーカバレッジレポートは、用紙サイズごとにコピー枚数と黒比率の平均値を記載したレポートで、次の4種類が出力できます。

- ・トータルトナーカバレッジレポート
- ・コピートナーカバレッジレポート
- ・プリンタトナーカバレッジレポート
- ・ファクストナーカバレッジレポート

- 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。「初期設定」画面が表示されます。



2 「レポート出力」キーを押してください。

初期設定/カウンタ画面です。

初期設定		終了	
コピー 初期設定	言語切替	部門管理	
マシン 初期設定	手差し設定	カウンタ 参照	ユーザ 調整
	原稿サイズ 登録	レポート 出力	

3 テンキーで暗証番号“0000”を押してください。 工場出荷時は“3100”となっています。

管理者番号を入力してください。

閉じる

□ □ □ □

補足
4桁の暗証番号は変更することができます。
(P.7-42、「管理者暗証番号変更」参照)

4 レポート出力メニュー画面が表示されたら、出力するレポートのキーを押してください。

レポート出力画面

レポート出力メニュー		閉じる	
コピー ステータスレポート	トナーカバレッジ レポート		
マシン ステータスレポート	トナーカバレッジ レポート	プリンタ トナーカバレッジ	
	コピー トナーカバレッジ	ファクス トナーカバレッジ	

初期設定

補足
「トナーカバレッジレポート」キーを押すと、4種類のトナーカバレッジレポートを一度に出力します。

5 「レポート出力中です。」というメッセージ画面が表示され、レポートが出力されます。

レポート出力中です。

原稿ページ 1	カウント/セット 0 / 1	排出先
100% 自動倍率	A4 普通紙	
片面 原稿上辺一翼	片面 2枚	作業中止

補足
「作業中止」キーを押すと、レポート出力を中止することができます。

レポート出力が終了すると、手順4の画面に戻ります。

6 「閉じる」キーを押してください。 手順2の画面に戻ります。

7 「終了」キーを押してください。 「基本」画面が表示されます。

言語切替

タッチパネルに表示される言語を選択することが出来ます。

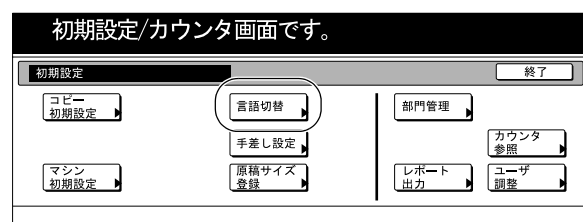
選択できる言語：

日本語、英語（English）、フランス語（Français）、スペイン語（Español）

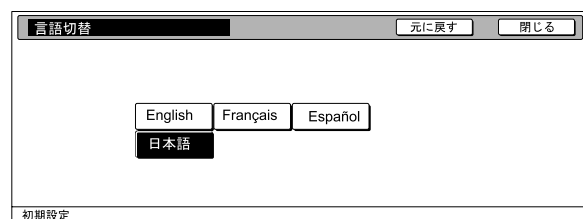
- 1 「基本」画面が表示された状態で「初期設定 / カウンタ」キーを押してください。
「初期設定」画面が表示されます。



- 2 画面内の「言語切替」キーを押してください。
「言語切替」画面が表示されます。



- 3 切り替えたい言語のキーを押してください。



文字の入力方法

プログラム名称や部門名称など、文字を入力するときは次の方法で行ってください。

漢字の入力はローマ字入力とかな入力の両方からできます。また、漢字変換の際には文節変換が可能です。文字を入力するときはまず「入力方式」と「入力文字」をそれぞれ選択してください。



入力方式の選択

入力方式には次の3種類があります。

ローマ字漢字入力：ローマ字入力（例えば、“か”と入力するとき“K”“A”と入力する）で漢字等を入力するときに使用してください。

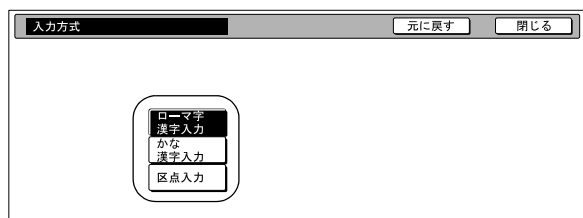
かな漢字入力：かな入力で漢字等を入力するときに使用してください。

区点入力：4桁の区点コードを入力して漢字等を入力するときに使用してください。

- 1 「入力方式」キーを押してください。
入力方式の選択画面が表示されます。



- 2 入力方式を選択して、「閉じる」キーを押してください。



入力文字の選択

入力文字には次の5種類があります。

全角ひらがな：漢字変換できます。無変換のときは全角ひらがなになります。

全角カタカナ：全角カタカナを入力するときに使用してください。

半角カタカナ：半角カタカナを入力するときに使用してください。

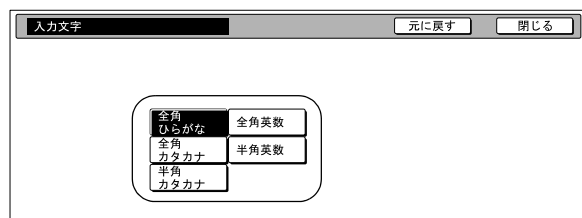
全角英数：無変換で全角アルファベット、全角数字を入力するときに使用してください。

半角英数：無変換で半角アルファベット、半角数字を入力するときに使用してください。

- 1 「入力文字」キーを押してください。
入力文字の選択画面が表示されます。



- 2 入力文字を選択して、「閉じる」キーを押してください。



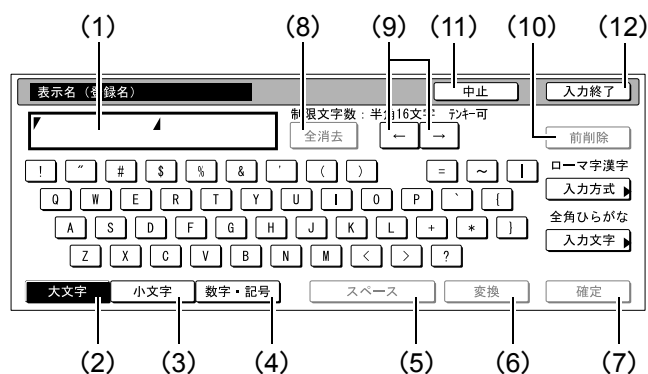
補足

入力方式として「区点入力」を選択したときは、入力文字は選択できません。

入力画面

ローマ字漢字入力

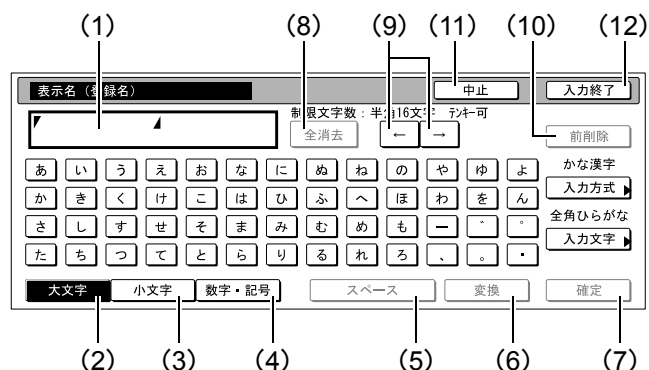
以下の画面は入力文字として“全角ひらがな”を選択した場合です。



- (1) **文字表示部**
入力した文字を表示します。
- (2) **[大文字] キー**
アルファベットの大文字を使用するときに押してください。
- (3) **[小文字] キー**
アルファベットの小文字を使用するときに押してください。
- (4) **[数字・記号] キー**
数字や記号を入力するときに押してください。
- (5) **[スペース] キー**
スペースを入力するときに押してください。
- (6) **[変換] キー**
入力した文字を漢字等に変換するときに押してください。
- (7) **[確定] キー**
文字表示部で入力した文字を確定するときに押してください。
- (8) **[全消去] キー**
確定した文字を全て消去するときに押してください。
- (9) **[←] [→] キー**
カーソルを移動させるときに押してください。
- (10) **[前削除] キー**
カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
- (11) **[中止] キー**
文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
- (12) **[入力終了] キー**
入力した名称の内容を確定するときに押してください。

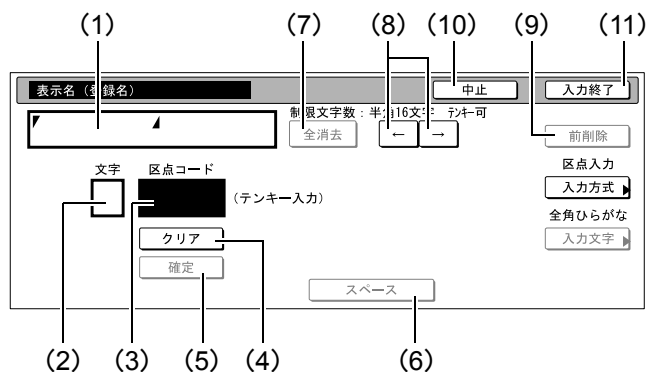
かな漢字入力

以下の画面は入力文字として“全角ひらがな”を選択した場合です。



- (1) **文字表示部**
入力した文字を表示します。
- (2) **[大文字] キー**
全角ひらがなを使用するときに押してください。
- (3) **[小文字] キー**
あ、い、う、え、お、つ、や、ゆ、よを入力するときに押してください。
- (4) **[数字・記号] キー**
数字や記号を入力するときに押してください。
- (5) **[スペース] キー**
スペースを入力するときに押してください。
- (6) **[変換] キー**
入力した文字を漢字等に変換するときに押してください。
- (7) **[確定] キー**
文字表示部で入力した文字を確定するときに押してください。
- (8) **[全消去] キー**
確定した文字を全て消去するときに押してください。
- (9) **[←] [→] キー**
カーソルを移動させるときに押してください。
- (10) **[前削除] キー**
カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
- (11) **[中止] キー**
文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
- (12) **[入力終了] キー**
入力した名称の内容を確定するときに押してください。

区点入力



- (1) **文字表示部**
入力した文字を表示します。
- (2) **入力文字表示部**
区点コードに対応した文字を表示します。
- (3) **区点コード表示部**
入力した区点コードを表示します。
- (4) **【クリア】キー**
入力した区点コードを消去するときに押してください。
- (5) **【確定】キー**
区点コードに対応した文字を確定するときに押してください。
- (6) **【スペース】キー**
スペースを入力するときに押してください。
- (7) **【全消去】キー**
入力を全て消去するときに押してください。
- (8) **【←】【→】キー**
カーソルを移動させるときに押してください。
- (9) **【前削除】キー**
カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
- (10) **【中止】キー**
文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
- (11) **【入力終了】キー**
入力した名称の内容を確定するときに押してください。

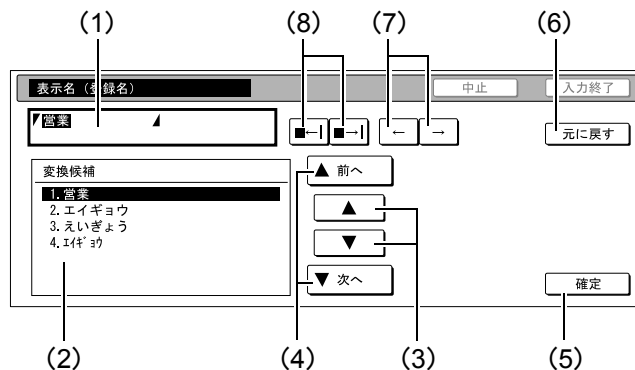


補足

各文字の区点コードは、P.10-18 を参照してください。

ローマ字漢字入力とかな漢字入力での文字変換

ローマ字漢字入力、かな漢字入力のそれぞれの入力画面で変換前の文字を入力した後、[変換] キーを押すと次のような文字変換画面が表示されます。

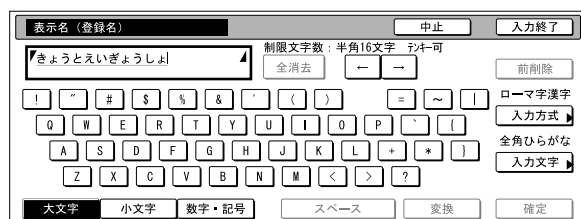


- (1) **文字表示部**
入力した文字を表示します。
- (2) **変換候補リスト**
選択中の文節に対する変換候補を表示します。
- (3) **【▲】【▼】キー**
変換候補を選択するときに押してください。
- (4) **【▲前へ】【▼次へ】キー**
表示されている以外に変換候補がある場合、変換候補をスクロールするときに押してください。
- (5) **【確定】キー**
未確定文字をすべて確定するときに押してください。
- (6) **【中止】キー**
[変換] キーを押す前に戻るときに押してください。
- (7) **【←】【→】キー**
変換対象の文節を移動させるときに押してください。
- (8) **【■← |】【■→ |】キー**
変換対象文節の長さを変更するときに押してください。

【入力例】“京都営業所”と入力するとき

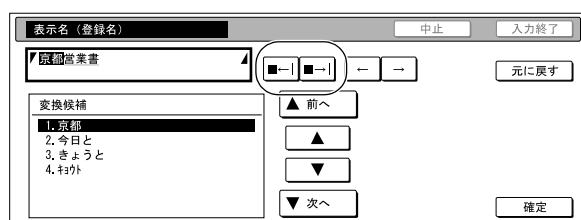
一文字ずつ入力できますが、ここでは一度にひらがなを入力し文節に変換していく方法を説明します。

- ローマ字漢字入力の場合、“KYOUTOEIGYOU SHO”と順にタッチパネル上で入力してください。
漢字かな入力の場合“きょうとえいぎょうしょ”と順にタッチパネル上で入力してください。
文字表示部に“きょうとえいぎょうしょ”と表示されます。



- [変換] キーを押してください。文字変換画面に替わります。
反転されている部分に変換する文字です。

- [■←|] キー、[■→|] キーを押して、変換する部分（この場合まず“きょうと”）を反転させてください。変換候補が表示されます。



- [▲] キー、[▼] キーを押して、変換する文字（この場合“京都”）を選択してください。

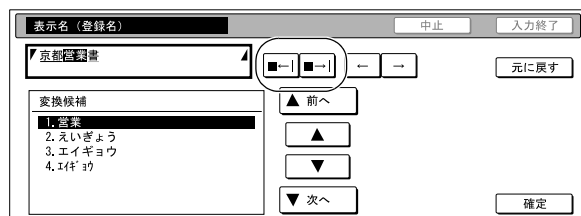


補足

表示されている以外の変換候補がある場合、[▲前へ] キーまたは[▼次へ] キーを押して画面をスクロールしてください。

- [→] キーを押してください。“京都”が確定します。

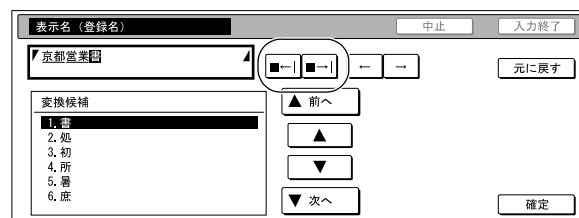
- [■←|] キー、[■→|] キーを押して、次の変換する部分（この場合“えいぎょう”）を反転させてください。変換候補が表示されます。



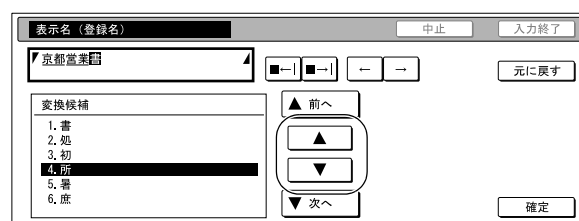
- [▲] キー、[▼] キーを押して、変換する文字（この場合“営業”）を選択してください。

- [→] キーを押してください。“営業”が確定します。

- [■←|] キー、[■→|] キーを押して、次の変換する部分（この場合“しょ”）を反転させてください。変換候補が表示されます。



- [▲] キー、[▼] キーを押して、変換する文字（この場合“所”）を選択してください。



- 文字の変換が終了するれば、[確定] キーを押してください。

- [入力終了] キーを押してください。各名称の登録画面に戻ります。

区点入力での文字変換



補足

- 入力できる文字は全角文字に限ります。半角文字は入力できません。
- 各文字の区点コードは、P.10-18、「付録 B：区点コード表」を参照してください。

【入力例】“大阪” と入力する場合

1

P.10-18、「付録 B：区点コード表」を参照して、入力に必要な全ての文字の区点コード（4桁）をメモしてください。
この例で入力する“大”の区点コードは“3471”、“阪”の区点コードは“2669”となります。



補足

漢字を探すときは、音読みで探してください。

2

テンキーを使って“3”、“4”、“7”、“1”と入力してください。入力文字表示部に“大”の文字が表示されます。

3

「確定」キーを押してください。文字表示部に“大”の文字が表示されます。

4

手順2～3と同様にして、区点コード“2669”を入力してください。“阪”の文字が“大”の後に続いて入力されます。

5

入力が終了したときは、[入力終了] キーを押してください。各名称の登録画面に戻ります。

半角文字の入力

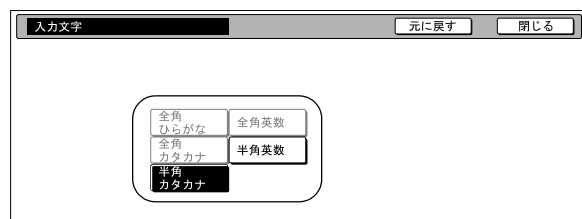
入力画面の切替

入力画面は「半角カタカナ」と「半角英数」の2種類です。

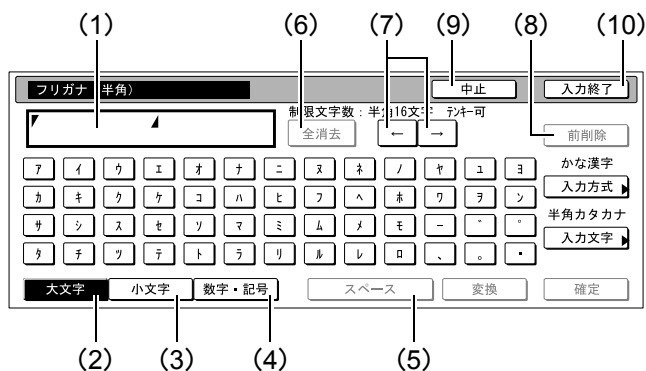
- 1 「入力文字」キーを押してください。
入力方式の選択画面が表示されます。



- 2 入力文字を選択して、“閉じる”キーを押してください。



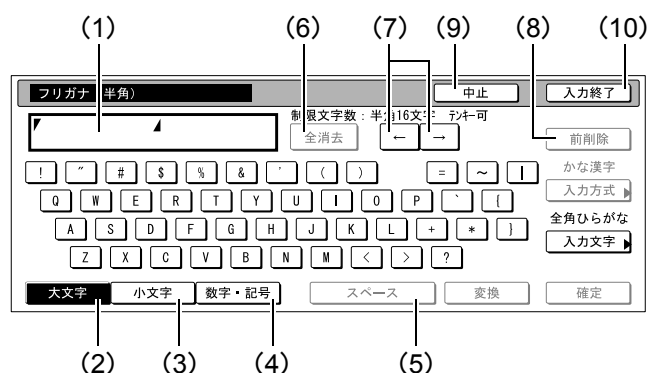
「半角カタカナ」画面



- (1) 文字表示部
入力した文字を表示します。半角で32文字表示できます。
- (2) [大文字] キー
半角カタカナを入力するときに押してください。
- (3) [小文字] キー
ア、イ、ウ、エ、オ、ツ、ヤ、ユ、ヨを入力するときに押してください。
- (4) [数字・記号] キー
数字や記号を入力するときに押してください。
- (5) [スペース] キー
スペースを入力するときに押してください。

- (6) [全消去] キー
確定した文字を全て消去するときに押してください。
- (7) [←] [→] キー
カーソルを移動させるときに押してください。
- (8) [前削除] キー
カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
- (9) [元に戻す] キー
文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
- (10) [入力終了] キー
入力した名称の内容を確定するときに押してください。

「半角英数」画面



- (1) 文字表示部
入力した文字を表示します。
- (2) [大文字] キー
アルファベットの大文字を使用するときに押してください。
- (3) [小文字] キー
アルファベットの小文字を使用するときに押してください。
- (4) [数字・記号] キー
数字や記号を入力するときに押してください。
- (5) [スペース] キー
スペースを入力するときに押してください。
- (6) [全消去] キー
確定した文字を全て消去するときに押してください。
- (7) [←] [→] キー
カーソルを移動させるときに押してください。
- (8) [前削除] キー
カーソルの左の文字を削除するときに押してください。
- (9) [中止] キー
文字入力の前の画面に戻るときに押してください。
- (10) [入力終了] キー
入力した名称の内容を確定するときに押してください。

文字の入力

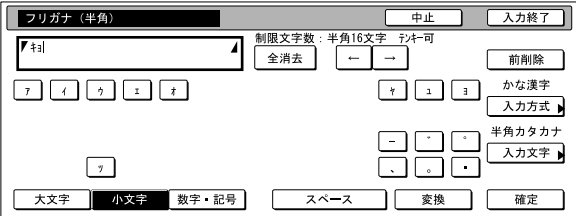
【入力例】“㊦外 Sp”

1 入力文字で「半角カタカナ」を選択していることを確認して、“㊦”を入力してください。



2 [小文字] キーを押してください。

3 “o”を入力してください。



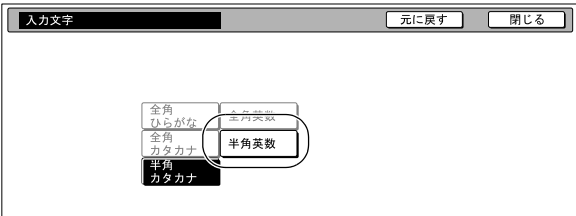
4 [大文字] キーを押してください。

5 “㊦”と順に入力してください。

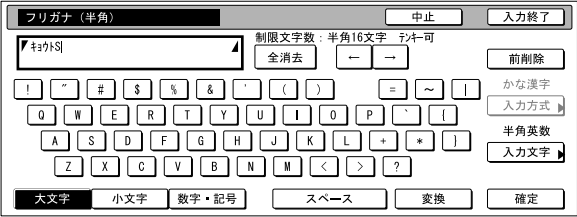


6 [入力文字] キーを押してください。

7 [半角英数] キーを押して、[閉じる] キーを押してください。



8 “S”を入力してください。



9 [小文字] キーを押してください。

10 “p”を入力してください。



11 入力が全て終了したら、[入力終了] キーを押してください。

8 章 オプション

原稿送り装置

多枚数のシート原稿を自動的に1枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。両面原稿を自動的に反転させて両面を読み込ませることもできます。

使用できる原稿

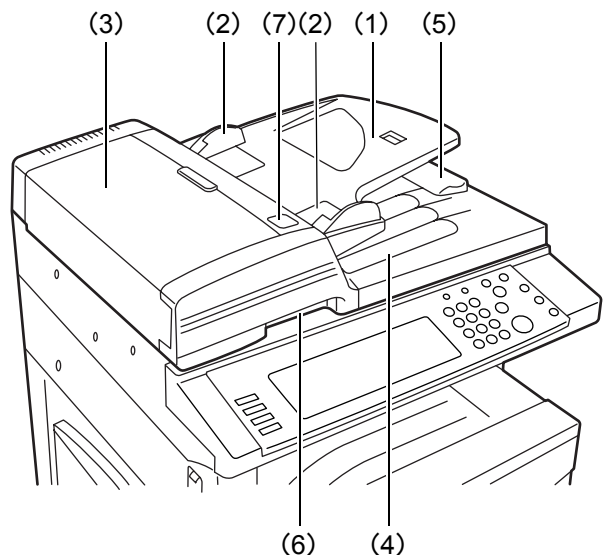
- ・ シート原稿であること。
- ・ 厚さ
片面原稿 35g/m² ~ 160g/m² の範囲内であること。
両面原稿 50g/m² ~ 120g/m² の範囲内であること。
- ・ サイズ：A3 ~ A5R
- ・ セット枚数
100 枚（A4 以下、50 ~ 80g/m²）
70 枚（B4 以上、50 ~ 80g/m²）
（ただし原稿サイズ混載モード時は 30 枚）

使用上の注意

次のような原稿は使用しないでください。

- ・ OHP 用紙などの透明フィルム
- ・ カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- ・ 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- ・ クリップやホッチキスで止めてある原稿（やむをえず原稿とするときは、それらを取り外して、しわ・折れを直してからセットしてください。）
- ・ 切り抜きの原稿、表面や裏面のスベリが非常によい原稿
- ・ 修正液が乾いていない状態の原稿
- ・ 折り目のついた原稿（やむをえず原稿とするときは、折れを直してからセットしてください。）また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

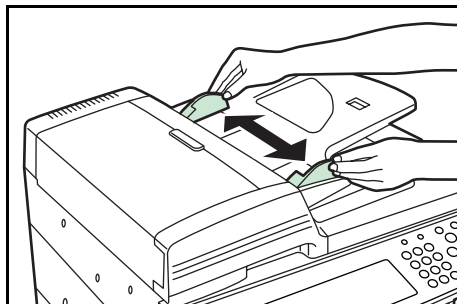
各部の名称



- (1) 原稿テーブル
原稿をここにセットしてください。
- (2) 原稿挿入ガイド
原稿サイズに合わせてください。
- (3) 左カバー
原稿が詰まったときに開いてください。
- (4) 原稿排出カバー
コピーした原稿がここに収納されます。
- (5) 排紙ガイド
A3、B4 の原稿をセットするときに開いてください。
- (6) 原稿送り装置開閉レバー
原稿送り装置を開閉するときはこのレバーを持ってください。
- (7) 原稿セット表示
原稿の状況を表示します。
緑色点灯：原稿がセットされています。[スタート] キーを押すとコピーが開始されます。
緑色点滅：原稿を再セットしてください。
赤色点滅：原稿が詰まっています。P.9-14 を参照して取り出してください。

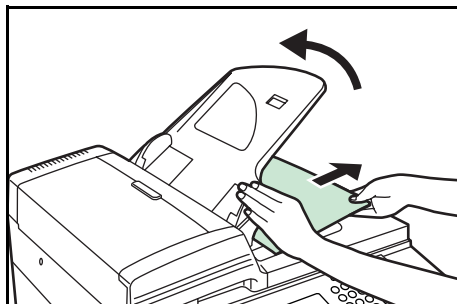
原稿送り装置への原稿のセット

- 1** 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。



補足

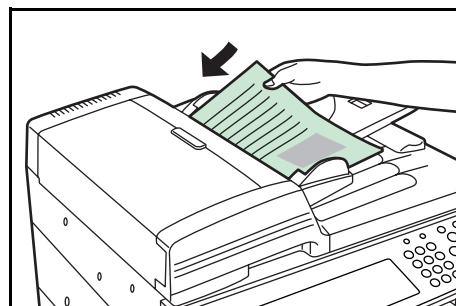
- 原稿をセットする前に、原稿排出カバーに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排出カバーに原稿が残っていると、原稿詰まりの原因になります。



- 多枚数の原稿を同時にセットする場合は、必ず同じサイズの原稿を使用してください。ただし、原稿サイズ混載モードを設定したときは、A3 と A4 など幅の同じ原稿を同時にセットできます。(P.8-3 参照)

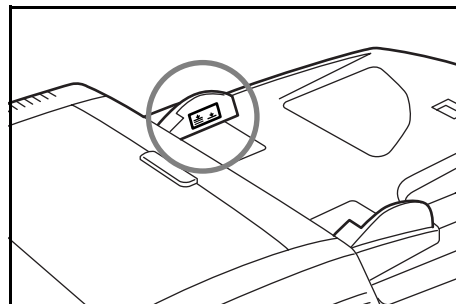
2

原稿はコピーする面を上向きにして（両面原稿の場合は表面を上にして）、順序よく重ねて、原稿テーブルにセットしてください。原稿セット表示が緑色に点灯します。点灯しないときは、再セットしてください。

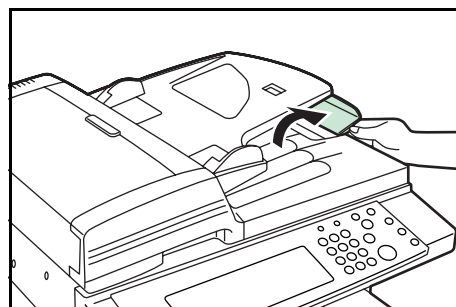


重要

- 奥の原稿挿入ガイドに貼ってある目盛り以下に原稿をセットしてください。規定枚数以上の原稿をセットすると、原稿がつまる原因になります。(セットできる枚数は P.8-1 参照)



- A3、B4 の原稿をセットするときには、原稿が落ちないように排紙ガイドを開いてください。

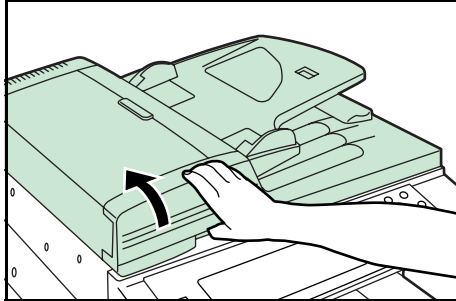


- 両面原稿の場合は、原稿を反転させるため、左カバーから一時的に原稿が排出されますが、さわらないでください。無理に引き出そうとすると、原稿詰まりの原因になります。

コンタクトガラスへの原稿のセット

本や雑誌など、原稿送り装置にセットできない原稿の場合は、原稿送り装置本体を開けてコンタクトガラスの上に原稿をセットしてください。

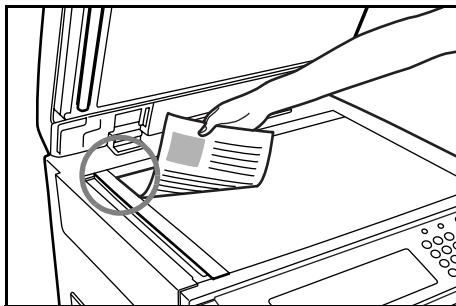
- 1 原稿送り装置開閉レバーを持って原稿送り装置を開けてください。



補足

原稿送り装置を開ける前には、原稿テーブルや原稿排出カバーに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。

- 2 コピーする面を下にして、原稿をセットしてください。このとき原稿サイズ指示板に確実に合わせてセットしてください。



- 3 原稿送り装置開閉レバーを持って原稿送り装置を閉じてください。



重要

このとき原稿送り装置をコンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

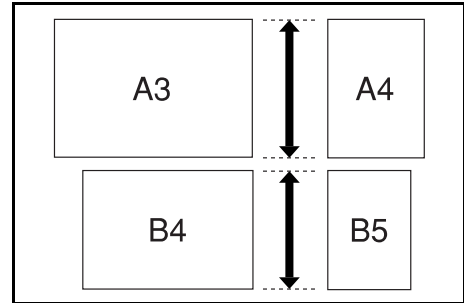


注意

原稿送り装置を開いた状態のままで放置しないでください。けがの原因となることがあります。

原稿サイズ混載モード

原稿送り装置を使用し、用紙サイズ選択キーでサイズを指定しない場合は、原稿のサイズを1枚ずつ検知して、それぞれの原稿と同じサイズ of 用紙に自動的にコピーしたり、同じ用紙サイズに統一してコピーすることができます。

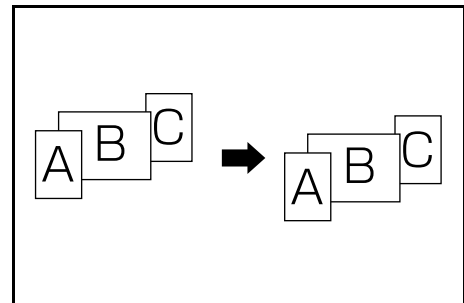


重要

- このモードで原稿送り装置にセットできる枚数は、最大 30 枚です。
- このモードで使用できる原稿は A3 と A4 あるいは B4 と B5 で、原稿幅が同じサイズのものに限られます。

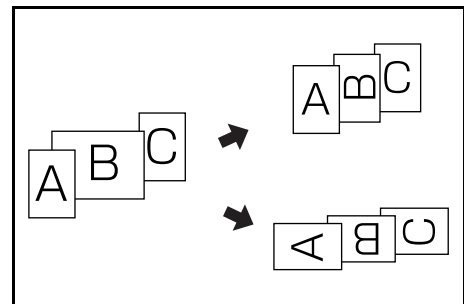
仕上がりサイズ混在

原稿と同じサイズ of 用紙にコピーします。



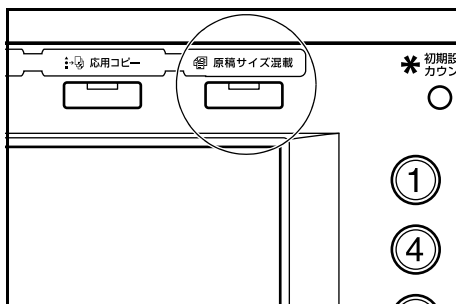
仕上がりサイズ統一

同じ用紙サイズに統一してコピーします。



1 原稿送り装置に原稿をセットしてください。

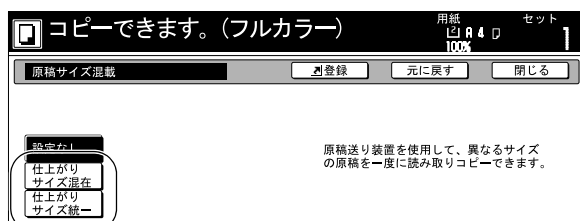
2 「原稿サイズ混載」キーを押してください。
「原稿サイズ混載」表示が点灯し、「原稿サイズ混載」画面が表示されます。



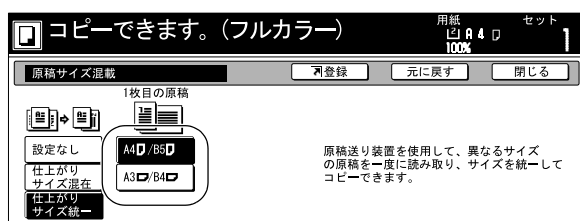
3 「仕上がりサイズ混在」または「仕上がりサイズ統一」キーを押してください。

「仕上がりサイズ混在」キーを押した場合は、手順 6 に進んでください。

「仕上がりサイズ統一」キーを押した場合は、次の手順に進んでください。



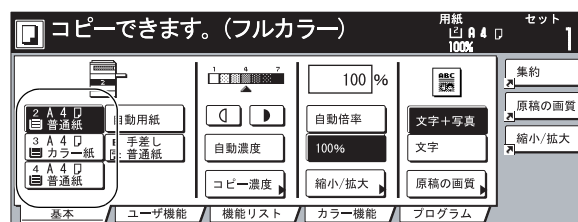
4 1 枚目にセットしている原稿サイズを選択し、「閉じる」キーを押してください。
基本画面が表示されます。



補足

ステープル、パンチなどの仕上がり時のとじ方向を正しく設定する為に、1 枚目の原稿サイズを設定してください。

5 給紙段を選択してください。



6 「スタート」キーを押してください。
コピーが開始されます。

ペーパーフィーダ

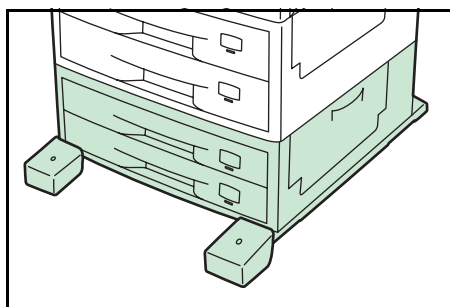
本体のカセットに加えて、ペーパーフィーダ（250 枚収納カセット 2 段装着）を使用することができます。

- 収容できる用紙枚数：250 枚（普通紙、60～90 g/m²）
- セットできる用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5R、A5R

用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。（P.3-1 参照）

※紙詰まりが発生したときに用紙を取り除くために右カバーがあります。

※底面にキャストが装着されています。



※ ペーパーフィーダを増設する場合は、安全対策上必ずキャストキットを一番下のペーパーフィーダに取り付けてください。

⚠ 注意

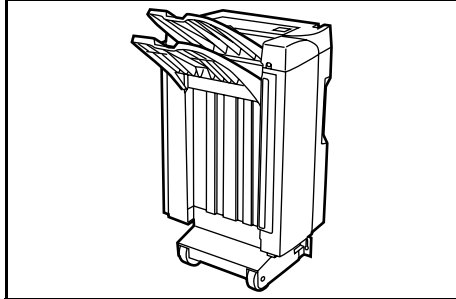
本製品を設置または移動したときは、安全対策上必ず、キャストのストッパボルトを床に接地するまで引き出してください。

⚠ 注意

安全対策上必ずキャストキットを一番下のペーパーフィーダに取り付けてください。

ドキュメントフィニッシャ

大量のコピーを収納したり、多部数のコピーを1部ずつシフトして仕分けをしたりする装置です。ページごろえしたコピーにステープルしたり、パンチ穴を開けることもできます。詳しくはドキュメントフィニッシャの使用説明書を参照してください。



重要 コピー時の注意事項

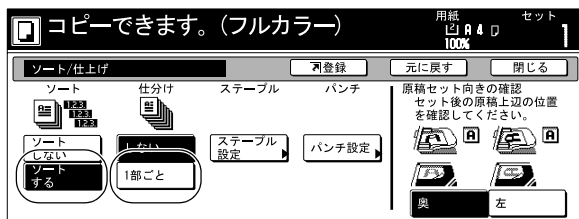
- ドキュメントフィニッシャ使用時にコピーがカールしたり、きちんと揃わないときは、カセットの用紙を裏返してください。
- OHP フィルムなどの特殊紙にコピーするときは、手差しの用紙種類を指定してください。

ソートするコピー

- 1 [機能リスト] キーを押し、[ソート / 仕上げ] キーを押してください。
「ソート / 仕上げ」画面が表示されます。



- 2 [ソートする] キーを押してください。
[ページごと] キーが [1部ごと] キーに変わります。



- 3 [1部ごと] キーを押してください。

- 4 [閉じる] キーを押してください。
手順 1 の画面に戻ります。

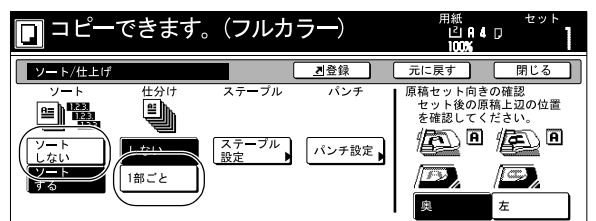
- 5 原稿をセットしてください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
読み込みが行われ、原稿枚数が表示されます。
- 7 コピーが開始され、仕上がったコピーは、1部ごとに位置をシフトして排出されます。
- 8 コピーが終わったら、トレイから仕上がったコピーを取り出してください。

ソートしないコピー

- 1 [機能リスト] キーを押し、[ソート / 仕上げ] キーを押してください。
「ソート / 仕上げ」画面が表示されます。



- 2 [ソートしない] キーを押してください。



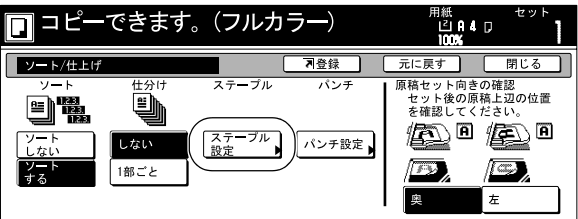
- 3 [ページごと] キーを押してください。
- 4 [閉じる] キーを押してください。
手順 1 の画面に戻ります。
- 5 原稿をセットしてください。
- 6 [スタート] キーを押してください。
読み込みが行われ、原稿枚数が表示されます。
- 7 コピーが開始され、仕上がったコピーは、各原稿のセットごとに位置をシフトして排出されます。
- 8 コピーが終わったら、トレイから仕上がったコピーを取り出してください。

ステープルモードでのコピー

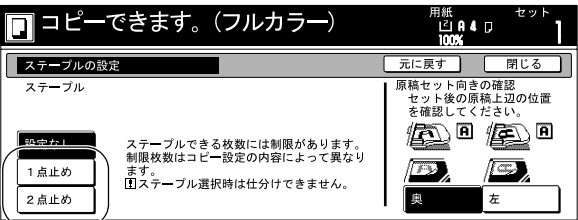
1 「機能リスト」キーを押し、[ソート / 仕上げ]キーを押してください。
「ソート / 仕上げ」画面が表示されます。



2 「ステープル設定」キーを押します。
「ステープル設定」画面が表示されます。



3 希望するパターンのステープル表示を押してください。



※仕上がりイメージにステープルされる位置が表示されます。ステープルする位置を確認してください。
表示されるイメージは次の通りです。機能の組み合わせによりステープルができない時は、仕上がりイメージにステープルのマークが付きません。

	原稿の方向	
ステープルの種類		
1点止め 左上とじ		
1点止め 右上とじ		
2点止め 左とじ		
2点止め 右とじ		
2点止め 上とじ		
ステープル 不可		

4 原稿をセットしてください。
セット後の原稿上辺の位置を確認してください。

5 「スタート」キーを押してください。
読み込みが行われ、原稿枚数が表示されます。

補足
原稿送り装置を使用しない場合は、原稿の枚数分繰り返してください。すべての原稿の読み込みが終了したら、「読み込み終了」キーを押してください。

6 コピーが開始され、仕上がったコピーは自動的にステープルされ、トレイに排出されます。

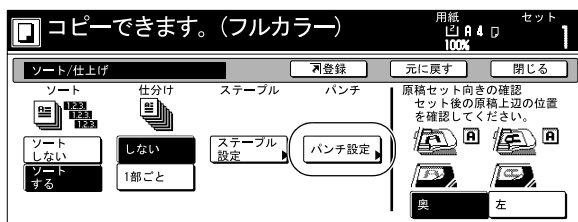
7 コピーが終わったら、トレイから仕上がったコピーを取り出してください。

パンチモードでのコピー

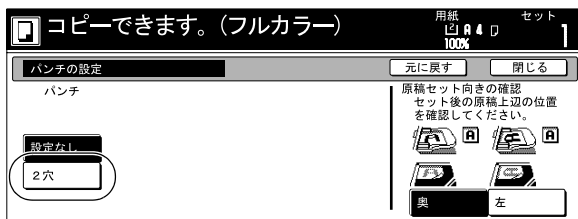
- 1** [機能リスト] キーを押し、[ソート/仕上げ] キーを押してください。
「ソート/仕上げ」画面が表示されます。



- 2** [パンチ設定] キーを押します。
「パンチの設定」画面が表示されます。



- 3** [2穴] キーを押してください。位置設定画面が表示されます。



※仕上がりイメージにパンチされる位置が表示されます。パンチする位置を確認してください。表示されるイメージは次の通りです。機能の組み合わせによりパンチができない時は、仕上がりイメージにパンチのマークが付きません。

	原稿の方向	
パンチの位置		
左側		
右側		
上側		
パンチ不可		

**重要**

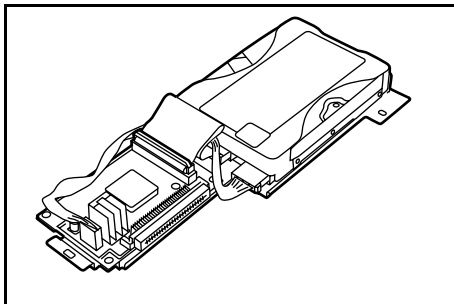
パンチ穴の位置は微妙にずれることがあります。特にオートカセットチェンジ機能が働いたときなど給紙段が変わる場合に位置のずれが発生することがあります。

- 4** 原稿をセットしてください。
- 5** [スタート] キーを押してください。
読み込みが行われ、原稿枚数が表示されます。
- 6** コピーが開始され、仕上がったコピーに自動的にパンチ穴があげられ、トレイに排出されます。
- 7** コピーが終わったら、トレイから仕上がったコピーを取り出してください。

メモリコピーボード

以下のコピー機能を使用するときに必要になります。

- 集約コピー
- 原稿サイズ混載コピー
- 連続読み込み
- ページ付け
- 拡大連写モード
- 仕分けコピー
- 表紙付け
- 小冊子
- OHP 合紙モード
- 試しコピー
- 書き込み余白
- 再コピー
- 配布コピー
- 応用コピー
- 部門管理



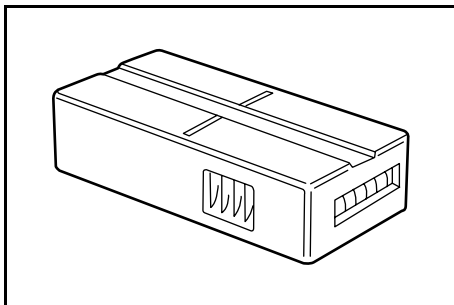
補足

両面機は標準で装着されています。

キーカウンタ

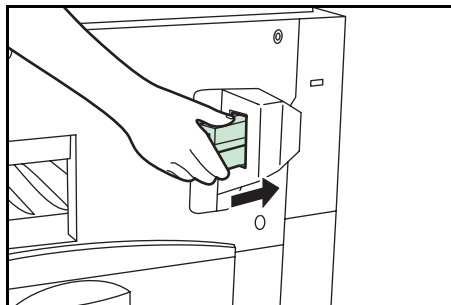
キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

※キーカウンタは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。



キーカウンタのセット方法

キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを確実にセットしてください。



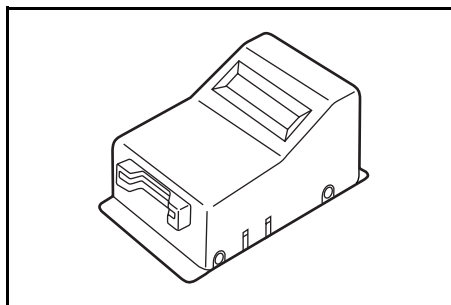
補足

キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを機械にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないときは、“キーカウンタをセットしてください。”が表示されます。

キーカード

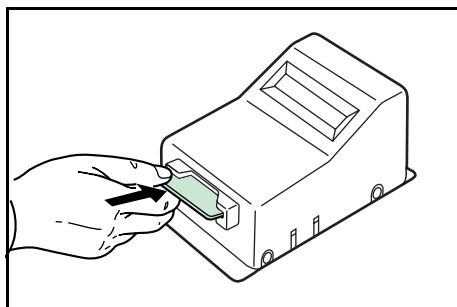
キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認する事ができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

※キーカードは、プリンタ出力でもカウントを行う場合があります。



キーカードのセット方法

専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。

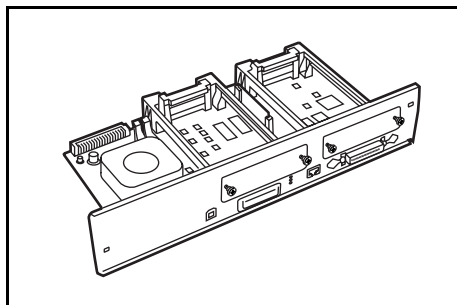


補足

キーカードを使用する場合は、部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。部門カードが確実に挿入されていないときは“キーカードをセットしてください。”が表示されます。

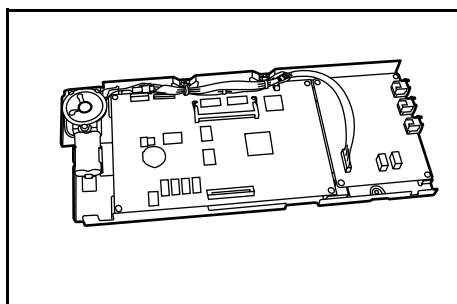
プリンタキット

プリンタキットを装着すると、本機をプリンタとして使用することができます。詳しくはプリンタキットの使用説明書を参照してください。



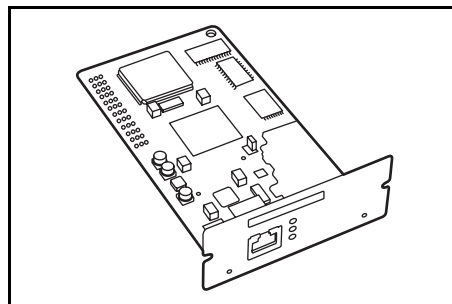
ファクスキット

ファクスキットを装着すると、本機をファクスとして使用することができます。また、オプションのネットワークスキャナと併用すると、コンピュータで送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。詳しくはファクスキットの使用説明書を参照してください。



ネットワークスキャナ

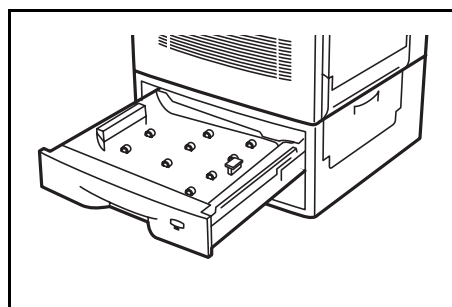
本機を複数のコンピュータからアクセスできるネットワークスキャナとして利用することができます。詳しくはネットワークスキャナの使用説明書を参照してください。



両面ユニット

両面ユニットを装着すると両面コピーをとることができます。

両面コピーができる用紙は A3 ～ A5R (60 ～ 90 g/m²) です。



9 章 こんなときには

こんなメッセージが出たら

メッセージ表示に下表のようなメッセージが出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

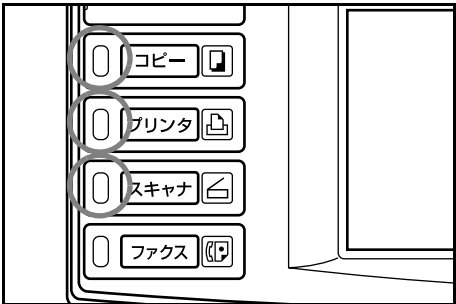
表示	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じて下さい。	表示されているカバーが開いています。確実に閉めてください。	—
用紙を補給してください。	表示されている給紙段に用紙がありません。用紙を補給してください。	3-1
カセットをセットしてください。	カセットがしっかりセットされていません。一度引き出してしっかり押し込んでください。	—
両面ユニットを入れてください。	(両面機のみ) 両面ユニットがしっかりセットされていません。一度引き出してしっかり押し込んでください。	—
左トレイを開けてください。 コピーできません。	初期設定の「コピー排出先設定」(P.7-39 参照) で「左トレイ」が設定されているときや、用紙種類で OHP シートや厚紙を設定しているときに、左トレイが閉じたままになっています。左トレイを開けてください。	—
このカセットは使用できません。 他のカセットを選んでください。	使用しているカセットは故障のため使用を中止しています。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。コピーを行うときは、他の給紙段を使用してください。	—
適当な用紙がありません。	設定されたモードで使えるサイズ of 用紙がありません。用紙を確認してください。	—
原稿と用紙の向きが違います。	選択した用紙の方向が原稿の向きと違います。原稿のセット方向を変えてください。そのまま [スタート] キーを押すと等倍でコピーします。	—
設定用紙サイズと実際の用紙サイズが異なっています。 確認してください。	手差しにセットされている用紙サイズと設定されている用紙サイズが異なります。[ストップ/クリア] キーを押して、エラーメッセージを解除してください。手差しにセットされている用紙サイズと設定されている用紙サイズを合わせて、コピーをはじめからやりなおしてください。	3-4 7-62
原稿サイズを確認してください。 原稿サイズ :A3R,A4R	A3、A4R 以外のサイズの原稿がセットされています。拡大連写モードで使える原稿サイズは A3、A4R です。	—
原稿の置き方向を変えてください。 原稿サイズ :A4R	現在セットされている原稿の向きでは拡大連写モードでコピーすることができません。 A4 サイズの原稿は、横向きにセットしてください。	—
この原稿サイズは両面コピーできません。 B5,B4	両面コピーを設定している場合、原稿サイズ混載モードの仕上がりサイズ混載で B5、B4 サイズは設定できません。	—
手差しのサイズを変更してください。	手差しサイズ設定で設定されている用紙サイズではコピーできません。手差しのサイズを設定しなおしてください。	7-62

表示	処理方法	参照ページ
手差しは両面コピーできません。	手差しからの両面コピーはできません。給紙段をカセットに変更するか、両面コピーを解除してください。	—
制限枚数終了のためコピーできません。	部門管理モードで設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	7-1
コピーできません。(フルカラー) 部門管理の制限を超えました。	部門管理モードで設定されているフルカラーコピーの制限枚数に達したため、これ以上フルカラーコピーができません。部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	7-1
コピーできません。(フルカラー) 部門管理の制限がかかっています。	部門管理モードでフルカラーコピーが使用不可に設定されているため、フルカラーコピーができません。部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	7-1
コピー部数制限を超えるためコピーできません。 「配布コピー」の部数の設定を変更してください。	配布コピー時、設定されたコピー部数がコピー部数制限で設定している部数を超えています。 カラーコピーの部数と白黒コピーの部数の合計がコピー部数制限で設定している部数以内になるように設定してください。	—
しばらくお待ちください。 リモート編集中です。	ネットワークに接続されたコンピュータから部門管理モードの編集を行っています。 編集を行っている間はコピーできません。	—
トナーコンテナをセットしてください。	トナーコンテナがセットされていません。または、正しくセットされていません。トナーコンテナを正しくセットしてください。	10-4
コピーできます。 トナーが残り少なくなりました。 (K,C,M,Y)	表示されているトナーコンテナ(シアン「C」、マゼンダ「M」、イエロー「Y」、ブラック「K」)の交換時期が近づいています。交換用のトナーを準備してください。	10-4
トナーを補給してください。(K,C,M,Y)	表示されているトナーが無くなりました。各トナーコンテナ(シアン「C」、マゼンダ「M」、イエロー「Y」、ブラック「K」)を交換してください。	10-4
廃棄トナーボックスを確認してください。	- 廃棄トナーボックスがいっぱいです。廃棄トナーボックスを交換してください。 - 廃棄トナーボックスが正しくセットされていません。廃棄トナーボックスを正しくセットしてください。	10-6
サービス担当者に電話してください。	前カバーを一度開閉してください。再度表示が出たときはCと数字を確認してください。メインスイッチをOFF(○)にしてサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
システムエラーです。 主電源をOFF/ONしてください。	エラーが発生しています。メインスイッチをOFF/ONしてください。	—
システムエラーです。 電源プラグをコンセントから抜き差ししてください。	エラーが発生しています。電源プラグをコンセントから抜き差ししてください。	—
定期点検の時期です。(ABC) 定期点検間近です。(ABC)	機械を良好に保つために定期点検が必要です。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。 メッセージには、A～Cのメンテナンスキットの種類が表示されます。	—

表示	処理方法	参照ページ
メモリーオーバーです。	メモリーオーバーのため作業を継続できません。[確認] キーを押してください。 原稿をメモリーに読み込んでいる場合は、[継続] キーか [作業中止] キーを選択してください。 [継続]：読み込みが終了した分までの出力を行います。 [作業中止]：読み込まれたデータを消去します。	—
紙づまりです。	紙詰まりが発生した場合には、紙詰まり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON () のまま手順に従い取り除いてください。	9-5
両面ユニットの用紙を取り除いてください。	両面ユニット内部に用紙が残っています。用紙を取り除いてください。	—
両面は使用できません。	両面ユニットは故障のため両面コピーはできません。ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
用紙を取り除いてください。 上トレイ用紙オーバーです。	上トレイに用紙が 500 枚収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	—
用紙を取り除いてください。 フィニッシャー用紙オーバーです	ドキュメントフィニッシャー (オプション) 上に用紙が 250 枚以上収納されています。用紙を取り除いて次のコピーを行ってください。	—
ステープルの針がありません。 針をセットしてください。	ドキュメントフィニッシャー (オプション) の針がありません。ドキュメントフィニッシャーの使用説明書を参照して針カートリッジを交換してください。	—
パンチくずボックスを確認してください。	- ドキュメントフィニッシャー (オプション) のパンチくずボックスがいっぱいです。ドキュメントフィニッシャーの使用説明書を参照して、ボックス内のパンチくずを捨ててください。 - ドキュメントフィニッシャー (オプション) のパンチくずボックスが正しくセットされていません。ドキュメントフィニッシャーの使用説明書を参照して、パンチくずボックスを正しくセットしてください。	—
このサイズはステープルできません。	A5R や B5R などの小サイズにはステープルができません。詳しくはドキュメントフィニッシャーの使用説明書を参照してください。	—
このサイズは仕分けできません。	A5R や B5R などの小サイズは、ソートコピー時にドキュメントフィニッシャー (オプション) を使用できません。上トレイまたは左トレイを使用してください。	—

こんな表示がでたら

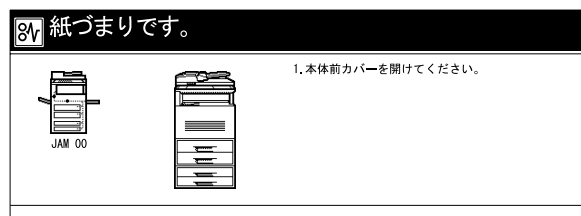
[コピー]、[プリンタ] または [スキャナ] 表示がオレンジ色に点灯／点滅したときは、処理方法にしたがって作業してください。



表示	処理方法	参照ページ
オレンジ色点灯／点滅	各メッセージにしたがって処理方法を確認し、適切な処理を行ってください。	－

紙詰まりが発生したら

紙詰まりが発生した場合は、タッチパネルに紙詰まりのメッセージを表示してコピー作業を停止します。メインスイッチは ON (|) のまま、P.9-6、「処置方法」を参照して用紙を取り除いてください。



注意事項



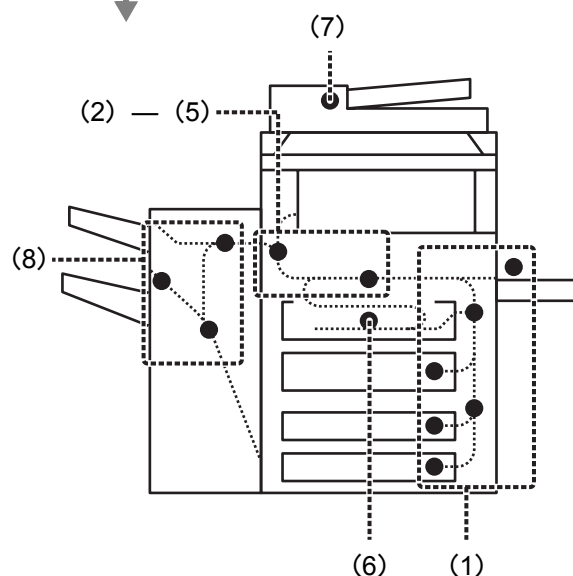
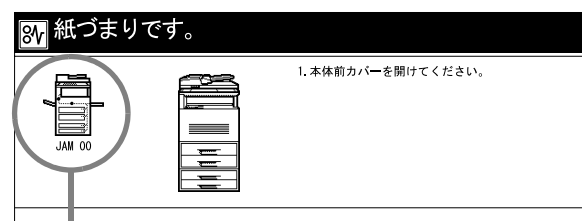
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- ※ 詰まった用紙は再使用しないでください。
- ※ 用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙詰まりが再発する原因になります。
- ※ 紙詰まり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。紙詰まり表示が消灯し、紙詰まり前の状態にセットしなおされます。
- ※ ドキュメントフィニッシャーで用紙が詰まっても、その用紙をトレイに入れしないでください。紙詰まりになって取り除いた用紙は再度コピーを行います。
- ※ 紙詰まりが発生し、詰まった用紙を取り除かずに、メインスイッチを OFF (○) にすると、次にメインスイッチを ON (|) したときに、タッチパネルに紙詰まりのメッセージと「J00」が表示されます。この場合は、タッチパネルに表示される処理方法を参照して詰まった用紙を取り除いてください。

紙詰まり位置表示



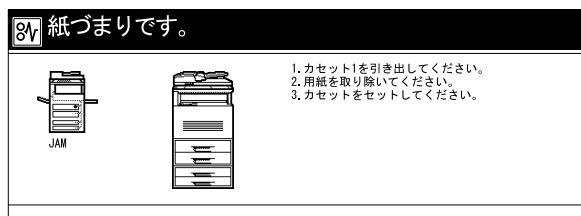
- (1) 給紙部での紙詰まり (P.9-6 参照)
- (2) 搬送ユニットでの紙詰まり (P.9-7 参照)
- (3) 転写ユニットでの紙詰まり (P.9-9 参照)
- (4) 定着部での紙詰まり (P.9-10 参照)
- (5) 左カバー内部での紙詰まり (P.9-12 参照)
- (6) 両面ユニットでの紙詰まり (両面機のみ) (P.9-13 参照)
- (7) 原稿送り装置〈オプション〉での紙詰まり (P.9-14 参照)
- (8) ドキュメントフィニッシャー〈オプション〉での紙詰まり (P.9-15 参照)

処置方法

給紙部での紙詰まり

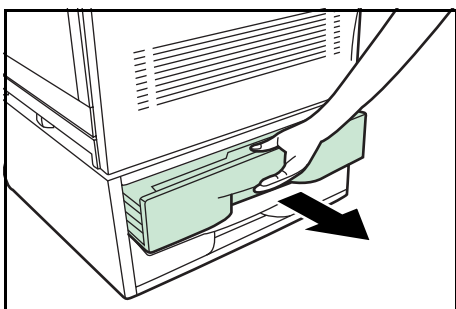
カセット 1～4 での紙詰まり

下図のメッセージが表示されたときは、カセット 1～4 で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

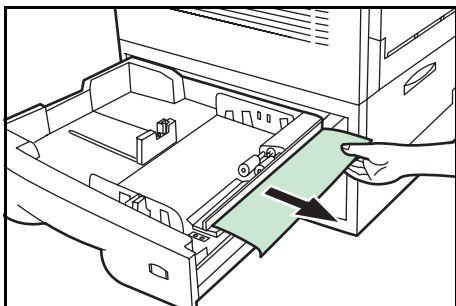


※ カセット 3、4 はオプションのペーパーフィーダのカセットです。

- 1 使用していたカセットを引き出してください。



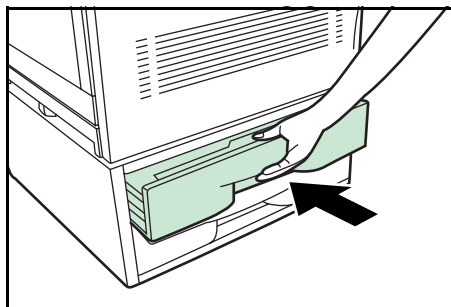
- 2 詰まっている用紙があれば破らないように取り出してください。



補足

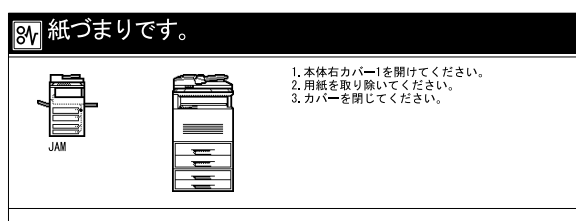
もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 3 カセットを元通りしっかり押し込んでください。



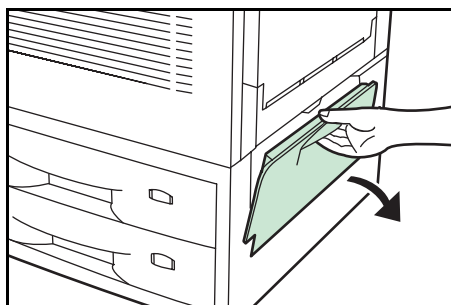
カセット右カバー 1、2 内部での紙詰まり

下図のメッセージが表示されたときは、カセット右カバー内部で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



※ 右カバー 2 はオプションのペーパーフィーダの右カバーです。

- 1 使用していたペーパーフィーダの右カバーを開けてください。

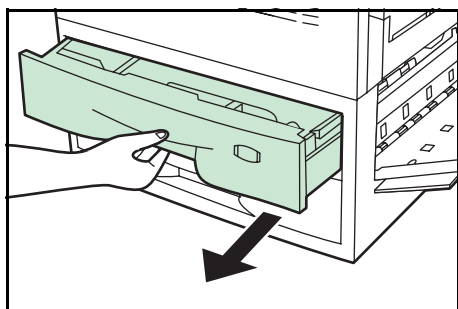
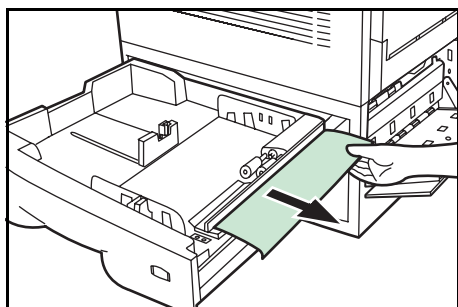


- 2 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。



補足

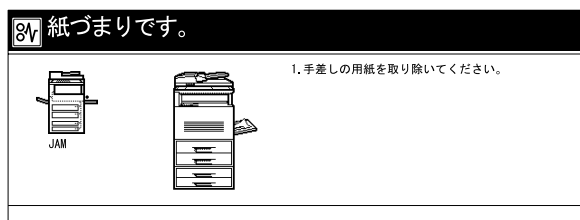
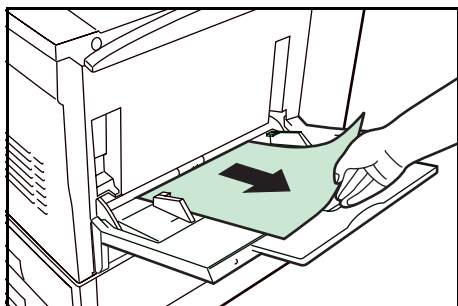
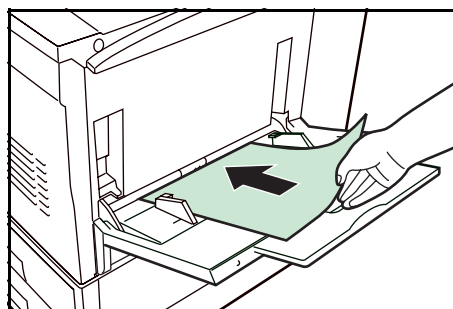
もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

3 カセットを引き出してください。**4** 詰まっている用紙があれば、破らないように取り出してください。**補足**

もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

5 カセットを元通りしっかり押し込んでください。右カバーを閉じてください。**手差しでの紙詰まり**

下図のメッセージが表示されたときは、手差しで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

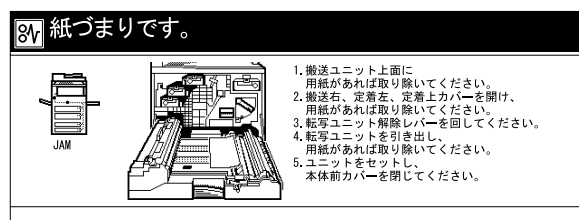
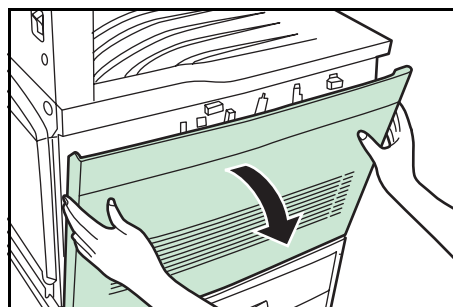
**1** 手差しの用紙をすべて取り出してください。**2** 手差しに用紙をセットしなおしてください。**3** 前カバーを開閉してください。紙詰まりのメッセージが消灯します。コピーを再開してください。**補足**

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

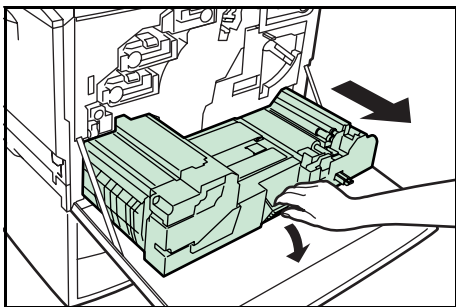
搬送ユニットでの紙詰まり

搬送ユニットで紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で取り除いてください。

※下図のメッセージは手順2で搬送ユニットを引き出した後に表示されます。

**1** 前カバーを開けてください。

- 2** 搬送ユニット解除取手を手前に引き、搬送ユニットを引き出せるところまで引き出してください。



警告

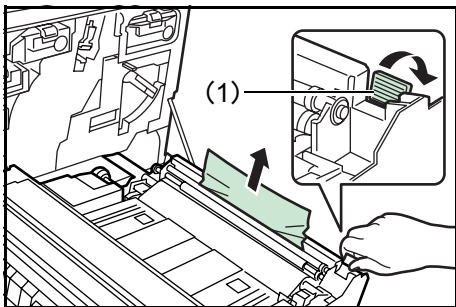
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

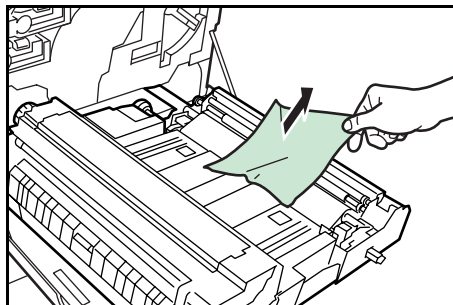
- 3** 緑色の搬送レバー（1）を押し、詰まっている用紙を破らないように取り出してください。



補足

もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

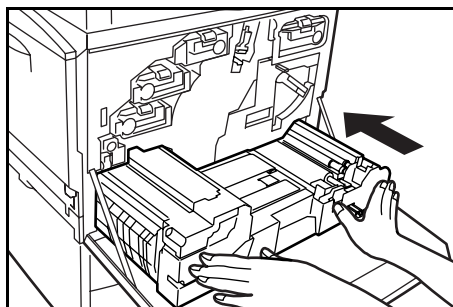
- 4** 詰まっている用紙が搬送ユニット上に見えるときは破らないように取り出してください。



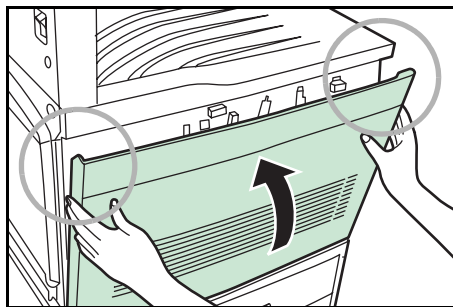
補足

もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 5** 搬送ユニットを元通りしっかり押し込んでください。



- 6** 前カバーを閉めてください。



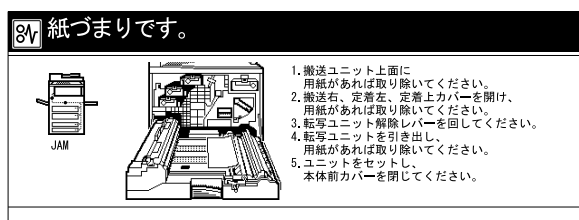
補足

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

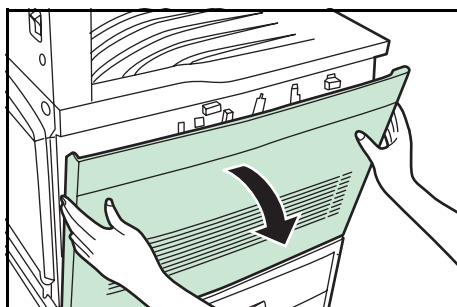
転写ユニットでの紙詰まり

転写ユニットで紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で取り除いてください。

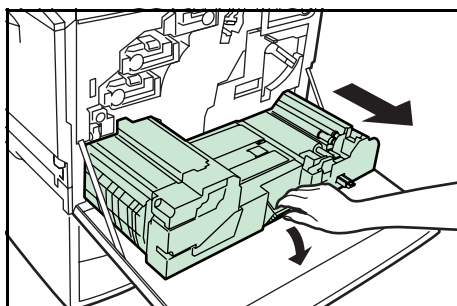
※下図のメッセージは手順2で搬送ユニットを引き出した後に表示されます。



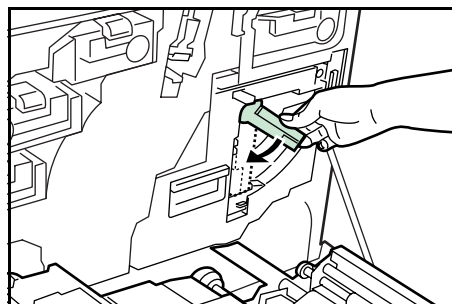
1 前カバーを開けてください。



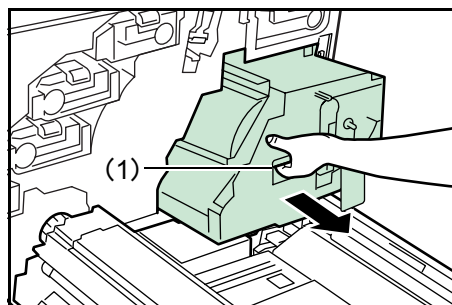
2 搬送ユニット解除取手を手前に引き、搬送ユニットを引き出せるところまで引き出してください。



3 緑色の転写ユニット解除レバーを回して縦にしてください。



4 転写ユニット解除取手(1)を持って、転写ユニットを引き出せるところまで引き出してください。



警告

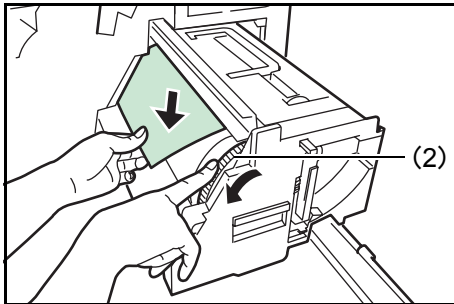
本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- 5** 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。用紙が取り出しにくい場合は、黒色の転写ドラムのダイヤル (2) を手前に回してください。詰まっている用紙が取り出しやすいところに出てきます。



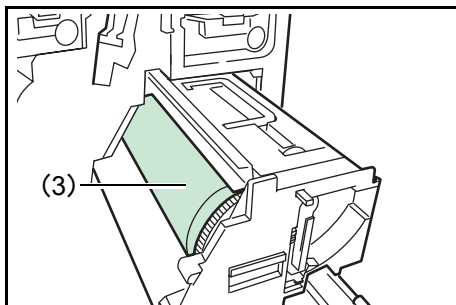
補足

もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

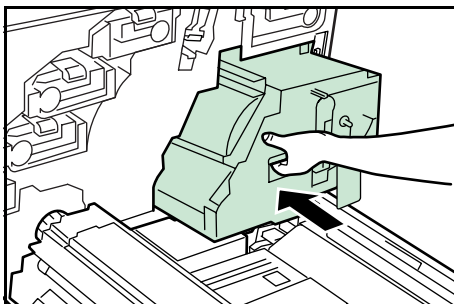


重要

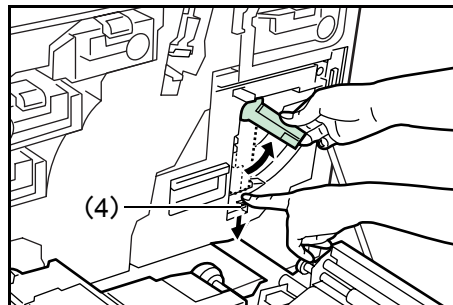
転写ドラム部分 (3) は、汚れに敏感です。手を触れないようご注意ください。



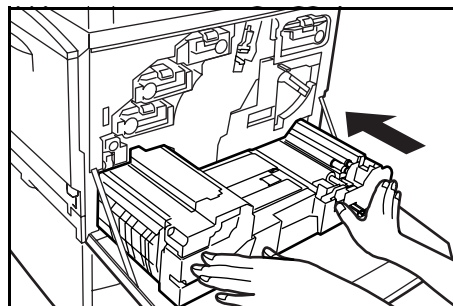
- 6** 転写ユニットを元通りしっかり押し込んでください。



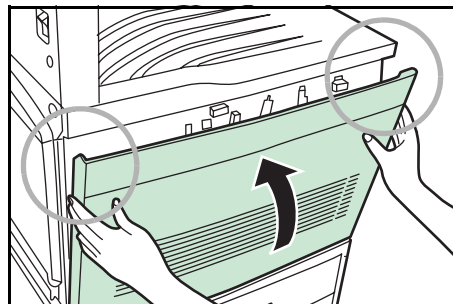
- 7** ロックレバー (4) を押し下げて、転写ユニット解除レバーを元の位置に戻してください。



- 8** 搬送ユニットを元通りしっかり押し込んでください。



- 9** 前カバーを閉じてください。



補足

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

定着部での紙詰まり

定着部で紙詰まりが発生した場合は、以下の手順で取り除いてください。

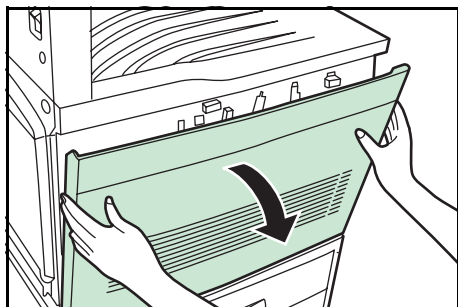
※ 下図のメッセージは手順 2 で搬送ユニットを引き出した後に表示されます。

8V 紙づまりです。

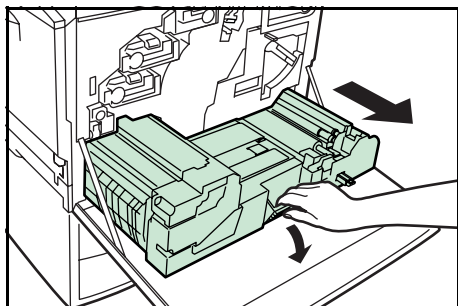
JAM

1. 搬送ユニット上面に用紙があれば取り除いてください。
2. 搬送右、定着を、定着上カバーを開け、用紙があれば取り除いてください。
3. 転写ユニット解除レバーを回してください。
4. 転写ユニットを引き出し、用紙があれば取り除いてください。
5. ユニットをセットし、本体前カバーを閉じてください。

- 1** 前カバーを開けてください。



- 2** 搬送ユニット解除取手を手前に引き、搬送ユニットを引き出せるところまで引き出してください。



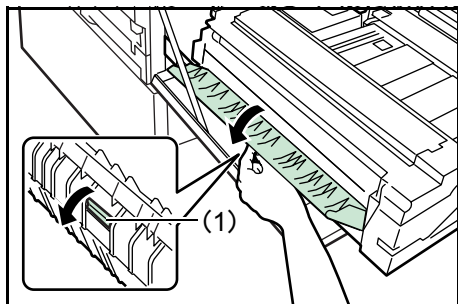
警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

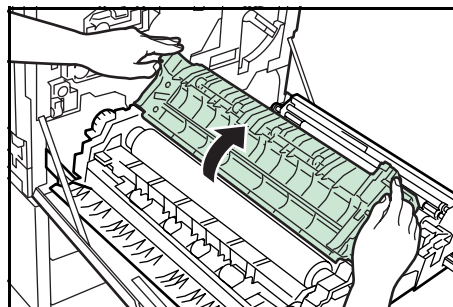
注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

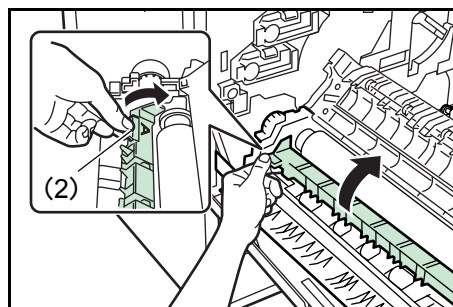
- 3** 緑色の定着部の左カバー解除取手 (1) を持って左カバーを開けてください。



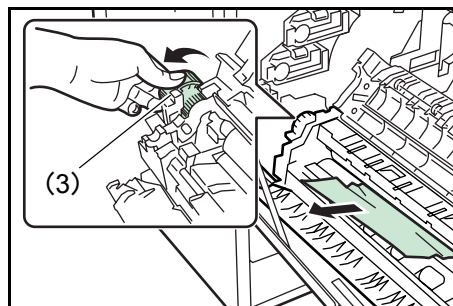
- 4** 定着部の上カバーを開けてください。



- 5** 「A」と刻印されている内カバー解除取手 (2) を持って内カバーを開けてください。



- 6** 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。用紙が取り出しにくい場合は、緑色の定着ギア (3) を回してください。詰まっている用紙が取り出しやすいところに出てきます。



補足

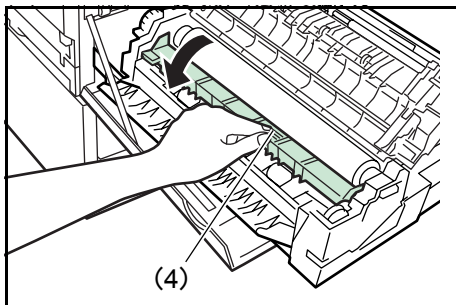
- 定着ギアはイラストの矢印の方向にのみ回すことができます。
- もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

7 開いているカバーを閉じてください。

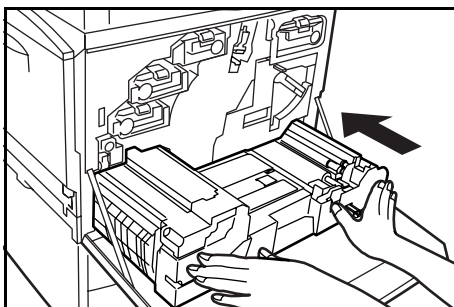


補足

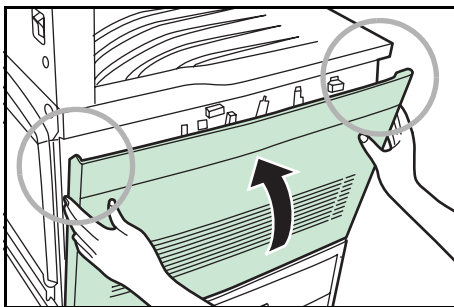
定着部の内カバーを閉じるときは、「B」と刻印されている中央の取手 (4) を持って閉じてください。



8 搬送ユニットを元通りしっかり押し込んでください。



9 前カバーを閉じてください。

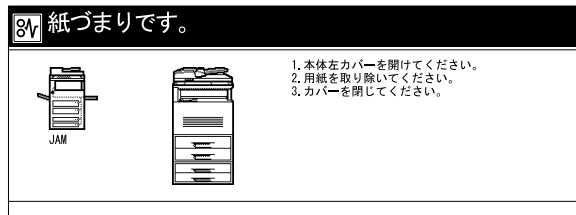


補足

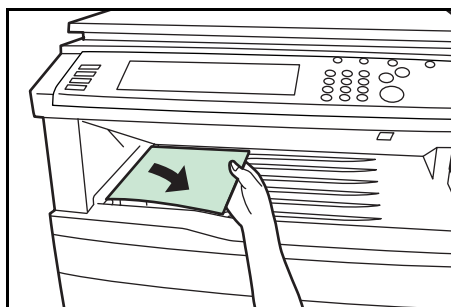
前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

左カバー内部での紙詰まり

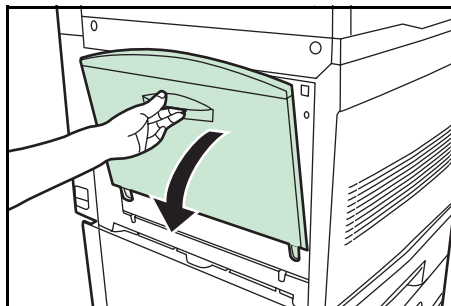
下図のメッセージが表示されたときは、左カバー内部または排出部で紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



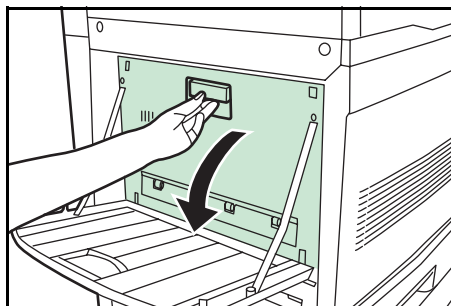
1 コピー収納部側から用紙を取り除いてください。



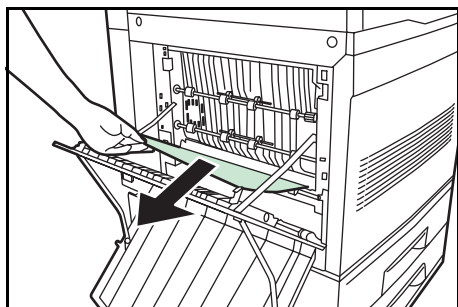
2 左トレイを開いてください。



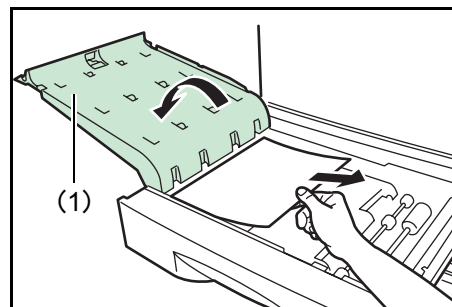
3 左カバーを開いてください。



- 4** 詰まっている用紙を破らないように取り出してください。

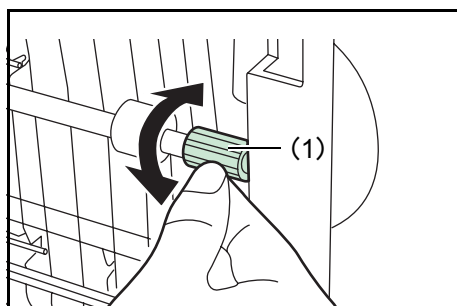


- 2** 両面カバー (1) を開いて、詰まっている用紙を破らないように取り出してください。



補足

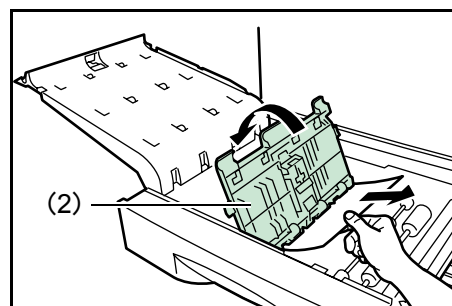
- もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。
- 用紙が取り出しにくいときは、緑色の排紙ダイヤル (1) を回してください。用紙が取り出しやすいところに出てきます。



補足

- もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 3** 反転カバー (2) を開いて、詰まっている用紙を破らないように取り出してください。



- 5** 左カバーを閉じてください。
左トレイを閉じてください。



補足

- もし破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

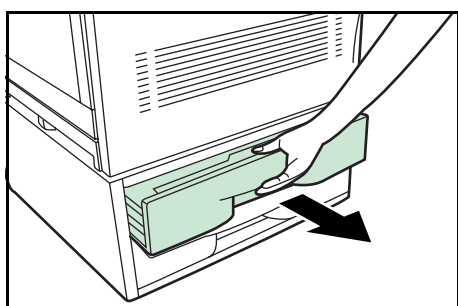
両面ユニットでの紙詰まり (両面機のみ)

下図のメッセージが表示されたときは、両面ユニットで紙詰まりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

紙づまりです。

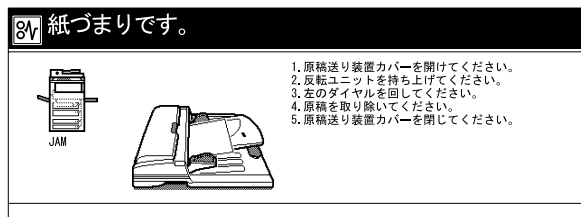
1. 両面ユニットを引き出してください。
2. 両面カバーを開け、用紙があれば取り除いてください。
3. 反転カバーを開け、用紙があれば取り除いてください。
4. カバーを閉じ、両面ユニットをセットしてください。

- 1** 両面ユニットを引き出してください。

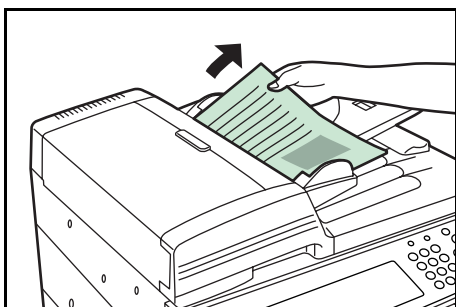


原稿送り装置〈オプション〉での紙詰まり

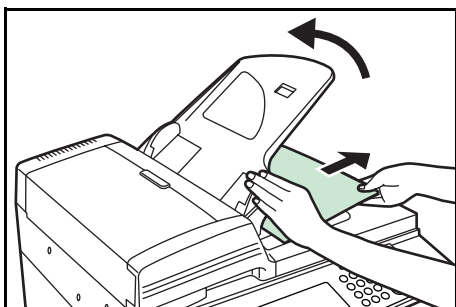
下図のメッセージが表示されたときは、原稿送り装置で原稿が詰まっています。また、原稿セット表示が赤色に点滅します。以下の手順で取り除いてください。



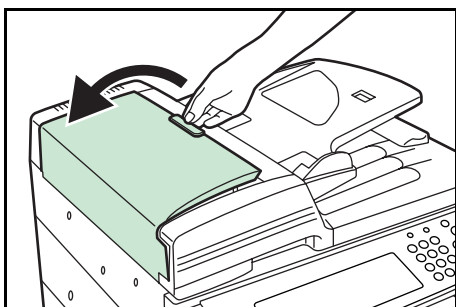
1 原稿テーブルから原稿を取り出してください。



2 原稿排出カバーに排出されている原稿をいったん取り出してください。



3 左カバーを開けてください。

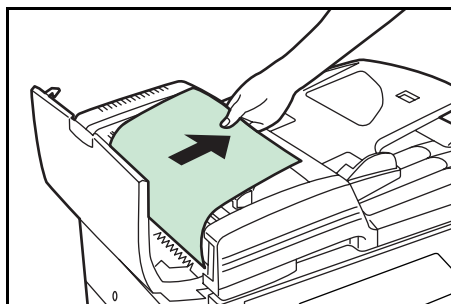


補足

カバーを開けるときには、中央部のツマミを持って開けてください。

4

詰まっている原稿があれば、破らないように取り出してください。

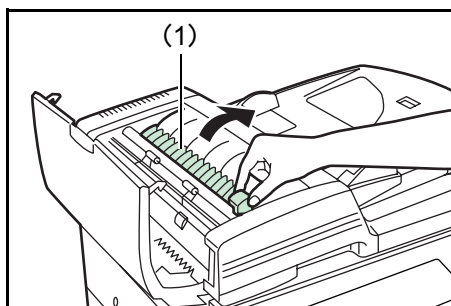


補足

もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

5

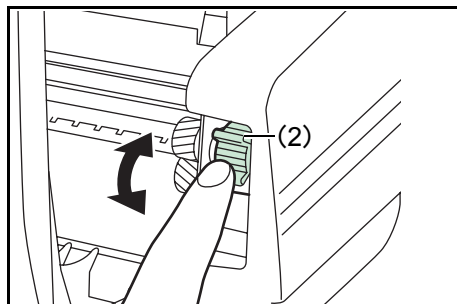
搬送カバー (1) を開けてください。



- 6** 詰まっている原稿があれば、破らないように取り出してください。

**補足**

- もし破れた場合には、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。
- 用紙が取り出しにくい場合は、緑色の原稿詰まり解除ダイヤル (2) を回してください。詰まっている原稿が取り出しやすいところに出てきます。



- 7** 搬送カバーを元通りに閉じてください。

- 8** 左カバーを閉じてください。原稿セット表示が消灯します。原稿を再セットして、コピーを再開してください。

**補足**

閉じるときには中央のツマミ部分を押さえて確実に閉めてください。

ドキュメントフィニッシャ 〈オプション〉での紙詰まり

ドキュメントフィニッシャで紙詰まりが発生した場合の処置方法については、ドキュメントフィニッシャ付属の使用説明書を参照してください。

トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べいただき、それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチをONにしても操作パネルに何も表示されない	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	—
[スタート] キーを押してもコピーが出てこない	メッセージ表示にエラーメッセージが表示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	9-1
コピーが写らない	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスの上に原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。 オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿を上向きにセットしてください。	4-1 8-2
コピーがうすい	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、「自動濃度調整」を行ってください。	7-45
	手動濃度モードですか。	コピー濃度調節キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、各原稿モードで、手動濃度調整を行ってください。	7-45
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	10-4
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	—
コピーがこい	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、「自動濃度調整」を行ってください。	7-45
	手動濃度モードですか。	コピー濃度調節キーで適正な位置にセットしてください。	4-2
		全体的に濃度を変更するときは、各原稿モードで、手動濃度調整を行ってください。	7-45
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する	原稿が印刷された写真ですか。	画質モードを「印刷写真」にしてください。	4-3
原稿とコピーの色の感じが異なる	画像調整は適切ですか。	カラーコピー設定で、カラーバランス調整を行ってください。	5-1
		自動階調調整を行ってください。	7-65
コピーが鮮明でない	原稿の種類に合った画質モードを選択していますか。	適切な画質モードを選択してください。	4-3
コピーが汚れている	コンタクトガラスや原稿押さえが汚れていませんか。	コンタクトガラスや原稿押さえの清掃を行ってください。	10-1

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーがぼける	本機を湿度の高い状態で使用していませんか。	ドラムリフレッシュを行ってください。	7-67
コピーがずれて写る	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。 オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	4-1 8-2
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	3-1
紙詰まりがたびたび起こる	用紙がカセットに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットしなおしてください。	3-1
		用紙の種類や保管状態によっては、コピーされた用紙のカールがひどくなり、紙詰まりの原因となる場合があります。用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	3-1
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	—
	詰まった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	9-5
	手差しに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しのサイズが異なっていませんか。	手差しに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しのサイズを合わせてください。	7-62
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒い筋が写る	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスの清掃を行ってください。	10-1

10 章 保守・運用のために

機械の清掃のしかた

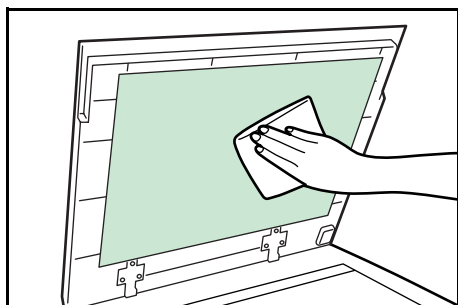
⚠ 注意

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

原稿押さえの清掃

原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえ裏面の清掃を行ってください。

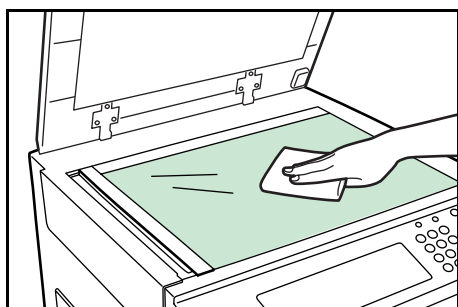
※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



コンタクトガラスの清掃

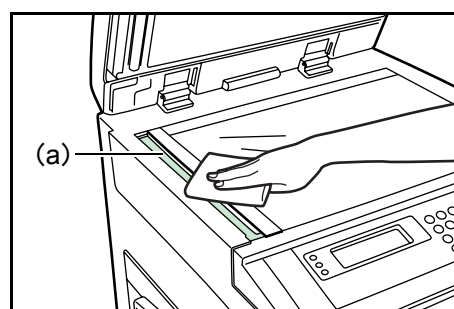
原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、コンタクトガラスの清掃を行ってください。

※シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



※オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒すじなどの汚れが写る場合、スリットガラス (a) が汚れています。乾拭 (からぶき) またはアルコールを付けた柔らかい布で、スリットガラスの清掃を行ってください。

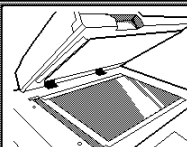
※水、シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。



補足

スリットガラスが汚れると、“スリットガラスを清掃してください。”が表示されることがあります。スリットガラスを清掃して、[終了]キーを押してください。

❗ スリットガラスを清掃してください。



1. 原稿送り装置を開けてください。
2. 左側の細長いガラス (スリットガラス) の表面を、乾いた布で清掃してください。
3. 原稿送り装置を閉じてください。
4. 終了キーを押してください。

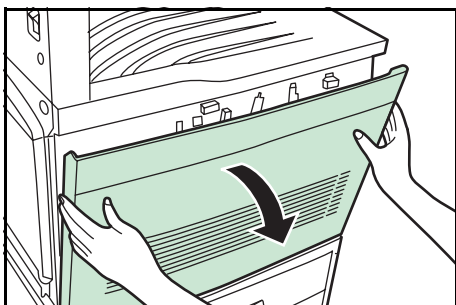
スリットガラスが汚れていると、コピーに黒筋が出る原因となります。

終了

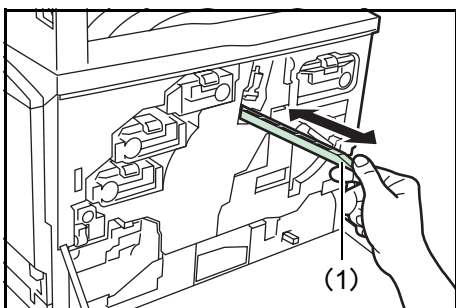
メインチャージャの清掃

画像にスジ等の汚れが発生している場合には、メインチャージャの清掃を次の手順に従って行ってください。

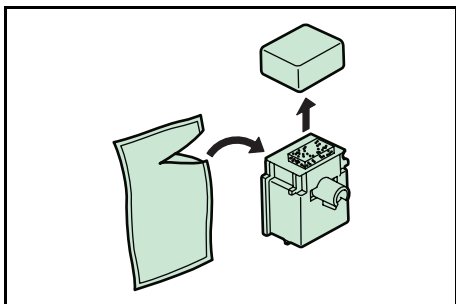
- 1** 前カバーを開けてください。



- 2** 緑色のクリーナーレバー (1) を持って、ゆっくり引き出せるところまで引き出してから押し込む動作を 3～5 回繰り返してください。



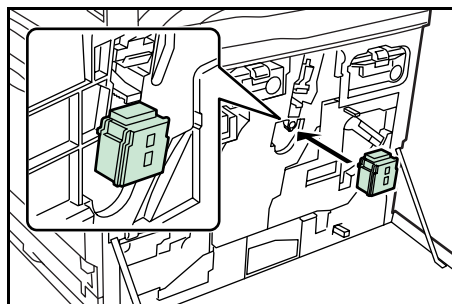
- 3** 付属のグリッドクリーナを袋から取り出し、キャップを外してください。



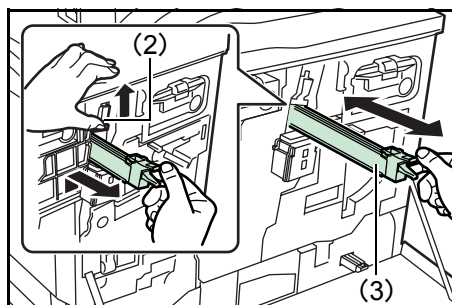
補足

グリッドクリーナのスポンジ部分は水分を含んでいます。この部分の乾燥を避けるため、手早く清掃してください。

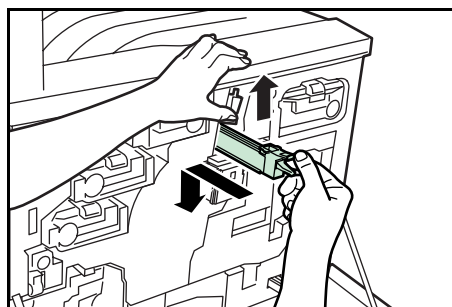
- 4** グリッドクリーナのスポンジ部分を上にし、図のように取り付けてください。

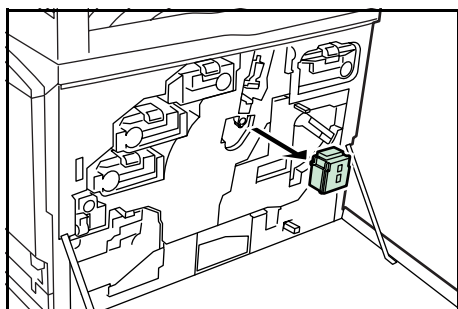


- 5** メインチャージャユニット解除レバー (2) を上げてください。メインチャージャユニット (3) を少し持ち上げて、ゆっくりと引き出せるところまで引き出してから押し込む動作を 2～3 回繰り返してください。

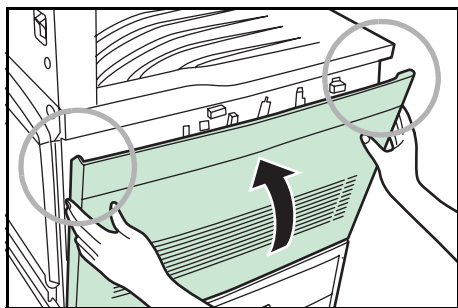


- 6** メインチャージャユニット解除レバーを上げて、メインチャージャユニットを元に戻してください。



7 グリッドクリーナを取り外してください。**補足**

グリッドクリーナは一度使用したものを再利用しないでください。

8 前カバーを閉めてください。**補足**

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

トナーコンテナの交換

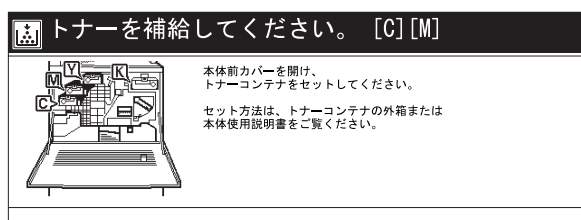
本機は4種類のトナー（イエロー/シアン/マゼンタ/ブラック）を使用しています。

表示に“トナーが残り少なくなりました”が表示されたときは、トナーの交換時期が近づいています。交換用のトナーを準備してください。メッセージ表示に“トナーを補給してください”が表示され、機械が停止したときは、表示された種類のトナーを補給してください。



重要

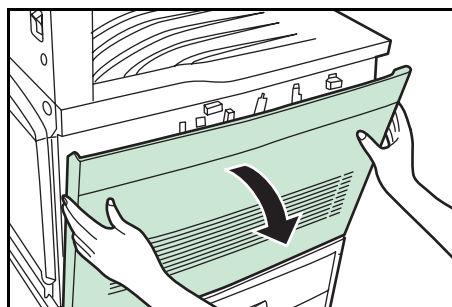
- トナーの補給は、メッセージ表示に“トナーを補給してください”が表示されたときのみ行ってください。
- 廃棄トナーボックスがキットに同梱されています。廃棄トナーボックスの交換メッセージが表示されたときには交換が必要です。お手元に保管してください。
- トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。



ここでは例としてブラックのトナーを交換します。

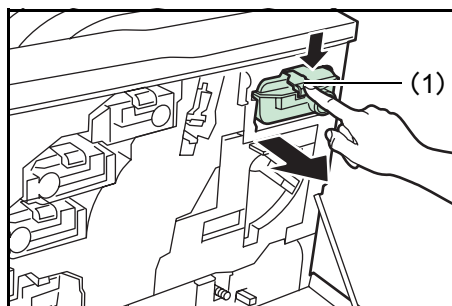
1

前カバーを開けてください。



2

トナーコンテナ解除レバー (1) を下げながら、トナーコンテナを引き出してください。

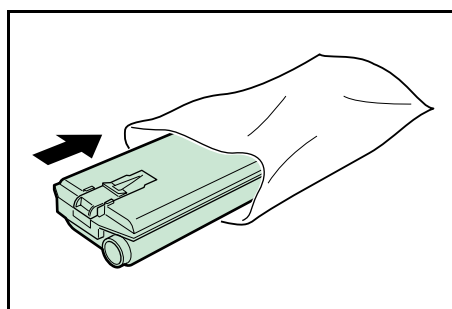


重要

取り出したトナーコンテナは、傾けないようにしてください。

3

古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



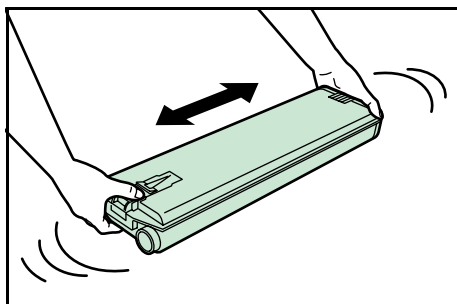
! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

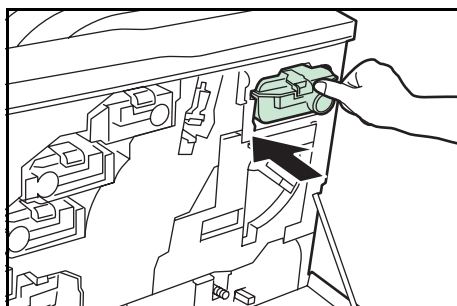
- 4** 新しいトナーコンテナを水平方向に 5 回以上振ってください。



重要

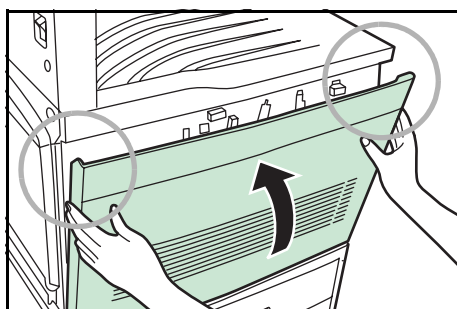
トナーコンテナを十分に振らずに機械にセットされた場合は、トナー補給不足によりエラーが発生することがあります。

- 5** 新しいトナーコンテナをセットしてください。正しい位置にセットされるとロックされます。



他の種類のトナーの交換も、同様の手順で行ってください。

- 6** 前カバーを閉めてください。



補足

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

廃棄トナーボックスの交換

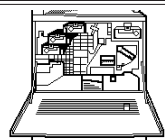
表示に“廃棄トナーボックスを確認してください。”が表示されたときは、廃棄トナーボックスを交換してください。



重要

廃棄トナーボックスの交換は、メッセージ表示が表示されたときのみ行ってください。

廃棄トナーボックスを確認してください。



本体前カバーを開け、
廃棄トナーボックスを確認してください。
正しくセットされていない場合、
セットし直してください。
トナーがいっぱいの場合、
空のボックスと交換してください。

交換方法は、廃棄トナーボックスの外箱または
本体使用説明書をご覧ください。

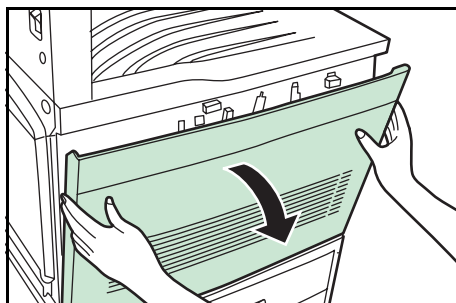
! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

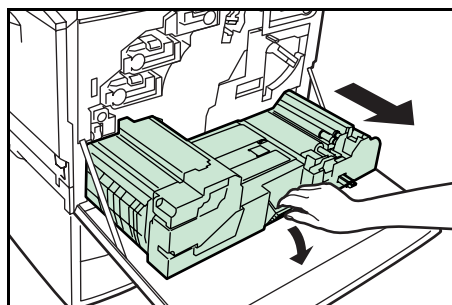
! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

1 前カバーを開けてください。



2 搬送ユニット解除取手を手前に引き、搬送ユニットを引き出せるところまで引き出してください。



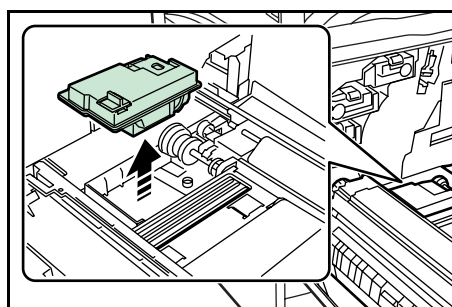
! 警告

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

! 注意

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

3 廃棄トナーボックスを取り出してください。



重要

取り出した古い廃棄トナーボックスは、逆さまにしないでください。

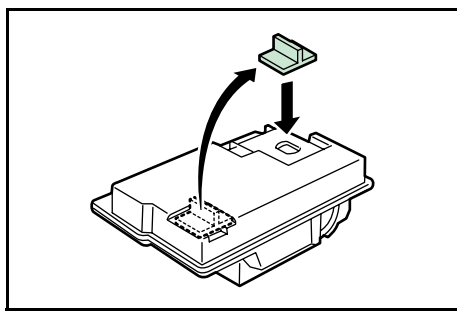
⚠ 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。

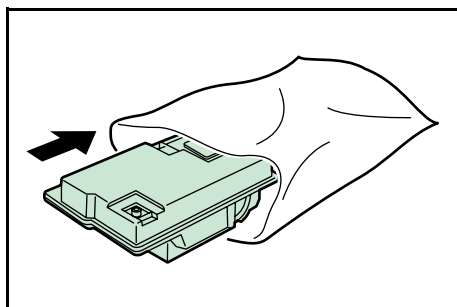
⚠ 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

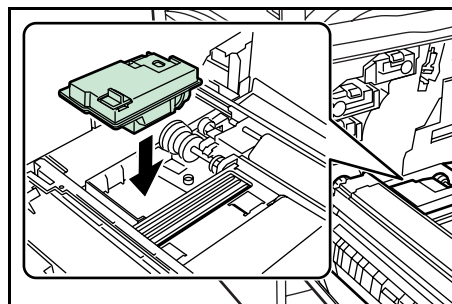
- 4** 古い廃棄トナーボックスの上側に付いているキャップで開放口をふさいでください。



- 5** 古い廃棄トナーボックスを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

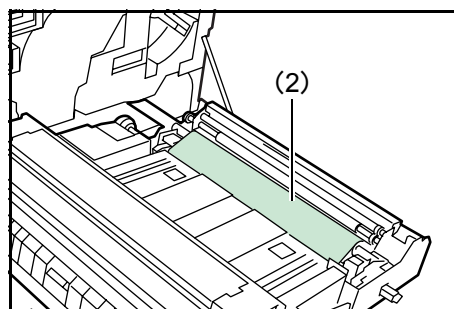


- 6** 新しい廃棄トナーボックスをセットしてください。

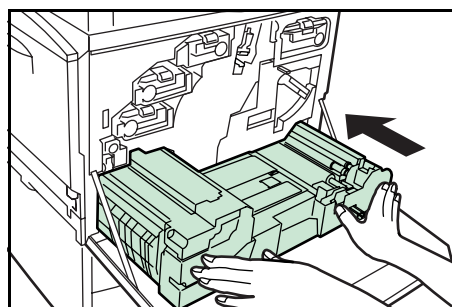


重要

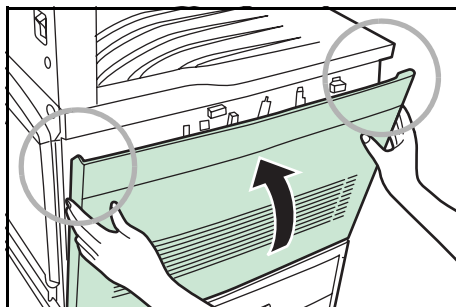
- 新しい廃棄トナーボックスの開口部には、フタをしないでください。故障の原因になります。
- 搬送ユニット右側にある転写ベルト (2) には触れないでください。コピーの汚れなどにつながるおそれがあります。



- 7** 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、搬送ユニットを元通りしっかり押し込んでください。



8 前カバーを閉めてください。



補足

前カバーは左右を持って確実に閉めてください。

使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

仕様

機械本体

名称	KM-C850/KM-C850D
形式	デスクトップ型
原稿台方式	原稿台固定方式
複写方式	間接静電方式、中間転写ドラム方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	500 枚収納カセット：A3、B4、A4、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2" 250 枚収納カセット：A3、B4、A4、A4R、B5R、A5R 手差し：A3 ワイド (305 × 457 mm)、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、B6R、A6R、はがき、12" × 18"、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13"、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、5 1/2" × 8 1/2" 両面コピー時：A3 ～ A5R 欠け幅：0.5 ～ 5.5 mm
複写速度	片面コピー時（A4/ 等倍コピー）：8 枚 / 分（フルカラー） 31 枚 / 分（白黒） 両面コピー時（A4/ 等倍コピー）：8 枚 / 分（フルカラー） 21 枚 / 分（白黒） 両面コピー時（A3/ 等倍コピー）：4 枚 / 分（フルカラー） 7.5 枚 / 分（白黒）
ウォームアップタイム	180 秒以内（室温 23 ℃、湿度 60 %）
ファーストコピータイム	（フルカラー） 24.5 秒以内 （白黒・単色カラー） 10.8 秒以内
複写倍率	25 ～ 400 %（1 % 毎）の任意倍率または固定倍率
メモリ	片面機 ビットマップメモリ 256 MB 両面機 ビットマップメモリ 256 MB 画像蓄積メモリ 20 GB
解像度	読み取り：600 × 600 dpi 書き込み：600 × 600 dpi
給紙方式	＜カセット自動給紙＞ 500 枚収納カセット付片面機：500 枚収納カセット × 2 段 [60 ～ 90 g/m ²] 250 枚収納カセット付片面機：250 枚収納カセット × 2 段 [60 ～ 90 g/m ²] 両面機：500 枚収納カセット × 1 段 [60 ～ 90 g/m ²] ＜手差し自動給紙＞ 収納枚数 150 枚 [60 ～ 90 g/m ²]
使用ペーパー	＜紙厚＞ カセット：60 ～ 90 g/m ² 両面ユニット：60 ～ 90 g/m ² 手差し：60 ～ 220 g/m ² ＜用紙種類＞ カセット：普通紙、カラーペーパー 両面ユニット：普通紙、カラーペーパー 手差し：普通紙、特殊紙（カラーペーパー、OHP フィルム等）、封筒 [プリンタ機能時のみ]（洋形 4 号、洋形 2 号）
連続複写	1 ～ 999 枚
光源	希ガスランプ
現像方式	乾式 2 成分現像
定着方式	ヒートローラー
クリーニング方式	ブレードクリーニング方式、ファークラシクリーニング方式
感光体種類	a-Si（アモルファスシリコン）

付属機能.....	カラーバランス調整、色相調整、ワンタッチ画質調整、単色カラーコピーモード、光沢プリント、自動用紙選択、画質の選択、自動倍率選択モード、ズームコピーモード、固定変倍モード、たてよこ独立変倍モード、両面コピー ^{*1} 、分割コピー、とじしろコピー、センター移動、書き込み余白 ^{*2} 、枠消し、集約コピー、ページ付け ^{*2} 、拡大連写モード ^{*2} 、小冊子（シート原稿） ^{*1} 、小冊子（見開き原稿） ^{*1} 、仕分けコピー ^{*2} 、自動回転、表紙付け ^{*2} 、OHP 合紙モード ^{*2} 、白黒反転コピー、鏡像コピー、試しコピー ^{*2} 、再コピー ^{*2} 、連続読み込み ^{*2} 、配布コピー ^{*2} 、エコプリント、プログラムコピー、応用コピー ^{*2} 、部門管理モード ^{*2} 、言語切替
	^{*1} 両面機のみ
	^{*2} 片面機はオプションのメモリコピーボードが必要
電源.....	AC100 V 50/60 Hz 15.0 A
消費電力.....	定格総消費電力 1500 W
機械寸法.....	500 枚収納カセット付片面機 / 両面機：幅 590 mm × 奥行 585 mm × 高さ 870 mm
	250 枚収納カセット付片面機：幅 590 mm × 奥行 585 mm × 高さ 817 mm
質量.....	500 枚収納カセット付片面機：約 115 kg
	250 枚収納カセット付片面機：約 112 kg
	両面機：約 119 kg
機械占有寸法.....	幅 1288 mm × 奥行 585 mm
オプション.....	自動原稿送り装置、ペーパーフィーダ、ドキュメントフィニッシャ、メモリコピーボード ^{*3} 、キーカウンタ、キーカード、プリンタキット、ファクスキット、ネットワークスキャナ、両面ユニット ^{*3}
	^{*3} 両面機は標準装備

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

原稿送り装置（オプション）

原稿の送り方式.....	自動給紙方式
原稿の種類.....	シート原稿
原稿サイズ.....	最大：A3
	最小：A5R
原稿の厚さ.....	片面原稿：35 ～ 160 g/m ²
	両面原稿：50 ～ 120 g/m ²
原稿セット枚数.....	100 枚（A4 以下、50 ～ 80 g/m ² ）
	70 枚（B4 以上、50 ～ 80 g/m ² ）
電源.....	複写機本体と電氣的に接続
外形寸法.....	幅 553 mm × 奥行 478 mm × 高さ 137 mm
質量.....	約 10.5 kg

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

ドキュメントフィニッシャ（オプション）

トレイ数	メイントレイ：1トレイ、サブトレイ：1トレイ
収納制限枚数とサイズ	メイントレイ（用紙の厚さ 64 g/m ² の場合） ノンステープル時 A3/B4：1500 枚（1000 枚）、A4R/A4/B5：3000 枚（2000 枚） ステープル 2 枚綴じ時 A3/B4：700 枚、A4R/A4：1100 枚、B5：1000 枚 ステープル 3～4 枚綴じ時 A3/B4：700 枚、A4R/A4/B5：1000 枚 ステープル 5～10 枚綴じ時 A3/B4：800 枚、A4R/A4：1100 枚、B5：1000 枚 ステープル 11～20 枚綴じ時 A3/B4：1000 枚、A4R/A4：1200 枚、B5：1100 枚 ステープル 21～30 枚綴じ時 A3/B4：1500 枚（1000 枚） ステープル 21～50 枚綴じ時 A4R/A4/B5：3000 枚（2000 枚） ※（ ）内はカラーコピーまたはカラーペーパー使用の場合の枚数です。 サブトレイ（用紙の厚さ 64 g/m ² の場合） A3/B4：150 枚 A4/A4R/B5/B5R/A5R/B6R/A6R：250 枚
用紙の厚さ	サブトレイに排出時：60～200 g/m ² メイントレイに排出時：60～160 g/m ² ステープル、パンチ時：60～160 g/m ²
ステープル制限枚数	A3/B4：30 枚、A4/A4R/B5：50 枚 ※ 用紙の厚さ 64 g/m ² の場合 ※ カラーコピーまたはカラーコピー紙を選択した場合、制限枚数までステープルできない場合があります。
電源	本体より供給
機械寸法	幅 688 mm × 奥行 1010 mm × 高さ 598 mm
質量	約 50 kg

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

ペーパーフィーダ（オプション）

給紙方式	カセット自動給紙（収納枚数 250 枚 [60～90 g/m ²]）× 2 段
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5R、A5R
使用ペーパー	紙厚：60～90 g/m ² 用紙種類：普通紙、カラーペーパー
電源	複写機本体と電氣的に接続
機械寸法	幅 560 mm × 奥行 567 mm × 高さ 197 mm
質量	約 15 kg

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

両面ユニット（オプション）

両面ユニット	上段
給紙カセット	下段
給紙方式	給紙カセット：カセット自動給紙（収納枚数 500 枚 [60～90 g/m ²]）
用紙サイズ	両面ユニット：A3～A5R 給紙カセット：A3、B4、A4、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"
使用ペーパー	紙厚：60～90 g/m ² 用紙種類：普通紙、カラーペーパー
電源	複写機本体と電氣的に接続
機械寸法	幅 560 mm × 奥行 251 mm × 高さ 566 mm
質量	約 22.1 kg

（仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。）

環境仕様

- ・低電力モードからの復帰時間 30 Sec
- ・低電力モード移行時間（出荷時設定）.... 15 min
- ・オフ／スリープモード移行時間
（出荷時設定） 60 min

両面機能

- ・両面機は標準。また、片面機はオプション。

給紙搬送性

- ・古紙 100% 配合紙使用可能

製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

チャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方式です。

※詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーチャージ契約書」には、お買い上げになった複写機の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーチャージ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きを致します。

※アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

廃棄について

1. 使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

2. トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

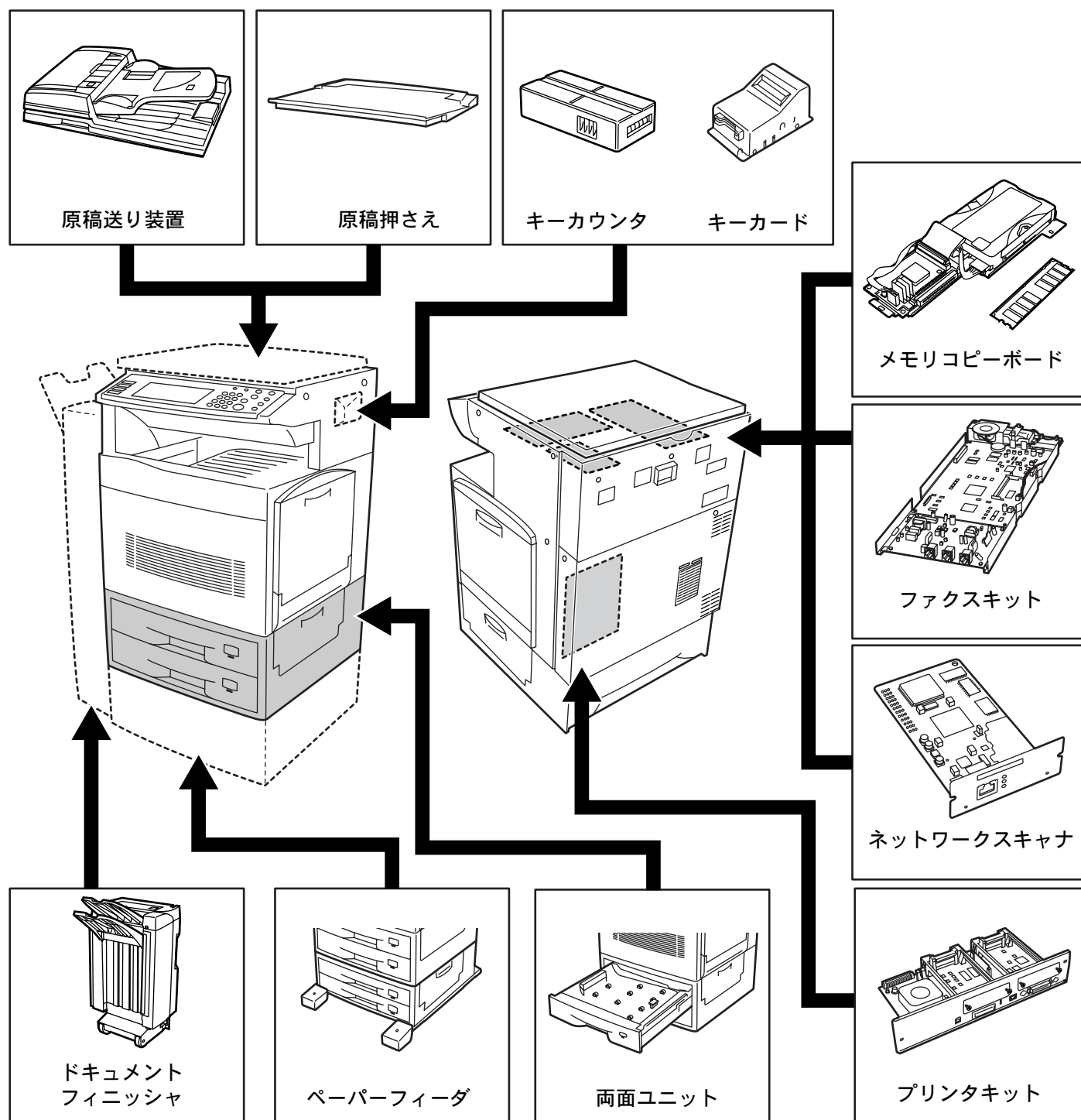
使用後、不要になりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

オプションユニット

各オプションの設置位置を説明しています。また、各オプションの使用説明書も参照してください。

使用できるオプション

複写機では、以下のオプションが使用できます。



原稿送り装置

多枚数のシート原稿を自動的に 1 枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。両面原稿を自動的に反転させて両面を読み込ませることもできます。

原稿押さえ

原稿押さえを開閉して、コンタクトガラスに原稿をセットすることができます。

ペーパーフィーダ

本体のカセットに加えて、ペーパーフィーダ（250 枚収納カセット 2 段装着）を使用することができます。用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。また、ペーパーフィーダ底面にはキャストが装着されています。

ドキュメントフィニッシャ

大量のコピーを収納したり、多部数のコピーを 1 部ずつシフトして仕分けをしたりする装置です。ページぞろえしたコピーにステープルしたり、パンチ穴を開けることもできます。

メモリコピーボード

メモリコピーボードを装着すると本機で次の機能が使用できるようになります。

集約コピー、原稿サイズ混載コピー、連続読み込み、ページ印字、拡大連写モード、仕分けコピー、表紙付け、小冊子、OHP 合紙モード、試しコピー、書き込み余白、再コピー、配布コピー、応用コピー、部門管理

※ 両面機は標準で装着されています。

キーカウンタ

キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

キーカード

キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認する事ができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

プリンタキット

プリンタキットを装着すると、本機をプリンタとして使用することができます。

ファクスキット

ファクスキットを装着すると、本機をファクシミリとして使用することができます。

また、オプションのネットワークスキャナと併用すると、コンピュータで送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。

ネットワークスキャナ

本機を複数のコンピュータからアクセスできるネットワークスキャナとして使用することができます。

両面ユニット

両面ユニットを装着すると両面コピーをとることができます。両面コピーができる用紙は A3 ～ A5R（60 ～ 90 g/m²）です。

付録 A：機能組み合わせ一覧

- 23: 小冊子と集約 / 書き込み余白の組合せは禁止。
- 24: 表紙付けと原稿サイズ入力時の組合せは禁止。
- 25: 表紙付けと集約 / 書き込み余白の組合せは禁止。
- 26: 表紙付けと白黒反転の組合せは禁止。
- 27: 後設定が優先されて先に設定した機能は解除される
- 28: OHP 合紙と白黒反転の組合せは禁止。
- 29: OHP 合紙と原稿サイズ入力時の組合せは禁止。
- 30: OHP 合紙と仕分け / ステープル / パンチモードとの組合せは禁止。
- 31: 自動用紙選択モードに移行するため用紙選択は解除される。
- 32: 集約 / 書き込み余白と原稿サイズ入力時の組合せは禁止。
- 33: 連続読み込みとの組合せは禁止。

- 34: 自動カラーコピーモードとの組合せは禁止。
- 35: 拡大連写との組合せは禁止。
- 36: 光沢プリントとの組合せは禁止。
- 37: 配布コピーとの組合せは禁止。
- 38: 単色カラーコピーモードとの組合せは禁止。
- 39: 割り込みコピーとの組合せは禁止。
- 40: 後設定が優先され、カラー機能が解除されます。
- 41: ワンタッチ画質調整との組合せは禁止。
- 42: 色相調整との組合せは禁止。
- 43: カラーバランスとの組合せは禁止。
- 44: OHP 合紙または手差しで用紙種類を OHP/厚紙で設定している場合は禁止。
- 45: 後設定が優先され、自動濃度調整が解除されます。
(フルカラーコピーモード時のみ)

- 46: 自動濃度調整との組み合わせは禁止。(フルカラーコピーモード時のみ)
 - 47: シャープネスとの組み合わせは禁止。(白黒コピーモード / 単色カラーコピーモード時のみ)
 - 48: 後設定が優先され、シャープネスが解除されます。(白黒コピーモード / 単色カラーコピーモード時のみ)
 - 49: 後設定が優先され、自動濃度調整が解除されます。(白黒コピーモード / 単色カラーコピーモード時のみ)
- 69: 画質 (OCR)**
- 70: カラーモード (白黒 (グレー))**

後から設定する機能																																先に設定する機能				
33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	69	70						
																															1	カラーモード（フルカラー）				
																															2	カラーモード（白黒）				
																					34	34					34				3	カラーモード（自動カラー）				
																																4	光沢プリント			
															48	48	48															5	シャープネス			
																																	6	ワンタッチ画質調整		
																																		7	色相調整	
																																		8	カラーバランス	
																																		9	単色カラーコピーモード	
																																		10	画質（文字＋写真）	
																																		11	画質（印刷紙写真）	
																																		12	画質（印刷写真）	
																																		13	画質（文字）	
																																		14	画質（地図）	
																45	45	45																15	コピー濃度（自動濃度調整）	
																																			16	コピー濃度（マニュアル調整）
																																			17	エコプリント
																																			18	原稿サイズ選択（サイズ選択）
																																			19	原稿サイズ選択（サイズ入力）
																																			20	原稿サイズ選択（自動検知）
																																			21	原稿サイズ選択（ユーザー登録）
																																			22	等倍コピーモード
																																			23	たてよこ独立変倍
																																			24	自動倍率選択モード
																																			25	ズームコピーモード
																																			26	用紙選択
																																			27	原稿セット向き
																																			28	連続読み込み
																																			29	自動回転
					12				12					12	35	12	12			7	7	12	12	12	12	44	12							30	原稿サイズ混載（サイズ混載）	
															12	35	12	12			7	7	12	12	12	12								31	原稿サイズ混載（サイズ統一）	
37															35	37	37																	32	配布コピー	
																																			33	試しコピー
																																			34	再コピー（設定）
																					</															

付録 B：区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100											0350	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z		0600	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	
0110	!	°	°	°	°	°	°	°	°	°	0360					a	b	c	d	e		0610	К	Λ	M	N	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	T
0120	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	ゞ	0370	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0130	-	/	\	~			...	...	''		0380	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0140	“	”	(	)	{	}	[	]	{	}	0390	z										0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0150	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	0400	あ	い	い	う	う	え	え	お			0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0160	+	-	±	×	÷	=	≠	<	>	≤	0410	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ	0660										
0170	≥	∞	∴	♂	♀	°	'	"	℃	¥	0420	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	0670										
0180	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	0430	ぞ	た	だ	ち	ち	っ	つ	づ	て	で	0680										
0190	★	○	●	◎	◇						0440	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ば	0690										
0200	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒		0450	ひ	び	び	ふ	ぶ	ぶ	へ	べ	べ	ほ	0700	A	B	В	Г	Д	E	Ё	Ж	З	
0210	→	←	↑	↓	=						0460	ぼ	ぼ	ま	み	む	め	も	や	や	ゆ	0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0220											0470	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0230	⊂	⊃	∪	∩							0480	ゐ	ゑ	を	ん							0730	Ь	Э	Ю	Я						
0240	∧	∨	⇒	⇨	⇩	⇧	⇨	⇩	⇧	⇨	0490											0740										а
0250											0500	ア	イ	イ	ウ	エ	エ	オ				0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0260	∠	⊥	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	∩	0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ	0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0270	∞	∞	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	∴	0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0280	Å	%	#	b	♪	†	‡	¶			0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ツ	ツ	テ	デ		0780	ю	я								
0290	○										0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	0790										
0300											0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	ブ	ヘ	ベ	ペ	ホ	0800	—		┌	┐	└	┘	└	┘	└	┘
0310											0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ		0810	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘
0320	4	5	6	7	8	9					0570	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ウ	ワ		0820	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘
0330											0580	キ	エ	ラ	ン	ヴ	カ	ケ				0830	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘	└	┘
0340	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	0590											0840										

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0850											1100											1350										
0860											1110											1360										No KK. TEL
0870											1120											1370										(株)有(代)
0880											1130											1380										
0890											1140											1390										
0900											1150											1400										
0910											1160											1410										
0920											1170											1420										
0930											1180											1430										
0940											1190											1440										
0950											1200											1450										
0960											1210											1460										
0970											1220											1470										
0980											1230											1480										
0990											1240											1490										
1000											1250											1500										
1010											1260											1510										
1020											1270											1520										
1030											1280											1530										
1040											1290											1540										
1050											1300	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		1550										
1060											1310	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱		1560										
1070											1320	㉔	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	1570										
1080											1330	X										1580										
1090											1340											1590										

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ア	1600	垂	唾	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢		力	1850	禍	禾	稼	箇	花	苟	茄	荷	華	菓		キ	2100	機	帰	穀	気	汽	畿	祈	季	稀	
	1610	葵	茜	穉	悪	握	渥	旭	葦	芦	繆		1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨			2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	1620	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾		1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕			2120	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺
	1630	鮎	或	栗	裕	安	庵	按	暗	案	闇		1880	介	会	解	回	塊	壞	迴	快	怪	悔			2130	犧	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	1640	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	圉	夷	委		1890	恢	懷	戒	拐	改								2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
イ	1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	力	1900	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥		キ	2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	
	1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医		1910	蟹	開	階	貝	凱	効	外	咳	害	崖			2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壹	溢	逸		1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮			2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	1680	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻		1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓			2180	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁
	1690	引	飲	淫	胤	蔭							1940	拏	攪	格	核	殼	獲	確	穫	覺	角			2190	禦	魚	亨	享	京					
ウ	1700	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽		力	1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	榮	額		キ	2200	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	
	1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	噓		1960	顎	掛	笠	檜	櫃	鯁	渴	割	喝		2210		卿	叫	喬	境	峽	強	疆	怯	恐	恭	
	1720	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	噂		1970	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	旦	鯉			2220	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興
エ	1730	云	運	雲	荏	餌	叡	宮	嬰	影	映	力	1980	叶	花	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌		ク	2230	蕎	郷	鏡	響	響	驚	仰	凝	堯	曉
	1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	穎	英		1990	嚙	鴨	栢	茅	萱								2240	業	局	曲	極	玉	桐	杆	僅	勤	均
	1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越		2000	粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊		2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊		
	1760	閱	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨		2010	勘	劬	巷	喚	堪	姦	完	官	寬	干		2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	
	1770	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁		2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺		ク	2270	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	馭	駟
1780	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	2030	款	飲	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看		2280	駒		具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅		
オ	1790	凹	央	奥	往	応						キ	2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観		ク	2290	串	櫛	釧	屑	屈					
	1800	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯			2050	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館			2300	掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	桑	
	1810	鷗	黄	岡	冲	荻	億	屋	憶	臆	桶		2060	舘	丸	含	岸	巖	玩	癌	眼	岩	翫			2310	栗	緑	桑	鋏	勲	君	薰	訓	群	軍
	1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化		2070	匱	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器			2320	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
カ	1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	ケ	2330	珪	型	契	形	徑	患	慶	慧	憩	掲	
	1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂		2090	旗	既	期	棋	棄								2340	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系	經	繼

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ケ	2350	繫	罽	荃	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	コ	2600	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇		シ	2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	2360	鷄	芸	迎	鯨	劇	戟	擊	激	隙	桁		2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些		2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件		2620	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂		2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2380	俟	倦	健	兼	券	剣	喧	圈	堅	嫌		2630	詐	鎖	娑	坐	挫	債	催	再	最			2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	2390	建	憲	懸	拳	捲						2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歲	濟	2890	綬	需	囚	収	周							
	2400	検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	梟		2650	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	2900	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋			
	2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	頸	験	2660	載	際	剂	在	材	罪	財	冴	坂	阪	2910	終	繡	習	臭	舟	菟	衆	襲	讐	蹴		
	2420	齧	元	原	嚴	幻	弦	減	源	玄	現	2670	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削	2920	輯	週	茜	酬	集	醜	什	住	充	十		
2430	絃	絃	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	2930	從	戎	柔	汁	泣	獸	縱	重	銃	叔			
ク	2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	2690	鮭	笹	匙	冊	刷						2940	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟	出	術		
	2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鉅	雇	2700	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	皐	2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循			
	2460	顧	鼓	五	互	伍	午	吳	吾	娛	後	2710	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒	三	傘	參	山	2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵		
	2470	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	醐	2720	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	シ	2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	2730	讚	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	2980	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐		
	2490	効	勾	厚	口	向						2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	2990	恕	鋤	除	傷	償							
	2500	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工		2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	3000	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨			
	2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗	2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	3010	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠		
	2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌	3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶		
	2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	2780	諮	資	賜	雌	飼	鹵	事	似	侍	児	3030	松	梢	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦		
	2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	シ	2790	字	寺	慈	持	時					3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧		
	2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦	2800	次	滋	治	爾	壘	痔	磁	示	而		3050	紹	肖	莒	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔		
2560	砧	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	2810	耳	自	時	辞	汐	鹿	式	識	嶋	竺	3060	詳	象	賞	醬	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上			
2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻	2820	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	3070	丈	丞	乘	冗	刺	城	場	壤	嬢	常			
2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甌	2830	湿	漆	疾	質	実	部	篠	悒	柴	芝	3080	情	擾	条	杖	淨	状	量	穰	蒸	讓			
2590	忽	惚	骨	狛	込						2840	屢	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮	3090	釀	錠	囁	埴	飾								

付録B：区点コード表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
シ	3100	拭	植	殖	燭	織	職	色	舐	食		ソ	3350	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匠	惣	想		チ	3600	帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑
	3110	舐	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審		3360	搜	掃	挿	搔	操	早	曹	巢	槍	槽	3610		暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申		3370	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡	3620		調	謀	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	抄
	3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診		3380	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	3630		直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎
	3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬		3390	霜	騷	像	増	憎						3640		槌	追	鎚	痛	通	塚	柁	掴	槻	佃
	3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	鞞	筒	諏		3400	臧	蔵	贈	造	促	側	則	即	息		ツ		3650	漬	柘	辻	薦	綴	鏑	椿	漬	坪
ス	3160	須	酢	囟	厨	逗	吹	垂	帥	推	水	タ	3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	統	テ	3660	婦	紬	爪	吊	釣	鶴	亭	低	停	偵
	3170	炊	睡	粹	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随		3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜		3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	3180	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉		3430	他	多	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打		3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	3190	梠	菅	頗	雀	裾							3440	柁	舵	橈	陀	駄	騾	体	堆	对	耐		3690	艇	訂	諦	蹄	遁					
セ	3200	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制		3450	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	ト	3700	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴		
	3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代		3710	的	笛	適	鐫	溺	哲	徹	撒	轍	迭	
	3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	3470	台	大	第	醒	題	鷹	淹	瀧	卓	啄		3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	
	3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	齊	稅	3480	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁		3730	軫	顛	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	
	3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	3490	諾	茸	夙	蛸	只							3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	
	3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	3500	叩	但	達	辰	奪	脱	翼	豎	迥			3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	
	3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌	3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	单	嘆	坦		3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	
	3270	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰	3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筆		3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	束	桃	棹	棟	
	3280	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断		3780	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	
	3290	煽	旋	穿	箭	線						3540	暖	檀	段	男	談	値	知	地	弛	恥		3790	答	筒	糖	統	到						
	3300	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐		チ	3550	智	池	痴	稚	置	致	蚰	遲	馳		築	3800	董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	
	3310	選	遷	錢	銑	閃	鮮	前	善	漸	然		3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡		着	3810	鐙	陶	頭	騰	鬪	働	動	同	堂	導
	3320	全	禪	繕	膳	糗	嚼	塑	岨	措	曾		3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫		衷	3820	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠
	ソ	3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	ツ	3580	註	酎	鑄	駐	櫓	瀦	猪	苧		著	貯	3830	鴿	匿	得	徳	洸	特	督	禿	篤
3340		組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢	3590		丁	兆	凋	喋	寵							3840	独	詠	析	椽	凸	突	椽	届	鳶	苫

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ト	3850	寅	酉	滌	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	ヒ	4100	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	ホ	4350	牧	睦	穆	釐	勃	沒	殆	堀	幌	奔	
	3860	頓	呑	曇	鈍	奈	那	内	乍	凧	雍		4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛		紐	4360	本	翻	凡	盆	摩	磨	魔	麻	埋	妹
ナ	3870	謎	灘	捺	鍋	槇	馴	縄	暇	南	楠	マ	4120	百	謬	儀	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	4370	昧	枚	毎	哩	楨	幕	膜	枕	鮪	枉	
	3880	軟	難	汝	二	尼	弑	迓	勾	販	肉		4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋌	蒜	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	俣	
ニ	3890	虹	廿	日	乳	入						メ	4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻	4390	繭	磨	万	慢	満						
又	3900	如	尿	茈	任	妊	忍	認	濡	襦	襦		4150	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	4400	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密		
ネ	3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃	フ	4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐	4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	耗	民	眠	務	
	3920	粘	乃	迺	之	埜	囊	悩	濃	納	能		4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	4420	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	冥	
ノ	3930	脳	膿	農	覗	蚤	巴	把	播	霸	杷	ヘ	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	落	メ	4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
ハ	3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃		4190	伏	副	復	幅	服							4440	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模	茂	妄
	3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配		4200	福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	モ	4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	
	3960	倍	培	媒	梅	煤	煤	狽	買	売	賠		4210	物	鮒	分	吻	墳	憤	扮	焚	奮		4460	目	杳	勿	餅	尤	戾	粍	貰	問	悶	
	3970	陪	這	蠅	秤	矧	菽	伯	剥	博	拍		4220	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	4470	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥	
	3980	柏	泊	白	箔	舶	舶	薄	迫	曝	漠		4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	ヤ	4480	矢	厄	役	約	藥	訳	躍	靖	柳	茹
	3990	爆	縛	莫	駁	麦							4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋	偏	变		4490	鑢	愉	愈	油	癒					
	4000	函	箱	谿	筭	箒	筭	櫛	幡	肌			4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁		4500	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	
	4010	畑	畠	八	鉢	浣	癸	醜	髮	伐	罰		4260	鞭	保	舗	舗	圃	捕	歩	甫	補	輔		4510	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	4020	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判		4270	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣		4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予
	4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版		4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖		4530	余	与	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	采	煩		4290	抱	捧	放	方	朋							4540	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶	熔	用
	4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪		4300	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	ヲ	4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	
ヒ	4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐		ホ	4310	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏	4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	羅
	4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被	4320		亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	4570	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪	
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	4330		望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	
	4090	枇	毘	琵	眉	美						4340		銚	防	吠	頼	北	僕	卜	墨	撲	朴	リ	4590	履	李	梨	理	璃					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
リ	4600	痢裏裡里離陸律率立																																					
	4610	律掠略劉流溜琉留硫粒																																					
	4620	隆竜龍侶慮旅虜了亮僚																																					
	4630	両凌寮料梁涼獵療瞭稜																																					
	4640	糧良諒遼量陵領力緑倫																																					
	4650	厘林淋隣琳臨輪隣隣隣																																					
ル	4660	瑠壘淚累類令伶例冷励																																					
レ	4670	嶺伶玲礼苓鈴隸零靈麗																																					
	4680	齡曆歴列劣烈裂廉恋憐																																					
	4690	漣煉簾練聯																																					
	4700	蓮連鍊呂魯櫓炉賂路																																					
ロ	4710	露勞婁廊弄朗樓榔浪漏																																					
	4720	牢狼籠老蠶蛾郎六麓祿																																					
	4730	肋録論倭和話歪賄脇惑																																					
ワ	4740	杵鷺互巨鰐詫藁蕨椀湾																																					
	4750	碗腕																																					
	4760																																						
	4770																																						
	4780																																						
	4790																																						

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4800	弑	巧	丕	个	丌	丌	丌	丌	丌	丌	5050	廠	厶	參	纂	雙	叟	曼	變	叮	叨	5300	奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨			
4810	乖	乘	亂	丿	豫	爭	舒	式	于	亞	5060	叭	叭	吁	吖	呀	听	吭	吼	吮	呐	5310	姜	妍	姘	姚	娥	娟	娑	娜	娉	甥		
4820	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	5070	吩	吝	呖	咏	呵	咎	咍	呷	呷	5320	姍	姘	婉	姘	娶	婢	婪	媚	媼	媼			
4830	仇	仗	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	仞	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	呿	呿	5330	嫗	嫂	媽	媽	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗		
4840	伺	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	佗	5090	啞	咬	哄	哈	咨						5340	嬌	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋	嬋		
4850	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	5100	咫	晒	咤	咤	咤	咤	哥	哦	唏	5350	孀	子	孕	孚	孚	孚	孚	孩	孰	孀	孀		
4860	俑	俚	俚	俚	俚	俚	倨	倨	倪	倥	5110	唔	哽	哮	哭	哺	呀	啞	啞	啞	5360	學	孖	一	它	宦	宸	冤	寇	寇	寇			
4870	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	倅	5120	售	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	啜	5370	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔	寔		
4880	偃	假	會	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	5130	咯	喊	啗	啗	啗	啗	啗	啗	啗	5380	寶	尅	將	專	對	尔	尅	尅	尅	尅	尅		
4890	傀	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	5140	喻	喇	唳	嗚	嗅	嗟	嗟	嗟	嗟	5390	尹	屁	屈	屎	屎	屎	屎	屎	屎	屎	屎		
4900	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5150	嘔	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	噉	5400	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐		
4910	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5160	嘴	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	嘶	5410	岑	岔	岙	岙	岙	岙	岙	岙	岙	岙	岙		
4920	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	5170	嚀	嚀	嚀	嚀	嚀	嚀	嚀	嚀	嚀	5420	峇	峙	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇	峇		
4930	兢	競	兩	兪	兮	冀	冂	回	冊	冉	5180	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	嚼	5430	崗	寄	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙		
4940	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	冏	5190	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	囹	5440	嵌	岳	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕	崕		
4950	凵	決	冫	冲	冰	況	冽	涸	凉	凜	5200	圈	國	圍	圓	團	圖	圖	圖	圖	5450	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢		
4960	几	處	夙	凭	夙	夙	夙	夙	夙	夙	5210	坏	址	坎	圪	圪	圪	圪	圪	圪	5460	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔	巔		
4970	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	5220	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	5470	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑		
4980	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	刎	5230	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	圪	5480	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟		
4990	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	劒	5240	堡	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	塢	5490	廁	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂	廂		
5000	辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	5250	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	5500	廖	廣	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝	廝		
5010	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	勛	5260	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	5510	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬	廬		
5020	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	5270	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	壻	5520	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋		
5030	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	匍	5280	天	天	天	天	天	天	天	天	天	5530	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎	彎		
5040	厄	外	卻	卷	厂	厠	厠	厠	厠	厠	5290	奢	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	奠	5540	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃	徃		

付録B：区点コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5550	徠	徇	徇	徇	忤	忤	忤	忤	忤	忤	忤	5800	據	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6050	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5560	惠	忿	怡	恠	怙	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5810	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6060	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5570	怕	怩	怩	怩	怩	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5820	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	擄	6070	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5580	協	恆	恍	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5830	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	6080	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5590	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5840	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	攷	6090	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5600	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5850	斷	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	旆	6100	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5610	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5860	无	早	早	早	早	早	早	早	早	早	6110	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5620	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5870	易	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	晏	6120	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榷
5630	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5880	晟	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	哲	6130	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
5640	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5890	暨	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹	暹	6140	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎	歎
5650	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5900	曄	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	瞭	6150	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞	殞
5660	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5910	曳	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷	曷	6160	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳	毳
5670	應	懷	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	懈	5920	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	朶	6170	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣	氣
5680	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	5930	枉	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	杰	6180	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾	汾
5690	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	戊	5940	枷	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	柯	6190	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
5700	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	5950	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	柢	6200	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎
5710	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	5960	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	桀	6210	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸	洸
5720	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	5970	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	6220	浹	浹	浹	浹	浹	浹	浹	浹	浹
5730	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	5980	梵	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	6230	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵	涵
5740	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	5990	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	6240	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙	浙
5750	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	6000	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	梟	6250	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙	渙
5760	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	6010	棹	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	棠	6260	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮	泮
5770	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	6020	楷	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	6270	混	混	混	混	混	混	混	混	混
5780	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	6030	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	6280	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥	溥
5790	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	6040	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	6290	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲	滲

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6300	漾	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	滄	6550	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	6800	筐	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6310	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	潛	6560	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	疝	6810	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6320	澳	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	幹	6570	瘋	瘍	瘍	瘍	瘍	瘍	瘍	瘍	瘍	瘍	6820	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6330	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	6580	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6830	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6340	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	6590	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6840	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6350	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	瀏	6600	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	6850	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭
6360	炮	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	烟	6610	皖	皓	皓	皓	皓	皓	皓	皓	皓	皓	6860	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6370	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	熙	6620	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	盍	6870	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓	杓
6380	煩	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	6630	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	眈	6880	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕	棕
6390	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	6640	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	眸	6890	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲	糲
6400	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	燠	6650	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	6900	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6410	爲	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻	爻	6660	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	6910	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6420	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	犁	6670	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	砌	6920	經	經	經	經	經	經	經	經	經
6430	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	6680	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	砵	6930	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6440	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	猗	6690	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	碾	6940	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6450	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	獎	6700	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	6950	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽	綽
6460	獼	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	玊	6710	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	礫	6960	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵	縵
6470	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	琅	6720	袞	袞	袞	袞	袞	袞	袞	袞	袞	袞	6970	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6480	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	瑁	6730	批	批	批	批	批	批	批	批	批	批	6980	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6490	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	璧	6740	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	稟	6990	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇	緇
6500	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	瓠	6750	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	穢	7000	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6510	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	瓷	6760	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	窖	7010	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6520	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	甦	6770	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	7020	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈
6530	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	畎	6780	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	竊	7030	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈	羈
6540	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	疊	6790	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	筭	7040	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦	翦

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7050	耙	耜	耨	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	7300	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	蓐	7550	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨	誨
7060	聚	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	聳	7310	蕞	蕭	蕭	蕭	蕭	蕭	蕭	蕭	蕭	蕭	7560	詵	諫	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7070	聿	肄	肄	肱	肱	肱	肱	肱	肱	肱	7320	藉	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	薺	7570	誦	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7080	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	胛	7330	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	藎	7580	誼	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛	諛
7090	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7340	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	庀	7590	證	證	證	證	證	證	證	證	證	證
7100	隋	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	7350	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7600	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7110	腦	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	腴	7360	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7610	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓	讓
7120	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	脛	7370	蜀	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	蛻	7620	豐	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕	豕
7130	臂	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	膺	7380	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	蜷	7630	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓	猓
7140	癢	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	臧	7390	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7640	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳	貳
7150	舍	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7400	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	蚋	7650	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7160	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	舐	7410	螽	蟬	蟬	蟬	蟬	蟬	蟬	蟬	蟬	蟬	7660	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄	賄
7170	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	艷	7420	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	蟻	7670	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾	趾
7180	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	7430	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	蝶	7680	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
7190	苞	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	苣	7440	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7690	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂	蹂
7200	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	茵	7450	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	衤	7700	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7210	茯	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	茫	7460	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	袍	7710	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7220	莫	莎	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	7470	裝	裹	褂	裴	裨	裨	裨	裨	裨	裨	7720	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
7230	蓂	菴	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	7480	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	7730	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲	躲
7240	蒂	菴	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	7490	樓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	褓	7740	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾	軾
7250	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	7500	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	襦	7750	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7260	蒂	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	7510	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	覈	7760	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7270	蒿	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	苈	7520	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	覺	7770	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭	辭
7280	勞	蔡	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	苳	7530	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	訃	7780	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
7290	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	蓼	7540	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	詒	7790	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7800	遏	遐	遑	迢	迺	逌	逌	逌	逌	逌	8050	鮑	鮑	勒	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	8300	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7810	遞	遨	遯	遯	隨	遲	遯	遯	遯	遯	8060	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	8310	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7820	邊	邊	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	8070	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	8320	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7830	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	郭	8080	韶	韶	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	8330	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7840	酥	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	8090	顏	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	8340	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7850	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	醕	8100	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	顧	8350	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
7860	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	8110	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	飭	8360	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點	點
7870	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	鈕	8120	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8370	聶	聶	聶	聶	聶	聶	聶	聶	聶	聶	聶
7880	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8130	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	餞	8380	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧
7890	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	鉤	8140	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	8390	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧	齧
7900	銍	銍	銍	銍	銍	銍	銍	銍	銍	銍	8150	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	駟	8400	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
7910	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	鉞	8160	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅	驅												
7920	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8170	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢	驢												
7930	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8180	體	體	體	體	體	體	體	體	體												
7940	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8190	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻												
7950	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	鑿	8200	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻												
7960	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8210	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤												
7970	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	閤	8220	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴	魴												
7980	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	8230	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
7990	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	陌	8240	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
8000	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	8250	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
8010	險	險	險	險	險	險	險	險	險	險	8260	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
8020	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	雋	8270	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
8030	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8280	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓												
8040	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	8290	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠												

索引

数字

2 in 1	6-14
4 in 1	6-14

O

OHP 合紙モード	6-30
-----------------	------

い

印画紙写真モード	4-3
印刷写真モード	4-3

え

エコプリント	6-41
エコプリント(コピー初期設定)	7-44

お

応用コピー	6-48
オートカセットチェンジ機能	2-5
オートカセットチェンジ(マシン初期設定)	7-31
オートクリア機能	2-5
オートスリープ機能	6-60
オートスリープ(マシン初期設定)	7-32
オプション	8-1
オプションユニット	10-14

か

書き込み余白	6-12
拡大連写モード	6-19
各部の名称	2-1
画質の選択	4-3
カセット	3-2
カセット1～4での紙詰まり	9-6
カセット右カバー1,2内部での紙詰まり	9-6
紙詰まりが発生したら	9-5
画面変更(基本機能)(コピー初期設定)	7-46
画面変更(追加機能)(コピー初期設定)	7-46
カラーコピーモード設定(コピー初期設定)	7-44
カラーバランス調整	ii, 5-1
カラーモードの選択	4-1
環境仕様	10-12
管理者暗証番号変更(マシン初期設定)	7-32

き

キーカード	8-8
キーカードのセット方法	8-9
キーカウンタ	8-8
キーカウンタのセット方法	8-8
機械のウォームアップ	4-1
機械の清掃のしかた	10-1
機械を設置するときの注意	1-2

機能組み合わせ一覧	10-16
機能登録キーの削除	6-47
機能登録キーの登録	6-46
機能の選択	4-2
機能を機能登録キーに設定する	6-46
基本的なコピー	4-1
給紙部での紙詰まり	9-6
鏡像コピー	6-33

く

区点コード表	10-18
--------------	-------

け

原稿送り装置	8-1
原稿送り装置(オプション)での紙詰まり	9-14
原稿送り装置に使用できる原稿	8-1
原稿送り装置の使用上の注意	8-1
原稿送り装置への原稿のセット	8-2
原稿押さえの清掃	10-1
原稿サイズ混載モード	8-3
原稿サイズ選択	6-29
原稿サイズ登録	7-64
原稿セット向き	6-42
原稿の画質(コピー初期設定)	7-44
原稿のセット	4-1
言語切替	7-71

こ

光沢プリント	iii, 5-6
固定変倍モード	6-2
コピー禁止事項	1-5
コピー終了	4-4
コピー初期設定画面の表示方法	7-47
コピー初期設定の項目	7-44
コピー初期設定の変更方法	7-47
コピースタート	4-3
コピー濃度の調整	4-2
コピーの縮小/拡大	6-1
コピー排出先設定(マシン初期設定)	7-32
コピー部数制限(コピー初期設定)	7-45
コピー枚数の設定	4-3
コンタクトガラスの清掃	10-1
こんな表示がでたら	9-4
こんなメッセージが出たら	9-1

さ

再コピー	6-35
再コピー出力	6-36
再コピー設定(コピー初期設定)	7-46
再コピーの設定	6-35

し

仕上がりサイズ混在	8-3
仕上がりサイズ統一	8-3
シート枠消し	6-13
色相調整	iii, 5-2
時差(マシン初期設定)	7-32
自動階調調整	7-65
自動回転	6-26
自動回転(コピー初期設定)	7-45
自動カラーコピーモード	4-1
自動カラー判別基準設定(コピー初期設定)	7-44
自動濃度調整(OCR)(コピー初期設定)	7-45
自動濃度調整(カラー)(コピー初期設定)	7-45
自動濃度調整(白黒)(コピー初期設定)	7-45
自動倍率選択モード	6-1
シャープネス調整	iv, 6-40
集約コピー	6-14
手動濃度調整(印画紙写真)(コピー初期設定)	7-45
手動濃度調整(印刷写真)(コピー初期設定)	7-45
手動濃度調整(地図)(コピー初期設定)	7-45
手動濃度調整(文字+写真)(コピー初期設定)	7-45
手動濃度調整(文字)(コピー初期設定)	7-45
仕様	10-9
小冊子(シート原稿)	6-21
小冊子(見開き原稿)	6-23
初期モード	2-5
初期設定モード	7-31
白黒コピーモード	4-1
白黒反転コピー	6-32
仕分けコピー	6-25
新規部門登録	7-3

す

ズームコピーモード	6-1
ステープルモードでのコピー	8-6
スリープモード移行時間(マシン初期設定)	7-32

せ

静音モード(マシン初期設定)	7-32
製品の保守サービスについて	10-13
節電機能(低電力モード)	6-59
センター移動	6-11

そ

ソートしないコピー	8-5
ソートするコピー	8-5
ソート(コピー初期設定)	7-45

た

タッチパネル音(マシン初期設定)	7-32
たてよこ独立変倍モード	6-2
試しコピー	6-34
単色カラーコピーモード	5-5

ち

注意ラベル	1-1
-------------	-----

て

定着部での紙詰まり	9-10
低電力モード移行時間(マシン初期設定)	7-32
手差し	3-4
手差し設定の確認画面表示(マシン初期設定)	7-31
手差しでの紙詰まり	9-7
手差し用紙設定	7-62
電源投入時モード(マシン初期設定)	7-32
転写ユニットでの紙詰まり	9-9

と

登録ボタンの表示(コピー初期設定)	7-46
トータルカウンタの参照と印刷	7-68
ドキュメントフィニッシャ	8-5
ドキュメントフィニッシャ〈オプション〉での 紙詰まり	9-15
独立とじしろ	6-9
とじしろ	6-9
とじしろ初期値(コピー初期設定)	7-45
トナーコンテナ	10-4
トナー節約コピー	6-41
トラブルが発生した場合	9-16
ドラムリフレッシュ	7-67
取り扱い上のご注意	1-3

ね

ネットワークスキャナ	8-9
------------------	-----

の

濃度ステップ(コピー初期設定)	7-44
濃度モード(コピー初期設定)	7-44

は

廃棄トナーボックス	10-6
廃棄について	10-13
排出先選択	6-43
配布コピー	6-39
搬送ユニットでの紙詰まり	9-7
パンチモードでのコピー	8-7

ひ

左カバー内部での紙詰まり	9-12
日付/時刻(マシン初期設定)	7-32
表紙付け	6-27
表紙用紙カセット(コピー初期設定)	7-45

ふ

ファクスキット	8-9
ファクス排出先設定(マシン初期設定)	7-32

複写機の管理モード	7-1
ブック枠消し	6-13
部門管理時のコピー操作	7-30
部門管理集計	7-21
部門管理初期設定	7-23
部門管理の設定	7-23
部門管理メニュー画面の表示方法	7-2
部門管理モード	7-1
部門削除	7-17
部門編集	7-3
プリンタキット	8-9
フルカラーコピーモード	4-1
プログラムキー名称の変更のしかた	6-45
プログラムコピー	6-44
プログラム削除のしかた	6-45
プログラム登録のしかた	6-44
プログラムを使ったコピー	6-44
分割コピー	6-7

へ

ページ付け	6-16
ペーパーフィーダ	8-4

ほ

補修用性能部品について	10-13
保守サービス契約書について	10-13
保守・運用	10-1

ま

マシン初期設定画面の表示方法	7-33
マシン初期設定の項目	7-31
マシン初期設定の変更方法	7-33

め

メインチャージャの清掃	10-2
メモリコピーボード	8-8

も

文字+写真モード	4-3
文字の入力方法	7-72
文字モード	4-3

ゆ

優先カセット(コピー初期設定)	7-45
優先倍率(コピー初期設定)	7-45

よ

用紙サイズ(カセット1～4)(マシン初期設定)	7-31
用紙種類の指定(カラー自動用紙) (コピー初期設定)	7-44
用紙種類の指定(白黒自動用紙)(コピー初期設定)	7-44
用紙種類の属性(定着設定)(マシン初期設定)	7-31
用紙種類の属性(両面印刷)(マシン初期設定)	7-32

用紙種類(カセット1～4)(マシン初期設定)	7-31
用紙選択(コピー初期設定)	7-44
用紙の選択	4-2
用紙の補給	3-1

り

両面コピー	6-4
両面ユニット	8-9
両面ユニットでの紙詰まり	9-13

れ

レポート出力	7-69
連続読み込み	6-38

わ

枠消し	6-13
枠消し初期値(コピー初期設定)	7-45
割り込みコピー	6-3
ワンタッチ画質調整	i, 5-4

**QUALITY
CERTIFICATE**

この製品はすべての品
質管理および最終検査
に合格しました。

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様
相談窓口



0570-046562

受付時間
● 9:00～12:00 ● 13:00～17:00
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。 <http://www.kyoceramita.co.jp/support/>

2002.6